令和３年度

事　業　報　告　書

「すべては愛から始まる」

社会福祉法人 成 仁 会

特別養護老人ホーム 成仁ハウス百年の里
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 富 美 岡 荘
養 護 （ 盲 ） 老 人 ホ ー ム 祥 風 苑
地域密着型介護老人福祉施設 蔵ハウス大船渡
認知症対応型共同生活介護事業所 まちぐるみ
大 船 渡 市 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー
小規模多機能型居宅介護施設 ひころいちの郷
富 美 岡 荘 ホ ー ム ヘ ル プ 事 業 所
大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所
富 美 岡 荘 指 定 居 宅 介 護 支 援 事 業 所
大船渡市福祉の里在宅介護支援センター
社 会 福 祉 法 人 成 仁 会 ＳＧビル

基本理念

「すべては愛から始まる」

社会福祉法人　成仁会

我が法人の基本理念・方針は、創業者精神にある

成仁会は、福祉の理想を実現し、皆が幸せに暮らすために、社会福祉法及び介護保険法に基づき、深い愛情と尊敬、法人をあげて至誠の心と情熱を持ち、施設経営事業の推進と地域福祉に貢献することを基本理念とする。

一、博く愛すること
一、礼をもって老者に仕えること
一、広く万人のために活動すること
一、健康を大切にすること
一、生涯学ぶこと

＜成仁会の思い＞

我々「成仁会」は、法人開設 45 年を迎え、社会福祉法・介護保険法の理念に基づき、さらに創業者精神を堅持し、広く深く事業の発展と安定のためまい進するものである。その創業者精神とは、創業者である山崎伊一郎、山崎シゲ会長の思い「人間愛」から始まり、当法人の「すべては愛から始まる」を法人の基本と位置づけ、慈しみ、愛情、そして、高齢者が困難な時こそ「どうにかしてあげられないか」の意志表示と行動から始まったものである。

山崎シゲ会長のケアの哲学と思想は以下のものであり、これを法人の方針とする。

① 相談されたらいやとは言わないケアの実践とサービス開発
② 看取りを尊重できることが究極のケア、ケアの根源
③ 食べる喜び、食べたいと思う心を尊重するケア
④ 不安に寄り添い、和らげるケア
⑤ 生きることを喜び合えるケア
⑥ 一期一会のケア
⑦ ケアの言語化、データ化によるケアの科学化、見える化
⑧ 地域を愛し、地域に愛されるケア

⑨ 「老い」を尊重し、「老い」に礼を尽くし、感謝し、「老い」に学ぶケア
⑩ 職員が人間として成長し、輝くケア

我々「成仁会」は、この高齢者福祉への愛情と情熱を掲げ、高齢者の尊厳と暮しを守り、「相手の身になって」を真に実践し、高齢者サービスを利用する方々のために、グループ法人である社会福祉法人杜の里福祉会とともに実行するものである。

＜山崎シゲ会長の栄誉＞

◎平成 30 年 12 月 23 日、山崎シゲ会長は、平成最後の御下賜金を賜る栄に浴した。会長の長年に亘たる公明正大な法人経営と先進的な技術を取り入れた施設運営などの功績が高く評価されたものである。

◎令和 2 年 11 月 13 日、山崎シゲ会長は、埼玉医科大学病院緩和医療科の客員研究員に任命された。会長のケアの哲学と思想が同病院に評価されたものであり、併せて予防医学を目指す同病院の「介護医療連携プロジェクト」の実証実験施設に法人施設が認定された。

＜法人の目指す姿＞

“生きていくことへの全人的サポートを目指す”

◎施設サービス

一人ひとりが、住みやすく生活しやすく、安心してそれまでの自律的な暮らしが継続できる施設サービスを目指す。

◎在宅サービス

住み慣れた地域において、それぞれの自律的な暮らしが、安定し、安心して継続できる在宅サービスを目指す。

◎全人的にみつめる

その人の人生のすべてを理解することに努め、尊厳ある介護サービスの提供を目指す。

＜「至誠」を貫く＞

「至誠を貫く」とは、その時その時に与えられた仕事に本気で取り組むということです。それが当たり前になれば、誰の前であっても、与えられた仕事に真剣に取り組む姿がほんとうの自分の姿になるのです。そして、知らず知らずのうちに誰からも頼られる人になるのです。この人だったら「しっかり責任を果たすだろう。」と誰もが思うようになるのです。いわば周囲からの信頼が「自分の役割」に気づかせてくれるのです。

また、「至誠」すなわち誠を尽くし、精いっぱい真心を持って相手に話し尽くすことで、その相手に必ずわかってもらえる、心に思うことを言葉にしてこそ初めてわかり合えるのです。

＜成仁会　五つの思い＞

一、真心を込めて入居者様と接しましたか
一、言ったことをきちんと行うことができましたか
一、気持ちを込めていましたか
一、自分のできる限りのことができましたか
一、最後まで諦めずに行うことができましたか

＜職員のあるべき姿＞

介護員を含む私たち全職員は、利用者・入居者の皆様に対して、「じゃぁ明日します」と言うことは、有ってはならないことです。明日という日が必ずあるとは限りません。今、その時その瞬間に行動、実践することが、利用者・入居者皆さまの「生命を守り」「生きがいを守り」「心を守り」その人の「尊厳を守る」ことになるのです。

更に、介護の仕事は、一人の力では決してうまく行かず、チームワークが必要である。介助する職員によってサービスや対応が違えば、入居されている方は戸惑ってしまうことになる。どの職員が現場に入っても、同じサービスを提供できるようにするのは、普段から職員同士が互いに理解し合うことが不可欠です。

そのため、「心を手にして」・「心を声にして」・「心を瞳にして」、職員は思っていることを相手に伝えることが必要です。会長・理事長の施設づくりを施設長→副施設長→課長→担当職員へ広く伝えることによって、全職員が思いを共有し、心を一にして日々の仕事に臨むことができるものであります。

全職員は、基本理念である「すべては愛からはじまる」を胸に刻み、シゲ会長が創業来40年以上貫いて来た、とことんとことん「相手の身になって」やさしく思いやる気持ちを心にして実践することが、介護の姿勢にも通じるものであり職員のあるべき姿であると考えられます。

＜　山崎シゲ会長の栄誉　＞

◎平成最後の御下賜金を拝受

山崎シゲ会長は平成 30 年 12 月 23 日、平成最後の御下賜金を拝受する栄誉にあずかりました。

これは、山崎シゲ会長の「相手の身になって」優しく、真心をこめて高齢者福祉に貢献してきた功績に加え、長年に亘る公明正大な法人経営と先進的技術を取り入れた施設運営が高く評価されたものです。令和という時代の幕開けに私たち役職員一同は、改めて山崎シゲ会長の高齢者介護に寄せる熱い思いを共有し、入居者の皆様をはじめ地域の高齢者の皆様に安心して生活していただけるよう地域福祉の発展に邁進する決意を新たにしました。

平成 30 年 12 月 25 日伝達式にて（岩手県知事より）

◎埼玉医科大学病院の客員研究員に任命

山崎シゲ会長は令和 2 年 11 月 13 日、埼玉医科大学病院緩和医療科の客員研究員に任命されました。山崎シゲ会長は、常に質の高い理想の介護を実現するため、早い段階からコンピュータを導入してケアの科学化とケアの見える化に取り組んできました。

このことが埼玉医科大学病院の研究チームの目に止まり、同病院の「医療介護連携プロジェクト」の客員研究員に山崎シゲ会長が任命されました。さらに同日「病態変化感知システム」の実証化テストの対象施設に私たちの法人と成仁会の施設が認定されたことは、高齢者介護の質の向上に取り組んできた山崎シゲ会長の功績に他なりません。

令和 2 年 11 月 13 日辞令交付式
埼玉医科大学病院・岩瀬教授、山崎シゲ会長

山崎シゲ会長への客員研究員の辞令

成仁会への実証化テスト施設の認定書

目　　次

○　基本理念

○　社会福祉法人成仁会

令和３年度を振り返って …… 2

1　社会福祉法人成仁会事業報告 …… 5

2　社会福祉法人成仁会沿革 …… 11

3　社会福祉法人成仁会役員名簿 …… 17

4　社会福祉法人成仁会経営施設概要 …… 18

5　評議員会の開催状況 …… 26

6　理事会の開催状況 …… 26

7　監事による監査会開催状況 …… 28

8　独立監査法人による監査状況 …… 30

9　苦情解決第三者委員会の開催状況 …… 31

10　公益的取組状況 …… 31

11　法人開催による緊急会議関係 …… 32

12　埼玉医科大学病院との取組状況 …… 33

社会福祉法人成仁会組織 …… 36

備蓄品管理状況 …… 38

社会福祉法人成仁会１年間の様子 …… 41

○　防災訓練報告

防災訓練実施概要 …… 46

社会福祉法人成仁会自衛消防隊組織図 …… 53

各事業所防災訓練の様子 …… 54

○　特別養護老人ホーム 成仁ハウス百年の里

令和３年度の事業を振り返って …… 62

1　各課の事業実施状況

(1) 総務部総務課 …… 63

(2) 事業部生活相談課 …… 64

(3) 事業部介護課 …… 70

(4) 事業部看護課 …… 73

(5) 事業部栄養管理室 …… 75

2　委員会の開催状況 …… 80

3　職員研修の実施状況 …… 89

成仁ハウス百年の里１年間の様子 …… 90

○　特別養護老人ホーム 富美岡荘

令和３年度の事業を振り返って …… 94

1　各課の事業実施状況

(1) 総務部総務課 …… 95

(2) 事業部生活相談課 …… 95

(3) 事業部介護課 …… 96

(4) 事業部看護課 …… 96
(5) 事業部栄養管理室 …… 97
2 委員会の開催状況 …… 111
3 職員研修の実施状況 …… 121
富美岡荘１年間の様子 …… 123
○ 養護（盲）老人ホーム 祥風苑
令和３年度の事業を振り返って …… 130
1 各課の事業実施状況
(1) 総務課 …… 131
(2) 生活相談課 …… 131
(3) 介護課 …… 138
(4) 看護課 …… 140
(5) 栄養管理室 …… 142
2 委員会の開催状況 …… 145
3 職員研修の実施状況 …… 151
祥風苑１年間の様子 …… 152
○ 地域密着型介護老人福祉施設 蔵ハウス大船渡
令和３年度の事業を振り返って …… 160
1 各課の事業実施状況
(1) 生活相談課 …… 161
(2) 介護課 …… 164
(3) 看護課 …… 167
(4) 栄養管理室 …… 169
2 委員会の開催状況 …… 174
3 職員研修の実施状況 …… 181
4 運営推進会議の実施状況 …… 183
蔵ハウス大船渡１年間の様子 …… 184
○ 認知症対応型共同生活介護事業所 まちぐるみ
1 各課の事業実施状況
(1) 生活相談係 …… 188
(2) 介護係 …… 189
2 入退所の状況 …… 190
3 委員会の開催状況 …… 191
4 職員研修の実施状況 …… 195
まちぐるみ１年間の様子 …… 203
○ 大船渡市デイサービスセンター
令和３年度の事業を振り返って …… 206
1 各係の事業実施状況
(1) 総務相談係 …… 207
(2) 介護係 …… 208
(3) 看護係 …… 209

２　職員研修の実施状況 …… 210
大船渡市デイサービスセンター１年間の様子 …… 214

○　小規模多機能型居宅介護施設 ひころいちの郷
令和３年度の事業を振り返って …… 218
１　各係の事業実施状況
(1) 総務相談係 …… 219
(2) 介護係 …… 219
(3) 看護係 …… 220
２　職員研修の実施状況 …… 225
３　運営推進会議の実施状況 …… 226
ひころいちの郷１年間の様子 …… 227

○　富美岡荘ホームヘルプ事業所
令和３年度の事業を振り返って …… 232
事業実施状況 …… 233

○　大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所
令和３年度の事業を振り返って …… 238
事業実施状況 …… 239

○　富美岡荘指定居宅介護支援事業所
令和３年度の事業を振り返って …… 244
事業実施状況 …… 245

○　大船渡市福祉の里在宅介護支援センター
令和３年度の事業を振り返って …… 250
事業実施状況 …… 251

○　社会福祉法人成仁会 ＳＧビル
事業実施状況 …… 254

令和３年度

事　業　報　告

（自　令和３年４月１日　　至　令和４年３月31日）

社会福祉法人　成 仁 会

令和３年度を振り返って

＜取り巻く状況＞

(1)介護報酬の改定

介護報酬の見直し時期にあたる決算年度は、介護職員の人材確保や物価の動向等から 0.70%のプラス改定となった。また新型コロナウイルス感染症等への対応力強化や認知症への対応力向上などの内容も盛り込まれた。

(2)国の分配戦略

政府は 11 月に「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を打出し、その中で「人」への投資を強化する“分配戦略”として、介護・障害福祉職員の賃上げを継続的に促す処遇改善支援補助金を創設した。

＜事業の概況＞

１．事業継続の取組

介護事業は、高齢者の日常生活を支える上で必要不可欠な事業であり、如何なる事態となっても継続が求められます。そこで新型コロナの感染予防対策を徹底しながら日々の介護に臨むとともに、施設内感染を想定した研修を行うなど、事業継続に向けた取り組みを実施しました。

２．面会の継続

面会禁止を措置する中において、当法人は家族との面会が入居者様の「心の安定」に大きく作用すると考え、感染状況の変化を見ながら、可能な限りタブレットやアクリル板を活用した面会を継続しました。

３．事業の拡大

大船渡市公募の「大船渡市高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画」において、令和５年度「盛地区にグループホーム及び小規模多機能型居宅介護施設」の運営事業者として当法人が決定されました。また、大船渡市デイサービスセンターの利用定員を３３名（3名増員）とし、介護環境の充実を求める地域住民の要望に応えるべく、運営事業者として大きな役割を担うこととなりました。

４．科学的介護の取組

埼玉医科大学病院緩和医療科との実証実験を通じて、ADL（日常生活動作）評価を繰り返し行いながら、科学的介護の根拠となる基礎作りに努め、実践を通して包括的な「介護の質の向上」に努めました。

５．公益的な取組

大船渡市や各地区公民館等と連携しながら、介護予防教室の開催や講師派遣、新型コロナワクチン接種会場の提供、更には、IWATE あんしんサポートに参画しながら「地域における公益的な取組」を行い、社会福祉法人としての責務を果たすべく取り組みを行いました。

私たち成仁会は、昭和51年の設立以来、基本理念「すべては愛から始まる」創業者精神の下、入居者様、利用者様、そしてそのご家族様が満足いただけるサービスの提供に誠心誠意心を込めて令和3年度も努めて参りました。

こうした取り組みができますのも、評議員並びに理事・監事の皆様のご支援の賜と心から感謝を申し上げます。これからも入居者様・利用者様の皆様の幸せを願い、全職員一丸となって「相手の身になって」「心を手にして」を実践し精進してまいりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人成仁会
会　長　山崎　シゲ
理事長　山崎　和彦

成仁会が実践する施設運営

その方が歩んできた人生を理解し、施設での人生のラストステージを安心して過ごして頂く

パーソナルケアの実践

気づきの心

- 入居者とのコミュニケーション
- 職員間のコミュニケーション
- 入居者の健康状態把握
- 入居者一人ひとりの人生全体を理解すること

相手の身になって

- 入居者の尊厳を第一に考える
- もし自分ならどう思うか
- 不安に寄り添い、和らげること
- いやと言わないケア、サービス

介護の質を高める

- データに基づく科学的ケア
- 看取りを尊重した究極のケア
- 「食」を大切にしたケア
- 「老い」を尊重し、「老い」に礼を尽くし、感謝し、学ぶケア

社会福祉法人とし

- 地域を愛し、地域に愛される
- 生きることを喜び合うこと
- 職員が人間として成長し、輝く
- 社会のセーフティネットであること

成仁ハウス百年の里　富美岡荘　祥風苑

蔵ハウス大船渡　まちぐるみ　ひころいちの郷

大船渡市デイサービスセンター　富美岡荘ホームヘルプ事業所

大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所・富美岡荘指定居宅支援事業所

サービス担当者会議

入居時

- 実態調査を徹底して行い、ご本人のこれまでの人生歴史の写真等提供いただき、を徹底的に理解を深め、全職員が「相手の身になって」が実践できるようサービスに活かせるような情報共有可能な資料の作成
- 施設サービス計画書、24時間シートの作成

入居後

- 課題の抽出と目標策定、援助内容の検討及び実施、評価
- 定期的な計画書及び24時間シートの更新

令和３年度事業報告

Ⅰ　パーソナルケアの徹底

我が法人は、個人の尊厳保持、権利擁護、利用者の自律的な暮らしへの全人的なサポートを目指した利用者本位のサービスを提供する。

(1)　全人的理解に基づくケアの推進
(2)　嘱託医と連携した医療・看取りの充実

【実　績】

◎ 利用者本位のサービスを提供するため、利用者一人ひとりの実態調査を充実させ、幼少期から成人期、現在に至るまでの人生背景、利用前の生活パターンや病歴などから「その人を良く知る（全人的理解）」ことで、カンファレンスも充実させ、全職員が一丸となった「相手の身になって」ケアを実践することに努めた。入居者一人ひとりの尊厳を保持し、入居者同士の人間関係、社会的関係を築き、自律的な日常生活を安心して営めるよう、徹底したパーソナルケアに努めた。また、嘱託医である山崎内科医院と連携を密にし、入居者一人ひとりの適切な医療の提供とご家族の意向に耳を傾け寄り添った看取りの充実に努めた。

Ⅱ．介護の質の向上等

介護と医療の連携によって得られる各種のデータから実証されたエビデンス（科学的根拠）に基づいた科学的介護を実践して介護の質の向上に取り組むと共に、家族への情報提供と説明責任を果たす。

(1)　科学的介護による介護の質の向上
(2)　家族等への情報提供と説明責任
(3)　利用者情報の事業所間の連携と共有

【実　績】

◎ 埼玉医科大学病院緩和医療科との「医療介護連携プロジェクト」に参画し、実証実験に取組むとともに、一人ひとりの ADL（日常生活動作）評価を繰り返し行い、日常の支援を行いながら、入居者の食事、移動、排泄等の現状について、可視化・数値化し、エビデンス（科学的根拠）の基礎となる取組を行った。更に、ご家族へは日常生活の情報提供を随時行いながら、説明責任を果たすとともに、職員間でも連携を深めながら、科学的介護の実践を通して、包括的な「介護の質の向上」に努めた。

Ⅲ. 危機管理対策の強化

自然災害など予期せぬ事態が発生した場合に、被害の拡大防止と業務継続に向けた危機管理対策に努める。

(1)　自然災害への対策
(2)　感染症対策

【実　績】

◎東日本大震災の経験を踏まえ、避難訓練の実施、長期避難に備えた食料や各種器材・日常消耗品の備蓄など、自然災害への対策に努めた。

◎感染症対策としては、感染症がひとたび発生するとクラスターとなる確率が高いことから、日頃の感染予防対策の徹底はもとより、感染事案の発生を想定したマニュアルの策定、研修の実施、訓練の実施を行うなど、危機管理としての感染症対策の強化に努めた。特に新型コロナウイルス感染予防対策として、高齢者及び従事者のワクチン接種は、行政と連携を密にして実施し、感染予防水際対策として抗原検出キットを活用した職員一斉検査の実施や施設関連の徹底した環境整備の取組を行った。

Ⅳ. 職員の意欲・能力向上への取組

職員が専門性を発揮しながら安心して働き続けられるよう、職員の意欲・能力の向上を促す取り組みを推進する。

(1)　職員教育・スキルアップ研修
(2)　介護ロボット・AI 技術の導入

【実　績】

◎外部研修は、オンライン参加でスキルアップを図り、内部研修では、専門知識の習得や技術向上の取組を行い、資格取得へ向けて研修も計画的な受講などを行い、介護福祉士が新たに４名誕生した。

◎画像認識見守り AI 機器の活用については、活用方法も身についてきており、入居者の転倒防止に加え、夜間勤務者の負担軽減の成果となっている。

Ⅴ．人材の確保、職員教育・研修の充実

介護の社会的価値や魅力を広く正しく伝えるなど、様々な人材確保対策に積極的に取り組む

（1）ホームページを活用した人材確保の取組み。
（2）職員の意欲・能力・人間力向上への取組み。

【実　績】

◎ホームページ各施設が独自に更新できる活用環境が整ったことから、更新頻度を高めると共に、介護を目指す求職者の視点に立った魅力ある情報提供に努めたことから、職員採用に繋がる成果を上げることができた。

◎職員一人ひとりの能力を十分に発揮するために必要なコミュニケーション能力を基礎とする豊かな感性や人間力を高めるため、リーダー同士やユニット単位のミーティングなど意見交換の場を設け職員の意欲向上に努めた。

Ⅵ．地域連携包括事業の実施

地域の多様な主体と連携し、支援を必要とする地域住民の課題を受け止めながら、包括的な相談支援を行う。

(1)　居宅介護支援センター事業
(2)　地域包括支援センター事業

【実　績】

◎要介護認定を受けた高齢者のケアプランを作成し、地域の介護事業所が提供する介護サービスを受けながら在宅生活が継続できるよう、寄り添い型の相談支援の取組に努めた。

◎コロナ禍もあり在宅高齢者は外出を自粛するなど、地域とのつながりが希薄になるなど、地域の高齢者の抱える課題として受け止め、総合相談、支援体制づくり、介護予防など、地域包括ケアシステムの中核的な機関として、ケアマネージャーやヘルパーは定期的な見守り訪問を行い、地域まるごと支え合う活動の取組を行った。

Ⅶ. 公益的取組の推進

地域の多様な福祉ニーズや課題等への社会貢献として、地域の支え合い活動と連動した公益的取組等を推進する。

(1) 公益的取組の推進
(2) IWATE あんしんサポート事業の推進

【実　績】

◎日頃市地区において、地区助け合い協議会やまちづくり推進委員会と連携しながら、介護予防教室を開催し、介護予防促進のお手伝いを図りながら、社会貢献活動を行った。

◎猪川地区下富岡地域において、下富岡地区公民館と連携しながら介護予防教室を開催し、地域住民の抱えている課題などの解決に向けた取組を行った。

◎立根地区において、地区助け合い協議会と連携しながら、介護福祉に関する出前講座を開催し、地区住民の抱えている課題解決に向けた取組を行った。

◎大船渡市と連携し、新型コロナワクチンの接種会場として、成仁ハウス百年の里を延べ４１日（接種回数 1,254）接種会場として提供した。

◎IWATE あんしんサポート事業に参画し「福祉サービスを提供するに当たっての責務」を果たすべく、福祉的課題を抱える方の自立サポートを岩手県市町村行政・県市社会福祉協議会等と連携して取組に努めた。

Ⅷ. 経営ガバナンスの強化

評議員会・理事会の内部統制機能お発揮や監事監査の実施等により、自立的で適正な法人運営を行う。

(1) 評議員会・理事会による内部統制
(2) 業務監査・会計監査の実施

【実　績】

◎評議員会・理事会を開催し、役割・権限に基づく審議と意思決定を適切に行い、法人の内部統制が確実に機能する適正な法人運営を行った。

◎法人の自主点検に加え、法人の監事による業務監査と会計監査を実施し、第三者（大光監査法人）による外部監査を受け、適正な業務執行と効率的な経営を推進、及び公正で安定した法人経営に努めた。

Ⅸ. 事業計画の進捗管理

事業計画の円滑な推進に向け、定期的な検討会議による事業の検証・評価・見直しなど、確実な進捗管理を行う。

(1) 財務会議等における進捗管理
(2) 新規事業の検討
(3) 収益事業の推進
(4) 法人合併の検討

【実　績】

◎毎月財務会議を実施し、法人全体及び各施設ごとの事業進捗や財務状況を把握・検証し、確実な事業の推進に努めた。また、法人運営会議、施設内外連絡会議開催により、法人本部・施設・事業所間の職員の意識共有と事業の円滑な推進を努めた。

◎大船渡市高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画において、盛地区での認知症高齢者グループホーム・小規模多機能型居宅介護施設の新規事業が決定し、保有している土地等を活用しながら地域共生社会の実現に向けた検討を行った。

◎新型コロナウイルスの抗原検査キットの販売や感染予防に役立つと言われている抗体入りスプレーを市内外に販売し、「人々の健康と未来に貢献する事業」としての役割を果たしながら、法人の財源確保に努めた。

◎当法人のグループ法人である社会福祉法人杜の里福祉会（仙台市）と事業連携を強化しながら、両法人間の合意形成に向けた課題の整理に努めた。

Ⅹ. 財務・資産の適正管理

財務状況の把握・分析や法人保有の遊休資産の有効活用など、コスト意識をもった財務・資産の適正管理に努める。

(1) 財務状況・資金運用の適正管理
(2) 保有資産の有効活用
(3) 監査法人監査による適正管理

【実　績】

◎月ごとの決算状況を明らかにし、毎月開催される財務会議において財務状

況・資金運用のリスク管理や運用状況を把握・検証し、資金運用規程に基づいた適正な管理に努めた。また、監事監査を定期的に実施するとともに監査法人による法人監査も実施し、運営体制、管理体制、透明性、安全性、充実性を確保し、社会福祉法人として適正な管理体制強化に努めた。

◎法人所有の土地等については、大船渡市高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画と連動した新規事業において活用する検討を行った。

Ⅺ. 東日本大震災から10年

アウターライズ地震の備えと防災意識の徹底した取組を行う。

（1）災害に備える

【実　績】

◎アウターライズ地震、津波、水害等に備え、日々の食料、自家発電、燃料等の確認・備蓄を行い、災害時の対応についても、利用者、入居者の安全確保や職員の行動について徹底した防災の意識向上に努めた。

Ⅻ　法人の歩みの追想

創業からこれまでの法人の歩みを振り返るとともに検証し、今後の事業運営に資するために記念事業を実施する。

（1）物故者大法要の開催
（2）記念誌等の発刊

【実　績】

◎新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、次年度継続して取組むこととする。

２　社会福祉法人成仁会の沿革

社会福祉法人成仁会は、昭和４６年気仙広域圏事業として、昭和５１年度建設計画が策定された。昭和４９年８月に気仙広域首長会議で、特別養護老人ホームの建設と運営は社会福祉法人とするべきとの報告がなされ、大船渡市より特別養護老人ホーム建設の打診が山崎伊一郎（初代理事長）にあり、気仙地域の各市町の支援及び有志の協力により、同年１０月山崎伊一郎が大船渡市長に特別養護老人ホーム建設計画の申出をし、昭和５０年３月に事業計画協議書を提出する運びとなり、身体上又は精神上著しい障害があるため常に介護を必要とし、かつ家庭においてこれを受けることの困難なお年寄りを介護し、老後を心配なく豊かに日々を送って頂く老人福祉施設「特別養護老人ホーム富美岡荘」を建設することにした。

昭和５０年１２月２５日社会福祉法人成仁会設立認可（第１１１４号）。昭和５１年1月１９日社会福祉法人成仁会設立登記（山崎伊一郎初代理事長）。同年５月１日特別養護老人ホーム富美岡荘を開設（５０床）した。

昭和５５年２月１７日富美岡荘の定員を変更（定員１０５床）。昭和５８年４月１日老人居宅生活支援事業の開始（定員１０床）。昭和６０年２月２６日福祉の里整備推進協議会に参加。平成４年６月１日大船渡市長より大船渡市デイサービスセンターの運営委託を受け、同年６月２５日大船渡市長と盲養護老人ホーム用地の土地使用貸借契約締結をし、平成５年４月１日養護（盲）老人ホーム祥風苑を開設（定員５０床）した。平成６年３月１５日特別養護老人ホームショートステイ専用室棟の（定員２０床）の利用開始となり、同年１０月１日大船渡市長より独居のお年寄りの方々への配食訪問サービス事業を開始した。平成９年４月１日大船渡市長より富美岡荘ホームヘルプ事業所の受託を受けた。

平成１２年４月１日より介護保険制度開始に伴い、介護老人福祉施設富美岡荘、富美岡荘ショートステイ事業所、大船渡市デイサービスセンター、富美岡荘ホームヘルプ事業所、大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所を開始し、同年７月１日より地域に密着した相談業務を目指し、盛町に富美岡荘介護センターを開所した。

このように当法人は４０年余の歴史があり、山崎シゲ会長は常日頃、「月日が変われど、制度・政策が変われど、『利用者の尊厳』『利用者の幸せ』『愛する』は変わらない」との信念で、４０年間基本のケアを実践してきた。

さらに、平成７年１０月に厚生省並びに岩手県の「ケアプラン評価モデル事業」指定施設として、富美岡荘にコンピューターシステムを導入し、科学的データを基にしたケア、全人的なケアプラン：パーソナルケアを確立・実践してきた。

平成１８年３月には、成仁会のロゴマークを制定。このロゴマークは「私たちの原点は、創設者である山崎伊一郎・山崎シゲ会長の精神である、相手の幸せを心から願う姿勢から始まる。樹の年輪には、ここでの時間を生きていく人々に幸せな歳を積み重ねてほしいという願いが込められている。また、外側の円には人々の結びつきを現し、愛を育む姿を表現している。成仁会の愛のかたちを、これからも共に育んでいけるように。」という思いから制作をした。職員の帰属心を高め、「利用者の幸せ」を願って成仁会の役職員が一致団結していく証としての社章とした。

また、地域密着型サービス事業　地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡及びグループホームまちぐるみは、盛町内の各種団体から事業への陳情書を大船渡市に提出した旨の報告を受け、応募申込書を提出し、同年９月１４日には大船渡市から今事業の候補決定を受けた。盛町での事業は、施策が求める“日常生活圏域を基本としたサービス体系”に適した立地環境で、建物も街並みに沿った昔ながらの蔵造りとした。

平成１２年４月１日から施行された介護保険制度の導入によって、高齢者介護のあり方は大きく変容しつつある。成仁会は、「高齢者が、尊厳をもって暮らすこと」を確保することが最も重要であると考え、高齢者がたとえ介護を必要とする状態になっても、「その人らしい生活を自分の意思で送ること」を可能とすること、すなわち「高齢者の尊厳を支えるケア」の実現を目指す施設づくりに努めている。

平成２０年７月２２日に大船渡市で開催された海フェスタいわてにご臨席された、秋篠宮同妃両殿下が養護（盲）老人ホーム祥風苑にお成りになり、山崎シゲ会長から施設についてお尋ねになり、また入居者に親しくお声をお掛けになった。

平成２２年４月２９日に山崎シゲ会長が春の叙勲瑞宝双光章受章。

平成２３年３月１１日、東日本大震災発生。富美岡荘、祥風苑、デイサービスセンターで避難者約 500 名を受け入れ、蔵ハウス大船渡も避難者約 100 名を受け入れた。結果的には総勢 1000 名を超える大所帯を受け入れ続けた。地盤沈下や外壁に亀裂が入るなど、富美岡荘が半壊認定を受ける。また、富美岡荘大船渡介護センターは津波により流出（全壊）した。

平成２７年４月１日、日頃市町に小規模多機能型居宅介護施設【ひころいちの郷】を開設した。

平成２７年５月１日、立根町に特別養護老人ホーム【成仁ハウス百年の里】（定員８１名）及び【百年の里ショートステイ事業所】（定員２１名）を開設した。

平成３０年４月１６日、太陽福祉文化賞功労賞を受賞。

平成３０年５月１８日、特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里が、医療福祉建築賞 2017 受賞。

平成３０年１２月２３日、天皇陛下より御下賜として金一封を賜る。

平成 30 年 12 月 25 日伝達式（岩手県知事より）

【准看護師養成事業】

平成２６年度、看護師不足の解消を図る為、成仁会職員から募集し、公費で看護師を養成することとし、気仙沼市医師会付属準看護学校に２名が受験して合格した。平成２６年４月７日より入学し、２年間履修する。平成２７年度生募集に、２名が気仙沼市医師会付属準看護学校を受験して合格した。合計４名の職員が准看護師養成事業により履修。平成２８年３月に２名が卒業し、准看護師の国家試験に合格した。

社会福祉法人成仁会の沿革

許可年月日・番号	昭和５０年１２月２５日第１１１４号	設立登記年月日	昭和51年1月19日

昭和４６年	気仙広域圏事業とし、養護老人ホームの昭和５１年度建設計画が策定される
４９．８．１２	気仙広域首長会議に特別養護老人ホーム建設と運営は社会福祉法人とすべきとの報告がされる
１０，２５	山崎伊一郎、大船渡市長に特別養護老人ホーム建設計画の申出する
１０，３１	大船渡市助役、県へ建設計画を説明
５０，３，５	特別養護老人ホーム建設計画協議書提出
４，２９	社会福祉法人成仁会設立準備総会開催
４，２９	山崎伊一郎・山崎シゲと特別養護老人ホーム用地の土地使用貸借契約締結
６，２７	気仙地域各市町の支援、山崎伊一郎及び有志の協力により特別養護老人ホームの設置の要望がまとまり、社会福祉法人成仁会認可申請書提出
１２，２５	社会福祉法人成仁会設立認可（第１１１４号）
５１，１，１９	社会福祉法人成仁会設立登記
	初代理事長　山崎伊一郎就任
５，１	特別養護老人ホーム富美岡荘開設（定員　５０床）
５３，２，２６	気仙広域圏協議会に増床（５０床）計画を説明
５，２０	昭和５２年２号台風被害による土留災害復旧工事（岩手県福祉基金助成）
５４，２，１６	特別養護老人ホーム富美岡荘整備（拡張）計画協議書提出
５５，２，１７	特別養護老人ホーム富美岡荘定員変更（定員１０５床）
９，２９	創業者　初代理事長　山崎伊一郎　逝去
１０，２１	第２代理事長　志田武之助就任
５８，４，１	老人居宅生活支援事業の開始（定員　１０床）
６０，２，２６	福祉の里整備推進協議会に参加
６１，１１，１	大船渡市市政功労表彰（社会福祉法人成仁会）
６３，１２，２２	スプリンクラー整備工事完成
平成元年８，１４	第３代理事長　山崎一郎就任
２，３	養護老人ホームの基本設計
４，２，１	山崎一郎・山崎シゲと、特別養護老人ホーム用地の貸借契約締結
２，２１	養護老人ホームの整備計画書提出
６，１	大船渡市長から大船渡市ディサービスセンターの運営委託
６，２５	大船渡市長と盲養護老人ホーム用地の土地使用貸借契約締結
５，２，２４	特別養護老人ホーム富美岡荘ショートスティ専用居室及び合併浄化槽大規模修繕整備計画書提出
４，１	養護（盲）老人ホーム祥風苑開設（定員　５０床）
１２，１０	（財）中央競馬馬主福祉財団からの助成により浴室整備事業（浴水循環炉過装置）完成
６，２，２８	合併浄化槽大規模修繕工事完成
３，１２	県に老人居宅生活支援事業変更届の提出（新定員　３０床）
３，１５	特別養護老人ホームショートスティ専用居室棟（２０床）の利用開始
１０，１	大船渡配食訪問サービス事業開始
７，１０，１	大船渡市福祉の里在宅介護支援センター開所
１０．４	厚生省並びに岩手県の「ケアプラン評価モデル事業」指定施設として特別養護老人ホーム富美岡荘に、コンピューターシステム導入
１２，２８	特別養護老人ホーム富美岡荘に、大船渡市福祉の里在宅介護支援センター併設
８，５，１０	社会福祉法人成仁会、特別養護老人ホーム富美岡荘創立２０周年記念事業
５，１０	故　山崎伊一郎初代理事長胸像建立
９，３，３０	特別養護老人ホーム富美岡荘大規模修繕工事完成
４，１	大船渡市より富美岡荘ホームヘルプ事業の受託
１０，１２，１９	「富美岡大観音」を富美岡荘前庭に建立
１２，４，１	介護保険制度開始〔指定事業所〕 介護老人福祉施設富美岡荘、富美岡荘ショートスティ事業所、大船渡市デイサービスセンター 富美岡荘ホームヘルプ事業所、大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所
１２，７，１	山崎シゲ副理事長の寄贈により、盛町に富美岡荘介護センター開所
１１，１	富美岡荘ショートスティ床より特別養護老人ホーム富美岡荘に６床を転換し、富美岡荘の定員１１１名 ショートステイ事業所の定員２４名となる

１３，　６，１５	苦情解決第三者委員会の発足
１１，２４	評議員会の発足
１５，　６，　３	第４代理事長　山崎シゲ就任
９，２７	大船渡市へ地域介護・福祉空間整備事業計画書の提出
１８，　３，　２	社会福祉法人成仁会ロゴマークの制定
４，　１	富美岡荘介護センターを盛町字町地内に移転
９，１４	大船渡市より平成１９年度地域密着型サービス事業所（地域密着型介護老人福祉施設・認知症対応型共同生活介護）の候補決定を受ける
１０，　１	指定特定入居者生活介護養護（盲）老人ホーム祥風苑事業開始
１９，　１，２４	大船渡市が平成１９年度地域密着型サービス事業の協議書を岩手県に提出
６，２８	大船渡市より平成１９年度地域密着型サービス施設整備費補助金事業の内示を受ける
７，　２	大船渡市へ平成１９年度地域密着型サービス施設整備費補助金事業補助金等交付申請書を提出
７，　３	大船渡市より平成１９年度地域密着型サービス施設整備費補助金事業補助金等の交付決定を受ける
９，２０	独立行政法人福祉医療機構から福祉貸付資金の内定を受ける
１２，１４	富美岡荘ホームヘルプ事業所用地として使用する土地の行政財産使用許可を受ける
１２，１４	地域密着型サービス事業　地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡・認知症対応型共同生活介護事業所まちぐるみ新築工事に係る指名競争入札の実施
２０，　１，　８	地域密着型サービス事業　地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡・認知症対応型共同生活介護事業所まちぐるみ新築工事着手
１，２２	介護保険制度指定更新〔指定事業所〕 介護老人福祉施設富美岡荘、富美岡荘ショートステイ事業所、大船渡市デイサービスセンター 富美岡荘ホームヘルプ事業所、大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所
７，２２	秋篠宮殿下、同妃殿下　養護（盲）老人ホーム祥風苑お成り
８，　１	社会福祉法人成仁会ＳＧビル収益事業（不動産の貸しビルの経営）開始
８，　７	地域密着型サービス事業　地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡・グループホームまちぐるみ開所式
８，１１	地域密着型サービス事業　地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡・グループホームまちぐるみ開設
１１，１０	社会福祉法人成仁会山崎シゲ理事長が岩手県知事表彰受賞
２１，　１，　８	〔指定事業所〕蔵ハウス大船渡ショートステイ事業所開所
２２，　４，　１	〔指定事業所〕富美岡荘指定居宅介護支援事業所開所
４，２９	社会福祉法人成仁会山崎シゲ会長が春の叙勲瑞宝双光章受章
７，２６	社会福祉法人成仁会会長山崎シゲ氏叙勲受章祝賀会開催
２３，　３，１１	午後２時４６分　東日本大震災発生 富美岡荘・祥風苑／デイサービスセンター　避難者を約500名受け入れ 蔵ハウス大船渡　避難者を約100名受け入れ （社福）成仁会SGビルを大船渡市、大船渡市シルバー人材センター及び(株)アマタケに無償貸与
７，　１	(社)三陸福祉会の復興のため(社)成仁会・(社)鳴瀬会・(社)高寿会の4法人で復興支援調印式
９，　２	蔵ハウス大船渡にて鎮魂・復興祭の開催
９，１５	祥風苑第19回合同敬老会 岩手県知事出席
２４，　３，２４	第５代理事長　山崎和彦就任
２４，１０，１５	新施設建設のため岩手県へ老人福祉施設整備費協議書を提出
２５，　３，２７	老人福祉施設新築工事（宮田地区敷地造成工事）に係る土地売買契約の締結・調印式
４，１９	岩手県より平成２５年度老人福祉施設等整備費補助金の内示
８，　９	平成２５年８月９日大船渡市より平成２５年度整備分介護サービス施設整備・運営事業者候補者（小規模多機能型居宅介護分）の決定通知（定員２５名）
９，２６	理事会にて新老人福祉施設の名称を、特別養護老人ホーム「成仁ハウス百年の里」に決定
２５，１１，２４	第５代理事長　山崎和彦　２期目重任
１２，２０	小規模多機能型居宅介護施設整備（日頃市町字上宿１７－４）に伴う土地売買契約の締結・調印式を行った。
１２，２６	岩手県へ平成２５年度老人福祉施設等整備費補助金交付申請書の提出
１２，２７	特別養護老人ホーム「成仁ハウス百年の里」新築工事安全祈願祭
２６，　１，２７	大船渡市より平成２５年度介護サービス施設整備等臨時特例事業費補助金の内示
２，２６	大船渡市より平成２５年度施設開設準備経費助成特別対策事業費等補助金の内示

２６．　４．１１	小規模多機能型居宅介護施設新築工事安全祈願祭
４．　７	准看護師養成事業開始　第１回生２名 気仙沼市医師会附属准看護学校入学
	新小規模多機能型居宅介護施設の名称を、小規模多機能型居宅介護施設「ひころいちの郷」に決定
１１．２８	小規模多機能型居宅介護施設「ひころいちの郷」新築工事の完成届を受けた
２７．　３．２５	大船渡市より指定地域密着型サービス事業所の指定通知を受ける（平成２７年４月１日）
４．　１	小規模多機能型居宅介護施設「ひころいちの郷」開所
４．３０	岩手県より介護老人福祉施設富美岡荘の入所定員減少の認可（入所定員３０人　平成２７年５月1日）
４．３０	岩手県より特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里の認可（入所定員81人　平成２７年５月1日）
４．３０	岩手県より特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里の指定通知を受ける（平成２７年５月１日）
４．３０	大船渡市より百年の里ショートステイ事業所の開始届を受ける（定員２１人　平成２７年５月1日）
４．３０	岩手県より百年の里ショートステイ事業所の指定通知を受ける（平成２７年５月１日）
５．　１	特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里、百年の里ショートステイ事業所開所
２７，１１，２４	第５代理事長　山崎和彦　３期目重任
２８．　４．　１	富美岡荘ショートステイ事業所 入所定員７名増床
２９．　４．　１	特別養護老人ホーム富美岡荘 入所定員１２名増床
２９，　６，１５	第５代理事長　山崎和彦　４期目重任
３０．　５．１８	特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里　２０１７医療福祉建築賞受賞
１１．　１	特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里 入所定員３名増床
１２．２３	天皇陛下より御下賜金を賜る
３１．　４．　１	大船渡市デイサービスセンターの管理運営に関する基本協定の締結（期間更新）
Ｒ１．　６．１２	社会福祉法人成仁会の定款変更認可（収益事業の追加）
Ｒ１．　６．２１	第５代理事長　山崎和彦　５期目重任
Ｒ２．　１．３１	大船渡市への派遣職員用宿舎として提供していたＳＧビル改修工事の竣工
Ｒ２．１１．１３	埼玉医科大学緩和医療科より山崎シゲ会長が客員研究員として辞令を受ける
Ｒ２．１１．１３	埼玉医科大学緩和医療科より成仁会施設が「医療介護連携プロジェクト」の実証実験施設として認定を受ける
Ｒ３．　４．　１	大船渡市デイサービスセンター　利用定員３３名（３名増員）
Ｒ３．　６．２１	第５代理事長　山崎和彦　６期目重任

3 社会福祉法人成仁会 役員名簿

理事会

役　職	氏　名	任　　期
理事長 代表理事	山崎 和彦	令和3年6月21日～令和4年度に関する定時評議員会終結時
会長	山崎 シゲ	令和3年6月21日～令和4年度に関する定時評議員会終結時
副会長	山崎 一郎	令和3年6月21日～令和4年度に関する定時評議員会終結時
専務理事	山口 清人	令和3年6月21日～令和4年度に関する定時評議員会終結時
理事	中嶋 豊	令和3年6月21日～令和4年度に関する定時評議員会終結時
理事	葛西 修哉	令和3年6月21日～令和4年度に関する定時評議員会終結時
理事	千葉 敏郎	令和3年6月21日～令和4年度に関する定時評議員会終結時
理事	佐々木 一雄	令和3年6月21日～令和4年度に関する定時評議員会終結時
理事	今野 昭男	令和3年6月21日～令和4年度に関する定時評議員会終結時
理事	甘竹 勝郎	令和3年10月18日～令和4年度に関する定時評議員会終結時

監事会

役　職	氏　名	任　　期
監事	佐藤 不二雄	令和3年6月21日～令和4年度に関する定時評議員会終結時
監事	鈴木 信男	令和3年6月21日～令和4年度に関する定時評議員会終結時

評議員会

役　職	氏　名	任　　期
評議員	佐藤 雄幸	令和3年6月21日～令和5年度に関する定時評議員会終結時
評議員	津田 静月	令和3年6月21日～令和5年度に関する定時評議員会終結時
評議員	今野 隆子	令和3年6月21日～令和5年度に関する定時評議員会終結時
評議員	今野 龍雄	令和3年6月21日～令和5年度に関する定時評議員会終結時
評議員	佐藤 忠清	令和3年6月21日～令和5年度に関する定時評議員会終結時
評議員	細川 廣行	令和3年6月21日～令和5年度に関する定時評議員会終結時
評議員	佐藤 かなえ	令和3年6月21日～令和5年度に関する定時評議員会終結時
評議員	新沼 賢	令和3年6月21日～令和5年度に関する定時評議員会終結時
評議員	遠藤 雅法	令和3年6月21日～令和5年度に関する定時評議員会終結時
評議員	村上 守弘	令和3年6月21日～令和5年度に関する定時評議員会終結時
評議員	山崎 年雄	令和3年6月21日～令和5年度に関する定時評議員会終結時

執行役員

役　職	氏　名	任 期	業　務
常務執行役員	村上 博	令和4年4月1日～令和5年3月31日	常務執行役員 (富美岡荘:施設長)
執行役員	和田 工	令和4年4月1日～令和5年3月31日	執行役員法人本部長 (成仁ハウス百年の里:副施設長)
執行役員	小笠原 登志江	令和4年4月1日～令和5年3月31日	執行役員法人副本部長 (蔵ハウス大船渡・まちぐるみ:施設長)
執行役員	崎山 美知枝	令和4年4月1日～令和5年3月31日	執行役員法人副本部長 (祥風苑:施設長)

4　社会福祉法人成仁会　経営施設の概要

【法人本部】

所　在　地	岩手県大船渡市立根町字宮田9番地1
設立年月日	昭和50年1月19日
代　表　者	山崎和彦

【特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里】

所　在　地	岩手県大船渡市立根町字宮田9番地1
経営主体	社会福祉法人 成仁会
開設年月日	平成27年5月1日
施設名	特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里 (介護保険事業所番号:0370300543)
施設長	山崎シゲ
総定員数	105名
長期入所定員	84名
短期入所定員	21名
職員数	75名(調理員は業務委託のため含まず)
敷地の所有	社会福祉法人成仁会所有地
敷地面積	9,958.99㎡
建築面積	2,323.14㎡
建物の面積	5,742.17㎡
建物の構造	鉄筋コンクリート造　3階建
工事施行状況	直営・請負の別　請負
	契約年月日　平成25年12月21日
	着工年月日　平成25年12月24日
	竣工年月日　平成27年2月28日

【特別養護老人ホーム富美岡荘】

所在地	岩手県大船渡市猪川町字冨岡 148 番地
経営主体	社会福祉法人 成 仁 会
開設年月日	昭和 51 年 5 月 1 日
施設名	特別養護老人ホーム 富美岡荘(介護保険事業所番号:0370300147)
施設長	村 上 博
総定員数	52 名
長期入所定員	42 名
短期入所定員	10 名
職員数	32 名(調理員は業務委託のため含まず)
敷地面積	6,730.80 ㎡
建物面積	富美岡荘・・・1 階 1,906.93 ㎡/2 階 1,064.18 ㎡/3 階 32.38 ㎡ 延合計 3,003.49 ㎡ ショート専用棟・・・376.01 ㎡
建物の構造	富美岡荘・・・鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 ショート専用棟・・・鉄骨亜鉛メッキ鋼板葺平屋建

【養護（盲）老人ホーム祥風苑】

所在地	岩手県大船渡市猪川町字冨岡 176 番地	
経営主体	社会福祉法人　成仁会	
施設名	養護（盲）老人ホーム　祥風苑（介護保険事業所番号:0370300360）	
施設長	崎　山　美知枝	
開設年月日	平成 5 年 4 月 1 日	
入所定員	50 名	
職員数	28 名（調理員は業務委託のため含まず）	
敷地面積	6,510 ㎡	
敷地の所有	借地（市有地・無償）	
建物の面積	1,658.46 ㎡	
建物の構造	鉄筋コンクリート鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	
建設設備の区分	創　設	
工事施工状況	直営・請負の別	請　負
	契約年月日	平成 4 年 7 月 29 日
	着工年月日	平成 4 年 7 月 30 日
	竣工年月日	平成 5 年 3 月 22 日

【大船渡市デイサービスセンター】

所在地	大船渡市立根町字田ノ上 30 番地 22
施設の名称	大船渡市デイサービスセンター（介護保険事業所番号:0370300071）
所長	金野　晃
開設年月日	平成 4 年 6 月 1 日
設置主体	大船渡市
運営主体	社会福祉法人　成仁会
利用定員	1 日 33 名
職員数	18 名（調理員は業務委託のため含まず）
建物面積	３４７．１㎡
工事施工状況	平成 3 年 8 月 13 日　契約 平成 3 年 8 月 14 日　着工 平成 4 年 2 月 29 日　竣工

【地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡】

所在地	大船渡市盛町字町３番地１
経営主体	社会福祉法人　成仁会
開設年月日	平成 20 年８月 11 日
施設名	蔵ハウス大船渡
施設長	小笠原　登志江
施設の種類	地域密着型介護老人福祉施設
入所定員	29 名
職員数	24 名（調理員は業務委託のため含まず）

【認知症対応型共同生活介護事業所まちぐるみ】

所在地	大船渡市盛町字町３番地１
経営主体	社会福祉法人　成仁会
開設年月日	平成 20 年８月 11 日
施設名	まちぐるみ
施設長	小笠原　登志江
施設の種類	認知症対応型共同生活介護事業所
入所定員	９名
職員数	７名（調理員は業務委託のため含まず）

敷地面積	1,647.82 ㎡（社会福祉法人成仁会所有地及び一部借地）	
敷地の所有	社会福祉法人成仁会所有地	
建物の面積	2,641.55 ㎡	
建物の構造	鉄筋コンクリート造陸屋根亜鉛メッキ鋼板葺３階建	
工事施行状況	直営・請負の別	請　負
	契約年月日	平成 20 年１月　８日
	着工年月日	平成 20 年１月　８日
	竣工年月日	平成 20 年７月 31 日

【小規模多機能型居宅介護施設　ひころいちの郷】

所在地	大船渡市日頃市町字上宿17-4他
経営主体	社会福祉法人　成仁会
開設年月日	平成27年4月1日
施設名	小規模多機能型居宅介護施設　ひころいちの郷
所長	三　浦　くみ子
施設の種類	小規模多機能型居宅介護
登録人員	25名
職員数	11名（調理員は業務委託のため含まず）
敷地の所有	社会福祉法人成仁会　所有地
敷地面積	3,020㎡
建築面積	355.60㎡
延べ床面積	339.04㎡
建物の構造	軽量鉄骨造　平屋建
工事施行状況	直営・請負の別　請　負
	契約年月日　平成26年3月24日
	着工年月日　平成26年3月26日
	竣工年月日　平成26年10月31日

【富美岡荘ホームヘルプ事業所】

所　　在　　地　　大船渡市盛町字町 6 番地 1
設置・運営主体　　社会福祉法人　成仁会
施 設 の 名 称　　富美岡荘ホームヘルプ事業所
部　　長　　佐 々 木　和 美
施 設 の 種 類　　指定訪問介護事業所
開　　設　　平成 12 年 4 月 1 日

【大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所】

所　　在　　地　　大船渡市盛町字町 6 番地 1
設置・運営主体　　社会福祉法人　成仁会
施 設 の 名 称　　大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所
副　部　長　　鈴 木　浩 子
施 設 の 種 類　　指定居宅介護支援事業所
開　　設　　平成 12 年 4 月 1 日

【富美岡荘指定居宅介護支援事業所】

所　　在　　地　　大船渡市盛町字町 6 番地 1
設置・運営主体　　社会福祉法人　成仁会
施 設 の 名 称　　富美岡荘指定居宅介護支援事業所
所　　長　　石 井　千 枝 子
施 設 の 種 類　　指定居宅介護支援事業所
開　　設　　平成 22 年 4 月 1 日

【大船渡市福祉の里在宅介護支援センター】

所　　在　　地　　大船渡市猪川町字冨岡 148 番地
設 置 主 体　　大船渡市
運 営 主 体　　社会福祉法人　成仁会
施 設 の 名 称　　大船渡市福祉の里在宅介護支援センター
副　部　長　　鈴 木　浩 子
施 設 の 種 類　　地域型在宅介護支援センター
開　　設　　平成 7 年 10 月 1 日

【社会福祉法人成仁会ＳＧビル】

所　　在　　地　　大船渡市盛町字町６番地８
経　営　主　体　　社会福祉法人　成仁会　理事長　山崎和彦
事業開始年月日　　平成 20 年８月１日
建　物　名　称　　社会福祉法人成仁会ＳＧビル
事 業 の 種 類　　不動産貸しビルの経営

5　評議員会の開催状況

定時評議員会

日　時　令和３年６月21日（月）午後１時00分
場　所　仙台市秋保温泉「ニュー水戸屋」会議室
出席数　11名 欠席数　0名

○決議事項
議案第１号　社会福祉法人成仁会理事及び監事の選任について
議案第２号　令和３年度社会福祉法人成仁会事業報告の承認について
議案第３号　令和３年度社会福祉法人成仁会会計関係書類の承認について

第１回評議員会

日　時　令和３年10月18日（月）午前１１時００分
場　所　特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里　会議室
出席数　11名 欠席数　0名

○決議事項
議案第１号　社会福祉法人成仁会理事の選任について

6　理事会の開催状況

第１回 理事会

日　時　令和３年６月３日（木）午前10時30分
場　所　成仁ハウス百年の里　会議室
出席数　出席理事９名　　欠席理事　１名　出席監事　２名

○報告事項
報告第１号　指定居宅サービス（指定介護予防サービス）事業者変更受理について
報告第２号　社会福祉法人成仁会執行役員の指名について
報告第３号　新型コロナウイルスワクチン接種について
報告第４号　理事長の職務執行状況について

○決議及び承認事項
議案第１号　令和２年度拠点区分収支予算第３次補正（案）について
議案第２号　令和２年度社会福祉法人成仁会の事業報告の承認について
議案第３号　令和２年度社会福祉法人成仁会会計関係書類の承認について
監査報告第１号　令和２年度社会福祉法人成仁会事業報告及び令和２年度社会福祉法人成仁会会計関係書類の監事による監査報告について
議案第４号　社会福祉法人成仁会常任顧問設置に係る同意について
議案第５号　社会福祉法人成仁会評議員推薦候補者（案）について
議案第６号　社会福祉法人成仁会役員（理事・監事）推薦候補者（案）について
議案第７号　社会福祉法人成仁会の運営に係る極度額内借入について
議案第８号　介護サービス施設整備及び運営事業者（令和３年度から令和５年度整備分）の募集に係る応募について

議案第９号　令和３年度定時評議員会の招集について
議案第10号　評議員選任・解任委員会の招集について

第２回理事会

日　時　令和３年６月21日（月）午後３時20分
場　所　仙台市秋保温泉「ニュー水戸屋」会議室
出席数　出席理事８名　欠席理事　２名　出席監事　２名

○決議及び承認事項
議案第１号　社会福祉法人成仁会理事長の選定について
その他　会長、副会長、専務理事の指名について

第３回理事会

日　時　令和３年10月１日（金）午前11時00分
場　所　成仁ハウス百年の里　会議室
出席数　出席理事８名　欠席理事　１名　出席監事　２名

○報告事項
報告第１号　令和３年度社会福祉法人成仁会敬老会の実施について
報告第２号　介護サービス施設整備及び運営事業者の決定について
報告第３号　理事長の職務執行状況について

○議決事項
議案第１号　社会福祉法人成仁会育児・介護休業等に関する規則の一部を改正することについて

第４回理事会

日　時　令和３年12月21日（火）午前11時00分
場　所　成仁ハウス百年の里　会議室
出席数　出席理事10名　欠席理事　０名　出席監事　２名

○報告事項
報告第１号　社会福祉法第56条第１項の規定に基づく令和３年度社会福祉法人指導監査の実施について
報告第２号　土地(宅地)の寄付について
報告第３号　備品の購入について
報告第４号　理事長の職務執行状況について

○決議事項
議案第１号　令和３年度拠点区分収支予算第１次補正(案)について
議案第２号　死亡した理事に功労金を支給することについて
議案第３号　外国人介護人材(特定技能)の採用について

第５回理事会

日　時　令和４年３月28日（月）午前10時30分
場　所　成仁ハウス百年の里　会議室
出席数　出席理事10名　　欠席理事　0名　出席監事　2名

○報告事項

報告第１号　社会福祉法第56条第１項の規定に基づく令和３年度社会福祉法人指導監査の実施結果について
報告第２号　給食業務委託に係る入札結果について
報告第３号　株の保有状況について
報告第４号　社会福祉法人成仁会新卒職員の採用につてい
報告第５号　社会福祉法人成仁会外国人介護人材(特定技能)の採用について
報告第６号　理事長の職務執行状況について
報告第７号　理事長の専決について
報告第８号　社会福祉法人成仁会執行役員の指名について

○決議事項

議案第１号　令和３年度拠点区分収支予算第２次補正(案)について
議案第２号　令和４年度社会福祉法人成仁会の事業計画について
議案第３号　令和４年度社会福祉法人成仁会拠点区分収支予算(案)について
議案第４号　給食業務委託契約の締結について
議案第５号　社会福祉法人成仁会給与規程の一部を改正することについて
議案第６号　社会福祉法人成仁会経理規程の一部を改正することについて
議案第７号　社会福祉法人成仁会育児・介護休業等に関する規則の一部を改正することについて
議案第８号　社会福祉法人成仁会ハラスメントの防止に関する規定の一部を改正することについて
議案第９号　富美岡荘指定所詫介護支援事業所の廃止及び同運営規定の廃止について
議案第10号 令和３年度社会福祉法人指導監査の実施結果に係る是正改善報告及び口頭指導事項の改善について
議案第11号 社会福祉法人成仁会苦情解決第三者委員の委嘱について
議案第12号 社会福祉法人成仁会が設置経営する施設等の施設長の任命に

７　監事による監査会開催状況

第１回　日時　令和３年５月14日（金）午前10時～12時30分
場所　成仁ハウス百年の里　会議室
監事　佐藤不二雄　鈴木信夫

［監査対象事業］

令和２年度社会福祉法人成仁会の各会計決算の計算書類及び事業報告等
―拠点区分―
・法人本部拠点区分
・特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里拠点区分

・指定介護老人福祉施設富美岡荘拠点区分
・指定特定施設入居者生活介護事業所 養護(盲)老人ホーム祥風苑拠点区分
・地域密着型介護老人福祉施設蔵ハウス大船渡拠点区分
・認知症対応型共同生活介護事業所まちぐるみ拠点区分
・指定通所介護大船渡市デイサービスセンター拠点区分
・訪問介護富美岡荘ホームヘルプ事業所拠点区分
・小規模多機能型居宅介護施設ひころいちの郷拠点区分
・福祉の里在宅介護支援センター拠点区分
・富美岡荘指定居宅介護支援事業所拠点区分
・社会福祉法人成仁会ＳＧビル収益事業拠点区分

[監査内容]
(1)令和2年度社会福祉法人成仁会決算報告書
(2)令和2年度社会福祉法人事業報告
(3)理事長の職務遂行について
(4)利用者預り金について
(5)小口現金について

第2回 日時 令和3年7月29日（木）午前10時～12時30分
場所 成仁ハウス百年の里 会議室
監事 佐藤不二雄 鈴木信夫

[監査内容]
(1)令和3年度4月から6月各拠点毎の出納調査
(2)利用者預り金について
(3)小口現金について

第3回 日時 令和3年10月26日（火）午前10時～12時30分
場所 成仁ハウス百年の里 会議室
監事 佐藤不二雄 鈴木信夫

[監査内容]
(1)令和3年度7月から9月各拠点毎の出納調査
(2)利用者預り金について
(3)小口現金について

8　独立監査法人による実地指導

第1回

日時　令和3年4月2日（金）～3日（土）
場所　成仁ハウス百年の里　会議室
大光監査法人　理事長　亀岡保夫
公認会計士　古澤華織、野崎伸雄、釜屋秀雄

[監査実施内容]

・財務・資金管理

① 現金の保管・管理体制について
② 契約処理、出納処理についての職務分掌について
③ 経理規程に基づいた入金入金取引，出金取引について
④ 領収書管理について
⑤ 現金実査結果と会計帳簿残高の定期的な照合について
⑥ 仮払金の管理体制につて
⑦ インターネットバンキングの管理体制について
⑧ キャッシュカード、クレジットカード、ICカードの管理体制について
⑨ 預金の銀行残高証明金額や通帳残高と会計帳簿残高との定期的な照合について
⑩ 利用者預り金に関する管理体制について

・収益確認

① 利用者情報のシステム登録について
② 収益が現金主義ではなく、実現主義で計上されているかについて
③ 入金管理・債権管理について
④ 補助金・助成金の申請・管理体制について

・購買取引

① 経理規程等に従った購買取引の実施につてい

・人件費

① 給与支払いに関する承認体制について
② 職員の人事管理記録の整備について
③ 採用者、退職者について、給与マスターファイルへの追加・削除が適時にもれなく行われる仕組みについて
④ 給与控除、源泉徴収、その他給与マスターファイルへの変更管理について
⑤ 勤務時間の記録及び管理状況について
⑥ 給与計算の方法について

※外部監査法人について
所在地　東京都新宿区四谷4丁目28番地4 YKBエンサインビル5F
名　称　大光監査法人
代　表　理事長　亀岡　保夫

9　苦情解決第三者委員会開催報告

日時　令和４年３月 15 日（火）
場所　成仁ハウス百年の里　会議室

1　苦情解決第三者委員：
今野龍雄委員、佐藤不二雄委員、佐野トキ子委員
苦情解決責任者：
山崎シゲ、村上 博、小笠原登志江、崎山美知枝、金野晃、三浦くみ子、
和田工、石井千枝子、鈴木浩子、佐々木和美

2　報告
各事業所より苦情（意見・要望・相談・不満）・感謝等の状況報告及び意見交換

成仁ハウス百年の里	苦情１件・感謝４件
富美岡荘	苦情０件・感謝３件
祥風苑	苦情１件・感謝４件
蔵ハウス大船渡	苦情１件・感謝４件
まちぐるみ	苦情０件・感謝３件
大船渡市デイサービスセンター	苦情２件・感謝２件
ひころいちの郷	苦情０件・感謝１件
富美岡荘ホームヘルプ事業所	苦情２件・感謝０件
大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所	苦情０件・感謝１件
富美岡荘指定居宅介護支援事業所	苦情０件・感謝２件

10　公益的取組状況

1　介護予防教室　講師２名派遣
日時：令和３年 11 月 13 日
場所：猪川町・下富岡地域公民館

2　介護予防教室　講師３名派遣
日時：令和３年 11 月 18 日
場所：盛町・ひなたサロン

3　出前講座　講師１名派遣
日時：令和３年11月25日
場所：立根町・立根町地区助け合い協議会

4　介護予防教室　講師４名派遣
日時：令和３年12月３日
場所：日頃市町・日頃市地区コミュニケーションセンター

5　コロナワクチン接種会場の提供
大船渡市と連携し新型コロナウイルスワクチンの接種会場として、令和３年６月から令和４年３月において延べ41日間（接種回数1,254）成仁ハウス百年の里地域交流スペースを会場として提供した。

6　生活困窮者への対応
IWATEあんしんサポート事業へ参画し、課題を抱える方の自立サポートを岩手県市町村行政・県市社会福祉協議会と連携し取組を行った。

11　法人開催による緊急会議関係（コロナ関係・地震関係）

日付	内容	場所	参加者
令和3.7.27	コロナ関連対策緊急会議	百年の里	20名
令和3.10.6	コロナ関連対策緊急会議	百年の里	20名
令和3.5.1	宮城県沖地震発生による緊急会議	百年の里	20名
令和4.1.16	トンガ沖海底火山噴火による津波警報	各事業所	全職員
令和4.1.27	コロナ関連対策緊急会議	百年の里	20名
令和4.3.16	福島県沖地震発生による緊急招集	各事業所	全職員

※ 財務経営会議は毎月開催（出席者：法人本部、各施設長、各所長、各事業所、経理担当）

12　埼玉医科大学病院との実証実験に伴う取組状況

日付	内容	埼玉医科大学出席者	成仁会出席者
4月30日	**第6回案くれっと研究会（リモートにて）** ＊BI測定についてのおさらい ＊村田製作所よりアンクレットの着脱・充電・取り扱いの方法について ＊研究の展望について ＊研究の開始時期について	8名	22名
5月20日 ～21日	**第7回案くれっと研究会** **20日** ＊案くれっと装着勉強会・データアップロード方法の勉強会 **21日** ＊前日の勉強を受けての質疑応答 ＊研修実施日の責任者選出 ＊入居者様への装着実施を行っての感想発表 ＊居住環境について（百年の里・蔵ハウス） ＊今後の研究の流れ	8名	22名
5月27日	法人打ち合わせ ＊第8回案くれっと研究会開催までのスケジュールについて ＊模擬実装実験の実施について		12名
6月4日	法人打ち合わせ ＊百年の里模擬実証実験の報告 ＊蔵ハウス模擬実証実験の報告 ＊模擬実証実験施設より被験者の情報提供		17名
6月11日	法人打ち合わせ（一部リモート） ＊デバイスにおけるトラブルシューティングについて ＊模擬実証実験を終えての感想（各事業所）	3名	14名 各事業所
6月17日 ～18日	**第8回案くれっと研究会** **17日** ＊入居者様足首計測（百年の里） **21日** **＊研究員である山崎シゲ会長に対し臨床試験研修入門講座の課程が修了されたことに対する修了証が交付された。** ＊入居者様の予備調査を終えての感想 ＊BI測定に関してアンクレットサイズについて ＊今後のスケジュールについて	9名	16名
6月23日	法人打ち合わせ ＊同意の取り方について ＊研究開始時期に関して ＊デバイスの数・スマホの数について ＊３日間データを収集する根拠について ＊データアップロード後の状況報告に関して ＊成仁会・杜の里の登録について	3名	13名 各事業所
6月24日	法人打ち合わせ（相談員部門） ＊対象になると想定される入居者の選定状況 ＊同意を取り付けるまでの流れについて ＊令和3年7月のスケジュールについて		7名
7月1日	法人打ち合わせ ＊実証実験の同意をいただくための家族様、本人様用説明内容の資料に基づき、説明内容の共有を図る。 ＊前回打合せ（相談員部門）での今後の法人のスケジュールについて報告		15名
7月16日	**第9回案くれっと研究会** ＊研究対象者への同意取得からデータ収集、アップロードまでの流れについて ＊現状報告	9名	16名
7月27日	法人打ち合わせ ＊実証実験の今後のスケジュールについて		15名

日付	内容	埼玉医科大学出席者	成仁会出席者
8月11日	法人打ち合わせ ＊各事業所状況報告 ＊今後のスケジュールについて		14名
8月23日	法人打ち合わせ ＊各事業所状況報告 ＊45M歩行テストにあたり		12名
8月25日 ～27日	**第10回案くれっと研究会** **25日・26日** ＊百年の里・富美岡荘・祥風苑・蔵ハウス対象者様45M歩行テスト実施 **27日** ＊2回目のデータ収集について ＊実証実験追加テストについて ＊現状での収集状況について ＊デバイス機器のメンテナンスについて ＊部署別グループディスカッション	7名	12名
9月22日	法人打ち合わせ ＊第11回案くれっと研究会事前打ち合わせ		16名
9月23日 ～24日	**第11回案くれっと研究会** **23日** ＊富美岡荘・祥風苑対象者様45M歩行テスト・その他動作テスト実施 **24日** ＊百年の里対象者様45M歩行テスト・その他動作テスト実施 ＊研究参加拒否者への対応と記録について ＊8月より実施している追加データの収集について ＊２回目のデータ収集に関して ＊事業所別グループディスカッション（百年の里）	5名	19名
10月14日 ～15日	**第12回案くれっと研究会** **14日** ＊富美岡荘・祥風苑・蔵ハウス対象者様45M歩行テスト・その他動作テスト実施 **15日** ＊百年の里対象者様45M歩行テスト・その他動作テスト実施 ＊データ収集について ＊データ収集の目的について ＊今後のデータ収集スケジュールについて ＊本研究鵜で目指すDX化について ＊事業所別グループディスカッション（富美岡荘）	4名	24名
11月18日	法人打ち合わせ ＊成仁会・杜の里合同打合せ ＊資料の統一を図る		2名
11月18日 ～19日	**第13回案くれっと研究会** **18日** ＊大船渡市デイ対象者様45M歩行テスト **19日** ＊岩瀬教授講義「医療デジタル・トランスフォーメーション（DX）について ＊事業所別グループディスカッション（祥風苑）	4名	24名
12月16日 ～17日	**第14回案くれっと研究会** **18日** ＊大船渡市デイ対象者様45M歩行テスト **19日** ＊現状の臨床試験について報告 ＊事業所別グループディスカッション（蔵ハウス）	6名	22名
1月21日	コロナ拡大に伴うスケジュール調整が整わず実施できず。		
2月18日	コロナ拡大に伴うスケジュール調整が整わず実施できず。		
3月18日	**第15回案くれっと研究会（リモートにて）** ＊法人からの報告 ＊機器開発の状況について	9名	7名 各事業所

埼玉医科大学病院との取組の様子

案くれっと研究会

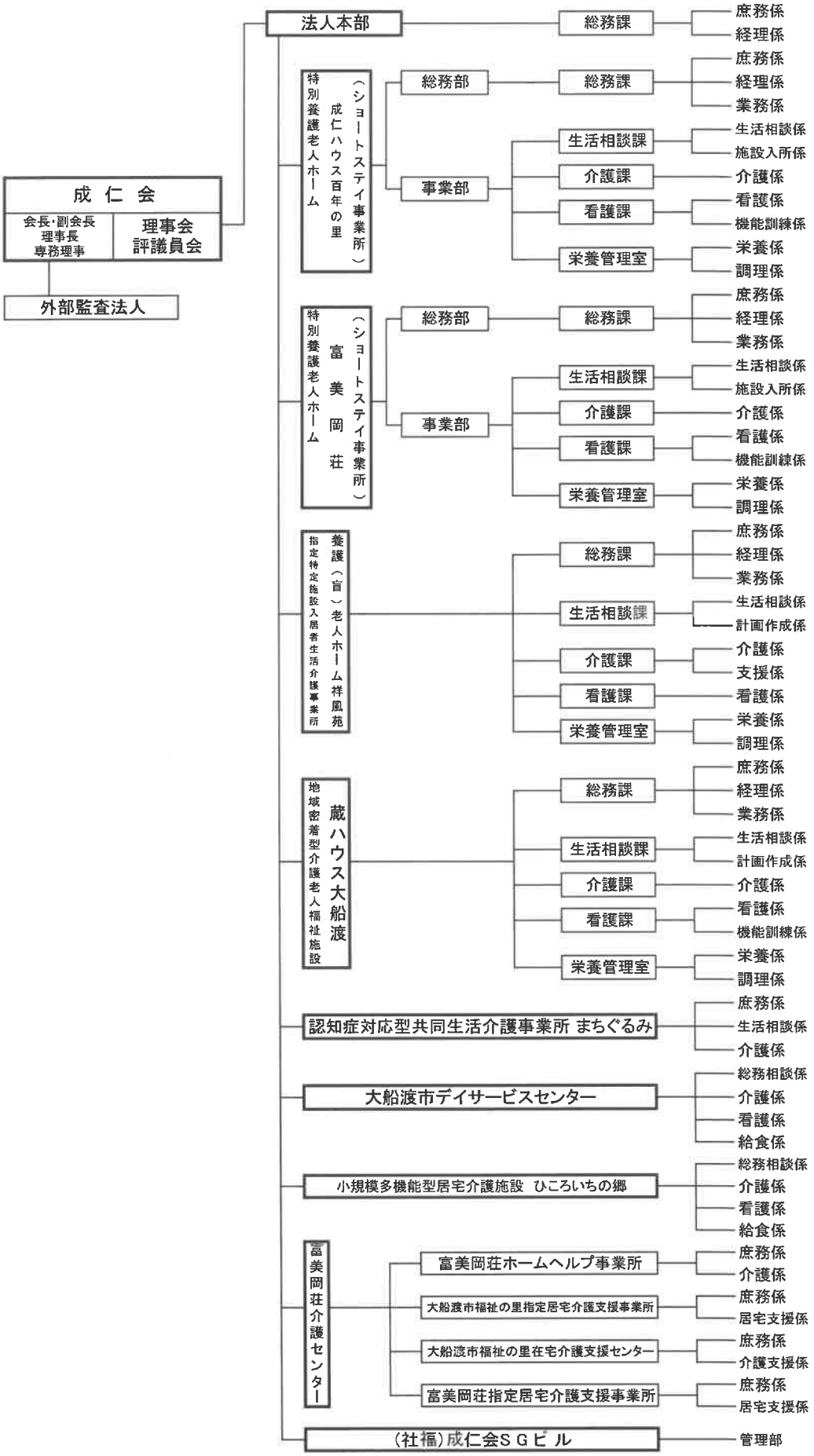
案くれっと研究会・ディスカッション

リモート会議

社会福祉法人成仁会　法人組織の格付

※職務格付については、当該当者の現行辞令に基づき、本人の経歴・資格・法人での実績等を勘案して、年度ごとに理事長が別に定めることができる。

社会福祉法人成仁会　組織図



社会福祉法人成仁会・備蓄品管理状況

（令和４年３月現在）

種別	品　名	数　量	保管場所
食料品 （入居者分）	米	各施設で準備 入居者（人数）×1週間分	各施設厨房
	レトルトお粥		
	粥ゼリーの素		
	缶詰		
	レトルト食品		
	のり佃煮・調味みそ・ねり梅		
	ペースト食品（ソフト食用）		
	乾物品（みそ汁の具など）		
	みそ		
	各種調味料		
食料品 （職員分）	米	法人で準備 250人分×2週間分	富美岡荘厨房
	缶詰		
	レトルト食品		
	乾物品（みそ汁の具など）		
	みそ		
	各種調味料		
経管栄養	濃厚流動食	2週間分	各施設
水	5年保存水（飲料水）	3日分	富美岡荘厨房
調理用品	使い捨て容器（食事用）、練炭、カセットガスボンベ、 練炭コンロ、カセットガスコンロ		富美岡荘 （厨房・地下倉庫）
生活用品	オムツ・尿とりパッド	各種事業所毎	各事業所
	紙パンツ	50箱	富美岡荘
感染予防品	マスク・予防着	多数	各事業所 及び富美岡荘
	使い捨て手袋・電解水	多数	
その他	反射式ストーブ20台、ポータブル発電機、軍手、ペーパータオル、、ゴム手袋、ティッシュペーパー、ファンヒーター、オイルヒーター、長靴、トイレットペーパー、扇風機、ディスポグローブ、ウェットティッシュ、投光器、手指消毒アルコール、タオル、車椅子、消毒ジェル、毛布、歩行器、ガムテープ、乾電池（単1～単4）、杖、ロープ、ラジオ、電灯、電気コードドラム、湯たんぽ、他多数。		

※公用車にヘルメット、タオル、マスク、ラジオ付き電灯等を常に積載している。

主な災害用備蓄品

電力及び照明の確保

食料品の確保（米）

電力の確保

食糧品の確保（飲料水）

通信手段の確保（衛生電話）

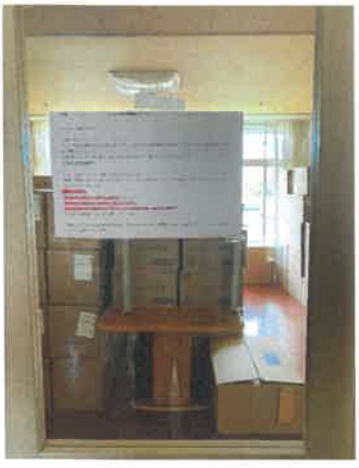
非常食の確保（レトルト食品）

移動手段の確保

介護用おむつ・ウエットティッシュ等

感染予防に関する衛生用品の購入保管状況

（マスク、防護服、手袋、ゴーグル、消毒用アルコール等）



社会福祉法人成仁会1年間の様子

辞令交付式

相談課部門会議

法人監事監査

第1回理事会

夏季賞与支給式（一部リモートにて）

定時評議員会（仙台にて）

コロナワクチン接種会場提供

案くれっと研究会

社会福祉法人成仁会1年間の様子

執行役員他会議

実証実験（45Mテスト）

財務会議（杜の里と合同）

初代山崎伊一郎先生を偲ぶ会

第3回理事会

第1回評議員会

優良従業員表彰者を祝う会

労働安全衛生委員会

社会福祉法人成仁会1年間の様子

県社協「お仕事体験」施設見学

冬季賞与支給式（一部リモートにて）

令和4年元旦（一部リモートにて）

県の指導監査

外壁修繕工事

新型コロナ対策会議

第5回理事会

苦情解決第三者委員会

令和３年度

防災訓練報告書

（自 令和３年４月１日　　至　令和４年３月31日）

社会福祉法人　成 仁 会

成仁会防災訓練実施概要

防災訓練は、地震や火災などの災害が発生した場合を想定し、利用者及び職員の安全確保を最優先に毎月各事業所（富美岡荘、祥風苑、ディサービスセンターの三施設合同訓練）で、起こりうる想定で防災訓練を実施した。実施内容については、三陸沖地震に備え、地震発生直後の火災発生や水害等の複合災害を想定した訓練を繰り返し行なった。発生場所（各施設火元箇所）、発生時間（日中・夜間）のケースを想定し、利用者の安全確保を第一とし、火災発生場所付近よりスモークマシーンを使用した煙の中での誘導や、夜間想定では、開始時間を周囲が暗くなる時間帯にて、施設内も暗い状態で訓練を行った。利用者及び職員の防災意識の向上や避難誘導の方法についても、実践的に徹底して行なう事が出来た。非常連絡網の伝達については、法人職員へBIZメールシステムを活用した連絡や安否確認を行い、電話連絡に比べ短時間で伝達をする体制を図った。

【成仁ハウス百年の里】

月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
4月14日	※令和3年度新人職員と令和2年度中途採用職員を対象に以下の項目について研修及び機器の操作方法の説明と実施訓練を行い、防災への知識と意識の高揚を目的とする。 ①消火器及び屋内消火栓を使用した消火訓練。 ②地震及び火災発生時等の対応要綱。 ③119番通報専用電話機、消防用設備及び館内非常放送器材の取り扱い説明。 ④担架を実際に使用しての実技指導。	消火器の使用について消防署からお借りした訓練用の物での消火訓練ではあったが、本物の消火器との違いを説明したうえでの訓練にてしっかりと理解することができたと思われる。また、消火栓を用いた実際の放水訓練では操作方法から注意点まで講師の指導により理解し真剣に取り組むことができていた。 施設設備についての研修では参加した職員に一通りの説明を行ったが、実際に災害発生時の流れでの設備使用は来月以降の防災訓練に参加することで理解を深めていきたい。	11名
5月14日	◎総合訓練（日中：3階ユニットより火災） ・日中震度6強の地震発生後、百年の里3階愛ユニットより火災発生を想定。 ・入居者の避難誘導、消火活動(消火栓ホース展開)、消防署への通報訓練を行う。今回の訓練では新型コロナウィルス感染症対策を講じながら令和3年度新人職員の指導も合わせて行う。※消防署への通報は消火栓通報ボタン押下により行い、折り返し掛かってきた電話にて伝達行う。	・令和3年度新人職員の指導を行いながら訓練したが地震・火災時の対応や避難誘導等についてはスムーズに行う事が出来た。 ・消防署との非常電話対応もしっかりと対応する事が出来た。 ・避難誘導後の入居者点呼確認時に、指定されていたユニットではない場所に誤って避難させてしまい点呼確認に時間が掛かってしまった事案があったので、今後の訓練では避難先の誤りが無いように行いたい。	140名
6月15日	◎総合訓練（夜間：梅雨前線停滞に伴う河川の増水） ・立根川の増水により、氾濫の危険あり、入居者様を三階へ避難誘導する。	・職員の連携により、スムーズな避難誘導ができた。 ・夜勤者が応援職員に指示を出した方が、もっと効率よく非難できると感じた。	140名
7月13日	◎総合訓練（日中：2階ユニットより火災） 日中震度6強の地震発生後、百年の里2階壱ユニットより火災発生を想定。入居者の避難誘導、消火活動(消火栓ホース展開)、消防署への通報訓練を行う。今回の訓練では新型コロナウィルス感染症対策を講じながら令和3年度新人職員の指導も合わせて行う。 ※消防署への通報は消火栓通報ボタン押下により行い、折り返し掛かってきた電話にて伝達行う。	・令和3年度新人職員の指導を行いながら訓練を行ったが、地震・火災時の対応や避難誘導等についてはスムーズに行う事が出来た。 ・安否報告時に、一部のユニットから報告がなく指揮班長より確認するということがあり反省点となった。	140名
8月17日	◎総合訓練（夜間：1階洗濯乾燥室より火災） ・入居者の避難誘導、消火活動（消火栓ホース展開）、消防署への通報訓練を行う。 ・今回の訓練では新型コロナウィルス感染症対策を講じながら行う。 ※消防署への通報は消火栓通報ボタン押下により行い、折り返し掛かってきた電話にて伝達行う。	・今回の夜間想定の訓練にて、夜勤リーダーの負担が大きい事。職員への指示出しから点呼。火災発生までに時間がかなり空いていた。夜勤リーダーの役割分配や応援職員を投入するタイミングについて、検討する必要性を感じた。また、今回の訓練の大きな反省として、消防署からの赤電話に、折り返すとの対応をしたにもかかわらず、折り返しの電話をしなかったことから、次回より折り返しの電話はせずにその場で現状報告し終わらせることとする。	140名
9月27日	◎総合訓練（夜間：梅雨前線停滞に伴う河川の増水） ・夜間の豪雨により、施設前の河川が氾濫した、と想定し訓練を行う。 ・施設入居者を上階へ避難誘導行う。	・全体的にスムーズに誘導、点呼を行うことが出来ていたが、応援に駆け付けた職員と施設で勤務していた職員との連携が疎かになってしまった場面がみられた。今後はより密に連携が取れるように訓練に取り組みたい。	137名

10月19日	◎内部研修（施設消火設備使用） 施設に在籍している職員を対象に以下の項目について研修及び機器の操作方法の説明と実施訓練を行い、防災への知識と意識の高揚を目的とする。 ・消火器及び屋内消火栓を使用した放水消火訓練（内部研修）	・消火器放水訓練では、火元に見立てた火点に向かい放水を行ったが、参加職員は真剣な様子で消火器手順や放水時の注意点について指導を受けながら実施出来ていた。 ・消火栓放水訓練では、放水時に水圧が掛かる為に1人ではなく2人での放水が安全 だという事が分かった。また、ホースを持つ姿勢も保持出来るようにしていきたい。また今後も訓練や内部研修で消火器消火栓放水訓練を継続して行っていきたいと感じた。	30名
11月15日	◎内部研修 ・日勤職員を対象に以下の項目について研修及び機器の操作方法の説明と実施訓練を行い、防災への知識と意識の高揚を目的とする。 ・スモーク訓練及び担架・発電機の使用訓練（内部研修）	・スモーク訓練では、煙が充満した暗室を移動する訓練を行い、移動の仕方を体験した。 ・担架及び発電機使用訓練では、担当職員の指導の下正しい使用法を学んだ。 ・今後も訓練や内部研修でスモーク・担架・発電機使用訓練を継続して行っていきたいと感じた。	27名
12月15日	◎総合訓練（夜間：1階乾燥機室より火災） 夜間、震度6強の地震発生後、百年の里1階洗濯室より火災発生を想定。 入居者の避難誘導、消火活動(消火栓ホース展開)、消防署への通報訓練を行う。 今回の訓練では新型コロナウィルス感染症対策を講じながら行う。 ※消防署への通報は消火栓通報ボタン押下により行い、電話対応を行う。	・ある階の職員に火元の伝達が詳しく伝わらなかったことがあり、改めて情報を確認し合う大切さが分かる訓練となった。また、夜間帯は職員が5名しかいない為、確実な情報伝達が必要になる。指示を待つのではなく、その前に何をすれば入居者様の安全確保をスムーズにできるか1人1人考えながら訓練をしていく必要があると感じた。	107名
1月25日	◎伝達訓練（法人内、伝達訓練） ・Biz安否確認アプリを使用してのメッセージ送信及び返信訓練行う。	・全施設職員にBiz安否確認メールを送信したが、返信出来ていない職員がいた。 ・アプリ未登録者もいたので、今後は登録してもらい確実に返信出来るようにしていきたい。	全職員
2月18日	◎総合訓練（日中：2階ユニットより火災） 日中、震度6強の地震発生後、百年の里2階福ユニット202号室より、漏電火災発生を想定。 ・入居者の避難誘導、消火活動(消火栓ホース展開)、消防署への通報訓練を行う。 ・今回の訓練では新型コロナウィルス感染症対策を講じながら行う。※消防署への通報は消火栓通報ボタン押下により行い、電話対応を行う。	・今回の訓練は、事前の訓練要綱をユニットに配布せず、実際の火災状況に近い状態で行った。毎月の訓練で身に付いていること、曖昧な状態でやってきたことが反省点として分かった。 ・火元の情報の伝達について、共有に時間がかかることやその情報を待っている姿勢等が見受けられた。 ・今回の訓練の反省を実際の火災に備えて活かしていく。	107名
3月16日	◎総合訓練（夜間：3階ユニットより火災） 夜間、震度6強の地震発生後、百年の里3階和ユニット301号室より、漏電火災発生を想定。 ・入居者の避難誘導、消火活動(消火栓ホース展開)、消防署への通報訓練を行う。 ・今回の訓練では新型コロナウィルス感染症対策を講じながら行う。※消防署への通報は消火栓通報ボタン押下により行い、電話対応を行う。	・夜間帯、5名の勤務者のみの想定の訓練の為、緊張感があり、職員間での伝達と連携が非常に大切であると改めて実感した訓練となった。 ・応援職員への本部からの指示、所在地の把握を明確に伝達する必要があると感じた。 ・火災場所の正確な位置、方角など、一目でわかりやすい様式に変更する必要があった。	107名

【富美岡荘・祥風苑・デイサービス合同】

月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
5月27日	◎部分訓練（日中：富美岡荘） 今後、訓練を行なっていく上で必要となる基本的な知識を学ぶ。	・施設内の防災設備を詳しく知らない職員もいたため、設備説明と合わせ再確認を行なう。 ・緊急災害時のマニュアルの認識と内容の再確認を行なう。	5名
6月24日	◎三施設の他施設から異動してきた職員を主に対象とし、視覚と聴覚の障がい者に対する災害時の誘導法を学ぶ。	・座学にて障がい者の誘導法や対応の仕方について理解できた。 ・アイマスクの使用や筆談を使用することで障がい者の気持ちと状態が理解できたと思う。	9名

7月28日	◎部分訓練(日中:祥風苑) 豪雨災害と土砂災害の危険性ありの想定で訓練を実施。	・基本はできているが、もう少し周囲の状況を把握してから行動してほしい。 ・時系列(経過、データ)を残す記録係があった方がいいのでは。	56名
7月29日	◎部分訓練(日中:富美岡荘) 実際の火災現場をイメージし、スモークマシーンと消火栓を使用しての訓練を実施。	・障害物や煙で視界が悪い環境での移動がいかに困難か、職員に再認識してもらえた。 ・基本的な知識指導が行えた。	60名
7月30日	◎総合訓練(日中:デイサービス) 震度6弱の地震発生後、厨房室より出火想定で訓練を実施。	・常に利用者に対する声掛けを行ない安全に避難誘導できた。 ・職員間の指示等、スムーズに実施できた。	38名
8月19日	◎部分訓練(日中:富美岡荘) 震度6弱の地震発生後、ボイラー室より出火想定で訓練を実施。	・普段と違う火元を想定して行なったが、各職員、冷静に対応できていた。 ・点呼報告の仕方の統一が必要。	68名
8月24日	◎座学(祥風苑) 新型コロナウィルス感染症対策をして消防訓練を実施するために。	・三施設合同で訓練を行なっていく上で、コロナウィルス感染予防をして安心安全に行なっていただけるように予防対策を確認する。	15名
9月30日	◎部分訓練(日中:デイサービス) 厨房室にて調理中に油火災発生想定で訓練を実施。	・施設間の連携はしっかりできていた。 ・応援職員への指示が不足で誘導の際に非常口で詰まる様子があった。	58名
10月21日	◎研修(富美岡荘) 災害時に役立つ、ロープの結び方を学ぶ、発電機の稼働方法。	・実際にロープを使用し、災害時以外にも役立つ、結び方を学んだ。 ・発電機の稼働方法を再確認しながら行なった。	9名
11月18日	◎総合訓練(夜間:富美岡荘) 震度6弱の地震発生後、食堂より出火想定で訓練を実施。	・応援職員に明確に現状報告と避難誘導の指示が行えた。 ・職員より内部の略図が分かりづらいとの指摘があり考慮する。	120名
12月8日	◎総合訓練(夜間:祥風苑) 震度6弱の地震発生後、ボイラー室より出火想定で訓練を実施。	・119番通報を行ない、消防署員との受け答えはきちんと対応できた。　・職員間の指示と連携と応援職員に対する確実な指示を出せた。	22名
1月31日	◎伝達訓練(職員非常連絡網) 津波警報発令想定で一斉通報確認訓練を行なった。	・ほとんどの職員は返信していたが未回答の職員が数名おり、原因としてアプリに対応していない携帯電話のためだった。	66名
2月21日	◎総合訓練(夜間:富美岡荘) 震度6弱の地震発生後、洗濯場より出火想定で訓練を実施。	・職員間の指示と連携と応援職員に対する確実な指示を出し、スムーズに行動していた。	120名
3月15日	◎総合訓練(夜間:祥風苑) 震度6弱の地震発生後、ボイラー室より出火想定で訓練を実施。	・避難誘導する際に互いに各施設で助け合うことが必要なので、建物構造や入居者及び様々な状況把握も必要だと思った。	99名

【蔵ハウス大船渡・まちぐるみ】

月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
5月12日	◎部分訓練(消火) ・消火器及び消火栓を使用した消火訓練(クンレンダー借用)	・各職員が消火器や消火栓を使用する事で使用方法を確認する事が出来た。 ・消火栓の有効範囲を確認する事が出来た。 ・本施設での訓練が初参加の職員がいたので消火器、消火栓の設置場所の再確認を呼びかけた。	10名
6月9日	◎内部研修 ・救命の連鎖「チェーン・オブ・サバイバル」の重要性を知るため心肺蘇生とAEDの演習を行う。	・一人一人がしっかり救命措置を身に着けようと意識し実際に行う事で緊急時に対応する知識を身につけられた。	12名
7月14日	◎部分訓練(日中:洪水避難) ・大型で強い台風の接近に伴う避難情報発令に対し、避難対応手順について確認する。	・移動時にエレベーターを使用したことで、避難がスムーズに行えた。 ・避難誘導指示が出る前に誘導してしまったことなどがあり、流れに従い連携して行うことが重要であると感じた。 ・状況報告等漏れなく行えた。	24名
8月11日	◎部分訓練(夜間:火災避難) ・夜間、1階事務室より火災発生。施設内へ延焼の恐れあり避難誘導する。	・各職員、迅速に対応し行動できていた。 ・3階夜勤者の119番通報の応答に予想以上の時間がかかった。スムーズな応答ができるよう、返答をまとめ周知する。 ・火災発生時の連携の取り方を今一度確認する。	12名
9月28日	◎部分訓練(夜間:津波避難) ・夜間、三陸沿岸を中心とした強い地震(震度5弱)の発生後、津波警報発令され津波到達の恐れ有り、1階入居者を非常階段にて2階へ避難誘導する。	・避難誘導の際の特徴や状態の伝達や声掛けが足りなかった。 ・配役が分かりずらかった。 ・地震発生後の入居者様への見守りの声掛けがなかった。 ・入口の開放を忘れてしまっていた。	11名
10月13日	◎内部研修 ・火災による煙が充満している中での疑似体験をスモークマシンを用いて行う。 ・非常用発電機の始動と停止方法、取り扱い方法の説明を行う。	・車椅子に乗っている入居者役の方への不安を和らげるために声掛けを積極的に行っているのが良かった。 ・誘導者役、入居者役両方ともヘッドライトをしていたが暗闇かつ煙が充満したスペースでの避難は想像以上に時間を要した為、他にも使えるライトを用いた方が効果R的であると感じた。	11名
11月22日	◎内部研修 ・日中施設内3階洗濯室より火災発生。施設内延焼の恐れあり避難誘導する。	・各職員、迅速に対応し行動できていた。 ・各階でそれぞれ連携が取れていた、声掛けも大きな声で聞き取りやすかった。 ・避難誘導が終了した際に居室前の旗印を変えてない職員がいた。 ・消防署からの質問に対しスムーズに対応出来た。	13名

12月16日	◎内部研修　・東日本大震災のような震災が起きた際、各職員が自宅等では何を優先に気を配るかや避難の際の注意点を大船渡消防署からお借りするDVDを参考に研修する。また災害時どういった事象が想定されるかを事前に把握することにより各職員の緊急時の対応能力の向上を目的とする。	・改めて地震や津波に対しての怖さを感じ、避難時の注意点や自宅では何を優先すべきかなどの再確認が出来た。 ・これからの訓練に様々な事象を想定し訓練することにより職員の対応能力の向上が出来ると思った。	58名
1月25日	◎Bizアプリ伝達訓練 ・管理者権限職員による、Bizアプリ送信の訓練。 ・Bizアプリによる災害想定時の安否確認返信訓練。	・職員の受信から返信までの流れは大体の職員が理解しおりスムーズに出来たと感じた。 ・防災委員で送信の仕方を確認したが、始めのURLでのログインに時間がかかった。	全職員
2月9日	◎部分訓練(日中:洪水避難) ・大型で強い台風の接近に伴う避難情報発令に対し、避難対応手順の確認を確認する。	・うまく連携しスムーズに誘導行えた。　・入居者の避難時、職員の配置のバランスが悪く階段歩行の介助にあたる職員が少なくふらつきが見られた為、安全に階段歩行できるよう入居者1名に着き職員2名対応で行った方がいいと思った。	9名
3月9日	◎内部研修 ・防災計画の説明と自然災害、火災に対する定義と予防の説明	・法人防災計画の重要性を理解することができ各職員の緊急時の対応能力の向上につなげることが出来た。 ・火災発生の定義と燃焼、消火の要素を各職員が理解できた。	11名

【ひころいちの郷】

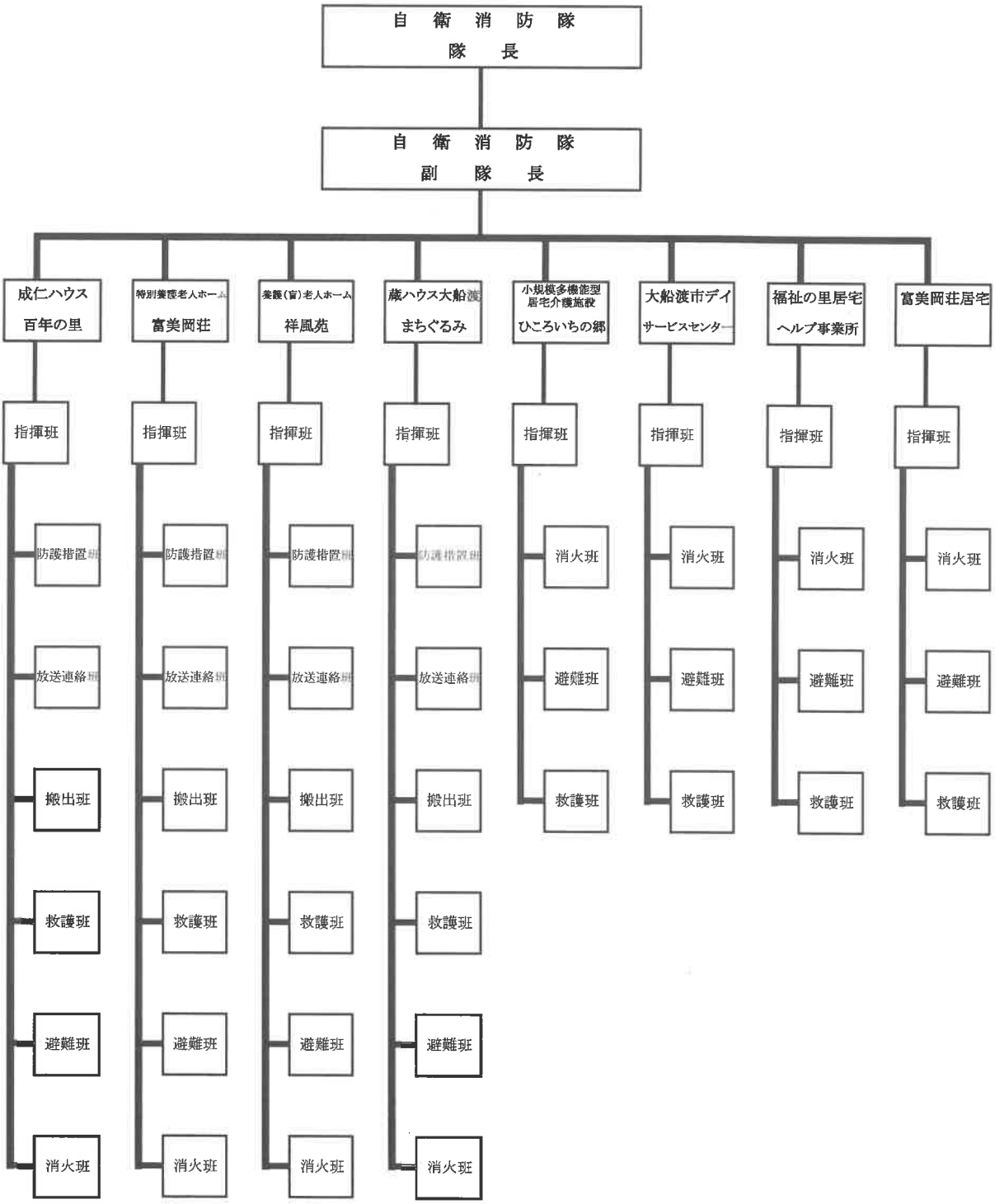
月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
4月19日	◎内部研修 災害発生時停電になった際を想定し鍋やフライパンでの食事作りを実践する。	・フライパンでの炊飯時、少量の油を入れる事できれいに炊き上がり美味しく頂けた。 ・ホットケーキと水で作ったパンケーキは、柔らかく食べやすいと職員・利用者様両方より感想が聞かれた。	6名
5月28日	◎部分訓練(日中:地震避難) 夕方の送迎時間中、宮城県から福島県沖を震源とした震度6弱の地震が発生し、市内に大津波警報が発令された想定で訓練開始。	・送迎車から避難経路や避難状況を電話にて連携し、安全確保や家族様への電話連絡の分担等を確認する事が出来た。	17名
6月28日	◎部分訓練(日中:地震避難) 午前中のレク体操・入浴実施中、宮城県から福島県沖を震源とした震度6弱の地震が発生した想定で訓練開始。	・所長よりの指示を十分伝達できなかった。指示内容をしっかり役割分担し実施出来るよう検討を行う。 ・災害発生時公休の職員からの施設への電話が集中した際に回線等の兼ね合いにて電話対応が不十分になる事が考えられ為、安否等の電話連絡をする手順を確認した。	14名
7月27日	◎部分訓練(日中:水害避難) 大型で強い勢力の台風が接近し、沿岸南部を中心に警戒レベル3が発令。時間経過し警戒レベル4に引き上げられ駐車場での冠水や施設裏側でのがけ崩れや、町内一帯で停電が発生した想定で訓練開始。	・備蓄品やカセットコンロ等の準備について、余裕を持ち早めに準備する事の必要性を確認した。 ・ホールへ避難誘導したご利用者様の施設外への2次避難に備えて履物を準備したり避難経路の確保を行う事を積極的に行えるようにする。	17名

8月11日	◎部分訓練(夜間:水害避難) 大型で強い勢力の台風が接近し、沿岸南部を中心に警戒レベル3が発令。時間経過し警戒レベル4に引き上げられ町内一帯で停電が発生した想定で訓練開始。	・廊下に吊るした懐中電灯により足元が照らされたり目印になり誘導時有効と感じた。 ・廊下の音等で自力でお部屋から出て来るご利用者がおり、誘導手順や誘導順を臨機応変に対応する必要性を感じた。	18名
9月30日	◎部分訓練(日中:水害避難) 大型で強い勢力の台風が接近し、時間経過と共に避難警戒レベル4発令。町内で停電が発生し送迎車が道路の冠水による渋滞に遭遇した想定で訓練開始。	・風雨の音を訓練に組み込むことで実際の状況に近い形で訓練を行い、声が聞こえづらくなる事で状況把握や連携が困難になると感じた。 ・送迎担当は道路の状況に応じ逐一施設へ電話相談や報告を行ったり、ラジオにて情報収集を行う事を確認。	13名
10月25日	◎総合訓練(夜間:地震・停電・火災避難) 日中に震度5強の地震発生し、翌日の朝方に震度6弱の本震が発生。その際に鍋を温める為に使用していたカセットコンロが落ち火災が発生した想定で訓練を開始。	・地震発生後から火災発生の段階で、スムーズに手順を切り替えて避難する事が出来た。 ・119番通報時、電波状況が悪い携帯電話で通話した為会話しづらく、途中電話を切り替え対応した。	16名
11月10日	◎総合訓練(日中:地震火災) 震度6弱の地震発生。地震発生数分後に脱衣室より火災発生の為利用者の避難誘導するとの想定で訓練開始。	・避難誘導はスムーズに行う事ができ、避難場所とした各居室への避難も職員同士で情報共有する事が出来た。 ・公用車への乗り込みを行ったが、物干し竿等乗り込みの際に障害になるものに関してはあらかじめ動かす配慮を感じた。	16名
12月22日	◎部分訓練(夜間:地震避難) 震度6弱の地震発生し、同時に市内一帯で停電が発生した想定で訓練開始。	・避難誘導の手順として奥の部屋から声をかけたが、自分で出て来る利用者様もおり臨機応変に誘導を行い、また、宿直員へ避難後の目配りを連携する手順を確認した。	15名
1月27日	◎伝達訓練(職員非常連絡網) 地震発生後、百年の里から出火想定で訓練を行った。	・本部(百年の里)報告書を別紙参照。	74名
2月25日	◎部分訓練(夜間:地震避難) 震度6弱の地震発生し、同時に市内一帯で停電が発生した想定で訓練開始。	・廊下に設置したタッチライトにより廊下や居室内まで明るく安心感が有った。 ・ホールへ利用者様が集まった後、布団等での防寒対策を行う気配りが大事なので連携しながら行う事を感じた。	14名
3月23日	◎部分訓練(日中:地震避難) 午前中のレク体操・入浴実施中、宮城県から福島県沖を震源とした震度6弱の地震が発生。その後市内で停電が発生した想定で訓練開始。	・緊急地震速報後より、すぐに玄関の開放やカーテンを閉める対応を取る事が出来た。 ・浴室で地震が発生した際、タオル等身近に有る物で頭部の保護し、安全確保してからホールへ避難する事を確認した。	15名

【福祉の里居宅・富美岡荘居宅・ヘルプ事業所】

月日	実施内容	実施結果及び反省	参加人数
5月26日	◎介護センター日中想定震度6弱の地震後、給湯室付近で漏電し出火。・地震時の初動体制の確認。・屋内消化器を使用して消火訓練。・重要書類の搬出。	・重要書類の搬出は、パソコンやUSBに加え、公用車のキーも持ち出せないか。・指揮班長が第一避難所を決めて、皆がそこにめがけて報告するという流れを要綱で示していきたい。 ・動きや声掛けはてきぱきとして良し。	11名
10月28日	・台風による暴風雨で避難準備情報が市内で発令、蔵ハウスへ連携し外回りの確認とパソコンや重要書類、備蓄品を2階へ搬出。・外回りヘルパーへの情報提供、職員の安否確認、職員への避難指示と反乱情報の確認、本部への報告。	・初動体制、施設間の連絡体制はスムーズに行われた。・スピーディーな避難が必要なので、災害時などは携帯電話を常に携帯し早めの連絡を。・外回りの安全確保等、実際の状態でそこまで確認できるか不安に思った。	6名
1月31日	◎法人全体訓練 ・Biz,防災安否確認想定一斉メール訓練	・契約ヘルパーさんには、Bizに登録できず、佐々木部長が転送している職員が5名ほどいる。返信を待って連絡するのに時間がかかるので、今後の対応を検討する必要がある。	全職員
2月9日	大型で強い台風の接近に伴う避難発令の想定訓練。(蔵ハウスの2月度訓練に参加)	・連絡を受けてから、即座に対応し蔵ハウスに移動し、要請された入居者様の見守り支援がスムーズに出来た。	4名

社会福祉法人成仁会　自衛消防隊組織図



【百年の里　防災訓練実施状況】

総合訓練　（日中想定）

総合訓練　（夜間想定）

内部研修　（担架使用手順・放水訓練・スモークマシン訓練）

【富美岡荘　防災訓練実施状況】

総合訓練　（日中想定）

総合訓練　（夜間想定）

新人研修　（簡易担架の作り方・消火訓練 ）

内部研修　（スモークマシン・災害時の備えについて）

【祥風苑　防災訓練実施状況】

総合訓練　（日中想定）

総合訓練　（夜間想定）

新人研修　（視覚・聴覚障がい者の災害時の誘導法）

座学　（コロナウィルス対策をして訓練を実施しよう）

発電機　（稼働点検）

【デイサービス　防災訓練実施状況】

総合訓練　（日中想定）

総合訓練　（日中想定）

総合訓練　（日中想定）

総合訓練　（日中想定）

【蔵ハウス大船渡・まちぐるみ　防災訓練】

総合訓練　（日中想定）

総合訓練　（夜間想定）

内部研修　消火訓練・スモーク体験 ）

【ひころいちの郷　防災訓練】

部分訓練　（日中想定）

部分訓練　（夜間想定）

内部研修(消火訓練・避難シュミレーション)

令和３年度

事　業　報　告

（自　令和３年４月１日　　至　令和４年３月31日）

特別養護老人ホーム　成仁ハウス百年の里

令和３年度の事業を振り返って
～ユニット型施設でのパーソナルケアの実践～
山崎シゲ会長の哲学１０項目の実践

令和３年度は、前年度からの「新型コロナウイルス感染症」の予防の徹底を図りながら、「暮らしの継続・幸せの継続」を新スタイルで模索した一年となりました。

変異型ウイルスによる新たな感染症の脅威にさらされながらも、「相手の身となり、心を手にして」を合言葉に、ユニット型施設でのパーソナルケアの実践に取り組んでまいりました。予防はもちろんのこと、報告・指示系統の確立、万が一罹患者が発生した場合の対応についてなど、細部にわたり検討してまいりました。また、前年度から準備を進めたワクチン接種は、今できる最善の予防策と考え、いち早く皆様に接種することができ、事故なく経過したことに安堵いたしているところでございます。

このコロナ禍での新しい生活スタイルが求められる中、如何にして今までの穏やかな暮らしの継続ができるのかを、職員一丸となり知恵を出し合いながら業務を遂行してまいりました。何事においても、できないではなく、どうすればできるのかを「相手の身になって」考え実践している職員をみるにつけ、職責と職務を超えたところで法人理念が浸透していると感じる一年でもありました。

皆、それぞれの職責を全うし、お互いの立場を尊重しながら業務にあたることで、稼働率の維持に努め、選ばれる施設を目指してまいりました。

「明るく元気に前向きに」「まずやってみよう」の精神で前進するのみです。そう考えると、この状況も悪いことばかりではなかったと思っております。

今まで以上に職員一人一人が自分を見つめ、職場を見つめ、同僚を見つめ、そして法人の一人としての帰属意識を高めたことで、自分の行動に責任を持ちながら公私共に過ごしたこと。会いたいときに会えない入居者様とご家族様との一期一会を守るにはどのようにすればよいのか。常に皆で考え、自身に対して問いかけながら職務を果たしたことなど、職員一人一人が成長してくれたと信じております。

今まで見逃していた些細な出来事に気づき、入居者様の心の深くにあるものに思いを馳せることで、様々な想像をし、真のニーズを知ること。そしてそれは私生活でも、人生の中でも同じこと。「ここは人生道場」とかつて創業者は現理事長に話したことがあります。まさに今、この時期に、皆が痛感する時代になったと感じております。

新年度も職員一人一人が成長を遂げ、入居者様に地域に還元できるよう努めてまいりたいと思います。

特別養護老人ホーム　成仁ハウス百年の里
施設長　　山　崎　シ　ゲ

1　各課の事業実施状況

（1）総務部　総務課

総務課は成仁会が運営する施設間の連絡調整や、各部署との連携を図り、円滑な施設運営が出来るよう職務にあたり、また入居者様の尊厳を支えるケアの徹底を図るため、細部にわたり入居者様や、そのご家族様のニーズに沿った質の高いサービスを提供できるよう尽力した一年となった。

窓口業務を遂行するに当たっては、施設の顔であることを念頭に置き、「笑顔で挨拶」「感謝の言葉、ありがとうございます」を笑顔で！を忘れず、話しやすい対応を心掛け、日々の業務に努めた。

また、昨今の感染症流行の予防対策に際しては、来客等への声掛けには細心の注意を払い、検温、手洗いうがいを実施し施設内の感染予防に努めた。さらに、新型コロナ感染症抗原検査検出キット及びニワトリ抗体配合のマウスミストの販売を行い、職員の予防のみならず、地域の方への感染症予防対策に貢献した。

事務業務においては、透明性・公平性が求められる中で、毎月適正な業務を進め、積極的に研修会に参加し、知識の向上を図った。また、毎月財務会議を行い各施設の財務状況の把握、安全な施設運営に努めた。

職員の資質向上に関しては、介護の知識や技術の習得、資格取得に向けて予算措置を行い資格取得のための支援、法人内部での勉強会の実施、外部研修への参加等連絡調整にあたった。

長年の経験から生まれた「成仁ハウス百年の里」のハードを大切に、創業者精神の下、入居者様やご家族、職員やその家族を想い合い「相手の身になって」を念頭に置きながら感謝する気持ちを持ち、邁進する一年だった。今後ますます高齢化が進み、地域からの期待も大きくなることが予想される現在、選ばれる施設を目指し、事業所内にとどまらず、地域共生社会の実現に向け、地域との連携に務めていく必要があると考える。

(2) 事業部　生活相談課

令和３年度も、新型コロナウイルスを施設内に持ち込まないよう職員一丸となって対応した一年となった。

管内における感染状況についての情報を収集し、制限がある中でも、入居者様が穏やかに過ごしていただけるよう工夫し対応にあたった。

コロナ発症者がいなかった８月から１２月にかけては、完全予約制にて面会を実施することができた。面会規制を余儀なくされた時期は、スマートフォンを活用した定期的な面会を実施した。県内において感染が拡大した令和４年１月以降も、看取り期の方への面会は、万全の感染予防策を講じながら実施することができた。

パーソナルケア実践のため、入所前面接記録には基本情報の他、写真を取り入れることで、各部署が視界からもその方をより深く理解できたことで、個別ケアプランを立案、実践につなげることができた。

長期入居者の平均介護度は、一年を通して４．０→４．２へと推移した。新規の長期入居は１３件、全員が介護度４・５の方であり重度化が進んでいることが数字として表れた。

長期入居者の入院合計日数の１４９日（前年比７割減）は、ショートステイへの空床利用に活用し、稼働率は長期入居９９．５％、ショートステイ１１１％（緊急含む）合算平均１０１．７％と高い稼働率となった。ショートステイ事業については、利用前日に本人、同居家族の体調確認、周囲の状況、接触の有無など詳細な聞き取りと、当日の抗原検査実施など、ご利用者やご家族の協力があってこそ稼働率を高水準に保てたと実感している。

国保連請求及び利用料請求については、法的根拠に基づいて毎月算定要件を確認し、確実な請求業務を遂行し、会計課と連携の上、未収金の把握や回収を行い、健全な財政運営に繋げることができた。

苦情が１件上がったが、即日申し立て内容を確認した上で調査を実施し、迅速な対応に努めた。また、２件の骨折事故が発生、早期の受診対応にあたり、保険者へ速やかに報告した。苦情も事故も小さな行き違いや、思い込みが原因の多くを占めている。

常に「相手の身になって、心を手にして」を忘れず、初心に返り業務にあたりたいと考える。

コロナ感染症に関しては、より一層気を引き締めて、職員一同感染予防を徹底して対応していく。

利用者実績

今年度の稼働率は、長期入所99.5%、短期入所111%、合算稼働率は101.7%であった。日頃より、行政や医療機関、各居宅事業所との連携を密に図り、長期入所者が入院・外泊をされた際や急なキャンセルが発生した場合でも、その都度お声掛けをし、利用につなげることができた。また、緊急的に利用せざるを得ないさまざまな事情による短期入所の受入れ相談も多くみられ、その都度、各関係機関と迅速に連携を図りながら対応することができた。

【長期入所】 ※各月実績は利用延べ人数　　（単位：人）

提供月	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	平均介護度	利用ベッド数	ベッド定数	稼働率	入院外泊
令和３年4月	0	30	360	1628	480	4.0	2498	2520	99.1%	22
令和３年5月	0	31	372	1691	490	4.0	2584	2604	99.2%	20
令和３年6月	0	30	360	1620	494	4.0	2504	2520	99.4%	16
令和３年7月	0	30	372	1644	557	4.0	2603	2604	99.96%	1
令和３年8月	0	0	335	1643	589	4.1	2567	2604	98.6%	37
令和３年9月	0	0	270	1650	600	4.1	2520	2520	100.0%	0
令和３年10月	0	0	279	1705	620	4.1	2604	2604	100.0%	0
令和３年11月	0	0	300	1611	600	4.1	2511	2520	99.6%	9
令和３年12月	0	0	310	1565	727	4.2	2602	2604	99.9%	2
令和４年1月	0	0	310	1550	741	4.2	2601	2604	99.9%	3
令和４年2月	0	0	308	1372	672	4.2	2352	2352	100.0%	0
令和４年3月	0	0	270	1511	784	4.2	2565	2604	98.5%	39
合計	0	121	3846	19190	7354	4.1	30511	30660	99.5%	149
介護度別比率	0.0%	0.4%	12.6%	62.9%	24.1%					

【短期入所】 ※各月実績は利用延べ人数　　（単位：人）

提供月	要支援2	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	申請中	平均介護度	利用ベッド数	ベッド定数	稼働率
令和３年4月	0	75	73	268	211	84		3.2	711	630	113%
令和３年5月	0	70	70	295	214	83		3.2	732	651	112%
令和３年6月	0	59	56	311	228	52		3.2	706	630	112%
令和３年7月	0	64	74	283	255	37		3.2	713	651	110%
令和３年8月	0	54	96	306	237	58		3.2	751	651	115%
令和３年9月	0	50	72	260	251	56		3.3	689	630	109%
令和３年10月	0	47	91	240	243	91		3.3	712	651	109%
令和３年11月	0	72	76	267	174	110		3.2	699	630	111%
令和３年12月	2	52	91	314	147	109		3.2	715	651	110%
令和４年1月	3	48	107	285	122	147		3.3	712	651	109%
令和４年2月	0	42	99	210	154	128		3.4	633	588	108%
令和４年3月	0	30	100	233	245	110	1	3.4	718	651	110%
合計	5	663	1005	3272	2481	1065	1	3.3	8491	7665	111%
介護度別比率	0.2%	7.8%	11.8%	38.5%	29.2%	12.5%					

【算定加算・長期入所】

日常生活継続支援加算（Ⅱ）※46単位	看護体制加算（Ⅰ）ロ※4単位	看護体制加算（Ⅱ）ロ※8単位
夜勤職員配置加算（Ⅱ）ロ※18単位	処遇改善加算（Ⅰ）	介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）

【算定加算・短期入所】

看護体制加算（Ⅲ）イ※12単位	看護体制加算（Ⅳ）イ※23単位	夜勤職員配置加算（Ⅱ）※18単位
ｻｰﾋﾞｽ提供体制強化加算（Ⅲ）※6単位	緊急短期入所受入加算※90単位	処遇改善加算（Ⅰ）
介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）		

【実費負担について】

長期	延べ利用者数における利用者負担額4段階以上の割合	44.3%
短期	延べ利用者数における利用者負担額4段階以上の割合	69.1%

食費（1日）	食費（1日）	1,445円	居住費（1日）	2,006円

※1日利用の場合、長期・短期共に上記金額。

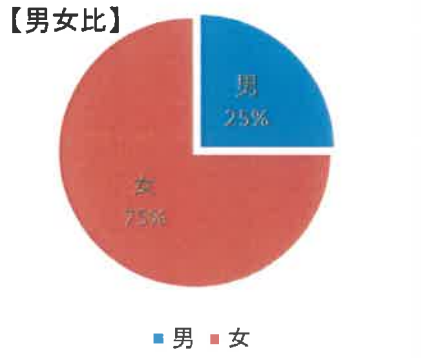
入居者の状況

今年度、新たに気仙管外からの入居はなく、昨年同様、釜石市1名と遠野市1名、計2名が管外からの入居者となっている。また、入居者の男女比や平均年齢は、前年度と概ね変わらず、男性入居者の最高年齢は102歳、最低年齢は70歳、女性入居者においては、最高年齢が103歳、最低年齢は67歳、全体の平均年齢は90.5歳となっている。

（１）市町村別入居者の状況　（令和4年3月31日現在）

保険者名	男	女	計
合計	21	63	84
大船渡市	21	61	82
陸前高田市	0	0	0
釜石市	0	1	1
遠野市	0	1	1

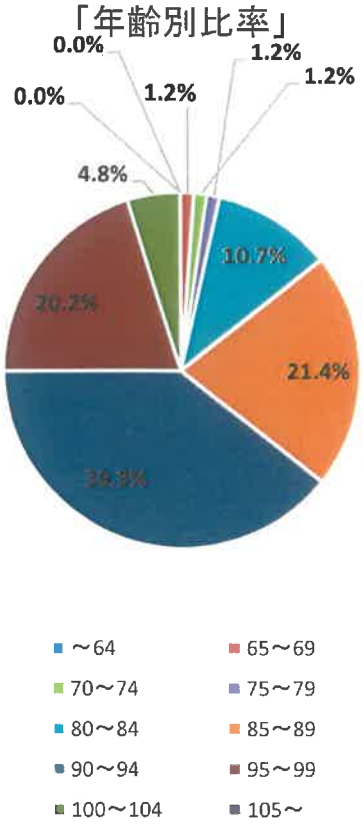
（単位：人）



（２）年齢別状況　（令和4年3月31日現在）

年齢区分	男	女	計
～64	0	0	0
65～69	0	1	1
70～74	1	0	1
75～79	1	0	1
80～84	2	7	9
85～89	4	14	18
90～94	10	23	33
95～99	2	15	17
100～104	1	3	4
105～	0	0	0
計	21	63	84
最高	102	103	
最低	70	67	
平均	89.3	90.9	90.5

（単位：人）



入退居の状況

今年度は新規入居者13名、退居者が14名であり、前年度19名と比較し少なかった。今年度の新規入居者13名全員が要介護度4及び5であり、日常生活継続支援加算の算定にもつながっている。また、退居の内訳は、13名が施設にてお亡くなりになられた方、1名が病院で永眠された方となっている。

【入居者】

No	入居年月日	氏　名	介護度	保険者
1	令和3年5月25日	T・H様	4	大船渡市
2	令和3年5月27日	K・K様	4	大船渡市
3	令和3年7月2日	Y・T様	4	大船渡市
4	令和3年7月23日	S・S様	4	大船渡市
5	令和3年10月3日	S・S様	4	大船渡市
6	令和3年10月21日	K・S様	4	大船渡市
7	令和3年10月31日	Y・H様	4	大船渡市
8	令和3年12月3日	S・M様	4	大船渡市
9	令和3年12月18日	M・H様	5	大船渡市
10	令和4年2月11日	N・K様	5	大船渡市
11	令和4年2月24日	Y・H様	5	大船渡市
12	令和4年3月23日	E・M様	5	大船渡市
13	令和4年3月26日	T・T様	4	大船渡市

【退居者】

No	退居年月日	氏　名	介護度	適　用
1	令和3年5月24日	N・S様	5	大船渡市
2	令和3年5月26日	O・H様	4	大船渡市
3	令和3年7月1日	K・H様	4	大船渡市
4	令和3年7月22日	S・Y様	4	大船渡市
5	令和3年10月2日	S・T様	4	大船渡市
6	令和3年10月20日	N・R様	4	大船渡市
7	令和3年10月30日	O・H様	4	大船渡市
8	令和3年12月2日	S・S様	4	大船渡市
9	令和3年12月17日	S・T様	4	大船渡市
10	令和4年2月10日	S・T様	5	大船渡市
11	令和4年2月23日	K・K様	5	大船渡市
12	令和4年3月22日	K・M様	3	大船渡市
13	令和4年3月25日	M・B様	4	大船渡市
14	令和4年3月31日	S・T様	5	大船渡市

入退院の状況

各課連携のもと、日々の入居者の状態観察、健康管理を行い、嘱託医である山崎内科医院の山崎医師には週２回の回診も行っていただいている。また、入院治療が必要と判断される場合には、本人・家族の意向を重視しながら、協力病院である岩手県立病院と連携を取り、円滑な対応ができている。

	氏名	入院先（病院名）	病名	入院日	退院日
1	O・H様	大船渡病院 内科	腹部腫瘍、貧血	令和3年3月17日	令和3年4月12日
2	T・S様	大船渡病院 救急科	脳梗塞	令和3年4月18日	令和3年4月30日
3	M・S様	大船渡病院 救急科	腸炎	令和3年5月10日	令和3年5月25日
4	K・K様	大船渡病院 救急科	腹壁膿瘍	令和3年5月25日	令和3年6月17日
5	S・T様	大船渡病院 救急科	急性膵炎	令和3年7月30日	令和3年9月1日
6	S・T様	大船渡病院 脳神経外科	小脳梗塞	令和3年8月4日	令和3年8月11日
7	O・K様	大船渡病院 救急科	鼠経ヘルニア	令和3年8月12日	令和3年8月13日
8	S・S様	大船渡病院 救急科	総胆管結石	令和3年11月9日	令和3年11月15日
9	S・S様	大船渡病院 循環器科	脱水、循環不全	令和3年11月26日	令和3年12月2日 （病院にて死亡）
10	O・K様	大船渡病院 外科	鼠径ヘルニア手術	令和4年1月18日	令和4年1月22日
11	S・H様	大船渡病院 泌尿器科	脱水、腎前性腎不全等	令和4年3月1日	令和4年3月22日
12	S・S様	大船渡病院 循環器科	完全房室ブロック	令和4年3月7日	令和4年3月16日
13	S・Y様	大船渡病院 脳神経外科	左脳梗塞	令和4年3月24日	入院中
14	K・K様	大船渡病院 救急科	癒着性腸閉塞	令和4年3月27日	入院中
15	I・Y様	大船渡病院 整形外科	右大腿部内顆骨折	令和4年3月31日	入院中

令和4年3月31日時点

入退所検討委員会

各施設代表が集まり、法人合同での検討委員会を開催することで、入居希望者についての情報共有や、各施設の現状を確認することができ、入居待機者のより円滑な施設入居に向けた検討を行うことができた。

１．入退所検討委員会会議

回数	年月日	参加事業所
第１回	令和3年9月3日（金）	百年の里、富美岡荘、蔵ハウス、まちぐるみ、ひころいちの郷
第２回	令和4年1月14日（金）	百年の里、富美岡荘、蔵ハウス、まちぐるみ、ひころいちの郷

令和3年度は、例年と比較して退去者が少なかったため、入退所検討委員会の開催は2回であった。また、在宅復帰のための退去となりうる対象者はなかった。

２．令和3年度新規長期入所者

令和3年度の新規入所者は13名で、全入居者が要介護４・５の重度者であった。これにより、年間を通して、日常生活継続支援加算（1日46単位）の算定ができた。

年月	新規入所人数（①）	①のうち要介護４・５の人数	①のうち要介護４・５の占める割合
令和3年4月	0	0	－
令和3年5月	2	2	100.0%
令和3年6月	0	0	－
令和3年7月	2	2	100.0%
令和3年8月	0	0	－
令和3年9月	0	0	－
令和3年10月	3	3	100.0%
令和3年11月	0	0	－
令和3年12月	2	2	100.0%
令和4年1月	0	0	－
令和4年2月	2	2	100.0%
令和4年3月	2	2	100.0%
合計	13	13	100.0%

令和3年度末における待機登録者数	**111 人**

(3) 事業部　介護課

令和３年度も、コロナ禍での生活を余儀なくされた一年だったが「新しい生活様式」を考え、いかに楽しく穏やかに過ごしていただけるか試行錯誤した年となった。

前年度から行っているラジオ体操も、入居者様の楽しみやコミュニケーションの場となり、個室からリビングに移動するきっかけ作りとして定着したと感じることができた。また職員との会話も弾み、体操に続き食事の準備のお手伝いなど、入居者様に役割を担っていただくことで笑顔が増え、そして「褒める」ことで笑い声が多く聞かれるようになった。

入居者様の楽しそうな様子に、職員も「何かできることはないか」を常に考えるようになり、職員にとっても意識の向上につながっていると感じることができた。

大規模な行事も、できないではなく、コロナ禍ならではの開催方法を考えながら実行することができた。

また、入居者様とご家族様とのつながりを大事に、メールやLINE、テレビ電話などを駆使しながら、近況報告を続けている。このことでユニット職員とご家族様との関係が、以前に増して良好に保てていると感じている。

感染状況をみながら、一時的に面会を緩和するなどの対応も行うことができた。

面会規制を余儀なくされている時期にも、看取り期にあっては、感染予防の徹底を図りながらご家族様との面会を実現することができた。

前年度に続き、一年間の生活の様子を、お一人お一人DVDにまとめ、「敬老会記念」としてご家族様に贈呈している。この企画は大変喜ばれており、職員も笑顔にできる介護を意識することにも繋がっていると感じる。

ユニット型施設での個別ケアの実践のため、対象者を全人的に理解するため、写真を取り入れた実態調査記録を周知し、更に埼玉医大実証実験で用いている日常生活動作スケール・BIを業務に取り入れることでケアの統一が図れている。

令和３年度も「とことん優しく」「今、この瞬間を大切にお世話させていただく」「相手の身になり、心を手にして」を常に念頭に置き、一人一人が自分の職務を全うできるよう務めてきた一年でしたが、どのような状況になろうとも新年度も創業者理念に則り、さらに意識がたかめられるよう努力していきたいと考えます。

入居者の介護状況

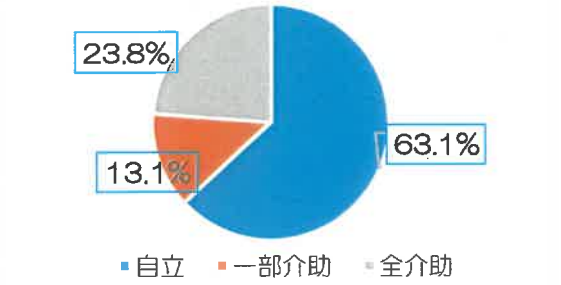
今年度、長期入所の平均介護度は4.2となっており、要介護4、5の方が88%以上となっている。1日の暮らしの中で、入居者が何かしらの介助を必要とする場面は、高い割合を占めている。一方、短期入所は、介護度、利用期間等も様々であり、「実調シート」を元に状態の把握に努め、多様なニーズに沿った援助を心掛けている。

昨年度より取り入れている、世界的評価基準である「バーサルインデックス」の評価様式により、入居者おひとりおひとりのＡＤＬ評価を行っている。評価時のズレは介護課内では無くなってきており、他部署とのカンファレンスを通じてバーセルインデックスを一致させていくことが、科学的根拠を持ったケアの統一へも繋がると考え、介護課に限らず他部署でも積極的に取り組むことができている。

令和４年３月３１日現在

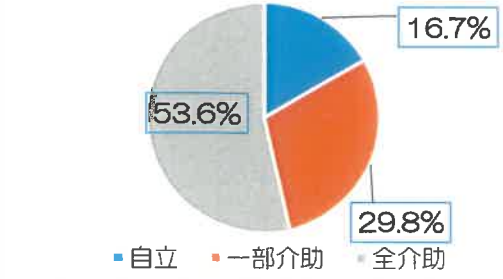
【食事】 「単位：人」

自立	一部介助	全介助
53	11	20



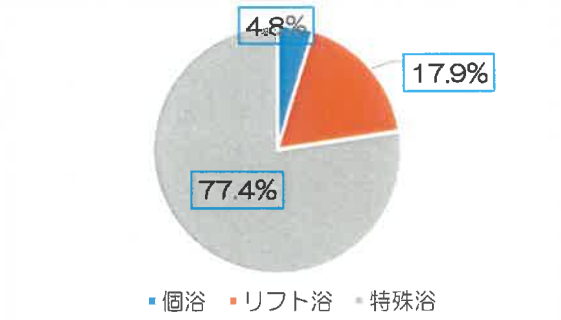
【排泄】 「単位：人」

自立	一部介助	全介助
14	25	45



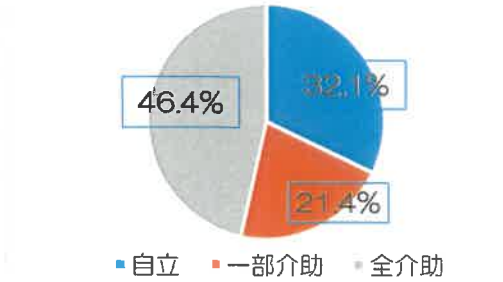
【入浴】 「単位：人」

自立	一部介助	全介助
4	15	65



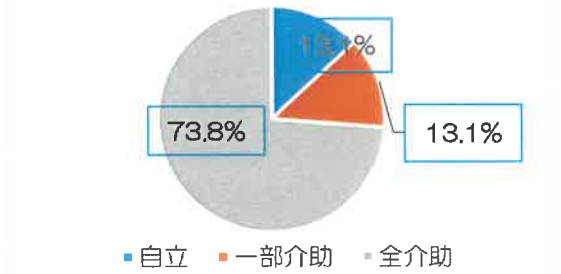
【起座】 「単位：人」

自立	一部介助	全介助
27	18	39



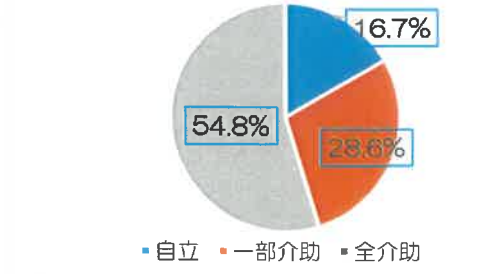
【移動】 「単位：人」

自立	一部介助	全介助
11	11	62



【着脱】 「単位：人」

自立	一部介助	全介助
14	24	46



行事実施状況

新型コロナウイルス感染予防のため、施設内での各種行事の開催となった。

密にならないようユニット単位での開催が主とし、創意工夫をしながら、季節を感じられるるような行事を企画し、開催することができた。

月　日	行　事　概　要	月　日	行　事　概　要
4月　7日	佐々木セイ様100歳セレモニー	9月　21日	十五夜
8日	花まつり	10月　19日	のど自慢大会
21～22日	お花見バイキング	22日	枝豆収穫祭
23日	寿司バイキング	25日	不在者投票
1日	開所記念日	11月　2日	仙台鮨菊池出張ｻｰﾋﾞｽ
7日	母の日イベント メッセージカード	9日	ちんどん寺町一座
6月　1日	さつき展示会	12月　2～3日	回転寿司
7月　6～7日	七夕短冊飾り	23日	クリスマス忘年会
15日	大運動会	24日	IBCラジソン
21日	父の日メッセージカード	28日	餅つき大会
30日	枝豆種まき	1月　1日	元旦
8月　13日	迎え火	8日	書初め
16日	送り火	2月　3日	節分　豆まき
20日	夕涼み会	3月　3日	ひなまつり
13日	迎え火	3日	お抹茶巡り
9月　18日	敬老会	28日	オンラインコンサート

(4) 事業部　看護課

令和３年度は、コロナ感染症対策の更なる徹底を図ることに重点を置きながら、入居者様が穏やかな暮らしができるよう、医務室として尽力した。

前年度より検討されていたコロナワクチン接種について、法人全体との連携を図りながら、実施に向けての準備に早期に着手し、入居者様、職員の体調管理の徹底を図ることで、ドクターストップ以外の対象者全員に接種することができた。

また、当初より追加接種の情報があったことから、他のワクチンも時期をみながら接種することができた。初めてのワクチンであり、緊急時対応などの確認をしながらの実施となったが、心配された副反応もなく経過したことに安堵し、ご家族様にも接種前後に報告し、安心していただいた。

施設に持ち込まないという職員間の意識を統一し、自己管理の徹底を図った。また、ショート利用時、相談課による詳細な聞き取りの他、看護師が送迎車に同乗し、抗原検査を実施。水際対策の一助を担った。

異常を早期に発見する上での「気づき」は欠かせないが、埼玉医大実証実験での日常生活動作スケール・BI を業務に取り入れることで、身体機能低下を見える化し、早期の対応につなげることができた。嘱託医との連携を密にし、リモートでのご家族様への説明や、意思確認を行い、細心の注意を払いながら、看取り期の面会も実施することができた。

地域の感染状況を見据えながら、受診の対応を行い、関係医療機関への確実な情報提供に努めた。

各委員会に所属し、専門職としての観点から意見を述べ、褥瘡予防など、それぞれの予防対策に参画し対応できた。

コロナウイルス感染症の収束が、未だ予測できず、新年度も引き続き気を引き締めていきたい。また、どのような状況下にあっても、「相手の身になり」看護課としての役割を果たしていきたいと考える。

①健康管理状況

（1）入居者疾患状況（延べ人数）

男女の別	脳血障害による後遺症	高血圧	パーキンソン病	糖尿病	認知症	心疾患	消化器疾患（便秘含）	眼疾患	皮膚疾患	泌尿器系	呼吸器系	骨粗鬆症等整形外科等	悪性新生物	その他		計
男	9	5	0	2	3	8	5	6	1	7	3	9	2	11		71
女	21	27	2	7	19	14	17	13	1	6	3	33	8	28		189
計	30	12	2	9	22	22	22	19	2	13	6	42	10	39		260

（2）医療的処置

男女の別	経管栄養		インシュリン注射	糖尿・日内変動	眠剤管理	VPシャント	ペースメーカー	人工肛門	膀胱瘻	バルンカテーテル
	経鼻	胃瘻								
男	0	0	0	4	1	1	4	0	1	0
女	3	1	1	9	13	0	0	0	1	3
計	3	1	1	13	14	1	4	0	2	3

（3）予防接種状況

入居者	・10/1～11/5 インフルエンザ予防接種	82
	・随時　肺炎球菌ワクチン （ニューモバックス）	4
	・4/21～5/22 コロナワクチン　1,2回目	86
	・1/19～2/4 コロナワクチン　追加接種	83
職員	・10/1～10/31 インフルエンザ予防接種	68
	・4/21～5/22 コロナワクチン　1,2回目	84
	・1/19～2/4 コロナワクチン　追加接種	74

（4）嘱託委回診状況

・回診日　週2回（火曜日、木曜日）　　・時間　17：00～18：00　急変時は随時往診

・回診日以外は14：30電話報告（土曜日は10：30）

（5）健康診断実施状況

対象者	実施年月日	内　容	人数
入居者	4月1日～30日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	84
	10月1日～30日	体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	84
	8月21日	予防医学協会による結核健診	30
	4月1日～9月30日	山崎内科医院による胸部写真撮影	56
職員	5月1日～5月31日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、視力、聴力	61
		採血、胸部写真（妊娠中の者除く）	61
	10月1日～31日	体重、検尿、血圧、心電図、視力、聴力、採血	63

（5）事業部 栄養管理室

百年の里はユニット型の施設であることから、ユニットケアの目指すところである「暮らしの継続」を食事の面から実践するべく、開所時から継続してユニットでの炊飯やみそ汁づくりを介護職員が実施している。

今年度も美味しく・楽しく食事をして頂けるよう、季節に応じた行事食やイベントの他、選択食を積極的に取り入れた。選択食は「その場で選ぶ」ということを念頭におきながら、年間を通して実施することができた。その他に、委託業者の職員による実演調理をしたり、「日本全国グルメの旅」と題して、日本全国のご当地グルメを提供したり、入居者と一緒に調理を行うなどの食事レクも実施したり、普段とは違った雰囲気の中で味だけでなく目で、香りで食事を楽しんで頂けるようサービスを行った。来年度以降も継続し、実施回数を増やしていけるよう取り組んでいきたい。

また、一人ひとりがその人らしく穏やかに生活できるよう栄養の面からのサポートを行ってきた。個別の栄養ケアマネジメントの遂行にあたり、毎月の体重・食事量のモニタリングを行いながら、日々の食事状況や状態の変化を観察し、個人の栄養状態の把握に努めた。状態の低下が見られる場合には、他職種と連携して提供内容（食形態や提供量など）の見直しを臨機応変に行い、食事量・栄養状態の安定を図った。その他、嗜好調査などをもとに個々の嗜好・要望の把握を行い、可能な限りの個別ケアに取り組むことができた。

調理業務においては、安全で美味しい食事の提供を第一に、大量調理施設衛生管理マニュアルを遵守し、厨房内の衛生管理を徹底して行った。自己の健康管理にも十分留意し、厨房からの感染症の発生を防いだ

委託業者を交えた給食委員会を毎月開催し各職種・委託業者から意見を出し合い、より良い食事提供・円滑な給食運営に努めてきた。残食調査を実施し日々の献立作成・食事提供内容へのフィードバックを行い、食事に対する満足度を向上させることに努めた。

＜行事食等提供状況＞

実施日	内　　容
4月2日	中華の選択食（餃子・焼売等の4種）
6日	おかず選択食（イカと大根の煮物/酢豚）
8日	花まつり（なべやき・甘茶）
12日	パンの記念日（きなこ揚げパン）
16日	ごはんもの選択食（ｼｰﾌｰﾄﾞﾋﾟﾗﾌ/ｴｯｸﾞｶﾚｰ）
19日	おかず選択食（八宝菜/新じゃがと挽肉の煮物）
21・22日	お花見バイキング
20～27日	おやつレク（葛餅、かま餅、パフェ、白玉ぜんざい、ホットケーキ）
27日	おにぎり選択食（みそ、梅、鮭）
	※上記の他、ユニット調理実施

お花見バイキング

実施日	内　　容
5月1日	開所記念・お祝い膳
5日	こどもの日（かま餅、どべっこ）
9日	母の日メニュー
11日	パン選択食
13日	おかず選択食（ポークチャップ/ミックスフライ）
18日	丼ぶり選択食（三色そぼろ丼/かき揚げ丼）
19日	ぼたもちバイキング
25日	パン選択食
28日	おかず選択食（鶏のから揚げ/魚の味噌漬け焼き）
	※上記の他、ユニット調理実施

ぼたもちバイキング

実施日	内　　容
6月1日	麺選択食（冷やし中華/山菜とろろそば）
3日	揚げ物選択食（ｱｼﾞﾌﾗｲ/ｺﾛｯｹ/ﾎﾟｰｸｶﾂ）
8日	パン選択食
10日	おかず選択食（焼き魚/揚げ出し豆腐と茄子肉味噌がけ）
15日	おかず選択食（鯖の味噌煮/餃子）
18日	おにぎりの日（とろろ昆布/枝豆と塩昆布/鮭）
20日	父の日メニュー（かつ丼）
22日	日本全国グルメの旅（茨城県・パイタ焼き）
25日	パン選択食
29日	日本全国グルメの旅（奈良県・茶飯、奈良漬け）
	※上記の他、ユニット調理

日本全国グルメの旅（奈良：茶飯と奈良漬）

実施日	内　容
7月7日	七夕メニュー（七夕そうめん）
9日	ごはんもの選択食（夏野菜カレー/炒飯）
12日	日本全国グルメ旅（福井県・越前おろしそば）
15日	運動会メニュー（特製弁当）
20日	麺選択食（冷麺風うどん/夏野菜の天ぷらそば）
22日	日本全国グルメ旅（宮城県・油麩丼）
26日	日本全国グルメ旅（山口県・岩国寿司）
28日	土用の丑（鰻の蒲焼丼）
	※上記の他、ユニット調理実施

運動会メニュー

8月3日	パン選択食
5日	おかず選択食（冷しゃぶ/カレイの唐揚げおろしポン酢）
6日	なのかの日（小豆ばっと）
10日	日本全国グルメ旅（福島県・クリームボックス）
12日	麺選択食（梅しそ素麺/冷やし中華）
14～16日	お盆メニュー
17日	パン選択食
20日	夕涼み会（屋台バーベキュー）
24日	おかず選択食（和風ハンバーグ/焼き魚）
26日	日本全国グルメ旅（長崎県・皿うどん）
	※上記の他、ユニット調理実施

夕涼み会

9月7日	パン選択食
9日	重陽の節句
15日	日本全国グルメ旅（和歌山県・梅、高菜おにぎり）
18日	敬老会・お祝い膳
21日	十五夜（栗ご飯）
23日	秋分の日（おはぎ）
28日	日本全国グルメ旅（大分県・とり天）
	※上記の他、ユニット調理実施

敬老会・お祝い膳

実施日	内　容
10月1日	ごはんもの選択食（ｶﾚｰﾗｲｽ/天津飯）
5日	中華まん選択食（あんまん/肉まん/ﾋﾟｻﾞまん）
7日	日本全国グルメ旅（新潟県・ぽっぽ焼き）
12日	おかず選択食（秋の天ぷら/さば味噌漬け焼き）
15日	日本全国グルメ旅（香川県・しっぽくうどん）
19日	日本全国グルメ旅（山形県・山形風芋煮）
21日	おかず選択食（鮭のちゃんちゃん焼き/ミックスフライ）
22日	収穫祭
26日	パン選択食
28日	ごはんもの選択食（かき揚げ丼/さんまの蒲焼丼）
	※上記の他にユニット調理実施

収穫祭

11月2日	鮨きく池出前出張ｻｰﾋﾞｽ
5日	おかず選択食（栗ｺﾛｯｹ/かに玉風卵焼き）
9日	パン選択食
11日	日本全国グルメ旅（北海道・三平汁）
16日	日本全国グルメ旅（島根県・舞茸ご飯）
19日	おかず選択食（餃子/鱈の甘酢あんかけ）
22日	パン選択食
26日	日本全国グルメ旅（秋田県・きりたんぽ）
29日	麺選択食（海鮮焼きそば/カレーうどん）
	※上記の他、ユニット調理実施

鮨きく池出前出張サービス

12月2日	回転寿司（1日目）
4日	回転寿司（2日目）
8日	日本全国グルメ旅（愛知県・味噌煮込みうどん）
10日	ごはん選択食（ｴｯｸﾞｶﾚｰ/中華丼）
14日	おでんバイキング
17日	日本全国グルメ旅（富山県・鱈汁）
23日	クリスマス忘年会
28日	餅つき大会
31日	大晦日メニュー
	※上記の他、ユニット調理（鍋）実施

クリスマス忘年会

実施日	内　容
1月1日	正月メニュー（あんこもち）
5日	もちの日（くるみ餅）
7日	七草粥
12日	おかず選択食（ぶり大根/豚肉の生姜焼き）
14日	小豆ばっと
15日	小正月
18日	日本全国グルメ旅（埼玉県・おからのゼリーフライ）
21日	麺選択食（煮込みうどん/かき揚げそば）
25日	サンドウィッチ選択食（野菜/あんこ/ピーナッツ）
27日	日本全国グルメ旅（岐阜県・五平餅風味噌おにぎり）

※上記の他、ユニット調理（鍋）実施

お正月メニュー

2月1日	日本全国グルメ旅（岡山県・きび団子のお汁粉）
3日	節分メニュー（恵方巻き）
8日	中華まん選択食（あんまん/肉まん/ﾋﾟｻﾞまん）/
10日	日本全国グルメ旅（山梨県・ほうとう）
14日	バレンタインデー（チョコケーキ）
17日	餅バイキング（あんこ/胡麻/きな粉/くるみ/ずんだ）
22日	日本全国グルメ旅（兵庫県・姫路おでん）
25日	おかず選択食（餃子/鯖の味噌漬け焼き）
26日	おかず選択食（鶏肉のクリーム煮/魚の西京焼き）

日本全国グルメ旅
（岡山県・きび団子のお汁粉）

※上記の他、ユニット調理（鍋）実施

3月1日	パン選択食
3日	ひなまつりメニュー
5日	おかず選択食（天ぷら/焼き魚）
8日	日本全国グルメ旅（青森県・せんべい汁）
11日	おかず選択食（ｺﾛｯｹ2種/さば竜田揚げ）
14日	ホワイトデー
15日	ごはんもの選択食（油麩丼/三食そぼろ丼）
17日	日本全国グルメ旅（東京都・深川めし）
21日	春分の日（ぼたもち）
22日	日本全国グルメ旅（愛媛県・大洲ｺﾛｯｹ）
25日	おかず選択食（アジの南蛮漬け/スパニッシュオムレツ）
29日	麺選択食（たぬきうどん/きつねそば）
31日	山菜の日（ばっけみそ）

※上記の他にユニット調理実施

ひなまつり

広報委員会

令和３年もコロナ禍で自粛している中ではあったが、感染対策を行った上でユニット単位の行事でさまざま実施することができ広報誌の内容も充実したように思う。

１年目委員の指導は各階ペアを組み、ソフトの使い方やデザイン等ワンツーマンで行い作成できるようになった。

また、各ユニットのメモリアルアルバム作成時には、ユニットスタッフへソフトを使ってアドバイスしたり補助することができたので今後も継続していく。

今後もホームページを活用し行事や日常等の写真を定期的に掲載していきたい。

	年月日	開催内容	活動内容
第１回	4月16日	令和３年活動内容	広報誌発行に伴う、ページの割り振り 活動内容の目的について ホームページについて
第２回	7月12日	ソフト勉強会	ソフト（ラベルマイティー）の勉強を毎月ペアで行い、どのくらい作成することが出来るか
広報誌	6月21日	広報誌４，５月号発行	・花見バイキング・花祭り・開所記念日・内部研修（規則について）・ワクチン接種・ユニットの様子（飛鳥Ⅱ入港、散歩コース、母の日）・満百歳（佐々木セイ様）
	8月23日	広報誌６，７月号発行	・大運動会・七夕飾り・さつき展・防災訓練・ユニットの様子（お弁当野外食・父の日）・栄養だより
	10月22日	広報誌８，９月号発行	・夏祭り・敬老会・畑作り・ユニットの様子（ユニット調理・日常の様子）・介護の豆知識
	12月20日	広報誌１０、１１月号発行	・どの自慢・不在者投票・出前寿司・ちんどん屋・枝豆収穫祭・ユニットの様子（習字マイヤ展・月見団子作り）・栄養だより
	2月11日	広報誌１２、１月号発行	・クリスマス忘年会・餅つき・年頭挨拶・ユニットの様子（水木団子作り・正月風景・ユニット調理）・感染症情報・豆知識
施設内掲示写真	・新しい行事の写真はエレベーター内に掲示して更新されたら２階セミパブリックスペースの写真掲示コーナーに移動し入居者様に鑑賞していただく		

リスクマネジメント委員会

令和３年度の主な活動内容としては、委員会として、毎月の事故・ヒヤリハット報告書の情報報告と、今後の対策についての検討、分析を行い、事故の再発防止につなげられるよう取り組んだ。
今年度発生した事故件数は合計２００件、ヒヤリハットは１件の報告となっている。そのうち、レベル４以上の事故は２件発生しており、いずれも転倒、転落による骨折であった。
次年度も引き続き毎月テーマを決めて、各委員が担当ユニットの実情を踏まえた事故防止策を展開できるように取り組んでまいりたい。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第１回	4/19(月)	・今年度の委員会について （活動目標・構成員・活動内容・開催日程・具体的な活動について） ・令和3年3月ヒヤリハット・事故報告書の分析について ・令和3年度の事故・ヒヤリハット報告書の集計について	・今年度の活動についてどのように進めていくかについて検討した。 ・前月のヒヤリハット・事故報告書の分析を行った。 ・車椅子点検票の確認
第２回	5/17(月)	・4月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価	・4月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。また令和元年度の事故報告書の集計について確認した。
第３回	6/21(月)	・5月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 ・車椅子・歩行器点検票について	・5月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 ・ショートの居室環境について1か月ごと見直すこととした。
第４回	7/19(月)	・6月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 ・車椅子・歩行器点検票について	・6月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 ・入居者様個別の対応策について検討した。
第５回	8/16（月）	・7月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 ・車椅子・歩行器点検票について	・7月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 ・入居者様個別の対応策について検討した。
第６回	9/21(火)	・8月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 ・車椅子・歩行器点検票について	・8月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 ・入居者様個別の対応策について検討した。
第７回	10/18（月）	・9月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 ・車椅子・歩行器点検票について	・9月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 ・入居者様個別の対応策について検討した。
第８回	11/15(月)	・10月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 ・車椅子・歩行器点検票について	・10月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 ・入居者様個別の対応策について検討した。
第９回	12/20（月）	・11月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 ・車椅子・歩行器点検票について	・11月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 ・入居者様個別の対応策について検討した。
第１０回	1/17（月）	・12月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 ・車椅子・歩行器点検票について	・12月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 ・入居者様個別の対応策について検討した。
第１１回	2/21（月）	・1月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 ・車椅子・歩行器点検票について	・1月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 ・入居者様個別の対応策について検討した。
第１２回	3/21（月）	・2月ヒヤリハット・事故報告事例概況報告・対策についての検討・分析・再評価 ・車椅子・歩行器点検票について ・今年度の反省、次年度への課題	・2月ヒヤリハット・事故について、報告、検討・再評価を行った。 ・入居者様個別の対応策について検討した。 ・今年度の反省、次年度への課題について

感染予防対策委員会

感染症マニュアルに沿って実践、予防に努めた。ショートステイ利用者１名が皮膚科通院中、疥癬と診断されたが、環境整備や皮膚確認を徹底し、利用者、職員の感染を予防することが出来た。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第１回	令和３年４月30日	・今年度の活動計画	・今年度の活動計画について
第２回	令和３年５月６日	・４月の感染症の発生状況 ・感染症マニュアルについて	・感染症の発生状況 ・感染マニュアルの周知、徹底
第３回	令和３年６月14日	・５月の感染症の発生状況 ・冷蔵庫点検について	・感染症の発生状況について ・冷蔵庫点検票の見直し、食品管理について
第４回	令和２年７月15日	・６月の感染症の発生状況 ・６月の反省	・感染症発生状況について ・食中毒予防について ・冷蔵庫点検票の活用状況について
第５回	令和２年８月19日	・７月の感染症の発生状況 ・７月の反省	・感染症発生状況について ・食中毒予防について
第６回	令和２年９月６日	・８月の感染症の発生状況 ・８月の反省	・感染症発生状況について ・食中毒予防について ・感染症マニュアルの実践、徹底
第７回	令和２年10月22日	・９月の感染症の発生状況 ・９月の反省	・感染症の発生状況について ・冷蔵庫点検票の活用、衛生管理について ・インフルエンザ、コロナの対応について
第８回	令和２年11月16日	・10月の感染症発生状況 ・10月の反省	・感染症発生状況について ・疥癬の対応、環境整備について
第９回	令和２年12月６日	・11月の感染症発生状況 ・11月の反省	・感染症発生状況について ・インフルエンザ、ノロウイルスの対応について
第10回	令和３年１月21日	・12月の感染症発生状況 ・12月の反省	・感染症発生状況について ・インフルエンザ、ノロウイルスの対応について
第11回	令和３年２月７日	・１月の感染症発生状況 ・１月の反省	・感染症発生状況について ・インフルエンザ、コロナの対応について
第12回	令和３年３月７日	・２月の感染状況 ・今年度のまとめ	・感染症発生状況について ・今年度の反省とまとめ

褥瘡予防対策委員会

褥瘡発生リスクの高い利用者を中心に個別訪問を実施し、体位交換や正しいポジショニング等を確認し、周知に努めた。来年度もブレーデンスケール、OH スケールを使用し褥瘡発生のリスクを評価し、褥瘡予防をしていく。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	令和3年4月30日	・今年度の活動計画	・今年度の活動計画について
第2回	令和3年5月21日	・入居者の全身状態、皮膚状態について（ユニット訪問）	・褥瘡褥瘡リスクの高い方(2名)の全身状態・皮膚状態の確認、ポジショニングの指導
第3回	令和3年6月29日	・皮膚トラブル予防	・皮膚トラブル予防の為個別におむつ、パットの選択、使用方法の指導、エアーマットの導入
第4回	令和3年7月27日	・入居者の全身状態、皮膚状態について(ユニット訪問)	・入居者様個別訪問し、皮膚状態観察・体位交換・ポジショニング・エアーマットの導入
第5回	令和3年8月24日	・ブレーデンスケール	・ブレーデンスケール使用し褥瘡発生リスクの評価、エアーマット使用の評価
第6回	令和3年9月24日	・入居者の全身状態、皮膚状態について(ユニット訪問)	・入居者様個別訪問し、皮膚状態観察・体位交換・ポジショニング・清潔等の指導(1名)
第7回	令和3年10月14日	・入居者の全身状態、皮膚状態について(ユニット訪問)	・入居者様個別訪問、皮膚状態観察・栄養状態確認・ポジショニング・清潔等の指導(1名)
第8回	令和3年11月18日	・入居者の全身状態・皮膚状態について(ユニット訪問)	・入居者様個別訪問し、皮膚状態観察・ポジショニングを確認し指導(1名)
第9回	令和3年12月17日	・入居者の全身状態・皮膚状態について(ユニット訪問)	・入居者様個別訪問、皮膚状態観察・栄養状態確認・ポジショニング・清潔等の指導(1名)
第10回	令和4年1月18日	・入居者の全身状態・皮膚状態について(ユニット訪問)	・入居者様個別訪問、皮膚状態観察・栄養状態確認・ポジショニング・清潔等の指導(1名)
第11回	令和4年2月17日	入居者の全身状態・皮膚状態について(ユニット訪問)	入居者様個別訪問し皮膚状態観察・体位交換・ポジショニング・清潔等の指導(1名)
第12回	令和4年3月24日	・今年度のまとめ	・今年度の反省とまとめ

身体拘束廃止委員会

今年度、身体拘束実施者は3名となっており、いずれも経管栄養のカテーテルが入っている方の安全確保のためのミトン使用について、身体拘束実施経過検討を行うも、自己抜去のリスクが高く、廃止まで至らなかった。

身体拘束は高齢者虐に繋がることでもあり、委員会として、研修会の開催や啓発活動を通じて、職員の身体拘束廃止に向けた意識向上や、虐待のない安心した生活が送れる施設作りに繋げるような活動を中心に行うことができた。

回数	年月日	検討議題	内容
第1回	令和3年4月5日	身体拘束に関する経過検討	2名の方が経鼻ｶﾃｰﾃﾙ抜去予防の観点からミトン使用されており、ご家族もご本人の心身に関する苦痛を緩和したいとのことで希望され、今年度も引き続き、廃止に向けて経過観察していくこととした。
第2回	令和3年5月6日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。
第3回	令和3年6月7日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。
第4回	令和3年7月5日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。また、『ﾍﾞｯﾄﾞ安全点検ｼｰﾄ』を作成し、適切なﾍﾞｯﾄﾞ配置がなされているか等の点検を実施した。
第5回	令和3年8月2日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。
第6回	令和3年9月6日	身体拘束に関する経過検討	胃ろうチューブが入っている方が入所され、抜去リスクがあることからミトン使用されており、対象者となったため、今後、身体拘束実施経過観察と、検討を行っていくこととした。
第7回	令和3年10月4日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。
第8回	令和3年11月1日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。また、『ﾍﾞｯﾄﾞ安全点検ｼｰﾄ』を作成し、適切なﾍﾞｯﾄﾞ配置がなされているか等の点検を実施した。
第9回	令和3年12月6日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。
第10回	令和4年1月6日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。また、『ﾍﾞｯﾄﾞ安全点検ｼｰﾄ』を作成し、適切なﾍﾞｯﾄﾞ配置がなされているか等の点検を実施した。
第11回	令和4年2月7日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。
第12回	令和4年3月7日	身体拘束に関する経過検討	身体拘束実施経過検討を行うも、廃止にすることが出来なかった。今年度の反省と、次年度の活動について話し合いを行った。

給食委員会

委員を通じて、入居者様の食事に関する意見や要望を各職種・委託業者に伝え、より良い食事を提供するための意見交換を行った。また、食欲不振や体調不良の入居者様に対して、各種職員と連携し摂取状況や嗜好の把握を行い、その方に見合った食事を提供し、少しでも摂取量が増えるよう努めてきた。また、選択食やバイキングの実施やユニット調理に力を入れ、入居者様の食事がより美味しく楽しいものになるよう努めてきた。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	4月9日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・今年度の活動計画について ・食事提供（各課から）について
第2回	5月14日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・献立内容の検討について
第3回	6月11日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・食事提供（各課から）について ・嗜好調査について
第4回	7月13日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・冷蔵庫の温度管理について
第5回	8月13日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・残食調査について
第6回	9月10日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・敬老会のお祝い膳について ・衛生管理について
第7回	10月12日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・敬老会の反省について ・生ものの提供について
第8回	11月12日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・日常の給食提供について ・嗜好調査について
第9回	12月17日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・年末年始の行事確認
第10回	1月23日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・年末年始の行事の反省 ・日常の献立への要望
第11回	2月10日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・衛生点検について
第12回	3月11日	・食事提供内容 ・翌月の予定	・前月行事食の総評 ・日常の献立への要望

内部研修委員会

今年度の研修は、感染症予防の観点から、一堂に会した研修の開催をなるべく避け、日程を分散させる等、密にならないような工夫を行いながら実施した。また、資料配布という形で、全職員に周知徹底を図り、個々の学習を進め、職員の資質向上に努ることができた。

		内部研修
4月	20日	就業規則について ハラスメントについて 身体拘束等適正化について 個別ケアについて
5月	12日・13日	特養の根拠法、定義、入居条件等ユニットケアについて 成仁会基本理念について及び今年度について：東副施設長
	27日	個人情報保護法について 接遇について　：平山課長
6月	16日	”不適切ケア”とはなにか 排泄障害（頻尿・夜間頻尿・機能性） ※オンライン研修：日本コンチネンス協会・牧野美奈子氏
	23日	感染症及び食中毒予防まん延防止について　：山田看護係長 プライバシー保護について　：松澤介護係長
	24日	褥瘡、誤嚥性肺炎、転倒・転落の各対策及び 施設専用車椅子について ※オンライン研修：㈱モルテン主催
7月	29日	事故発生時の対応について　：佐々木相談課長 褥瘡予防について　：互野看護主任
8月	27日	身体拘束について　：平山相談課長
9月	27日	権利擁護について　：遠藤相談課長 認知症及び認知症ケアについて　：佐々木相談課長
	28日	緊急時の対応と施設の医療について　：平山相談課長
10月	7日	身体拘束廃止について　：佐々木相談課長 ターミナルケアについて　：東副施設長
11月	25日	ノロウィルス予防対策について　：山田看護係長 リスクマネジメントについて　：佐々木相談課長
12月	7日	褥瘡予防について　：互野看護主任 介護職員の為の感染対策マニュアル　：山田看護係長
1月	28日	交通安全について　：遠藤相談課長 職員のメンタルヘルスについて　：東副施設長 看取りケアについて　：平山相談課長
2月	25日	介護保険制度について　：遠藤相談課長 腰痛予防について　：平山相談課長
3月	17日	非常災害について　：島貫介護主任
	30日	新年度事業計画について　：東副施設長

医療的ケア対策推進委員会

令和３年度も、認定介護員を対象としたフォローアップ研修を実施した。また今年度も新型コロナウィルスの感染予防対策のため外部研修に参加することができなかったため、内部研修委員会とも連携し認定介護員以外でも研修に参加できるようにしたほか、緊急時の対応、施設の医療などの研修に取り組んだ。後半は新型コロナウィルスの発生状況を鑑み、一堂に集まることを避け資料配布とした。

今後も法令に則りながら、入居者様の安全を確保し、質の高いケアを提供できるよう委員会活動を継続していく。

第１回	令和３年４月27日（火）	今年度の活動計画について	活動計画立案
第２回	令和３年６月14日（月）	認定介護員フォローアップ研修（第１回）	痰の吸引手技の確認（ＤＶＤ研修）
第３回	令和３年９月28日（火）	認定介護員フォローアップ研修（第２回） 緊急時の対応について	経管栄養の手順（ＤＶＤ研修） 内部研修として全職員対象で開催
第４回	令和４年１月28日（金）	認定介護員フォローアップ研修（第３回） 看取りケアについて	痰の吸引手技の確認（資料配布） 内部研修として全職員対象（資料配布）
第５回	令和４年３月18日（金）	認定介護員フォローアップ研修（第４回）	経管栄養の手順手技の確認（資料配布）

労働安全衛生委員会

労働安全衛生法に基づき、労働安全衛生委員会を毎月開催した。
1年を通して労働災害の発生はなかった。委員会では、産業医、本部員、各課職員参加のもと、労働者の健康障害を防止するための基本対策、労働者の健康の保持増進を図るための基本対策、労働災害の原因及び再発防止策で衛生に関する事項について検討を行った。

No.	開催日	検討内容
第1回	令和3年4月27日	委員会年間実施予定について
第2回	令和3年5月27日	職員の健康診断について
第3回	令和3年6月22日	食中毒予防について
第4回	令和3年7月29日	熱中症予防について
第5回	令和3年8月26日	生活習慣病予防について
第6回	令和3年9月30日	過重労働と健康障害について
第7回	令和3年10月26日	交通事故防止について
第8回	令和3年11月30日	年次休暇の取得について ストレスチェックの実施について 職員の健康診断について
第9回	令和3年12月16日	感染症予防について
第10回	令和4年1月25日	メンタルヘルスについて
第11回	令和4年2月22日	腰痛予防について
第12回	令和4年3月22日	ストレスチェックについて

職員研修実施状況(外部研修)

日付	内容	出席者		研修内容
5月18日～20日	令和3年度岩手県介護支援専門員更新研修	保健師兼看護師	今野香織	介護支援専門員の更新
5月28日	杜の里福祉会理事会出席のため	副施設長 事務長 総務係長 総務係長	志田純子 菊池郁子 金野優子 岩城尚昭	理事会オブザーバー出席
6月9日～11日	令和3年度岩手県介護支援専門員更新研修	保健師兼看護師	今野香織	介護支援専門員の更新
6月20日～22日	成仁会定時評議員会並びに第2回理事会出席	副施設長	志田純子	法人理事会出席
6月21日	成仁会定時評議員会並びに第2回理事会出席	営繕課長	鈴木順	法人理事会運転手として同行
6月21日～22日	成仁会定時評議員会並びに第2回理事会出席	副施設長 副施設長 事務長 総務係長 総務係長	東美也子 和田工 菊池郁子 金野優子 岩城尚昭	法人理事会出席
6月25日	杜の里福祉会定時評議員会出席	副施設長 事務長	志田純子 菊池郁子	オブザーバー出席
6月28日～30日	令和3年度岩手県介護支援専門員更新研修	保健師兼看護師	今野香織	介護支援専門員の更新
7月9日	アンクレット装着勉強会	介護係長	松澤修	杜の里にて装着勉強会
10月9日	介護施設における安全対策担当者養成研修	副施設長	東美也子	事業所必須研修のため受講
10月26日	令和3年度沿岸地区医療安全対策研修会及び看護業務セミナー	副施設長	東美也子	沿岸地区情報共有のため(リモート)
10月31日	令和3年度岩手県栄養士会生涯教育研修会	管理栄養士	松田佳奈	介護報酬改定に伴う栄養ケアマネジメントについて(リモート)
11月4日	2021年度健康的な食事(スマート和食)推進マスター講座	管理栄養士	松田佳奈	三大栄養素について(リモート)
11月24日	気仙地域被災者こころのケア従事者等研修会	副施設長	東美也子	気仙地区情報共有のため(リモート)
1月30日	介護福祉士受験	介護員 介護員	見世晶史 東川聖奈	初回の介護福祉士受験のため
3月16日	川田税理士との面談	事務長	菊池郁子	顧問契約前の打合せ

社会貢献・公益的取組

日付	取組	備考
令和3年6月 ～ 令和4年3月	新型コロナウイルスワクチン接種会場 (計41日間)	場所:成仁ハウス百年の里地域交流スペース 備考:山崎内科医院の接種会場として提供
11月25日	立根町地区助け合い協議会 「出前講座」	参加者:副施設長 東美也子

成仁ハウス百年の里　1年間の様子

令和3年4月8日
【花祭り】

令和3年4月22日
【お花見バイキング】

令和3年5月1日
【開所記念日】

令和3年5月7日
【母の日・カーネーション贈呈】

令和3年6月1日
【さつき展】

令和3年6月17日
【お弁当作り】

令和3年7月7日
【七夕】

令和3年7月15日
【大運動会】

成仁ハウス百年の里　1年間の様子

令和3年8月13日
【迎え火】

令和3年8月20日
【夕涼み会】

令和3年9月16日
【大船渡東高校折り鶴寄贈】

令和3年9月18日
【敬老会】

令和3年10月19日
【のど自慢大会】

令和3年10月22日
【枝豆収穫祭】

令和3年11月2日
【仙台・鮨菊池出張出前】

令和3年11月9日
【ちんどん・寺町一座来荘】

成仁ハウス百年の里　1年間の様子

令和3年12月23日
【クリスマス忘年会】

令和3年12月24日
【IBCラジオ・ラジソン】

令和3年12月28日
【餅つき大会】

令和4年1月1日
【元旦】

令和4年1月8日
【書初め】

令和4年2月3日
【節分　豆まき大会】

令和4年2月17日
【ｼﾞｮｲｻｳﾝﾄﾞオンラインレク体操】

令和4年3月29日
【すき焼き作り】

令和３年度

事　業　報　告

（自　令和３年４月１日　　至　令和４年３月31日）

特別養護老人ホーム　富美岡荘

令和３年度の事業を振り返って

～肌と肌とを通して安心と信頼が感じあえる支援を致します～

令和３年度は、コロナの予防で始まりコロナの予防で１年が終わったように思います。現在も継続してコロナ予防を行っています。やや治まりつつあった時期には、面会制限等を解除した時期もありましたが、令和４年１月頃よりオミクロン株の感染拡大となり、法人として再度、感染症対策会議を実施し、手洗い・うがい・アルコール消毒や面会の制限等、外部からの感染を出来るだけシャットアウトすることと、職員も出来るだけ不要不急の外出はなるべくひかえるようにして入居者様に絶対感染させないよう、引き続き予防を徹底しております。

コロナ過では、携帯電話を使っての新しい面会の方法（オンライン面会）で入居者様の状況をお知らせすることが出来、敬老会では、個々の入居者様にDVDを作成しご家族様に配布し大変好評でした。企画した行事は、施設内で出来る行事は規模を縮小して実施をしましたが、最大のイベントである成仁会夏祭り・盛町道中踊りは昨年同様中止となり、成仁会のPRや地域の方々への感謝の気持ちを表すことが出来ずとても残念でした。

社会貢献として、初めて猪川町下富岡公民館で出張介護講座を実施しました。今後は、在宅介護支援センターと連携を密にして地域に出向き様々な事をお知らせしたいと思います。

埼玉医大との実証実験を継続して毎月実施しています。必ず成功させるべく、職員一丸となって成果をあげて結果を残し、次年度も継続したい。

その他は、大きな事故（骨折等）なく経過した１年であったことに感謝し、常に入居者様全員の大切な命をお預かりしていることを、全職員が緊張感をもって入居者様に寄り添って支援した事に感謝します。

長期入所42床・短期入所が10床、やむを得ない定員超過１名、合計で53名の入居者様となっております。

長期入所の稼働率が、100%、短期入所の稼働率では、111%、今年度の目標である安定した運営に貢献できました。長期入所の介護度は、4.31。短期入所の介護度は4.02である。入所平均年齢は、87.2歳。入所期間では、2.1年と昨年同様となっています。退所者人数では11名です。

これらの統計から、ここ最近の入所者については、入所する時点で年齢が高く重度化・重症化が進んでいる状況であり、その中で、いかに入居者様の方々・ご家族様の方々に安心して施設生活を送れるようにするには、会長・理事長が常に話されている「相手の身になって」考え、入居者様に「寄り添う介護」パーソナルケアがいかに必要であるか来年度も益々、職員みんなで一人ひとりを見つめ直し、更なる職員の資質の向上を目指して、穏やかに入居者様・ご家族様・職員皆が生活出来るよう、職員一丸となって精進してまいります。

特別養護老人　ホーム富美岡荘

施設長　　村　上　　博

１．各課の事業実施状況

（１） 総務部　総務課（庶務課・経理課・業務係）

総務部・総務課としては、コロナ過の中で、消毒等の備品の確保、欠品しないように綿密にチェックし、施設内における各課・各部署との連携を密に行い、本部からの指示・対策を的確に職員に伝達し、各事業所との連携・連絡調整を的確に実施した。

今年度はじめから、面会制限となってしまい、富美岡荘に出入りする入居者様のご家族様や業者の方に対し大変申し分けなかったが、電話での対応は、常に明るい雰囲気で感謝の気持ちを忘れず対応をした。

経費の節約は、細部に渡りチェックし、ムリ・ムダを極力省き適正な運営を実施した。今後も事務所主導で、本部の会計とも詳細に協議を重ね、経費の削減について徹底的に分析し収益を上げるようチェック体制の強化を図った。

事務処理においては、透明性・公平性が求められる中で、請求書等は二重・三重のチェック体制を確立し適切かつ正確に毎月遅れることなく適正に処理ができた。

（２）事業部　生活相談課

コロナ過での入所は、相当に気を使った。受け入れする際には、ご家族様等にコロナ感染の有無の調査等かなりのチェックがあった。現入所者様の安全・安心を守るためのものであり、面会もこの１年間禁止状態となってしまったため、新しい面会の方法として、携帯電話を使用した面会（オンライン面会）方法で実施をし、ご家族様の方々からは好評であった。また、広報を通して近況報告もいつも以上に細かな報告を提供した。

相談課として最重要課題である稼働率であるが、長期入所定員 42 名の稼働率 100%で稼働（1 日も空き０）した。　短期入所においては、定員 10 名の稼働率で 111%であった。やむを得ない事情による定員超過の受け入れが 1 件あった。

身体拘束は、経鼻経管栄養の長期入居者２名に対して、24 時間ではなく食事時間帯等を実施し、他様々工夫している。虐待予防に向けた取り組みの中で、施設内研修での職員研修を実施し、虐待予防に関する指針の周知徹底を図った。

苦情関係では、殆ど面会がないなか苦情はなく、逆に、このコロナ蔓延で職員に対し、この大変な時期に本当にご苦労様ですとの、励ましの電話やお手紙が多かった。

（3）事業部　介護課

年度早々から新型コロナウイルス感染症拡大が世界的規模で問題になっている中、本部の対策会議から予防対策の指示が早め早めにあり、施設内で感染症予防対策の内部研修を行い、徹底したうがい、手洗い、アルコール消毒、施設内の消毒、加湿、換気等を徹底して実施し予防に努めた。職員は不要不急での外出は出来るだけ避け、どうしても管内から離れるときは上司に報告し消毒液持参で出掛けるよう徹底した。インフルエンザ、ノロウイルス等の感染予防も同様に実施し感染者は無かった。

骨折等の大きな事故もなく経過した。昨年以上に職員の観察力・注意力・介護の方法の質が向上している事を実感している。（同じミスを繰り返さないよう予防策を徹底した結果）

埼玉医科大の実証実験を１年継続したことで、今後、実証実験を更に積み重ね、新しい発見や様々情報を採取しデータがより確実なものにしていきたい。

計画した行事は、滞りなく実施はしたが、今年の行事は、ご家族様の参加なしの行事であったため、いつも通りの入居者様・ご家族様のふれあいが無かった１年であったが、その分職員が奮闘して、笑顔あふれる行事となった。また、この様子をホームページに掲載したり、DVD にしてご家族様に発送し、大変講評であった。

来年もコロナ過の中で入居者様のストレスをためず、穏やかな生活をしていただくよう寄り添うケアの継続をする。

(4) 事業部　看護課

令和３年度４月から、コロナウイルス感染症予防として、うがい・手洗い・アルコール消毒を徹底して実施した結果、入居者様のインフルエンザ、ノロウイルスの感染予防も実施できた。更に、面会規制（禁止）もあり徹底した防止ができた。また、コロナ予防として３月までにコロナワクチンを３回摂取できた。

入居者様・職員共に年２回の健康診断と年１回の胸部レントゲン撮影やインフルエンザの予防接種を実施した。５年に１回の肺炎球菌ワクチン接種対象者に実施出来た。

施設でのターミナルケアを希望された場合、面会は、感染症対策を万全に行い、嘱託医の指示やご家族様の意向を確認し、相談課、介護課、看護課と充分な連携を図り、オンコール体制にて入居者様の尊厳を大切にしながら看取りケアの対応を実施した。

各課連携して全職員で入居者様一人ひとりを見つめ直し、入居者様の尊厳を守り、安心して笑顔あふれる暮らしを送れるように、職員更なる資質の向上を目指します。

(5)栄養管理室

今年度もおいしく・楽しく安全に食事をいただけるよう、委託業者や他職種との協力で業務を行った。

また、一人ひとりがその人らしく穏やかに生活できるよう栄養面からのサポートを実施した。個別の栄養ケアマネジメントの遂行にあたり、毎月の体重・食事量等のモニタリングを行いながら、日々の食事摂取状況や状態の変化を観察し、個人の栄養状態の把握に努めた。食事摂取の低下が見られる場合には、他職種と連携し食事内容や提供量等の見直しをその都度行い、食事量・栄養状態の安定を図った。その他、嗜好調査や食事摂取観察等行う中で、嗜好や要望の把握を行い、可能な限り個別ケアに取り込むことができた。

コロナウイルス等の感染予防の為、午前のおやつにアーモンドミルクを提供し、入居者様の免疫力を強化するよう取り組んだ。(アーモンドミルクには、免疫力アップが期待されるビタミンEが牛乳の30倍以上含まれることから、感染防止策として最適と考え乳製品の変更に至った。)入居者様が安全に美味しく食事をいただけるよう、今後も各職種と委託業者と一体となって取り組んでいきたい。

調理業務においては、安全で温かくて美味しい食事の提供を第一に、大量調理施設衛生管理マニュアルを遵守し、厨房内の衛生管理を徹底して行った。自己の健康管理にも十分留意し、厨房からの感染症の発生を防いだ。また、毎月給食委員会を開催し、各職種・委託業者から意見を出し合い、より良い食事提供・円滑な給食運営に努めた。

利 用 者 実 績

平均介護度は、長期入所4.31　短期入所4.02と、前年度の長期4.25　短期3.46に比べ高くなっている。

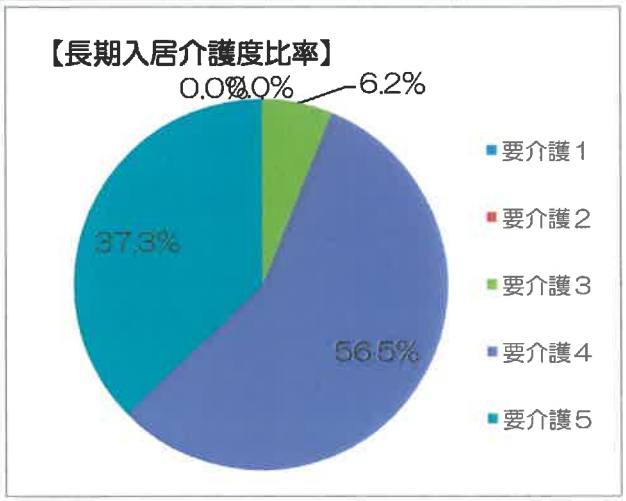
稼働率については、短期入所における、やむ得ない事情による定員超過を1名受け入れており、長期入所の定員超過はいない。長期入所の方の入院による空床利用等は実施した。平均稼働率

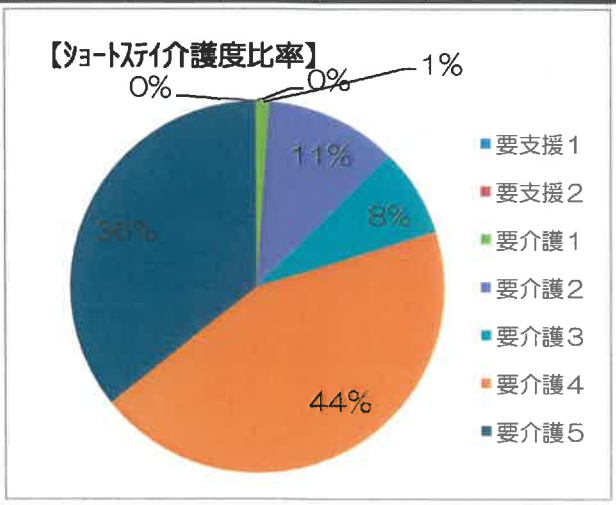
【長期入所】

提供月	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度	被災者 及び措置入所	利用ベッド数	ベッド定数	稼働率
令和3年4月	0	0	3	24	17	4.32	0	1,260	1,260	100%
5月	0	0	3	26	15	4.27	0	1,302	1,302	100%
6月	0	0	2	24	16	4.33	0	1,260	1,260	100%
7月	0	0	2	24	16	4.33	0	1,302	1,302	100%
8月	0	0	2	24	16	4.33	0	1,302	1,302	100%
9月	0	0	3	24	18	4.33	0	1,260	1,260	100%
10月	0	0	3	23	16	4.31	0	1,302	1,302	100%
11月	0	0	3	25	16	4.30	0	1,260	1,260	100%
12月	0	0	3	24	16	4.30	0	1,302	1,302	100%
令和4年1月	0	0	3	24	15	4.29	0	1,302	1,302	100%
2月	0	0	3	24	15	4.29	0	1,176	1,176	100%
3月	0	0	2	25	16	4.33	0	1,302	1,302	100%
合計	0	0	32	291	192	年平均	0.00	15,330	15,330	年平均
（下段:比率）	0.0%	0.0%	6.2%	56.5%	37.3%	4.31				100%

【短期入所】　（※ベッド数での換算）

提供月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度	ベッド定数	利用ベッド数	稼働率
令和3年4月	0	0	6	39	37	168	93	3.88	300	343	114%
5月	0	0	0	40	28	153	133	4.07	310	354	114%
6月	0	0	0	44	16	152	119	4.05	300	331	110%
7月	0	0	0	26	23	141	145	4.21	310	335	108%
8月	0	0	13	23	19	120	157	4.16	310	332	107%
9月	0	0	3	26	28	145	127	4.12	300	329	110%
10月	0	0	3	35	54	154	98	3.90	310	344	111%
11月	0	0	8	40	29	144	110	3.93	300	331	110%
12月	0	0	7	53	29	169	98	3.84	310	356	115%
令和4年1月	0	0	9	48	34	153	105	3.85	310	349	113%
2月	0	0	0	43	8	132	127	4.11	280	310	111%
3月	0	0	0	42	3	162	134	4.14	310	341	110%
合計	0	0	49	459	308	1793	1446	年平均	3,650	4,055	年平均
（下段:比率）	0%	0%	1%	11%	8%	44%	36%	4.02			111%



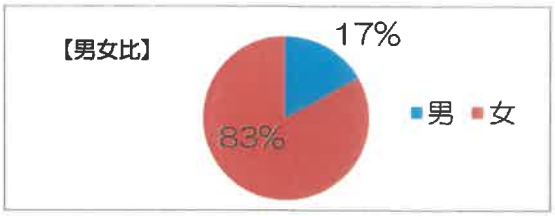


入居者の状況

長期入居定員４２名、男女比は男性１７％、女性８３％である。平均年齢は、昨年度は８６．３歳、今年度は８７．２歳、と推移。年齢層には幅があるので、より個別性の高いケアが求められる。平均入所期間は約２年間となっている。

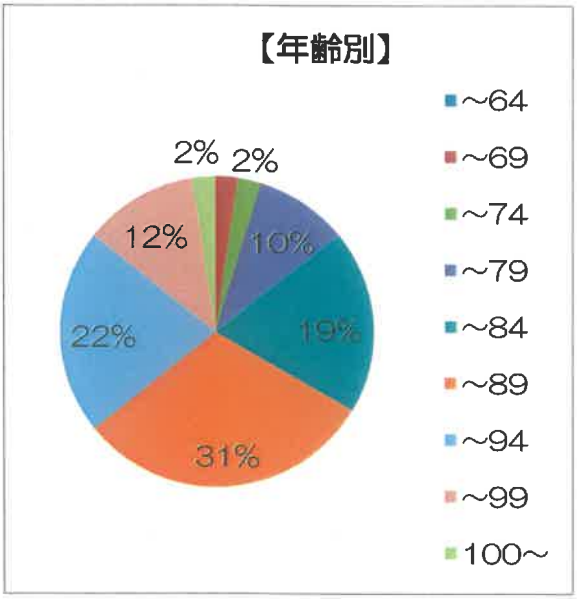
（１）市町村別入居者の状況（令和4年3月31日現在　単位：人）

保険者名	男	女	計
大船渡市	7	34	41
陸前高田市	0	0	0
釜石市	0	1	1
合計	7	35	42



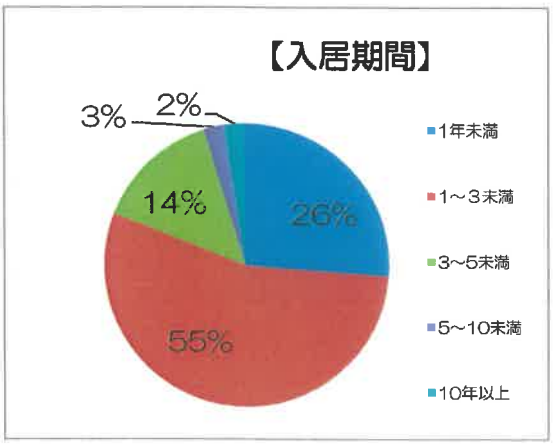
（２）年齢別状況（令和4年3月31日現在　単位：人）

	男	女	計
～64	0	0	0
～69	1	0	1
～74	1	0	1
～79	0	4	4
～84	1	7	8
～89	2	11	13
～94	2	7	9
～99	0	5	5
100～	0	1	1
計	7	35	42
最高	94	100	
最低	69	77	
平均	83.8	87.9	87.2



（３）入居期間の状況（令和3年3月31日現在　単位：人）

	男	女	計
1年未満	1	10	11
1～3未満	4	19	23
3～5未満	1	5	6
5～10未満	1	0	1
10年以上	0	1	1
計	7	35	42
平均(ヶ月)	33.1	25.4	26.7



入　退　所　者　の　状　況

今年度は、入所者11名、退所者11名となっている。
入所経路については、全員が富美岡荘短期入所からの受入れであり、退所に関しては、全員が施設にて永眠の為退所されている。

【入所者】

No	入居年月日	氏　名	介護度	保険者
1	令和3年4月5日	A・O	4	大船渡市
2	令和3年4月22日	S・S	4	大船渡市
3	令和3年5月9日	H・W	4	大船渡市
4	令和3年5月15日	T・S	4	大船渡市
5	令和3年9月11日	M・N	5	大船渡市
6	令和3年9月27日	F・K	4	大船渡市
7	令和3年9月30日	S・S	5	大船渡市
8	令和3年11月4日	E・K	4	大船渡市
9	令和3年11月8日	Y・I	5	大船渡市
10	令和3年12月7日	K・M	4	大船渡市
11	令和4年3月7日	M・T	5	大船渡市
12				

【退所者】

No	退去年月日	氏　名	介護度	退所理由
1	令和3年4月4日	K・H	4	施設にて死亡
2	令和3年4月21日	Y・T	5	施設にて死亡
3	令和3年5月8日	M・K	3	施設にて死亡
4	令和3年5月14日	K・K	4	施設にて死亡
5	令和3年9月10日	A・M	5	施設にて死亡
6	令和3年9月26日	T・Y	4	施設にて死亡
7	令和3年9月29日	K・S	4	施設にて死亡
8	令和3年11月3日	M・N	4	施設にて死亡
9	令和3年11月7日	M・H	4	施設にて死亡
10	令和3年12月6日	K・I	5	施設にて死亡
11	令和4年3月6日	T・I	5	施設にて死亡
12				

入退所検討委員会

令和３年度の新規入居申込者数は、８７名だった。入居申込み数と今までの入居申込み待機者に対する意向調査を精査した結果、令和３年度末時点での長期入所の希望者は５４名となった。

入退所検討委員会の開催は随時とし、法人内合同で入退所検討委員会を設置し開催した。岩手県の指針に基づき、入居決定過程の透明性・公平性を確保し、お客様と地域のニーズにお応えできるよう努めた。

１．入退所検討委員会会議

回数	日時	会議参加者	入所検討者数
第１回	令和３年９月３日	２名	１２名
第２回	令和４年１月１４日	２名	１１名

２．新規入居申込者数一覧　　単位：人

令和３年度	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	申請中	未記入	合計
合計	０	３	１４	３９	１８	１３	０	８７

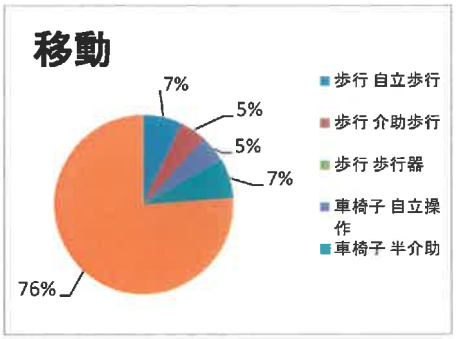
※申込みの介護度は、受付した時点での要介護度となっている。

入所者の介護状況

長期入居者42名 約82%の方々が何らかの介助を必要としている。
今後も自立支援を目標とする。

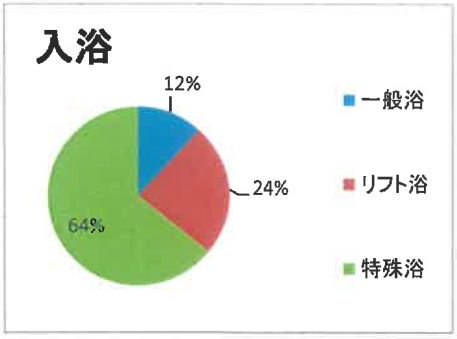
【移動】

歩行			車椅子		
自立歩行	介助歩行	歩行器	自立操作	半介助	全介助
3	2		2	3	32



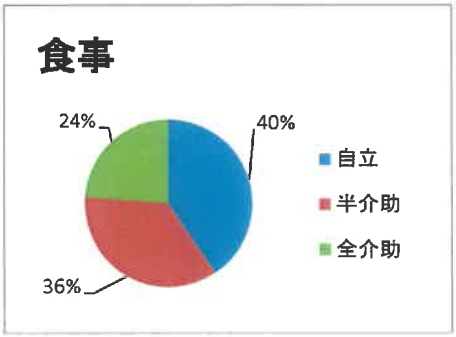
【入浴】

一般浴	リフト浴	特殊浴
5	10	27



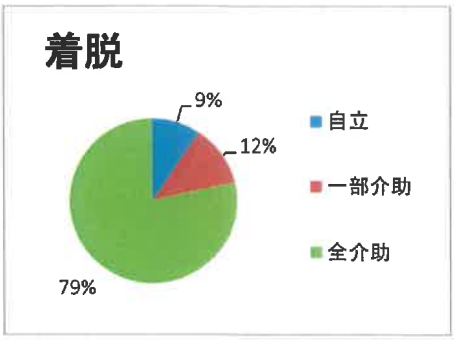
【食事】

自立	半介助	全介助
17	15	10



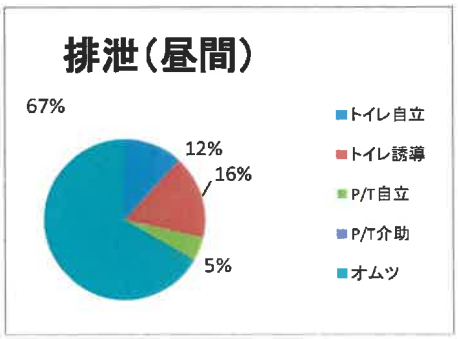
【着脱】

自立	一部介助	全介助
4	5	33



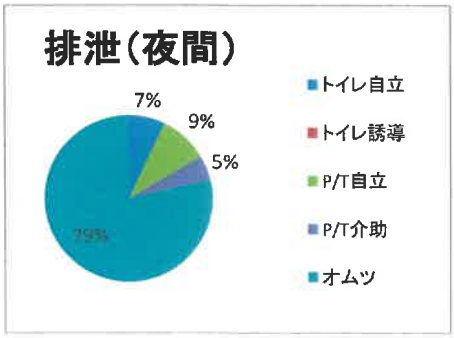
【排泄】（昼間）

トイレ自立	トイレ誘導	P/T自立	P/T介助	オムツ
5	7	2		28



【排泄】（夜間）

トイレ自立	トイレ誘導	P/T自立	P/T介助	オムツ
3		4	2	33



地域交流・行事実施状況

今年度は、施設内での活動に限られ、地域との関わりを積極的にもつことができなかった。施設生活の楽しみ方を提供する事で日々の生活にメリハリがついたと思われる。

月	日	行事等	内容	参加人員
R3	8日	花まつり	お釈迦様のお誕生日をお祝いした。	31名
4月	14日	観桜会	誕生者と観桜会を一緒に実施。	50名
	14日	誕生会	誕生者を紹介し、ｶﾗｵｹのち桜音頭を踊りお祝いした。	50名
5月	1日	富美岡荘開所記念日	富美岡荘の開荘を祝い、お祝い膳を提供し、成仁会の歴史を振り返った。	53名
	9日	母の日イベント	メッセージカードに感謝の気持ちを書き写真撮影した。	45名
	23日	誕生会	お菓子を頂きながら、誕生者を紹介しお祝いした。	52名
6月	9日	富美岡荘運動会(スポーツ大会)	野外で体を動かし、入居者様や職員と交流を図った。	53名
	20日	父の日イベント	メッセージカードに感謝の気持ちを書き写真撮影した。	43名
	23日	誕生会	誕生者を紹介し、職員・入居者様とホットプレートを使用焼うどんや焼きそばを作りお祝いをした。	43名
7月	26日	誕生会	BBQを頂きながら、誕生者を紹介しお祝いした。	33名
8月	13日	迎え火	先祖の霊をお迎えした。	25名
	16日	送り火	先祖の霊をお送りした。	15名
	25日	夕涼み会	玄関前にて夏の雰囲気を感じていただきBBQを楽しんだ	47名
	25日	誕生会	BBQを頂きながら、誕生者を紹介しお祝いした。	47名
9月	18日	敬老会	富美岡荘食堂を会場に敬老会を実施した。	53名
	18日	誕生会	富美岡荘食堂を会場にて敬老会のお祝い膳を頂きながら、誕生者を紹介しお祝いした。	53名
	22日	秋の彼岸供養	祥風苑集会室にて安養寺住職を招き供養を行った。	9名
10月	6日	野外食	中庭にて秋の雰囲気を感じていただきながら焼きたての秋刀魚を美味しく食べた。	35名
	25日	第1回　裁縫婦人の会	裁縫の得意な入居者様と雑巾を縫った。	6名
	27日	誕生会	誕生者を紹介し、職員・入居者様とホットプレートを使用パンケーキを作りお祝いした。	31名

月	日	行事等	内容	参加人員
11月	15日	第2回　裁縫婦人の会	裁縫の得意な入居者様と雑巾を縫った。	7名
	24日	誕生会	誕生者を紹介し、職員・入居者様と白玉団子で お汁粉を作りお祝いした。	35名
12月	13日	第3回　裁縫婦人の会	裁縫の得意な入居者様と雑巾を縫った。	8名
	22日	誕生会	誕生者を紹介し、職員の余興で誕生者をお祝いした。	53名
	22日	忘年会	食堂を会場に忘年会を実施した。	53名
	24日	クリスマスホーム喫茶	ケーキを食べながら施設長サンタよりプレゼントを貰った。	44名
	27日	餅つき	入居者様、職員が賑やかに餅つきを行った。	50名
R4	13日	水木団子作り	こねる、丸める、飾りを行い、荘内各所に飾った。	30名
1月	17日	第4回　裁縫婦人の会	裁縫の得意な入居者様と雑巾を縫った。	8名
	27日	誕生会	誕生者を紹介し、職員によるダンス・落語でお祝いした。	47名
2月	2日	恵方巻作り	職員・入居者様とロング恵方巻作りに挑戦した。	18名
	3日	節分	鬼に扮した職員と入所者様で健康と長寿を願い豆まきをした。	49名
	16日	誕生会	誕生者を紹介し、職員の余興で誕生者をお祝いした。	32名
3月	16日	3月誕生会	誕生者を紹介し、職員の余興で誕生者をお祝いした。	33名
	23日	春の彼岸供養	祥風苑集会室にて安養寺住職を招き供養を行った。	17名

カンファレンス開催状況

１日あたり3件を目途に毎月滞りなくカンファレンスを開催しすることが出来た。
成仁会の基本理念である、パーソナルケアの実践を念頭に画一的なケアプランにならないよう、入居者を多角的に見つめることを再確認する場ともなっている。
新型コロナウイルスの関係で封書でのやり取りとなったが、電話等を用いて可能な限りご家族様のご意見もプランに反映するよう努める事も出来た。

実施月	カンファレンス			モニタリング	合計件数
	通常	新規	その他		
令和3年4月	6	2	0	6	14
5月	6	2	0	6	14
6月	8	0	0	9	17
7月	5	0	0	6	11
8月	6	0	0	7	13
9月	9	3	0	8	20
10月	6	0	0	5	11
11月	7	2	0	5	14
12月	7	1	0	7	15
令和4年1月	6	0	0	8	14
2月	6	0	0	5	11
3月	6	1	0	6	13
合計件数	78	11	0	78	167

※通常カンファレンス……計画期間の満了に伴い、更新する時期に実施されるもの。
※新規カンファレンス……富美岡荘に新規契約され入居することで実施されるもの。
※その他のカンファレンス…ムンテラを行い看取り期に入った方や、特に状態が変化した方に随時開催されるもの。
※モニタリング……計画期間の概ね半ばの期間で一度計画とおり、評価することで継続か、変更等を検討されるもの。

①健康管理状況

（１）入居者疾患状況（延べ人数）

	脳血管障害による後遺症	パーキンソン病	糖尿病	認知症	心疾患	消化器疾患（便秘含み）	眼疾患	皮膚疾患	呼吸器疾患	貧血	感染症	悪性新生物	骨粗鬆症	その他			合計
男	5	1	2	7	5	6	4	2	0	5	4	1	2	5			57
女	25	5	7	21	29	27	9	18	1	11	6	1	13	10			229
計	30	6	9	28	34	33	13	20	1	16	10	2	15	15			286

（２）医療的処置

	経管栄養		インシュリン	人工肛門
	経鼻	胃瘻		
男	1	0	0	0
女	5	0	2	0
計	6	0	2	0

（３）嘱託医回診状況

・回診日　週２回（火曜日、木曜日）　　・時間　１４時～１６時

・回診日以外は、14時30分電話報告（土曜日は10時30分）　　・急変時は随時往診

（４）健康診断実施状況（令和3年3月末長期入所42名）

	実施年月日	内容	人数
利用者	4月1日～30日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	43
	9月1日～30日	体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	43
	8月31日	予防医学協会による結核検診	18
	4月1日～6月30日	山崎内科医院による胸部写真撮影	25
職員	6月1日～6月30日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、聴打診、採血	31
		聴力、視力、胸部写真(妊娠中の者除く)	30
	10月1日～10月30日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、聴打診、採血、聴力、視力	29

（５）予防接種状況

1)インフルエンザ予防接種

10月13日 10月19日		10月13日 10月19日	
利用者		職員	
人数	41名 (ﾛﾝｸﾞ5名)	人数	28名

2)肺炎球菌ワクチン（ﾌﾟﾚﾍﾞﾅｰ13）

12月8日		12月9日		12月14日	
利用者		利用者		利用者	
人数	19名	人数	4名	人数	5名

3)コロナウイルスワクチン

4月28日		5月19日		2月3日	
入居者様		入居者様		入居者様	
人数	42名	人数	42名	人数	42名 (2回目の方1名)

	実施年月日	人数
職員	4月26日～30日	27名
	5月17日～21日	28名
	1月19日～26日	27名

②レク活動等の参加状況

（延べ人数）

内　　容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
レク活動	596	641	737	662	736	574	677	648	636	600	567	524	7,598
ラジオ体操	939	1,006	1,169	1,109	1,076	922	1,084	1,017	1,013	966	967	1,032	12,300
軽作業	253	268	278	254	222	236	234	217	182	165	149	161	2,619
行事参加	119	177	172	33	71	43	66	35	96	45	48	51	956
合計	1,907	2,092	2,356	2,058	2,105	1,775	2,061	1,917	1,927	1,776	1,731	1,768	23,473

③通院・薬受け状況

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県立大船渡病院													
血液内科	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	14
脳神経外科			1			2			1	1		2	6
外科												1	1
整形外科				3			2			1		1	7
消化器内科	1	1		1	1	1	1	1	2	1	1		11
形成外科													
泌尿器科	1	2		1	1	1		1	2	1	1	1	12
精神科	3	3	3	2	4	2	2	2	2	2	2	2	29
救急センター			1	1			1	1			1		5
循環器科	1	2		1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
血管外来													
呼吸器科	3	2	1	1		1			1			1	10
眼科			2			1			1			1	5
皮膚科	1		1			1							3
放射線科													
県立大船渡病院合計	12	11	10	11	8	11	8	8	11	8	7	10	115
山崎内科医院	9	14	14	8	8	7	11	11	13	6	9	10	120
及川皮膚科	1	1			1			1	1				5
歯科	1	1						1				2	5
その他医院	1	2	9	5		1		1		1	1		21
受診科数	12	11	11	9	8	11	7	10	10	9	8	11	117
実人数	26	35	33	24	34	17	21	22	25	16	17	21	291
延人数	30	36	33	24	34	22	22	26	26	27	17	22	319

行事食等実施状況

実施日	内容	実施日	内容
4月 4日	おやつ選択	10月 6日	さんま会食
8日	花祭り（甘茶・なべ焼き）	13日	おかず選択食
14日	観桜会・誕生会	22日	汁物選択食
16日	パン選択食	27日	誕生会・かしぎクラブ（ホットケーキデコレーション）
28日	寿司バイキング	31日	ハロウィンメニュー
5月 1日	開荘記念・お祝い膳	11月 17日	かしぎクラブ（さつまいも入り白玉ぜんざい）
5日	端午の節句（かまもち）	18日	パン選択食
7日	パン選択食	22日	出張寿司・鮨きく池
9日	ケーキバイキング	24日	誕生会
14日	弁当選択食	26日	さんまの提供
18日	郷土料理（北海道）		
26日	誕生会		
6月 4日	天ぷら選択食	12月 15日	忘年会メニュー
6日	おやつ選択食	22日	クリスマス・誕生会・忘年会
9日	富美岡荘大運動会	24日	クリスマスミニ喫茶
16日	誕生会	27日	もちつき大会・もち（おやつ）
20日	和菓子バイキング	31日	大晦日メニュー
23日	ホットプレート調理		
7月 2日	パン選択食	1月 1日	元旦・お祝い膳
7日	七夕メニュー	5日	もち提供
9日	おかず選択食	7日	七草粥
21日	野外食（バーベキュー）	11日	鏡開き（餅バイキング）
28日	誕生会・土用の丑の日	12日	水木団子作り
		15日	小正月メニュー
		26日	誕生会
8月 4日	冷たい麺選択食	2月 2日	麺・おでんバイキング
8日	おやつ選択食		恵方巻き作り
12日	おにぎり選択食	3日	節分メニュー
25日	夕涼み会・誕生会	14日	バレンタインメニュー・かしぎクラブ（バレンタインおやつ）
		16日	誕生会
9月 18日	富美岡荘敬老会・誕生会	3月 3日	ひな祭り献立・道明寺作り
21日	十五夜・団子選択食	9・17日	すき焼きを楽しむ会
23日	秋分の日・おはぎバイキング	14日	ホワイトデーメニュー・パフェ
28日	炊き込みご飯選択	21日	春分の日（ぼたもち）
		27日	みんなの日曜日
		30日	パンバイキング

各月行事食等（写真）

各月	内容
4月	◂ お花見お膳 パン選択食 ▸
5月	◂ 開所記念・祝い膳 弁当選択食 ▸
6月	◂ 天ぷら選択食 ホットプレート調理 ▸
7月	◂ 七夕メニュー 土用の丑の日メニュー ▸
8月	◂ お盆メニュー 夕涼み会・誕生会 ▸
9月	◂ 敬老会・祝い膳 おはぎバイキング ▸

各月	内容
10 月	◂ さんま会食 汁物選択 ▸
11 月	◂ さつまいも入り 白玉ぜんざい作り 出張・鮨きく池 ▸
12 月	◂ 忘年会・誕生会お膳 クリスマスお膳▸
1 月	◂ 元旦・お祝い膳 餅バイキング ▸
2 月	◂ 節分メニュー 恵方巻作り ▸
3 月	◂ ひな祭りメニュー すき焼きを楽しむ会 ▸

２．委員会の開催状況

医療的ケア対策推進委員会

今年度は、定期的に勉強会・内部研修を行った。高齢者施設であり、色々な疾患を持つ入居者様の体調の変化や異常を早期に発見し対応ができるよう、また、個々のニーズを把握してターミナルケアにも生かしていけるように職員間での研修を行っていく。

第１回	令和３年 4月 15 日	今年度の活動計画について	今年度の活動計画を作成
第２回	5月 14 日	フォローアップ及び勉強会	医療的ケア研修より、研修動画を見て口腔内喀痰吸引について勉強会を行う。
第３回	8月 17 日	フォローアップ及び勉強会	医療的ケア研修より、研修動画を見て経鼻経管栄養について勉強会を行う。
第４回	9月３日	内部研修	施設における医療と緊急時の対応について内部研修を行う
第５回	10 月 23 日	内部研修	ターミナルケアについて内部研修を行う。
第６回	11 月 19 日	フォローアップ及び勉強会	医療的ケア研修より、研修動画を見て口腔内喀痰吸引について勉強会を行う。
第７回	令和４年 1月 31 日	内部研修	介護職のためのストレスケアについて内部研修を行う
第８回	2月 17 日	フォローアップ及び勉強会	医療的ケア研修より、研修動画を見て口腔内喀痰吸引について勉強会を行う。

広報委員会

１、富美岡荘の広報について

富美岡荘の広報を、滞りなく様々な内容を掲載し発行することができ、ご家族様に届け様子をお伝えすることができた。また、入居者様の日々の活動や行事の写真撮影を、率先して行うことができた。

月		活動内容
令和3年 ２・３月	富美岡荘 物語	・百歳セレモニー・誕生会・ひな祭り・栄養だより ・輪投げ大会・彼岸供養・オンライン面会 ・元気です！富美岡荘
４・５月	富美岡荘 物語	・第４6回富美岡荘開所記念日・母の日・花まつり ・誕生会、観桜会・コロナウイルスワクチン接種 ・元気です！富美岡荘
６・７月	富美岡荘 物語	・七夕・富美岡荘大運動会・誕生会・バーベキュー大会 ・父の日・職員紹介・栄養だより・元気です！富美岡荘
８・９月	富美岡荘 物語	・富美岡荘敬老会・盆行事・夕涼み会・選択食・十五夜 ・認知症について・元気です！富美岡荘
１０・１１月	富美岡荘 物語	・野外食・鮨きく池様来荘・祥風苑スポーツ大会 ・クラブ活動・誕生会・不在者投票 ・介護出前講座・元気です！富美岡荘
１２・１月	富美岡荘 物語	・年頭挨拶・忘年会・クリスマスホーム喫茶 ・誕生会・餅つき大会・水木団子作り ・お正月行事・百歳セレモニー・元気です！富美岡荘
令和4年 ２・３月	富美岡荘 物語	・ひな祭り・誕生会・すき焼きを楽しむ会・節分行事 ・バレンタイン、ホワイトデー・災害に備えて ・いきいきクラブ・元気です！富美岡荘

２、ホームページについて

広報誌同様、様々な行事や広報誌に載せきれない行事を事細かに掲載、発信し、地域福祉に貢献することができた。ホームページ掲載にあたり、施設のPRもすることができた。

月	活動内容
令和3年4月	・花祭り・お花見
5月	・富美岡荘開所記念日・お弁当選択・コロナワクチン予防接種
6月	・天ぷら調理・富美岡荘大運動会・ホットプレート調理
7月	・バーベキュー大会・施設内研修
8月	・盆行事・夕涼み会
9月	・富美岡荘敬老会
10月	・彼岸供養・さんま焼き会・裁縫婦人の会・不在者投票
11月	・裁縫婦人の会・介護出前講座・鮨きく池様来荘
12月	・裁縫婦人の会・忘年会・クリスマス会・餅つき大会
令和4年1月	・年頭の挨拶・書初め・水木団子作り・百歳セレモニー
2月	・バイキング・節分行事・コロナワクチン予防接種　他
3月	・すき焼きを楽しむ会

リスクマネジメント委員会

毎月定例で委員会を開催し、前月に発生した事案をピックアップして再検証を実施し、類似した場面等のリスク回避出来るよう職員へ周知することを主な活動としてきた。

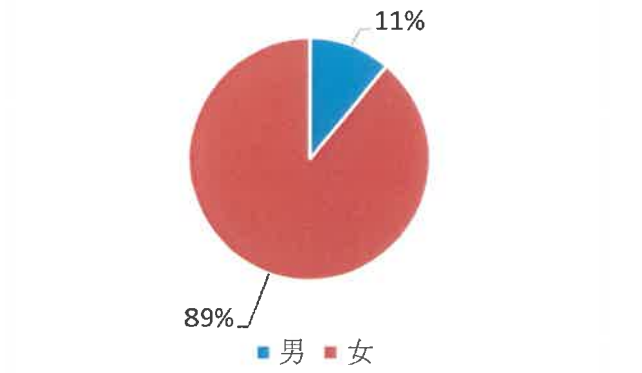
総件数としては前年と概ね変わりなし。骨折等の大きな事故に至ることなく１年を過ごすことが出来たのは非常に評価できる。

	年月日	開催内容	活動内容
第1回	令和3年6月13日	4月・5月のヒヤリハット報告アセスメント	4月・5月のヒヤリハット報告・事故報告集計 事例検討等
第2回	7月8日	6月のヒヤリハット報告アセスメント	6月のヒヤリハット報告・事故報告集計 事例検討等
第3回	8月8日	7月のヒヤリハット報告アセスメント	7月のヒヤリハット報告・事故報告集計 事例検討等
第4回	9月11日	8月のヒヤリハット報告アセスメント	8月のヒヤリハット報告・事故報告集計 事例検討等
第5回	10月15日	9月のヒヤリハット報告アセスメント	9月のヒヤリハット報告・事故報告集計 事例検討等
第6回	11月12日	10月のヒヤリハット報告アセスメント	10月のヒヤリハット報告・事故報告集計 事例検討等
第7回	12月9日	11月のヒヤリハット報告アセスメント	11月のヒヤリハット報告・事故報告集計 事例検討等
第8回	令和4年1月16日	12月・1月のヒヤリハット報告アセスメント	12月・1月のヒヤリハット報告・事故報告集計 事例検討等
第9回	2月3日	1月のヒヤリハット報告アセスメント	1月のヒヤリハット報告・事故報告集計 事例検討等
第10回	3月4日	2月のヒヤリハット報告アセスメント	2月のヒヤリハット報告・事故報告集計 事例検討等

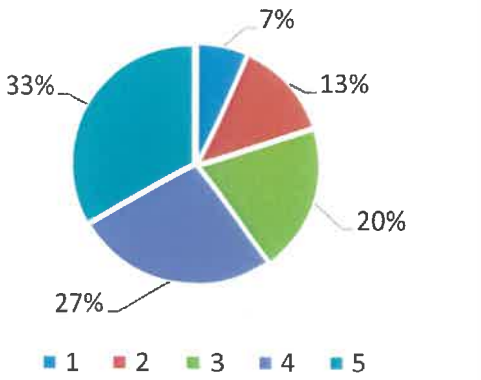
事故・ヒヤリハット発生状況グラフ

男女比率は施設内における比率と同等であるが、介護度比率は平均介護度４．２となっているが要介護１～３で４割を占めており、これはショートステイ利用者等で報告されていることが顕著であることを示している。種類としても転倒による怪我が付随することから未然に防げる事故はあると考え、予防対策を強化していきたい。

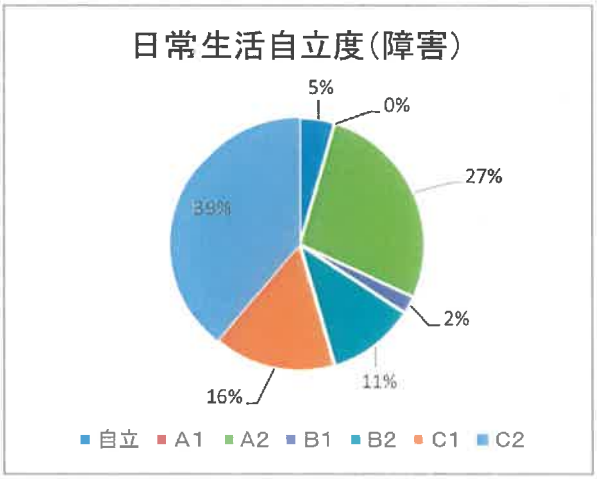
性別



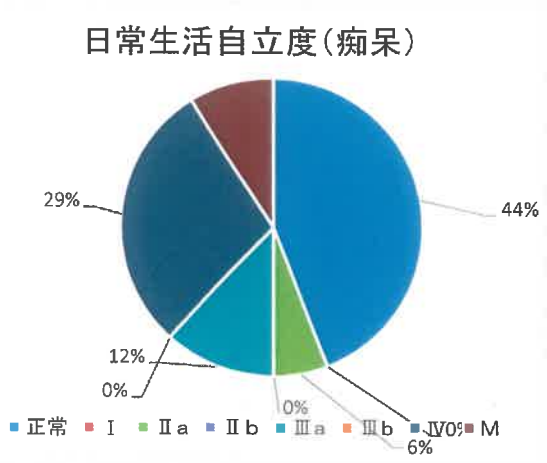
要介護度



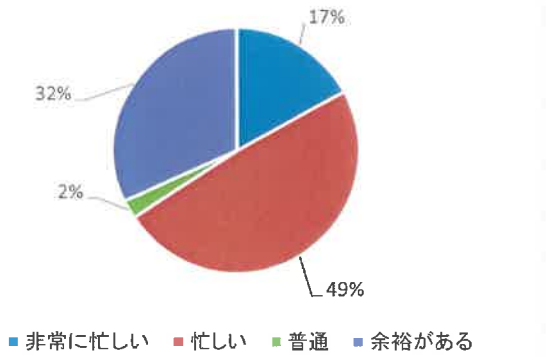
日常生活自立度(障害)



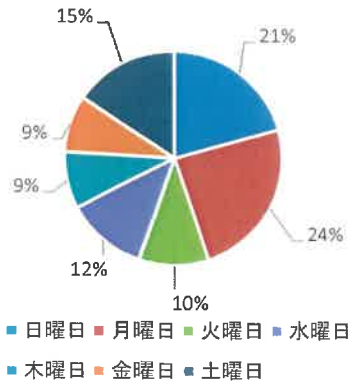
日常生活自立度(痴呆)



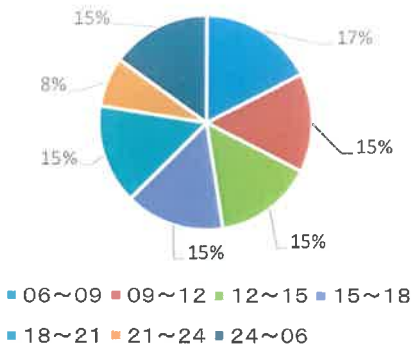
業務の多忙度



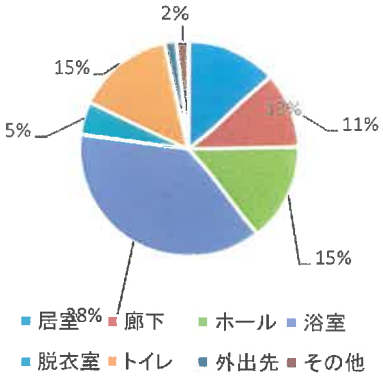
曜日別



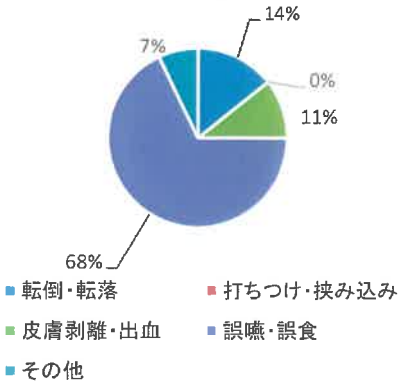
時間別



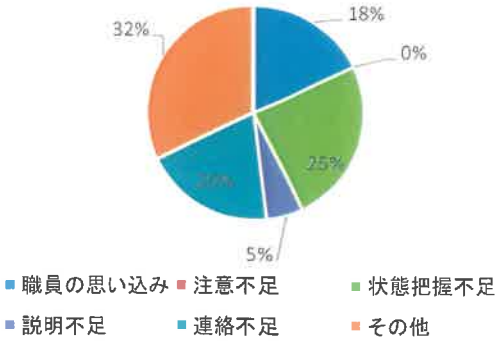
発生場所



種類



原因



感染症予防対策委員

今年度はコロナに始まり、コロナで終わった１年であった。気仙管内でもクラスターが発生したりと、例年通りの外部研修や復命研修ができなかった。

新型コロナウィルスを主に感染症及び食中毒発生の予防、発生時の蔓延予防の内部研修を実施した。個々の高い意識により、施設内の感染予防ができた。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第１回	令和３年 5月13日	今年度の年間計画について	・今年度の年間計画を作成 ・来月の内部研修について打合せをする。
第２回	6月24日	食中毒の予防について 疥癬について 新型コロナウィルス感染症発生シュミレーションについて	・栄養士により内部研修を行い、食中毒予防・対応について確認した。 ・内部研修を行い、疥癬について理解し、し、その対応について確認した。 ・内部研修を行い、新型コロナウィルス発生時の対応について確認した。
第３回	8月20日	新型コロナウィルスの感染状況と予防について	・気仙管内におけるコロナ発生状況を把握し、予防について注意喚起する。
第４回	11月11日	新型コロナウィルスに関する動向について	・気仙管内におけるコロナ発生状況を把握し、予防について注意喚起する。
第５回	11月26日	ノロウィルスの予防対策について	・内部研修を行い、ノロウィルス感染症について理解し、感染予防・対応について確認した。
第６回	12月18日	インフルエンザ等感染症の予防と対策について	・内部研修を行い、インフルエンザについて理解し、感染予防・対策について確認した。
第７回	1月13日	大船渡市における新型コロナウィルスに関する動向	・市内での感染拡大に向け、動向を把握するとともに、感染予防について注意喚起した。

褥瘡予防対策委員会

今年度の活動目標である「ブレーデンスケール調査」は実行出来た。結果に伴い委員会で褥瘡リスクの高い方に対して、エアーマット使用に変更行い、毎年目指している褥瘡発生者ゼロを達成出来た。ブレーデンスケール調査を行った事により褥瘡だけでなく皮膚トラブルの早期対応、早期改善に努める事が出来た。新規ショート利用者で体調不良状態での入所者も多かった。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第１回	令和3年6月2日	今年度の活動目標	・今年度の活動目標 ・ブレーデンスケール調査 ・皮膚トラブルについて
第２回	7月24日	内部研修	・内部研修開催
第３回	9月13日	活動報告と翌月の計画	・皮膚トラブルについて ・エアーマット使用状況の確認
第４回	10月12日	活動報告と翌月の計画	・ブレーデンスケール調査 ・皮膚トラブルについて ・エアーマット使用状況の確認
第５回	11月9日	活動報告と翌月の計画	・ブレーデンスケール調査 ・皮膚トラブルについて ・エアーマット使用状況の確認
第６回	12月14日	内部研修	・内部研修開催
第７回	令和4年1月11日	活動報告と翌月の計画	・皮膚トラブルについて ・エアーマット使用状況の確認
第８回	2月24日	活動報告と翌月の計画	・エアーマット使用状況の確認 ・来年度のブレーデンスケール調査に　　ついて
第９回	3月29日	活動報告と翌月の計画	・皮膚トラブルについて ・エアーマット使用状況の確認 ・来年度の活動内容について

身体拘束廃止委員会

主な活動として、昨年度から引き続き2名について、毎月身体拘束実施経過検討を行った。また、令和4年3月1日より、新たに酸素マスク外し行為が見られる入居者1名が家族の承認により、ミトンの使用を開始した。内部研修では、どのような状態・状況が身体拘束に当たる行為について、実際の事例や写真を用いて理解を深め予防に務めた。来年度に向けてミトン使用による不快感の軽減のための取り組みを課題とした。

	年月日	開催内容	活動内容	実施人数
第1回	4月23日	身体拘束実施経過検討 2名	身体拘束実施経過検討	2名
第2回	5月14日	身体拘束実施経過検討 2名 内部研修	身体拘束実施経過検討 内部研修「身体拘束について」	2名
第3回	6月11日	身体拘束実施経過検討 2名	身体拘束実施経過検討	2名
第4回	7月13日	身体拘束実施経過検討 2名	身体拘束実施経過検討	2名
第5回	8月11日	身体拘束実施経過検討 2名	身体拘束実施経過検討	2名
第6回	9月7日	身体拘束実施経過検討 2名	身体拘束実施経過検討	2名
第7回	10月7日	身体拘束実施経過検討 2名 内部研修	身体拘束実施経過検討 内部研修「身体拘束について」	2名
第8回	11月12日	身体拘束実施経過検討 2名	身体拘束実施経過検討	2名
第9回	12月10日	身体拘束実施経過検討 2名	身体拘束実施経過検討	2名
第10回	令和4年 1月13日	身体拘束実施経過検討 2名	身体拘束実施経過検討	2名
第11回	2月10日	身体拘束実施経過検討2名	身体拘束実施経過検討	2名
第12回	3月4日	身体拘束実施経過検討 2名 令和4年度の活動計画	身体拘束実施経過検討 令和4年度の活動計画	3名

給食委員会

入居者様の食事の観察を日々行い、入居者様の声として給食連絡会に参加し、食事に関する意見・要望を委託業者へ伝えた。また、楽しく食事をしていただけるよう毎月さまざまなイベントを企画・実施した。食欲不振や体調不良の入居者様へは、各課職員と共に摂取状況や嗜好の把握に努め、個別対応や献立内容の見直し等を行うなどして摂取量が増えるよう努めた。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第1回	令和3年4月6日	前月の反省と 今年度の計画について	・献立の反省について ・4月行事の確認について
第2回	5月13日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・5月行事の確認について
第3回	6月8日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・6月行事の確認について
第4回	7月29日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・7月行事の確認について
第5回	8月5日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・敬老会の食事内容について
第6回	9月7日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・9月行事の確認について
第7回	10月6日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・敬老会の食事の反省について
第8回	11月4日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・11月行事の確認について
第9回	12月9日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・12月行事の確認について
第10回	令和4年1月6日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・1月行事の確認について
第11回	2月10日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・2月行事の確認について
第12回	3月10日	前月の反省と 今月の行事予定について	・献立の反省について ・3月行事の確認について

虐待防止委員会

活動内容は「虐待の分類」について、職員に周知する事と、定期的な見直しを行い、疑いのある事項を足していく。実施した調査の結果、虐待や、その疑いがある時は、虐待防止責任者に報告する。虐待防止に関わる研修を、年１回以上、行うこととする。事故等の問題が虐待につながるような場合は、リスクマネジメント検討委員会ではなく、虐待防止委員会において対応する。開催日は、３ヶ月に１回以上とする。

	年月日	開催内容	活動内容
第1回	令和3年 5月12日	虐待防止委員会開催計画の作成	虐待防止委員会開催計画の作成
第2回	8月11日	虐待早期発見チエックリスト」 アセスメント	職員に対して虐待早期発見チェックリストで自己啓発をしてもらう
第3回	11月10日	「虐待早期発見チエックリスト」 アセスメント	職員に対して虐待早期発見チェックリストで自己啓発をしてもらう
第4回	令和4年 2月9日	「虐待早期発見チエックリスト」 アセスメント	職員に対して虐待早期発見チェックリストで自己啓発をしてもらう

令和３年度　職員研修実施状況（施設内研修）

No.	実施日	内　　容	報告者／発表者
1	令和3年 4月6日(火)	成仁会の基本理念・事業計画	施設長　村上博
2	4月25日(日)	介護保険制度に関する研修	相談課　課長　山崎絹花
3	5月17日(月)	接遇について	相談課　課長　村上丈
4	5月26日(水)	身体拘束廃止について	介護員　山本晃世
5	6月24日(木)	疥癬について	看護師　廣田将
6	6月24日(木)	食中毒予防について	管理栄養士　吉田莉萌
7	6月24日(木)	新型コロナウイルス感染症 感染者発生シミュレーションについて	相談課　課長　山崎絹花
8	6月26日(土)	守秘義務・個人情報保護について	相談課　課長　山崎絹花
9	7月19日(月)	褥瘡予防について	介護員　江刺和宏
10	7月30日(金)	事故発生時の対応について	看護師　廣田将 相談課　課長　山崎絹花
11	8月20日(金)	プライバシーの保護について	介護課　副主任　佐藤奈美
12	9月3日(金)	施設における医療と緊急時の対応について	看護課　副部長　石倉久美子
13	9月30日(木)	高齢者の虐待防止と権利擁護について	介護課　副主任　佐藤奈美
14	10月16日(土)	身体拘束について	介護員　山本晃世
15	10月23日(土)	ターミナルケアについて	介護員　石島稜也
16	11月2日(火)	施設における新型コロナウィルス感染対策	看護課　副部長　石倉久美子
17	11月13日(土)	認知症及び認知症ケアについて	介護員　中山道郎　小松美空
18	11月25日(木)	リスクマネジメントについて	介護員　山本晃世
19	11月26日(金)	ノロウィルスの予防対策について	看護師　廣田将
20	12月11日(土)～ 16日(木)	認知症患者の看護について(録画学習)	相談課　課長　山崎絹花
21	12月14日(火)	褥瘡予防について	介護員　上野冬哉
22	12月18日(土)	インフルエンザ等感染症の予防と対策	介護員　長野幹也
23	令和4年 1月19日(水)	交通安全について	施設長　村上博
24	1月31日(月)	介護職のためのストレスケアについて	介護員　石島稜也
25	2月7日(月)	腰痛予防について	看護師　廣田将
26			
27			

【施設外研修】

No.	実施日	内　　容	出席者
1	10月26日(火)	令和3年度沿岸地域医療安全対策研修会及び看護業務地区セミナー	看護副部長　村上利子(zoom参加)
2	11月2日(火)	令和3年度気仙地域感染症予防研修会	看護副部長　石倉久美子(zoom参加)
3	11月5日(金)	健康的な食事(スマート和食)推進マスター養成講座	栄養士　吉田麻美
4	11月12日(金)	令和3年度地域経営推進費事業「沿岸地域介護福祉人材発掘支援事業」介護職員	施設長　村上博(zoom参加)

富美岡荘１年間の様子

【花まつり】
令和3年4月8日

【観桜会】
令和3年4月14日

【観桜会・散歩】
令和3年4月14日

【パン選択食】
令和3年4月16日

【開荘記念日】
令和3年5月1日

【母の日】
令和3年5月9日

【お弁当選択食】
令和3年5月14日

【新型コロナワクチン接種】
令和3年5月19日

富美岡荘１年間の様子

【天ぷら調理の日】
令和3年6月4日

【富美岡荘運動会】
令和3年6月9日

【父の日】
令和3年6月20日

【誕生会・ホットプレート調理】
令和3年6月23日

【七夕】
令和3年7月7日

【バーベキュー大会】
令和3年7月26日

富美岡荘１年間の様子

【冷たい麺の選択食】
令和3年8月4日

【迎え火】
令和3年8月14日

【送り火】
令和3年8月16日

【夕涼み会】
令和3年8月25日

【敬老会】
令和3年9月18日

【敬老会】
令和3年9月18日

【彼岸供養】
令和3年9月22日

富美岡荘１年間の様子

【さんま焼き会】
令和3年10月6日

【チンドン見物】
令和3年10月10日

【祥風苑スポーツ大会参加】
令和3年10月20日

【裁縫婦人の会】
令和3年10月25日

【下富岡公民館介護講座】
令和3年11月13日

【裁縫婦人の会】
令和3年11月15日

【すしきく池様出張サービス】
令和3年11月22日

【誕生会・さつま芋白玉作り】
令和3年11月24日

富美岡荘１年間の様子

【クリスマスホーム喫茶】
令和3年12月24日

【忘年会】
令和3年12月22日

【餅つき大会】
令和3年12月27日

【お餅バイキング】
令和3年12月27日

【元旦】
令和4年1月1日

【お餅バイキング】
令和4年1月11日

【水木団子作り】
令和4年1月12日

【鎌田美代子様百歳セレモニー】
令和4年1月29日

富美岡荘１年間の様子

【恵方巻作り】
令和4年2月2日

【麺・おでんバイキング】
令和4年2月2日

【節分】
令和4年2月3日

【オンライン面会の様子】
令和4年2月13日

【ひなまつり撮影会】
令和4年3月3日

【すき焼きを楽しむ会】
令和4年3月9日

【彼岸供養】
令和4年4月23日

【令和3年度新人研修】
令和4年3月29日

令和３年度

事　業　報　告

（自　令和３年４月１日　　至　令和４年３月31日）

養護（盲）老人ホーム　祥風苑

令和3年度の事業を振り返って

盲老人の健やかな暮らしに彩りを添え

～専門性の向上で更に前進～

祥風苑は平成5年に岩手県で唯一の養護盲老人ホームとして開設し、29周年を迎えました。当時、在宅で大変な生活をされている視覚障がいの高齢者に、より良い生活を提供したいと山崎シゲ会長、理事長が、全国盲老人福祉施設協議会や岩手県視覚障がい者協会、関係各位の多大なるご支援をいただき、苦労の末開所にこぎつけました。当初からのご入居者様は現在4名となり、高齢ではありますが皆様お元気に生活をされております。

令和3年度は東日本大震災の被災枠も定員に組み込まれて、正規の定員50名で運営をしております。その内、要介護認定者は30名、その平均介護度は3.0となっております。視覚障がいに加え、聴覚障がいや聾唖、精神障害などを重複し、更には重度の認知症の入居者が増えており、当初の養護盲老人ホームとは違った困難さが更に顕著になっております。年間の退所者は11名。嘱託医の山崎先生と連携し、施設でほとんどの方を最後まで看取らせて頂きました。

また、今年度も新型コロナウィルスが猛威を振るい、昨年に引き続き感染対策に徹底した一年でした。コロナ禍により市町村の入所判定が滞ったせいもあり、年度はじめは待機者が無く定員を満たすことができずに48名でスタートしましたが、その後は県内市町村に働きかけて年度末には満床で新年度を迎えることができました。

この一年間、ボランテイアの受け入れや地域交流ができず、施設内での暮らしが多くなりましたが、様々な取り組みをすることができました。

四季折々の行事やクラブ活動、佐藤不二雄先生の「短歌教室」、職員の指導による「コーラスクラブ」、食を楽しむ企画、趣味や生きがいづくりの場を提供することができました。

さらに、今年度も埼玉医科大学病院緩和医療科認定施設としての研究により、施設での実証実験に取り組みました。会長、理事長の「元気で長生き」を推進する思いに職員一同が一丸となり取り組んでおります。

まだまだ新型コロナウィルスが猛威を振るう中、令和3年度も大過なく一年を終えることができました事に安堵するとともに、次年度も更に県内措置機関・各関係機関との連携、連絡を密に図るようにし、満床の定員確保に努めてまいりたいと思います。

会長、理事長の盲老人への思いと、永年築き上げた歴史に、職員一丸となって更なる専門性を磨き、より質の高いケアをもって継続するよう努力いたします。

養護(盲)老人ホーム 祥 風 苑
施設長　崎 山　美 知 枝

1　各課の事業実施状況

(1)総務課

今年度も引き続き、業務の効率化と迅速化に努めた。
業務については、点検、見直し、工夫を図りながら、法令や法人諸規程、県の指導に基づき、適性かつ正確な事務処理に努めた。

また、常にコスト意識を保ち、収入の確保、不要な支出の削減を心掛けながら、予算の執行にあたった。

祥風苑は築29年が経過し、老朽化による施設設備がいたるところに不具合が生じている。優先度を考慮しながら、設備と住環境の改善に取り組んだ。

入居の皆様が安心・安全、快適に過ごして頂けることを念頭に、今後とも整備改善を進めたい。

さらに、新型コロナウィルスの状況をみながら、県内主要な措置機関、関係施設等へ訪問し、入居待機者の掘り起しに努めた。また、広報紙やホームページの充実を図り、県内唯一の盲老人施設であることのアピールをし、入居者の拡大につなげた。

その他、職員のスキルアップにも施設内で積極的に取り組んだが、更なる専門性の向上を図るとともに、法人本部、各施設間との連携を緊密にし、円滑な施設運営、業務執行に当たっていきたい。

(2)生活相談課

新型コロナウイルスの流行が収束せず入居者様は外出や面会が制限され、施設内での生活が中心となった。ご家族にも感染症対策にご理解いただき、入居者様との関係が疎遠にならないよう、リモートでの面会を声かけたが、家族も高齢であり、リモートでの面会は少なかった。そのため、電話連絡や広報誌とともに写真を同封して様子を伝えるなどの工夫をした。また、視力障がい者である相談員によるマッサージや、その他の相談員が居室を訪問し、入居者様とのコミュニケーションを図るなどして日々のストレスの軽減にあたった。

令和3年度の介護報酬の改定を受けて高齢者虐待防止委員会を開催、来年度指針を策定することを目標として高齢者虐待や権利擁護の勉強会を実施した。

また、埼玉医科大学の実証実験と科学的根拠に基づいたケアを実施するため科学的ケア推進委員会を開催し、計画的に実証実験やADL評価を行った。

今年度は、2床空床でスタートしたため11名の退所者に対して13名の入所者を受け入れ、3月末日を満床で迎えることができた。新型コロナウイルスの感染症対策を実施しながら、年間を通じて措置機関へ訪問して電話で情報収集を行い措置市町村との連携も密に図った。

60代から70代の入居者の受け入れも多く、複雑な生活問題を抱える入居者様も少なくない。多様なニーズにこたえながら自分らしく生活できる環境をいかに整えていくか今後の課題である。

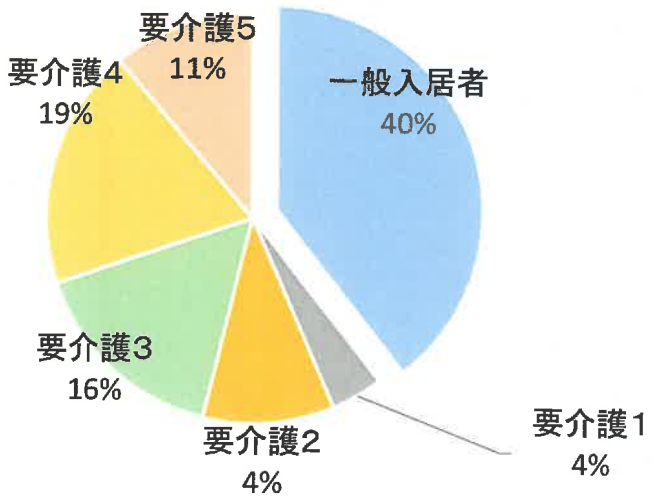
利用者実績

視覚障がいに加え、認知症の症状がみられる方が多くなり、平均介護度は昨年に比べて低くなっているものの、介護のニーズは依然高い状況といえる。
入所定員は50名で、入院者は少なかったが長期入院者が目立った年となった。

※入院・外泊でも措置費で生活費が入ってくるためベット数に含む。

提供月	定員(50名)							計	利用ベッド数(床)	ベッド定数(床)	稼働率	入院外泊(日)
	一般入居者(20名)	特定入居者(30名)										
		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度					
R3.4月	18	2	2	8	10	8	3.7	48	1,432	1,500	95%	36
5月	18	2	3	8	10	7	3.6	48	1,460	1,550	94%	57
6月	19	1	4	8	10	7	3.6	49	1,491	1,500	99%	35
7月	20	1	4	8	10	7	3.6	50	1,550	1,550	100%	0
8月	20	1	4	8	10	7	3.6	50	1,545	1,550	100%	0
9月	20	1	5	9	9	6	3.5	50	1,498	1,500	100%	0
10月	20	2	5	8	10	5	3.4	50	1,550	1,550	100%	17
11月	20	2	5	8	10	5	3.4	50	1,447	1,500	96%	30
12月	20	2	7	8	9	4	3.2	50	1,542	1,550	99%	31
R4.1月	20	4	7	7	8	4	3.0	49	1,534	1,550	99%	31
2月	20	3	8	6	9	4	3.1	50	1,385	1,400	99%	28
3月	20	3	7	9	9	2	3.0	50	1,550	1,550	100%	31
合計 (下段:比率)	235 37%	24 4%	61 10%	95 15%	114 18%	66 10%	3.4		17,984	18,250	99%	296

【入居者割合】



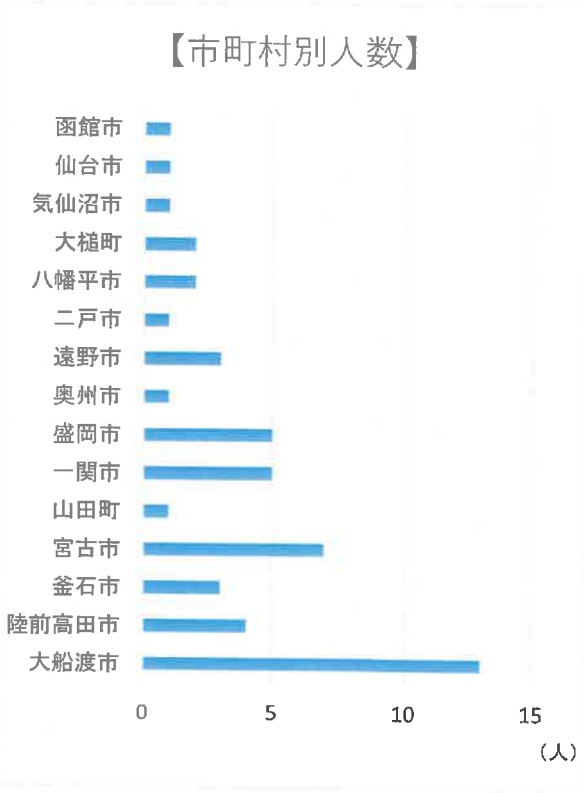
入居者の状況

ご入居者様は県内外15市町村から措置入所している。視覚障がいをもった生活困難者のほか、晴眼の生活困窮者の措置依頼も増加しており、精神障がい、知的障がい、肢体不自由など障がいの状況も多様であり、それぞれのニーズへの対応が求められている。また、今年度については男性の入所が多かった。

平成5年の開設当初から入居されている方は4名となった。在籍期間5年未満のご入居者様が増加傾向である。

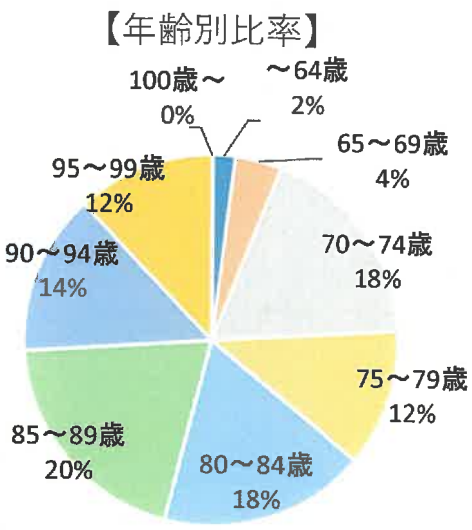
(1)市町村別入居者の状況　(令和4年3月31日現在:人)

措置権者	男	女	計
大船渡市	2	11	13
陸前高田市	0	4	4
釜石市	1	2	3
宮古市	5	2	7
山田町	1	0	1
一関市	3	2	5
盛岡市	1	4	5
奥州市	0	1	1
遠野市	2	1	3
二戸市	0	1	1
八幡平市	2	0	2
大槌町	0	2	2
気仙沼市	0	1	1
仙台市	0	1	1
函館市	0	1	1
合計	17	33	50



(2)年齢別状況　(令和4年3月31日現在:人)

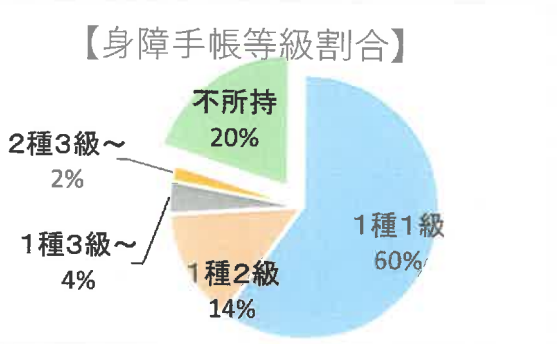
年齢区分	男	女	計
～64	1	0	1
65～69	1	1	2
70～74	4	5	9
75～79	4	2	6
80～84	3	6	9
85～89	1	9	10
90～94	2	5	7
95～99	1	5	6
100～	0	0	0
合計	17	33	50
最高(歳)	97	96	
最低(歳)	63	69	
平均(歳)	79.5	84.6	82.9



(3)障がいの状況

①身体障がい者手帳所持者数　（年度末日：人）

等級	男	女	計
1種1級	10	20	30
1種2級	3	4	7
1種3級～	1	1	2
2種3級～	0	1	1
不所持	3	7	10
合計	17	33	50

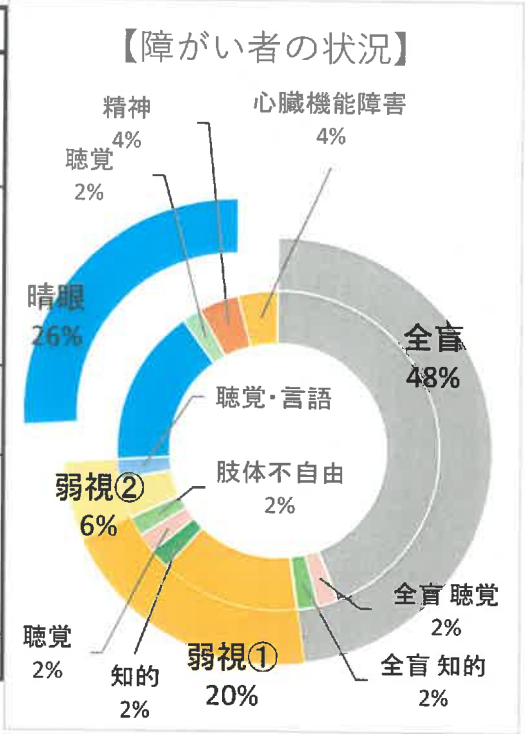


②障がい者の状況　（年度末日：人）

※弱視①は2級、弱視②は3級以下。盲養護の入居対象の視覚障害は、1級、2級としているため身障手帳の弱視は晴眼者と同じ扱いとなる。

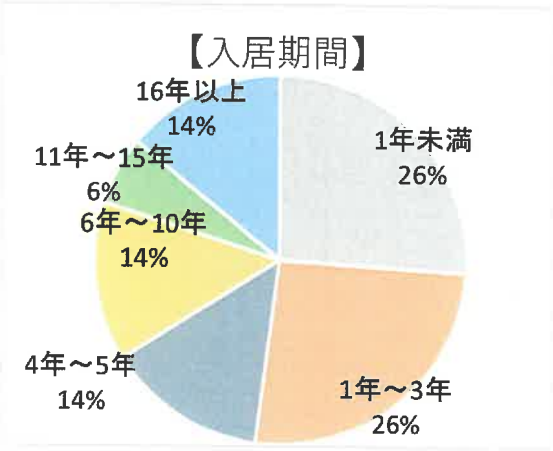
※精神は障害者手帳所持者、知的は療育手帳所持者としています。

区分		男	女	小計
全盲		6	16	24
	聴覚	1	0	
	知的	0	1	
弱視①		4	3	10
	知的	0	1	
	聴覚	0	1	
	肢体不自由	1	0	
弱視②		0	2	3
	聴覚・言語	0	1	
晴眼		3	5	13
	聴覚	0	1	
	精神	0	2	
	心臓機能障害	2	0	
合計		17	33	50



(4)入居期間　（年度末日：人）

	男	女	計
1年未満	8	5	13
1年～3年	3	10	13
4年～5年	2	5	7
6年～10年	2	5	7
11年～15年	1	2	3
16年以上	1	6	7
合計	17	33	50
平均期間(年)	4.4	8	6.8



入退所の状況

令和3年度は2床空床からスタートし、県内外各措置機関と連携し待機者確保に努めた。年々糖尿病のほか、がんを患う方が多い状況にあり、今年度も高齢による老衰のほか、何らかの病気が引き金となり死亡するケースが多かった。退所者は介護度の高い方が多く、入所者は比較的若い層の方が多かった。

【入所者】

No.	入所年月日	氏名	男女	措置権者	摘　要
1	R3.4.15	C・F様	女	大船渡市	自宅より入所
2	R3.5.28	Y・N様	女	大船渡市	自宅より入所
3	R3.5.31	G・T様	男	宮古市	自宅より入所
4	R3.5.31	K・C様	男	山田町	病院より入所
5	R3.6.10	Y・S様	男	宮古市	病院より入所
6	R3.8.31	H・S様	女	陸前高田市	自宅より入所
7	R3.10.1	Y・O様	男	釜石市	他施設より入所
8	R3.11.29	M・K様	男	一関市	自宅より入所
9	R3.12.1	S・K様	男	大船渡市	自宅より入所
10	R3.12.21	K・K様	男	八幡平市	他施設より入所
11	R4.1.17	F・M様	男	一関市	他施設より入所
12	R4.2.28	E・W様	女	陸前高田市	自宅より入所
13	R4.3.1	H・K様	女	大船渡市	自宅より入所

【退所者】

No.	退所年月日	氏名	男女	措置権者	摘　要
1	R3.4.6	M・K様	女	釜石市	祥風苑にて死亡
2	R3.5.3	E・G様	女	大船渡市	県立大船渡病院にて死亡
3	R3.5.25	S・S様	女	大船渡市	祥風苑にて死亡
4	R3.8.25	A・F様	女	宮古市	祥風苑にて死亡
5	R3.9.28	M・S様	女	宮古市	祥風苑にて死亡
6	R3.11.3	K・A様	男	宮古市	祥風苑にて死亡
7	R3.11.4	C・S様	女	住田町	祥風苑にて死亡
8	R3.12.14	T・N様	女	大船渡市	祥風苑にて死亡
9	R3.12.29	E・K様	女	大船渡市	祥風苑にて死亡
10	R4.2.18	N・M様	女	大船渡市	祥風苑にて死亡
11	R4.2.22	K・C様	女	大船渡市	祥風苑にて死亡

入退院の状況

今年度は入院者が少ない反面、長期入院が目立った。遠方のご家族が多く、入院時の手続きや準備は家族に代わって職員が行うことがほとんどであった。病状説明には職員が同席させていただき、嘱託医と連携することで退院時の受け入れもスムーズに行うことができた。

	氏　名	入院先(病院名)	病　名	入院日	退院日	備　考
1	M・F様	岩手県立大船渡病院	統合失調症	R3.3.2(火)	R3.6.21(月)	
2	C・F様	岩手医大	左角膜穿孔	R3.4.19(月)	R3.4.21(水)	
3	E・G様	岩手県立大船渡病院	多臓器不全	R3.4.28(水)	R3.5.3(月)	死亡退院
4	E・H様	岩手県立大船渡病院	S字結腸軸捻転	R3.5.9(日)	R3.6.14(月)	
5	M・F様	岩手県立大船渡病院	統合失調症	R3.10.15(金)	→	入院中

クラブ活動・余暇活動・地域交流実施状況

祥風苑では心身の健康状態を維持していくために、日々の生活の中において個人が持っている残存機能を活かせるように自立支援を図りました。各クラブ活動は趣味を中心に自発的参加者が中心になり毎月定期的に実施しています。昨年に引き続き感染症予防対策にて地域交流活動や外出を自粛せざるを得ませんでしたが、わいわいクラブやコーラスクラブ、カラオケクラブにおいては多種多様な症状の方に合わせ、苑内で職員の援助にて活動を図りました。そのほか施設内で歩行・散歩・体操をしたり、短歌、テレビ、ラジオ、点字図書を楽しみコロナ禍を過ごされました。

単位：人

活動		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
せきれいの会交流会		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コーラスクラブ		16	11	24	25	26	18	19	10	7	0	17	22	195
カラオケクラブ		14	9	34	44	34	21	11	17	24	31	31	21	291
短歌クラブ		11	9	10	11	11	9	9	9	9	10	13	13	124
わいわいクラブ	ラジオ体操	397	344	420	407	323	469	490	442	392	403	395	435	4,917
	口腔機能向上体操	89	182	128	158	111	95	99	190	140	151	128	174	1,645
	運動機能向上体操	21	10	5	10	9	9	14	12	16	31	12	28	177
	散歩	60	16	73	3	0	11	25	21	0	0	1	23	233
	手芸	0	0	16	0	0	18	44	3	0	0	0	47	128
	園芸	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	調理	0	0	0	0	0	12	0	0	0	8	0	0	20
	読み聞かせ	62	66	85	95	129	40	37	38	31	93	160	133	969
外出		0	0	0	7	0	4	1	13	9	0	0	4	38
外食		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
商店出張販売		155	88	124	157	127	109	158	109	130	130	132	155	1,574
地域交流		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		825	735	921	917	770	815	907	864	758	857	889	1,055	

施設実習・施設見学・ボランティア受入状況

(1)施設実習・体験学習等

※新型コロナウイルス感染症の影響により受け入れなし。

(2)施設見学

※新型コロナウイルス感染症の影響により受け入れなし。

(3)ボランティア受入れ状況

年月日	交流会(個人・団体名)	内　容
令和3年 10月10日	ちんどん「寺町一座」	ちんどん演舞、交流
11月25日	大船渡市漁協赤崎地区女性部	生さんまの寄贈
12月～2月	声の福祉図書館運営ボランティア 「せきれい」	短歌教室朗読CDの寄贈

(4)定期的に受入れているボランティア

交流会(個人・団体名)	内　容
佐藤不二雄先生「短歌教室」	・月2回の短歌教室(作品を郵送して指導を受けた) ・東海新報への短歌教室作品の掲載
声の福祉図書館運営ボランティア 「せきれい」	・朗読CDの寄贈 ・広報大船渡の音声訳、小説カセットテープの貸し出し
千葉賀子先生「大船渡さんご合唱団」	・コーラスクラブの指導
オープンハート	・朗読会CDの寄贈 ・社協だよりの音声訳CDの貸し出し
美杉会	・祥風苑短歌教室作品、社協便り、広報大船渡の点訳

(3) 介護課

ご入居者様は63歳～97歳までと幅広い年齢層で、要介護度や自立の程度も違い、さらに視覚障害、聴覚障害、認知症、精神疾患等、様々な障害や疾病を併せもっており、その多種多様なニーズへの素早い対応が求められる為、各課との連携を密にし、情報を共有し統一したケアに努めた。また、各委員会や内部研修を毎月開催し、職員の質の向上を図った。コロナ禍で面会、慰問、ショッピング、食事などの自粛で外部との交流がほとんど出来なかった一年だったが、苑内で楽しめる行事、カラオケクラブ、誕生会、お茶会には職員みんなでアイデアを出し合いご入居の皆様に喜んでいただけるように創意工夫をした。短歌クラブやコーラスクラブは発表の機会が少なかったが、生きがい作りにつながった。特にコーラスクラブは参加者も増加し、今後益々の飛躍が期待される。

感染症対策で活動の範囲が制限される中、日々ご入居者様の心身の状態に向き合い、一日一日を大切に自分らしく生きがいある生活を送っていただくためには、どのように関わり、支援をすることが大切なのかを考えさせられた一年だった。

日常生活状況

※ 視覚障害のため、自立であっても誘導介助を要する。

①食事

	自立	見守り	一部介助	全面介助	合計
男	7	6	3	1	17
女	10	11	9	3	33
計	17	17	12	4	50

②移動

	自立	一部介助	全面介助	合計
男	8	6	3	17
女	8	14	11	33
計	16	20	14	50

③排泄

	排泄状況			日中				夜間			
	自立	一部介助	全面介助	トイレ自立	トイレ介助	Pトイレ	オムツ交換	トイレ自立	トイレ介助	Pトイレ	オムツ交換
男	7	8	2	8	1	6	2	7	1	7	2
女	11	15	7	11	9	9	4	10	5	12	6
計	18	23	9	19	10	15	6	17	6	19	8

④入浴

	自立	一部介助	全面介助(リフト込)	合計
男	5	7	5	17
女	7	14	12	33
計	12	21	17	50

⑤更衣

	自立	一部介助	全面介助	合計
男	8	6	3	17
女	14	13	6	33
計	22	19	9	50

行事実施状況

施設の方針である「視覚障がい者の身になって」に則り、コロナ禍という例年とは違う環境でも、制限されないよう行事にアレンジを加えながら、少しでも日々の楽しみと移りゆく季節を感じていただけるように配慮しながら企画を実行し、ご入居者様の笑顔につなげた。

月　日	行　事　概　要	月　日	行　事　概　要
4月　1日	開苑記念日	9月　15日	出前寿司
7日	お花見バスハイク	18日	誕生会
8日	花祭り	22日	秋彼岸供養及び共同墓地碑お墓参り
14日	観桜会・誕生会	10月　6日	出前寿司
21日	出前寿司	20日	スポーツ大会
5月　19日	出前寿司	27日	誕生会
25日	誕生会		
6月　11日	出前ピザ	11月　10日	バスハイク（ど根性ポプラ）
14日	出前寿司	20日	誕生会
16日	誕生会	29日	モスバーガー出前会
29日	出前ケーキ		
7月　8日	出前寿司	12月15日	忘年会&誕生会
14日	碁石バスハイク	27日	餅つき大会
19日	うなぎ出前会	1月24日	出前寿司
28日	誕生会	26日	誕生会
8月　10日	スイカ割り大会	2月3日	節分（豆まき）
13・16日	迎え火・送り火	16日	レク大会＆誕生会
25日	納涼祭&誕生会	3月　16日	誕生会
31日	ケーキ出前会	23日	春彼岸供養及び共同墓地碑お墓参り

（その他）

◎カラオケクラブ、コーラスクラブ、短歌教室については県内コロナ感染状況に応じて実施。

(4)看護課

今年度も新型コロナウィルス感染症の予防対策から始まった。法人本部と連携し、ご入居者様、職員は3回のワクチン接種をスムーズに終えることができた。お一人お一人の意識や協力体制、万全の感染症対策で施設での罹患者はいなかった。新型コロナウィルスだけではなく、ほかの感染症も発症することなく、いかに標準的感染症対策が重要か、そして効果があるということを実感した一年だった。

ご面会や外出も感染症の動向をみながら制限をした。受診はご入居者様に説明とご理解を得ながら、できる限り代診で対応した。止むをえない外出、受診時は抗体スプレーを使用し、マスク着用、うがい手洗いの徹底を図った。

また、今年度は10名の入居者様を施設で看取った。嘱託医と連携し、ご家族に幾度となく容態の変化を細やかに報告しながら、ご本人、ご家族の意向を確認し、全職員でコミュニケーションをとりながらお看取りをした。

新規のご入居者様は13名で、若年齢層が多くなった。その抱える疾病は、糖尿病や精神障害など多岐にわたるため、薬の管理やインスリン注射も多くなり、対応の難しさと一層の専門性を問われた。また、急に容態に変化をきたすご入居者様もおり、日々お一人お一人の話をよく聞き、身体状況の観察と早く変化に気づくことで急を脱したり、重篤にならずに健やかな生活ができると感じる。

新年度も引き続き感染の動向を見ながら、嘱託医や各職種との連携を図り、ご入居者様の健康維持に努める。

健康管理状況

(1)入居者疾患状況　　(単位:名)

疾患名	脳血管障害による後遺症	高血圧	パーキンソン病	糖尿病	認知症	リウマチ	心疾患	消化器疾患(便秘含)	精神疾患	皮膚疾患	呼吸器疾患	貧血	内分泌系	悪性新生物	骨粗鬆症	泌尿器系	その他
男	8	8	1	3	5	0	3	7	4	3	2	1	0	3	1	4	2
女	11	16	0	13	16	1	10	20	12	0	1	3	0	1	6	4	3
計	19	24	1	16	21	1	13	27	16	3	3	4	0	4	7	8	5

(2)医療的処置　　(単位:名)

内容	経管栄養		インシュリン	血糖日内変動	不眠	吸痰
	経鼻	胃瘻				
男	0	0	2	3	4	7
女	0	0	4	12	10	8
計	0	0	6	15	14	15

(3)予防接種状況　　(単位:名)

期間	種類	入居者	職員
4月	コロナワクチン	50名	25名
5月	コロナワクチン	48名	25名
10月～11月	インフルエンザワクチン	45名	21名
1月	コロナワクチン	46名	25名

※コロナワクチンについては途中入居者について7月に2名、2月に1名実施。

(4)嘱託医回診状況

・回診日　週2回(火曜日、木曜日)14時～16時

・回診日以外は、14:30電話報告(土曜日は10:30)

・急変時は随時往診して頂く。

(5)健康診断実施状況　　(単位:名)

対象者	実施月日	内　　容	人数
利用者	4月1日～30日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	46
	9月1日～30日	体重、検尿、血圧、心電図、聴打診	46
	8月22日	予防医学協会による結核検診	18
	4月1日～8月22日	山崎内科医院、他医療機関胸部写真撮影	31
職員	5月1日～5月30日	身長、体重、検尿、血圧、心電図、聴打診、採血	27
		聴力・視力、胸部写真(妊娠中の者除く)	27
	10月1日～11月16日	体重、検尿、血圧、心電図、聴打診、採血、聴力・視力	25

(6)通院・薬受け状況　　(単位:名)

病院名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
岩手県立大船渡病院													
外　　科	3	2	1	0	1	0	0	4	1	0	2	1	15
整形外科	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
内科・消化器科	1	0	0	0	0	1	2	1	1	1	2	1	10
形成外科	3	1	2	1	0	1	1	0	1	1	1	1	13
泌尿器科	0	0	0	2	2	1	0	1	0	1	2	0	9
精神科	5	3	7	9	14	7	9	6	8	4	8	5	85
救急センター	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
循環器科	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	8
血液内科	2	2	2	2	2	3	2	2	4	2	5	5	33
呼吸器科	0	0	2	0	3	2	0	2	2	0	1	0	12
眼　　科	1	1	1	1	3	2	4	2	2	2	4	1	24
山崎内科医院	1	9	22	3	1	1	5	3	3	2	2	4	56
及川皮膚科クリニック	1	0	1	0	1	0	4	4	3	5	8	6	33
歯科医院	0	0	2	6	6	2	13	7	3	1	2	1	43
飯塚眼科医院	6	0	1	2	0	0	3	2	5	3	4	5	31
鳥羽整形外科医院	4	3	3	1	4	2	5	3	3	5	8	7	48
いとう耳鼻咽喉科クリニック	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
その他医院	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	3	0	16
受診総合計	33	24	47	29	39	25	50	40	37	30	53	38	445

(5)栄養管理室

今年度も「安全」・「安心」・「楽しく」・「おいしい」食事提供を第一に、ご入居者様のいちばんの楽しみである「食」にバラエティ溢れる工夫をした。イベント食ではバイキング形式で要望に応じた料理やおやつを選択できる企画をした。また、委託業者の「みんなの日曜日」の企画より、CoCo壱番屋の特製カレーライスや吉野家の特製親子丼を提供し、外食の気分を味わって頂けた。今年度は感染症の影響もあり、ふれあいクッキングができなかったので、状況を見ながらご入居者様の生活リハビリの一環として実施できるよう次年度の課題としたい。

ご入居者様一人ひとりの声に耳を傾け、会話をし、食事内容に満足感が得られるよう嗜好調査を実施することで、個々のニーズに応じた細やかな食事提供をした。身体的理由のある方やアレルギーを持っている方には、代替食を提供した。また、今年度は便秘の方に排便を促進する補助食品を配茶時に取り入れた。使用してから1週間ほどで個人差はあるが効果がでている。

ご入居のほとんどの方は視覚に障がいがあるため、クロックポジションによる献立説明や食事の内容、食材や調理方法、盛り付けなどを細やかに説明した。

ご入居者様、職員、委託業者とのコミュニケーションを図り、大量調理施設衛生管理マニュアルに基づき、日々の衛生管理と、その記録に努めた。また、毎月の給食会議は各課や委託業者からの意見に基づき施設に合った食事提供や問題点の解決に努めた。

次年度もご入居者様の「笑顔」が見える食事サービスを提供、提案し、さらなる食事満足度の向上に取り組んでいく。各課と連携を深め、食事摂取量が下回ることがないよう栄養バランスのとれた献立作成や健康保持に努めたい。

行事食等提供状況

実施日		内容		
4月	1日	開苑記念日	開苑記念日	観桜会＆誕生会
	8日	花まつり		
	14日	観桜会＆誕生会		
	28日	寿司バイキング		
5月	5日	端午の節句	母の日メニュー	天ぷら選択食
	9日	母の日メニュー		
	12日	天ぷら選択食		
	25日	誕生会お祝い膳		
6月	16日	誕生会お祝い膳	父の日メニュー	野外食(BBQ)
	20日	父の日メニュー		
	23日	野外食(BBQ)		

実施日		内　　容
7月	7日	七夕（天の川素麺）
	28日	誕生会お祝い膳
	28日	土用の丑の日（うなぎ）
	29日	ソフトクリームの会
8月	10日	スイカ割り
	25日	納涼祭・誕生会 （焼きおにぎり・焼鳥・いか ぽっぽ・アメリカンドッグ 豚汁・焼きそば・とむぎ）
	14日～16日	お盆メニュー （おはぎ・おふかし・ちらし他）
9月	9日	重陽の節句
	18日	敬老会＆誕生会 （おちつき・オードブル和・洋・中）
	21日	秋分の日・十五夜団子作り
	23日	おはぎバイキング （餡子・ごま・ずんだ・黄粉・薩摩芋）
10月	12日	野外食（さんま炭火焼き）
	20日	スポーツ大会
	27日	誕生会お祝い膳
	31日	ハロウィンおやつ
11月	12日	寿司バイキング　12種
	18日	文化祭＆ミニ喫茶
	18日	懐かしの給食 （黄粉揚げパン・シチュー他）
	24日	誕生会お祝い膳
12月	15日	忘年会＆誕生会お祝い膳
	22日	冬至（荒巻鮭）
	24日	クリスマスミニ喫茶
	27日	もちつき大会
	31日	大晦日メニュー

七夕

ソフトクリームの会

納涼祭

お盆メニュー

敬老会

十五夜団子作り

野外食（さんま炭火焼き）

誕生会お祝い膳

寿司バイキング

ミニ喫茶

忘年会＆誕生会

もちつき大会

実施日	内　　容		
1月　1～3日	お正月（お節・餅　他）	お正月　お節料理	水木団子作り
7日	七草粥		
12日	水木団子作り		
15日	小正月（小豆ご飯　他）		
26日	誕生会お祝い膳		
2月　3日	節分（恵方巻）	節分恵方巻	バレンタイン喫茶
11日	建国記念日		
14日	バレンタイン喫茶		
16日	誕生会お祝い膳		
3月　3日	ひな祭り＆春のお茶会	春のお茶会	ホワイトデー
14日	ホワイトデー		
16日	誕生会お祝い膳		
21日	春分の日三色ぼたもち		
27日	みんなの日曜日（ココ壱番屋コロッケカレー）		

＜定期的に提供する行事食＞

○朝食選択食：月1回（和・洋）

○希望昼食会：月1～2回　5種類のメニューから選択

2 委員会の開催状況

リスクマネジメント委員会 （事故・ヒヤリハット）

今年度のヒヤリハット報告件数は46件、事故報告件数は3件ありました。事故の内容は骨折1件、転倒が1件、切傷1件でした。全盲の方に次いで晴眼の方のヒヤリも多く、自立の方の体力低下とともに思い込みや、まだ大丈夫という気持ちと身体の変化に伴った転倒・注意不足という本人原因が多く見られた。毎月、報告から分析し今後の対応まで各課で話し合い連携した。

開催月日		会議内容	事故件数	件数
令和3年4月	8日	1. 3月ヒヤリハット・事故集計報告 2. ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応 3. 令和2年度年間集計報告 4. 令和3年度委員会目標	1	6
	20日	1. T・E様骨折・転倒について報告、分析、今後の対応		
5月	7日	1. 4月ヒヤリハット・事故集計報告 2. ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応 3. 内部研修「事故の予防対策について」	0	4
6月	14日	1. 5月ヒヤリハット・事故集計報告 2. ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応	1	4
7月	10日	1. 6月ヒヤリハット・事故集計報告 2. ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応	0	4
8月	12日	1. 7月ヒヤリハット・事故集計報告 2. ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応	0	3
9月	26日	1. 8月ヒヤリハット・事故集計報告 2. ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応	0	2
10月	12日	1. 9月ヒヤリハット・事故集計報告 2. ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応	0	3
11月	8日	1. 10月ヒヤリハット・事故集計報告 2. ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応	1	3
	29日	1. 内部研修「リスクマネジメントについて」		
12月	16日	1. 11月ヒヤリハット・事故集計報告 2. ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応	0	5
令和4年1月	14日	1. 12月ヒヤリハット・事故集計報告 2. ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応	0	3
2月	9日	1. 1月ヒヤリハット・事故集計報告 2. ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応	0	4
3月	9日	1. 2月ヒヤリハット・事故集計報告 2. ヒヤリハット・事故報告書からの分析、今後の対応	0	5
合　　計			3	46

感染症予防対策委員会

今年度は、特に新型コロナウイルス感染防止に力を入れた。ワクチン接種に向けて勉強会を実施。成仁会本部の対策会議に幹部職員が出席し、随時感染症対策を確認し、状況に合わせた対策を各課と連携を図り統一した感染防止に努めた。

回数	月　日	内　　容
1	4月19日	今年度の目標、活動方針について 新型コロナワクチン接種に向けて(勉強会)
2	6月22日	【内部研修】 感染症及び食中毒予防について 看護課係長　新沼エミ
3	8月19日	【内部研修】「新型コロナ感染症の”いま”に関する11の知識 看護課長　次藤さち子
4	10月14日	【内部研修】尿路感染症について 看護課係長　新沼エミ
5	12月13日	感染症対策、備品の確認整理 吐物処理の方法について(勉強会)
6	1月4日	大船渡市内新型コロナウイルス発生につき感染症対策の確認 面会規制文書の発送
7	2月28日	施設における感染症対策の確認 新型コロナワクチン接種状況の報告
8	3月19日	現在の感染症の状況について 今年度の反省

褥瘡予防対策委員会

OHスケールを導入し身体レベルを見直すことにより褥瘡を未然に防ぎ発赤の悪化を防止することができた。また、委員会ごとにエアーマット使用者の確認や検討することにより職員の意識も高まり褥瘡発症を防ぐことができた。

回数	月　日	内　　容
1	4月30日	今年度の目標、活動方針について
2	6月29日	褥瘡発生リスクの高い3名の対応の検討　エアーマット使用状況と検討
3	8月18日	【内部研修】「OHスケールとは、測定方法について」 看護課　金野舞　　OHスケール測定8名
4	10月26日	褥瘡発生リスクの高い4名の対応の検討　エアーマット使用状況と検討
5	12月25日	【内部研修】褥瘡褥瘡予防について　介護課村上明子 褥瘡発生リスクの高い2名の対応の検討　エアーマット使用状況と検討
6	2月21日	褥瘡発生リスクの高い2名の対応の検討　エアーマット使用状況と検討 OHスケール測定8名
7	3月24日	今年度の取り組みと反省について

身体拘束廃止委員会

コロナ禍においてご入居者様も職員も感染症対策に日々奮闘する中で、職員は身体拘束廃止の三原則(切迫性・非代替性・一時性)を常に念頭に置き、個々に合わせた援助内容を検討し、今年度も身体拘束ゼロを達成することができた。

回数	年月日	検討内容
1	令和3年 4月13日	・今年度の目標、活動方針について ・施設の状況について(身体拘束 0名)
2	7月31日	・施設の状況について(身体拘束 0名) ・「身体拘束の緊急やむを得ない場合の三原則」について
3	10月25日	【内部研修】 「スピーチロックについて」 介護課 千田明枝
4	令和4年 1月20日	・施設の状況について(身体拘束 0名) 【内部研修】 「身体拘束せずに事故を防ぐ方法」 相談課 菅野洋子
5	3月30日	・今年度の反省 ・施設の状況について(身体拘束 0名)

高齢者虐待防止検討委員会

今年度より設置した委員会である。来年度、本格的に指針の策定に向けて高齢者虐待防止の内部研修勉強会を実施するとともに、虐待につながるような不適切なケアを防止するための検討会を実施し高齢者虐待防止のために理解を深めた。

回数	年月日	検討内容
1	令和3年 5月12日	・今年度の目標、活動方針について
2	7月21日	【内部研修】 「高齢者虐待防止について、高齢者虐待防止法の理解」 生活相談課 菅野洋子
3	10月31日	介護現場における「権利擁護について」(勉強会)
4	令和3年 1月28日	【内部研修】 「高齢者虐待と権利擁護について」 介護課 菅野くみ子
5	3月9日	・今年度の反省 介護現場で起こる不適切なケアの改善予防について(勉強会)

給食委員会

嗜好調査や日々挙げられるご入居者様個々の声や要望、各職種からの情報を反映し、給食に関する問題の改善に努め、献立やイベント食の提供をした。

また、定期的に富美岡荘・祥風苑・デイサービスセンター・委託業者で給食会議及び給食委員会を開催し、各職種との情報交換により、より一層満足していただく食事提供につなげた。

年月日	会議内容	活動内容
令和3年 4月6日	・3月の反省と、4月の活動計画について ・開苑記念の食事内容の反省について ・感染症予防(コロナウイルス)について	・行事食参加者の聞取りと準備、集計 ・その他行事食の準備と聞取り
5月13日	・4月の反省と、5月の活動計画について ・懇談会に挙げられた食事内容について	・行事食参加者の聞取りと準備、集計 ・行事食の準備
6月8日	・5月の反省と、6月の活動計画について ・嗜好調査の実施について ・夏季に向けて衛生管理について	・第1回目　嗜好調査実施 ・野外食の提案及び準備 ・行事食参加者の聞取りと準備、集計
7月8日	・6月の反省と、7月の活動計画について ・献立内容見直しについて ※各施設で実施	・行事食参加者の聞取りと準備、集計 ・野外食の提案及び準備
8月5日	・7月の反省と、8月の活動計画について ・害虫予防について ・夏季の衛生管理について	・行事食参加者の聞取りと準備、集計 ・その他行事食の準備と聞取り
9月7日	・8月の反省と、9月の活動計画について ・敬老会の食事内容について ・衛生管理について	・敬老会メニューの提案及び準備 ・食堂の環境整備 ・その他行事食の準備と聞取り
10月6日	・9月の反省と、10月の活動計画について ・敬老会の食事内容の反省について ・感染症予防について	・スポーツ大会メニューの提案と準備 ・その他行事食の準備と聞取り
11月4日	・10月の反省と、11月の活動計画について ・食事変更提出時間の確認について ・災害時の施設と厨房の連携について	・第2回目　嗜好調査実施 ・その他行事食の準備と聞取り
12月9日	・11月の反省と、12月の活動計画について ・年末年始の食事提供について ・感染症予防(コロナウイルス)について	・もち提供者の集計 ・その他行事食の準備と聞取り
令和4年 1月6日	・12月の反省と、1月の活動計画について ・感染症(ノロウィルス)対策と予防について ・イベント食の反省について	・お正月メニューの提案と準備 ・行事食参加者の聞取りと準備、集計
2月10日	・1月の反省と、2月の活動計画について ・感染症予防(コロナウイルス)について ※コロナウイルス感染拡大の為、各施設で実施	・食事満足度調査の実施 ・その他行事食の準備と聞取り
3月10日	・2月の反省と、3月の活動計画について ・食事状況の観察と情報の収集 ・今年度の反省と来年度に向けて	・行事食参加者の聞取りと準備、集計 ・その他行事食の準備と聞取り

研修委員会

職員の専門性の向上と自己研鑽を目的とし研修計画に基づいて内部研修を実施した。

内部研修会

No.	年月日	開催内容	講師	参加職種
1	令和3年 4月5日	新人職員研修	施設長　崎山美知枝　他	新人職員
2	4月12日	「事業計画、成仁会職員としての心構え」	理事長　山崎和彦	全職種
3	5月7日	「事故の予防策(リスクマネジメント)」について	介護課長補佐　鎌田敬子	全職種
4	5月24日	「接遇」について	副施設長　菅野くみ子	全職種
5	6月22日	感染症・食中毒予防について	看護係長　新沼エミ	全職種
6	6月22日	「視力障がい者ケア」について	生活相談課長　村上信吾 相談員兼ﾏｯｻｰｼﾞ師 古水健吾	全職種
7	7月14日	緊急時の対応と施設医療について	看護係長　新沼エミ	全職種
8	7月12日	「高齢者虐待防止について高齢者虐待防止法の理解」	生活相談副部長　菅野洋子	全職種
9	8月18日	「OHスケールとは、測定方法について」	看護師　金野舞	全職種
10	8月21日	高齢者施設入所施設での感染症対策について ～新型コロナウイルス感染症～	看護課長　次藤さち子	全職種
11	8月31日	「認知症及び認知症ケア」について	介護員兼支援員　千葉直子	全職種
12	9月27日	「倫理及び法令遵守」について	介護課主任　松本美和子	全職種
13	9月17日	「非常災害」について	介護員兼支援員　柏崎晃	全職種
14	10月14日	「尿路感染症」について	看護係長　新沼エミ	全職種
15	10月16日	「スピーチロックについて」	介護課副主任　千田明枝	全職種
16	11月29日	「リスクマネジメント」について	介護課副主任　神永里子	全職種
17	11月30日	成仁会全体研修会「認知症について」	大船渡病院　認定看護師　志田公紀	全職種
18	12月14日	「プライバシーの保護」について	介護課主任　澤田倫子	全職種
19	11月11日	「職員のメンタルヘルス」について	看護課課長　次藤さち子	全職種
20	12月23日	「褥瘡予防について」について	介護員兼支援員　村上明子	全職種
21	1月20日	「身体拘束せずに事故を防ぐ方法」	生活相談副部長　菅野洋子	全職種
22	1月31日	「高齢者虐待と権利擁護」について	副施設長　菅野くみ子	全職種
23	2月17日	「交通安全」について	介護員兼支援員　今野芳明	全職種
24	2月14日	「ターミナルケア」について	介護員兼支援員　刈谷宏子	全職種
25	3月16日	「守秘義務、個人情報保護」について	介護員兼支援員　佐藤晴樹	全職種

広報活動状況報告

年間を通し広報誌の発行、ホームページの更新を行い、全国にPRできるよう様々な施設内の様子を掲載した。コロナ禍で外部との交流や行事が減り、例年に比べて記事作りが難しかったように感じた。広報紙は発行予定日に遅れることなく、ホームページはコンスタントに更新し、苑内での様子を発信することができた。また、新たな試みとしてホームページに動画配信を行った。

年月	広報誌 ホームページ	掲載内容
令和3年 4月	ホームページ	開園記念日・花祭り・観桜会・誕生会・寿司バイキング・彼岸供養・新型コロナワクチン接種
5月	ホームページ	天ぷら選択食・誕生会・ワクチン接種2回目
4・5月号	祥風苑通信	【P1】開苑記念日【P2】開園記念日・花祭り【P3】観桜会【P4】寿司バイキング・誕生会 【P5】看護婦だより・栄養管理室だより【P6】祥風苑全体研修会・お知らせ・ボラン ボランティア紹介【別紙】短歌教室作品
6月	ホームページ	誕生会・野外食・ケーキの会・七夕飾り
7月	ホームページ	碁石バスハイク・うなぎ出前会・ソフトクリームの会・誕生会・コーラスクラブ
6・7月号	祥風苑通信	【P1】碁石バスハイク【P2】祥風苑バスハイク・ケーキの出前会【P3】碁石バスハイク 【P4】ソフトクリームの会・うなぎ出前会【P5】栄養管理室だより・看護課だより 【P6】東北医科大学実習生見学・お知らせ・ボランティア紹介【別紙】短歌教室作品
8月	ホームページ	スイカ割り大会・迎え火と送り火・納涼祭・ケーキの会
9月	ホームページ	敬老会<式典>・敬老会<祝宴>・十五夜団子作り・秋の彼岸供養・おはぎバイキング
8・9月号	祥風苑通信	【P1】十五夜団子作り【P2】敬老会【P3】スイカ割り大会・納涼祭【P4】十五夜団子作り 秋の彼岸供養【P5】栄養管理室だより・看護だより【P6】富美岡荘物語点字デイジー 図書化・お知らせ・ボランティア紹介【別紙】短歌教室作品
10月	ホームページ	チンドン屋来苑・秋の味覚の秋刀魚・スポーツ大会・不在者投票
11月	ホームページ	バスハイク・寿司バイキング・祥風苑文化祭・赤崎漁協婦人部　秋刀魚寄付・出前会
10・11月号	祥風苑通信	【P1】ハロウィンかぼちゃ【P2】スポーツ大会【P3】ハロウィン＆誕生会・出前会 【P4】文化祭作品作り・誕生会【P5】栄養管理室だより【P6】松澤ナツ子様100歳お祝い・ 赤い羽根共同募金・お知らせ・ボランティア紹介【別紙】短歌教室作品
12月	ホームページ	忘年会・誕生会・IBCラジソン・クリスマスお茶会・餅つき大会
令和4年 1月	ホームページ	新年のご挨拶・お正月お茶会・カレンダー当選
12・1月号	祥風苑通信	【P1】餅つき大会【P2】新年のご挨拶・水木団子作り【P3】祥風苑忘年会・餅つき大会 【P4】祥風苑クリスマス会【P5】菜の花の提供・ゆず風呂・栄養健康ワンポイント 【P6】お知らせ・短歌朗読CD・ボランティア紹介【別紙】短歌教室作品
2月	ホームページ	ワクチン接種3回目・水木団子作り・朗読CD寄付
3月	ホームページ	レクリエーション大会・バレンタイン喫茶・希望昼食会・節分
2・3月号	祥風苑通信	【P1】ひなまつり【P2】節分・バレンタイン喫茶【P3】レクレーション大会・希望昼食 会【P4】ひなまつり・彼岸供養【P5】栄養健康ワンポイント【P6】お知らせ・ボランティア 紹介・佐藤不二雄先生NHK全国短歌大会入選【別】

3 職員研修実施状況

外部研修

年月日	内　　容	出　　席	備　考
令和3年 9月9日	呼吸リハビリテーション研修会	看護師　金野舞	オンライン研修
10月8日	令和3年度第1回養護老人ホーム部会	施設長　崎山美知枝	オンライン会議
10月31日	令和3年度第3回生涯教育研修会	栄養管理室 課長補佐　鈴木千賀子	オンライン研修
10月25日～ 11月7日	令和3年度「健康的な食事（スマート和食）推進マスター」養成講座	栄養管理室 課長補佐　鈴木千賀子	オンライン研修
11月2日	令和3年度気仙地域感染症予防研修会	看護係長　新沼エミ	オンライン研修
11月11日	第69回全国盲人福祉施設大会	施設長　崎山美知枝	オンライン研修
11月12日	令和3年度地域経営推進事業 介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇加算取得推進セミナー	施設長　崎山美知枝	オンライン研修
12月9日	全国老施協トップセミナー	施設長　崎山美知枝	オンライン研修
令和4年 1月14日	第2回養護老人ホーム部会及び 第1回軽費老人ホーム・ケアハウス部会	施設長　崎山美知枝	オンライン会議
3月8日	令和3年度科学的介護情報システム研修会	生活相談副部長　菅野洋子 課　長　村上信吾 相談員　古水健吾	オンライン研修

～ 養護(盲)老人ホーム祥風苑 １年間の様子 ～

【４月】

「祥風苑２８周年記念」乾杯！

誕生会

桜満開バスハイク

出前寿司の日

【5月】

両手に花「誕生会」

ラーメン最高「希望昼食会」

案くれっと研修会（リモート）

キレイな椿が咲きました

【6月】

お散歩日和

スイーツ大好き女子「ケーキ出前会」

がぶっと一口「野外食」

消防訓練（座学）

【7月】

碁石海岸散策

夏はこれだよね！「ソフトクリームの会」

7月誕生会

コーラスクラブ

【8月】

お盆の迎え火

何が出るかな？「納涼祭」

夏はこれだよね「スイカ割り」

第2回　♡スイーツ出前会♡

【9月】

ご長寿お祝い「敬老会」

「中秋の名月」

全部下さい！「おはぎﾊﾞｲｷﾝｸﾞ」

秋の彼岸供養（安養寺ご住職）

【10月】

応援にパン食い競争、もの送りに白熱した「スポーツ大会」

秋の味覚「さんまの炭火焼き」

ちんどん屋「寺町一座」来苑

【11月】

ど根性ポプラ広場へバスハイク

おいしそう！「モスバーガー出前会」

涙の文化祭

大船渡市漁協赤崎女性部よりさんま寄贈

【12月】

ＩＢＣラジソン　大沢桃子さんと♡

せきれいの会よりＣＤ寄贈

メリークリスマス！「クリスマス忘年会」

年末　餅つき大会

【1月】

２０２２年　元旦

今年も健康で「元朝参り」

小正月水木団子作り

１月誕生会

【2月】

節分豆まき

あ～ん「バレンタイン喫茶」

ほれほれ！「レク大会」

２月誕生会

【3月】

祥風苑の美女「ひな祭り」

３月誕生会で熱唱！

消防訓練（夜間想定）

春の彼岸供養（安養寺ご住職）

令和３年度

事　業　報　告

（自　令和３年４月１日　　至　令和４年３月31日）

地域密着型介護老人福祉施設　蔵ハウス大船渡

令和３年度の事業を振り返って

～やるなら今でしょ！～

令和３年度テーマを「やるなら今でしょ！」とし、当施設も開設から13年が過ぎました。常に初心に返り原点を意識し「すべては入居者様の幸せのために」と、職員一丸となりました。それも、46年と言う長い歴史のある本部成仁会がバックにあるからでありとても心強く感謝しております。

入居者様29名の状況は、平均介護度4.1・平均年齢90.3歳、退居者様７名です。退居者様のうち４名は施設でのお看取りで、コロナ禍ながらも感染予防を徹底し個室でゆっくりと看取り期の時間を過ごすことができ、ご家族様からも大変感謝いただきました。

また昨年に引き続き、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、法人として何度も情報共有や感染症対策等の会議をし、消毒の徹底・面会の制限、外部との接触を控えるなどし、いち早い感染症対策をしました。ワクチンも入居者様・スタッフともに３回全員接種をし、安心安全に過ごすことができました。今後も引き続き予防の徹底をいたします。

中でも面会制限は２年目になり、入居者様もご家族様もストレスを抱えないように、オンラインを利用したテレビ電話や動画送信、恒例のスポーツ大会と敬老会はライブ中継をしその場で参加している臨場感を感じていただけるようにしました。日頃の見えないストレスを発散する目的として「縁日風屋台」「ビアガーデン」「まちの蔵舞(飲み屋街)」「紅白歌合戦」を企画し入居者様スタッフ参加型とし、施設内での非日常を感じ、ともに楽しんでいただくことができました。正に「やるなら今でしょ！今楽しみましょう」の思いでした。

また、埼玉医科大学緩和医療科認定施設として実証実験は、山崎シゲ客員研究員を先頭に法人全体でワンチームとなり、入居者様・ご家族様のご協力を得ながら行っております。会長は「常に相手の身になって、そのためにはその方をよく知ること（パーソナルケア)が大事である」ことがいかに大事かを常に話しており、この実証実験にいかに大切であることを全スタッフで共有し取り組みました。

地域への関りとしまして、コロナが少し落ち着いた時期に地域のサロンへ出前講座をいたしました。対象者が高齢の方々で、レクリエーションを交えたことで楽しく過ごしていただいたようです。引き続き４年度の継続事業として行います。

GHまちぐるみにおいては､認知症の方の特性をよく理解し常に寄り添ったケアを心掛け、蔵ハウス大船渡同様、コロナ禍ゆえの、遠方のご家族様へのＳＮＳ発信などをし、定着することができております。

今後も、シゲ会長の「常に相手の身になって」この想いの大切さ、そして、地域との繋がりの大切さを胸に、スタッフ一丸となって精進してまいります。

地域密着型介護老人福祉施設　蔵ハウス大船渡
認知症対応型共同生活介護事業所　まちぐるみ
施設長　小笠原　登志江

１　各課の事業実施状況

（１）生活相談課

令和３年度は「やるなら今でしょ！」というテーマを掲げ、入居者様個々の要望にタイムリーに対応できるよう施設一丸となって取り組んだ。前年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての面会規制の中で、家族や地域との繋がりを維持するため、個別の動画やSNSでの情報発信、テレビ電話での対話を支援した。スポーツ大会や敬老会等の行事もオンラインで開催し、参加された家族からは感謝の言葉や継続の声が聞かれた。また日頃のストレスを発散する目的で「縁日風屋台」「ビアガーデン」「まちの蔵舞」「紅白歌合戦」を各課で共同して企画し、施設内に居ながらも非日常を感じ、職員と共に楽しんでいただくことができた。

介護保険請求では、要介護度の区分変更申請による月遅れ請求はあったが、過誤申請や返戻等なく確実に行うことができた。また未収金管理・回収を法人本部の会計担当と連携しながら適切に行った。

今年度は７名の退所者のうち４名の方が施設での看取りとなった。嘱託医と連携を図りながら、看取り期に入った方には感染対策を万全にした上で、家族と最期の時をゆっくり過ごしていただくことができた。

入居の申し込みや問い合わせにも随時対応し、待機者の家族と連絡を取りながら状況の把握に努め、法人での入所検討委員会を通し連携・調整を図り公正な対応をした。

また、入居前の実態調査では在宅生活からの暮らしの継続を実現させるために、より多くの情報収集に努めた。入居後も家族に法人や施設の理念の説明を行い、昔の写真を持参していただいたり、若いころのエピソードを伺うことができ、施設職員一丸となってパーソナルケアに取り組んだ。

空床を利用しての短期入所も実施し、できる限り稼働率を維持しながら在宅介護を支援することができた。

地域行事等も中止となり、地域交流や社会貢献が困難な状況ではあったが、今後も家族地域の方の様々な意見に耳を傾け、今後も続くコロナ禍でも地域福祉の拠点として、入居者や地域の方々に貢献できる取り組みを積極的に行っていきたい。

利用実績

例年に比べ入院者が少なく、最期まで施設で過ごされる方が多かった。入院者の退院目処がつかない状態で生じている空床に短期入居の希望日数が合致せず、全て短期入所に結びつけることが困難だったが、待機者の担当ケアマネジャーや、ご家族様、他の事業所等と連携を図り、できる限り空床を活用した。

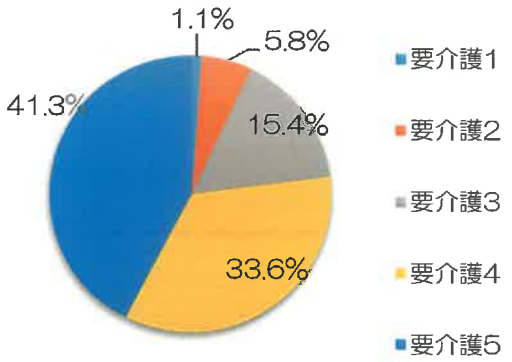
【長期入所】

提供月	要介護1（人）	要介護2（人）	要介護3（人）	要介護4（人）	要介護5（人）	平均介護度	利用ベッド数（床）	ベッド定数（床）	稼働率	入院外泊（日）
令和3年4月	1	2	5	11	11	4.0	870	870	100.0%	0
令和3年5月	1	2	5	11	10	3.9	899	899	100.0%	0
令和3年6月	1	2	5	11	10	3.9	870	870	100.0%	0
令和3年7月	1	2	5	10	11	4.0	899	899	100.0%	0
令和3年8月	0	2	5	9	12	4.1	868	899	96.6%	0
令和3年9月	0	2	4	10	14	4.2	845	870	97.1%	25
令和3年10月	0	2	4	10	14	4.2	884	899	98.3%	7
令和3年11月	0	2	5	9	14	4.1	870	870	100.0%	0
令和3年12月	0	2	5	9	14	4.2	899	899	100.0%	0
令和4年1月	0	1	5	10	14	4.2	898	899	99.9%	0
令和4年2月	0	1	4	11	13	4.2	812	812	100.0%	0
令和4年3月	0	1	4	11	13	4.2	899	899	100.0%	0
合計	4	21	56	122	150	4.1	10,513	10,585	99.3%	32
（下段：比率）	1.1%	5.8%	15.4%	33.6%	41.3%					

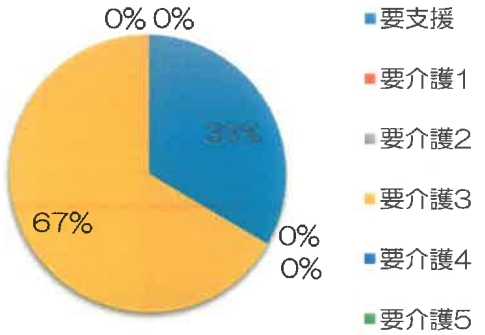
【短期入所】

提供月	要支援（人）	要介護1（人）	要介護2（人）	要介護3（人）	要介護4（人）	要介護5（人）	平均介護度	利用ベッド数（床）	利用可能ベッド数（床）	稼働率
令和3年8月	1	0	0	0	0	0	0.4	31	31	3.4%
令和3年9月	0	0	0	1	0	0	3.0	16	26	1.8%
令和3年10月	0	0	0	1	0	0	3.0	14	15	1.6%
合計	1	0	0	2	0	0	2.1	61	72	2.3%
（下段：比率）	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%				

【長期入所介護度比率】



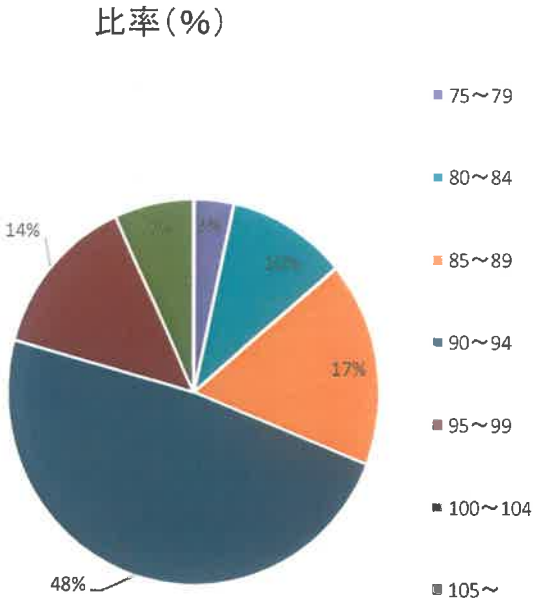
【短期入所介護度比率】



年齢別状況

（令和4年3月31日現在）

年齢区分	男（人）	女（人）	計（人）	比率（%）
～64	0	0	0	0%
65～69	0	0	0	0%
70～74	0	0	0	0%
75～79	0	1	1	3%
80～84	0	3	3	10%
85～89	1	4	5	17%
90～94	3	11	14	48%
95～99	1	3	4	14%
100～104	0	2	2	7%
105～	0	0	0	0%
計	5	24	29	
最高	95歳	100歳		
最低	89歳	76歳		
平均	91.6歳	90.3歳	90.6歳	



入退居の状況

今年度は入居７名、退居７名で、うち５名は看取りによる入院や死亡での退所となった。特に秋からの冬にかけて体調不良が集中し、施設内の温度・湿度管理、感染症対策は徹底して行った。入院者は例年に比べて少なく、空床は１名の方に短期入所を利用していただき、入院者の退院状況によって空床利用期間の調整があり、担当ケアマネや本人・家族との連携を随時行った。

（1）入　居

No.	年月	介護度	住　所
1	令和3年4月	4	猪川町
2	令和3年9月	4	大船渡町
3	令和3年9月	5	立根町
4	令和3年10月	4	盛町
5	令和3年11月	5	大船渡町
6	令和4年12月	5	大船渡町
7	令和4年1月	4	盛町

（2）退　居

No.	年月	介護度	摘　要
1	令和3年4月	5	他施設に入所
2	令和3年7月	1	在宅復帰
3	令和3年9月	4	大船渡病院で永眠
4	令和3年10月	5	施設にて永眠
5	令和3年11月	5	施設にて永眠
6	令和3年12月	4	施設にて永眠
7	令和4年1月	5	施設にて永眠

（3）入・退院者の状況

No.	氏名	入院先（病院名）	病名	入院年月日	介護度	退院年月日
1	T. S様	大船渡病院	肺がん	令和2年7月21日	4	－
2	S. H様	大船渡病院	大腸がん・右卵巣がん	令和2年10月30日	4	令和3年10月8日

（2）介護課

今年度も入居されている方々のほか、新規入居の方々の介護度が重度化している中で、各課と連携し出来る限り自立した生活、居心地の良い生活を目指し取り組んだ。

今年度もコロナウイルス感染症予防対策の為、面会・外出・行事等に制限がある中で、入居者様の「やるなら今でしょ」を実現できるよう取り組んだ。蔵ハウスの敷地内でプランターを用いて野菜を育てる「蔵ファーム」の活動は引き続き行った。その他に、夜の飲食店の雰囲気を楽しむ目的で行った「まちの蔵舞」や「紅白歌合戦」を新たに企画し・開催し入居者様だけでなく職員も一緒に楽しんで行うことができた。

市内の感染症の状況に応じての面会規程緩和により「ちょこっと面会」を行い、家族との交流のお手伝いをしたり、普段の生活の様子を動画送信やテレビ電話を行った。その中で入居者様の普段では見られない表情や行動があり、改めて家族との深い繋がりを感じた。行事開催に関しても交流の制限があり、入居者様には不便を感じさせてしまったが、リモートでの行事やユニット単位での催しで、気分転換を図った。今後も続くコロナ禍での対応について、より良い方法を考えていきたい。

埼玉医科大学病院の研究に、施設職員一丸となり取り組み実証実験を重ねる毎に、入居者様のわずかな身体状況の変化にも気づくことができるようになった。

食事面では、普段の食事摂取動作や咀嚼・嚥下の観察を行い、変化が生じた際には、各課と連携を図り、状態に応じた食事形態を検討しながら必要な栄養の摂取につなげることはもちろん、ユニット調理を通じ楽しみや喜びを感じることができ、食への意欲を引き出すように取り組んだ。

排泄面では、随時入居者様の状態に合った排泄用品の種類の選定や交換のタイミングの見直しを随時行った。

また、看護課と連携し、日頃の保湿ケアを入念に行うことでスキントラブルを軽減させ、医療的処置を最小限にすることができた。

音楽セッション、フラワーアレンジメントクラブ、蔵静寿会（習字クラブ）等の活動は、講師を招くことができない状況ではあるが、毎日のレク活動や余暇活動の中で定期的に実施した。来年度はさらに趣味活動の幅を広げられるよう入居者様の意向に沿って取り組んでいきたい。

定期的に開催したカンファレンスではケアプランと連動して２４時間シートについても検討し、個別ケアやパーソナルケアの充実を図った。

入居者の介護状況

【食事】　前年度と大きな変化はないが、食事形態の変更でソフト食やハーフ食が多くなっている。行事食などは、各課で連携し個々の食事摂取状態に応じて柔軟に変更し、「食」への楽しみを感じていただくよう配慮した。

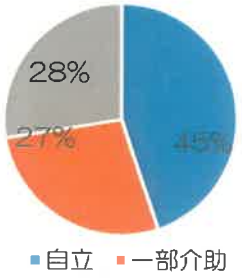
【排泄】　個別に排泄用品や排泄方法、支援の方法など定期的に見直しをしながら変更を行った。入退所によっての変化も大きいが、加齢に伴う状態の変化もあり前年度と比較すると介助量が増大している。

【入浴】　排泄同様、機能低下により座位保持が困難な方が増加し、特殊浴の割合が若干増加している。今後特殊浴対象者の状態の見直しを図り、リフト浴への移行を検討している。

【移動】　生活リハビリにより、施設内では自力で移動できる方が増えている。その分リスクも高まっているが、安全に移動できるよう適切に見守り・介助を行った。

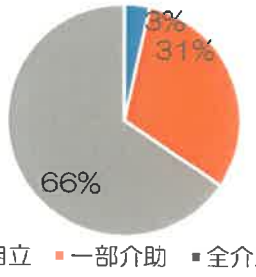
【食事】

自立	一部介助	全介助
13	8	8



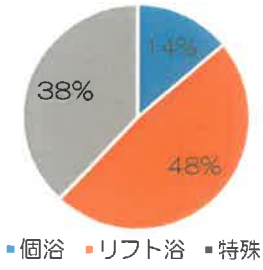
【排泄】

自立	一部介助	全介助
1	9	19



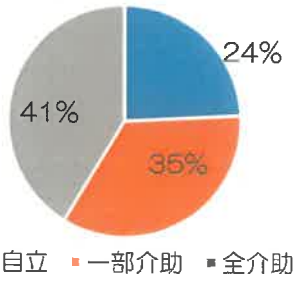
【入浴】

個浴	リフト浴	特殊浴
4	14	11



【起座】

自立	一部介助	全介助
7	10	12

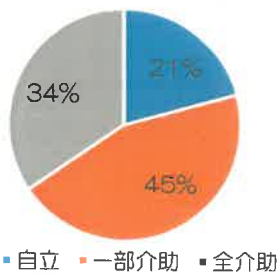


【移動（歩行・車椅子）】

自立	一部介助	全介助
8	12	9

【着脱】

自立	一部介助	全介助
6	13	10



行事実施状況

前年度に引き続き、感染症対策による活動の制限がある中で、市内の感染状況を見ながら、外部との接触を避けてのバスハイクや地域交流を行った。その他、全体での行事に代わりユニット内での活動を増やした。毎月定期的にクラブ活動開催した他、施設内で楽しめる企画をして、入居者様と職員一緒に楽しむ行事を行い好評をいただいた。

月　日	行　事　概　要	月　日	行　事　概　要
4月7日	観桜会(煮しめ作り)	5月8日	蔵静寿会
8日	花祭り	10日	フラワーアレンジメントクラブ
28日	寿司バイキング	11.12.15日	バスハイク(ふるさと巡り)
		21日	ゲーム大会
6月1日	入居者懇談会	7月2日	入居者懇談会
5日	さつき鑑賞(百年の里)		花婿・花嫁来訪
8日	フラワーアレンジメントクラブ	14日	フラワーアレンジメントクラブ・消防訓練
9日	消防訓練	21日	バーベキュー
25日	オンラインスポーツ大会	22日	蔵静寿会
29日	ホーム喫茶		
8月2日	入居者懇談会	9月1日	入居者懇談会
6日	ビアガーデン	8日	入居者様百寿祝い
10日	フラワーアレンジメントクラブ	14日	フラワーアレンジメントクラブ
11日	開所記念日・消防訓練	20日	合同オンライン敬老会
13日	迎え火	28日	消防訓練
16日	送り火	29日	蔵静寿会
19日	蔵静寿会		
23日	屋台風縁日		
31日	予防医学協会結核健診		
10月1日	入居者懇談会	11月1日	入居者懇談会
12日	フラワーアレンジメントクラブ	2日	バスハイク(住田方面)
13日	消防訓練	5日	バスハイク(日頃市方面)
18日	野外食	9日	チンドン寺町一座来訪
20日	盛こども園権現様お披露目会	10日	フラワーアレンジメントクラブ
26日	ホーム喫茶(マロンババロア)	17日	まちの蔵舞
28日	蔵静寿会	24日	消防訓練
		26日	作品展示会(～12/3)、紅白歌合戦
		29日	ケータリングお寿司の日
12月1日	入居者懇談会	1月1日	新年あいさつ・正月遊び
3日	文化祭選択食	4日	入居者懇談会
9日	蔵静寿会	5日	書初め
16日	フラワーアレンジメントクラブ	11日	フラワーアレンジメントクラブ
24日	クリスマス忘年会	14日	水木団子作り
26日	餅つき	27日	蔵静寿会
29日	消防訓練		
2月1日	入居者懇談会	3月1日	入居者懇談会
3日	節分(豆まき)	3日	ひな祭り
8日	フラワーアレンジメントクラブ	8日	フラワーアレンジメントクラブ
9日	消防訓練	16日	すき焼き鍋の日
14日	入居者様百寿祝い	24日	蔵静寿会
24日	蔵静寿会	25日	お蕎麦屋さん
25日	餅バイキング	30日	バスハイク(日本丸見物)

（3）看護課

「やるなら今でしょ！」の実現に向けて、個人の尊厳を大切にしながら体調の管理や身体機能低下の予防に努め、コロナ禍でも心身ともに健やかにストレスを最小に過ごしていただくことを目標に活動した。

多職種と協力し情報を共有することで体調の変化を早期に把握し、嘱託医と連携により早期改善に努めた。必要時には専門科への受診対応を行った。家族への受診結果や体調変化の際はその都度報告し安心していただけるように努めた。

感染症対策については、リモート研修会などを活用し知識を深め、新型コロナ感染症やノロウイルスの感染症予防に努め感染症には罹患することなく過ごすことができた。口腔内の感染から肺炎につながるリスクが高いことから口腔ケアを強化し予防に努めた。

要介護度４・５の方が多くなり機能低下や疾病等のリスクが高まる中で、ＡＤＬ評価に合わせた生活リハビリやタクティールケアなどを個別訓練を行い身体機能の維持・強化に努めた。

ターミナルケアでは、その方の希望を伺いし実現できるようサポートしたり、苦痛や不安が無いように寄り添い、嘱託医や多職種と連携し安楽に過ごしていただけるよう努めた。ご家族には、嘱託医のムンテラを行い意向を伺い、常時御家族との連携を図りながら希望に添えるよう対応した。

健康管理状況

(1)入居者疾患状況(述べ人数)　　単位：人

	脳血管障害による後遺症	高血圧	パーキンソン病	リウマチ	糖尿病	認知症	精神疾患	心疾患	消化器系（便秘含み）	泌尿器系	皮膚疾患	呼吸器系	内分泌系	悪性新生物	その他	計
男	2	2	1	0	1	2	2	3	3	2	2	1	1	0	4	26
女	8	11	2	0	4	15	3	13	10	4	10	1	0	1	15	97
計	10	13	3	0	5	17	5	16	13	6	12	2	1	1	19	123

（２） 健康診断実施状況

入居者	R3年4月	身長・体重・検尿・血圧・聴打診・心電図	29名
	R3年9月	身長・体重・検尿・聴打診・心電図・胸部写真 （胸部写真は岩手県予防医学協会対応で実施した）	29名
	R3年4月	新型コロナワクチン予防接種1回目	29名
	R3年5月	新型コロナワクチン予防接種2回目	29名
	R4年2月	新型コロナワクチン予防接種3回目	29名
	R3年11月	インフルエンザワクチン予防接種	29名
	R3年12月	肺炎球菌ワクチン予防接種	5名

職　員	R3年5月	身長・体重・血圧・検尿・視力・聴打診・腹囲・採血・ 胸部写真・心電図・聴力	22名
	R3年10月	体重・血圧・検尿・聴打診・腹囲・心電図・聴力・採血・視力	23名
	R3年4月	新型コロナワクチン予防接種1回目	22名
	R3年5月	新型コロナワクチン予防接種2回目	22名
	R4年2月	新型コロナワクチン予防接種3回目	21名
	R3年11月	インフルエンザワクチン予防接種	22名

（３） 通院・薬受け状況

病院名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県立大船渡病院	脳神経外科	1	0	0	4	0	1	1	0	1	1	0	0	9
	整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	泌尿器科	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	内科(循内神内含)	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	外科(乳腺外来含)	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	眼科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	4	8
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	緩和ケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
	救急センター	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
山崎内科医院		4	1	4	5	7	2	4	4	3	0	1	0	35
阿部歯科医院		2	0	0	1	1	0	0	0	0	3	1	1	9
鳥羽整形外科医院		1	2	0	2	0	0	1	1	2	2	0	0	11
及川皮膚科医院		2	3	6	6	2	5	2	2	2	2	5	5	42
飯塚眼科医院		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
いとう耳鼻科		0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
菊池内科医院		0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
渡辺歯科医院		0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	5
受診科　計		6	7	4	9	5	5	7	7	7	7	5	5	74
実人数		10	6	8	13	11	6	11	10	9	8	7	7	106
延べ人数		11	10	12	22	12	12	12	11	11	11	10	12	146

（４） 嘱託医回診状況

回診日　　週2回　（ 火曜日・木曜日 ）
回診時間　　14時から15時
対象者　　状態変化のある入居者
急変者は随時電話にて報告。指示受け対応する。
休日・回診日以外は毎日電話にて報告する。

（4）栄養管理室

令和３年度は、「全国うまいもの巡り」を企画し、日清と連携しながら日本全国の美味しい料理を提供した。また、由来カードを作成し、入居者様が身近に日本の料理を楽しみながら食事していただけるよう配慮した。

現在提供している食形態は、常食、ソフト食、ミキサー食である。個々人の食事摂取状況や身体状況を確認しながら、その都度、状態に合わせた食事提供した。その他、嗜好に合わせた食事提供やアレルギー除去食を提供し、入居者様が安心して安全な食事を摂取できるような食事提供に努めた。

毎月各ユニットでおやつ作りや夕食作りを実施することで、入居者様の残存機能を活かし、楽しみながら調理していただいた。そして、なじみ深い郷土料理や季節感を取り入れた食材を使用し、食欲増進および食事の満足度の向上に繋がるよう工夫した。

施設全体で行う行事食や毎週１回選択食、毎月月末にはホーム内喫茶を取り入れ、施設内での生活に潤いや入居者様同士の交流ができるような環境作りに取り組んだ。

HACCP の概念に基づき、調理過程における重要管理事項について、点検・記録を行った。食品納入時の検収や十分な加熱を確実に行い記録し、入居者様が安全に食事できるよう配慮した。

毎朝のミーティングに参加し、ユニットの情報を把握し、委託業者と共有しながら入居者様一人ひとりの健康状態や食事摂取量を把握し、各々の生活習慣や好みも尊重しながら必要な対応に努めた。

令和４年度も各課と連携を図り、情報を共有し円滑に、きめ細かいサービスの提供に努める。

給食状況

区分 / 月別	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	塩分 (g)	レチノール当量 (μg)	V-B1 (mg)	V-B2 (mg)	V-C (mg)	食物繊維 (g)
R3年4月	1,714	56.4	54.3	642	7.3	6.4	642	0.63	0.79	81	13.7
5月	1,788	59.0	61.6	693	7.9	6.9	654	0.66	0.84	82	15.8
6月	1,834	62.1	61.0	667	7.5	6.9	675	0.70	0.84	83	14.0
7月	1,834	62.1	61.0	667	7.5	6.9	675	0.70	0.84	83	14.0
8月	1,894	59.4	66.1	727	7.9	7.5	656	0.61	0.83	85	16.7
9月	1,899	60.3	66.7	705	8.2	7.1	659	0.67	0.83	90	25.6
10月	1,803	61.9	64.1	683	8.1	7.3	640	0.69	0.87	83	14.2
11月	1,853	63.8	59.7	687	8.1	7.2	677	0.68	0.90	83	13.8
12月	1,832	63.5	58.8	707	8.3	7.1	684	0.68	0.91	87	13.7
R4年1月	1,943	63.8	65.7	719	8.8	7.4	625	0.69	0.89	85	14.7
2月	1,931	64.5	67.1	860	9.8	6.9	787	1.27	1.30	120	16.8
3月	1,833	63.1	57.2	765	9.4	7.6	718	1.23	1.20	92	16.5
合　計	22,158	739.9	743.3	8,522	98.8	85.2	8,092	9.21	11.04	1,054	189.5
1日平均摂取量	1,847	62	62	710	8.2	7.1	674	0.77	0.92	88	15.8
1日目標基準量	1,540	53	43	660	6.2	7.2	680	1.00	1.14	100	15.4
充足率(%)	120	116	144	108	133	99	99	77	81	88	103

日清医療食品現任者研修

実施月	研修項目
4月	基本方針と四つの約束、コンプライアンス
5月	組織体制(支店/自営業所)、勤怠管理、ワークシェア
6月	安全管理・事故防止、食中毒と感染症の予防に関する基礎知識、メンタルヘルス
7月	施設における規則・マナー、個人情報の保護、患者様・入所者・ご家族等との対応
8月	病院・福祉施設等の社会的役割と組織、標準作業書に関する記載事項、 医療関連サービスに係る倫理綱領
9月	災害防止(地震対策マニュアル)
10月	ノロウイルス、ノロウイルス対策
11月	おう吐物処理手順
12月	労災防止
1月	食事の特殊性とその意義、治療食に関する知識
2月	食物アレルギー
3月	地震対策マニュアル、日常業務と事業所ルールの確認(nuワークガイドブック更新)

日清医療食品による衛生指導

衛生巡回	月1回	衛生巡回　他事業所チーフによる実施
	月1回	各事業所チーフによる実施
	毎日	各事業所社員による点検実施
支店指導	月1回	SVによる厨房状況確認、指導
	不定期	IRによる厨房状況確認、指導
蔵ハウス大船渡	不定期	本社衛生管理室による衛生監査(R元年度は実施なし)
	8月(年1回)	新調理食品検査(検証調査)

行事食実施状況

①施設全体での行事食とユニットでのおやつ作り・夕食作り

実施日		行　事　名		
4月	1日	夕食づくり（天神）		《ホーム喫茶》
	6日	手作りおやつ（盛町）		
	8日	花祭り		
	13日	手作りおやつ（天神）		
	20日	手作りおやつ（佐倉里）		
	21日	観桜会		
	22日	夕食づくり（盛町）		
	26日	手毬寿司の日		
	27日	ホーム内喫茶（プリンアラモード）	《手毬寿司の日》	
5月	3日	憲法記念日		《ホーム内喫茶》
	5日	端午の節句		
	6日	夕食づくり（天神）		
	18日	手作りおやつ（佐倉里）		
	20日	夕食作り（盛町）		
	25日	ホーム内喫茶（やせうま）	《夕食作り》	
6月	1日	手作りおやつ（佐倉里）		《手作りおやつ》
	3日	夕食作り（盛町）		
	8日	手作りおやつ（盛町）		
	10日	夕食作り（天神）		
	15日	手作りおやつ（天神）		
	17日	夕食作り（佐倉里）		
	25日	運動会		
	29日	ホーム内喫茶（ワッフル）	《運動会》	
7月	1日	夕食作り（天神）		《バーベキュー》
	7日	七夕		
	13日	手作りおやつ（天神）		
	15日	夕食づくり（盛町）		
	20日	手作りおやつ（盛町）		
	21日	バーベキュー		
	27日	ホーム内喫茶（スイカロールケーキ）		
	28日	土用の丑の日		
	29日	夕食作り（佐倉里）	《土用の丑の日》	
8月	5日	夕食作り（盛町）		《開所記念日》
	11日	開所記念日		
	13日	お盆メニュー		
	14日	お盆メニュー		
	15日	お盆メニュー		
	16日	お盆メニュー		
	19日	夕食作り（天神）		
	23日	縁日風屋台		
	26日	夕食作り（佐倉里）		
	31日	ホーム内喫茶（八つ橋、冷やしあめ）	《縁日風屋台》	
9月	2日	夕食作り（盛町）		《敬老会》
	9日	重陽の節句		
		夕食作り（天神）		
	14日	手作りおやつ（盛町）		
	20日	敬老会		
	21日	手作りおやつ（佐倉里）		
	23日	秋分の日		
	28日	ホーム内喫茶（シュークリーム）		
	30日	夕食作り（佐倉里）	《夕食作り》	

実施日		行　事　名	
10月	5日	手作りおやつ（佐倉里）	《野外食》
	7日	夕食作り（盛町）	
	12日	手作りおやつ（盛町）	
	14日	夕食作り（天神）	
	18日	野外食（さんまの塩焼き）	
	19日	手作りおやつ（佐倉里）	
	26日	ホーム内喫茶（マロンパパロア）	《手作りおやつ》
11月	2日	手作りおやつ（佐倉里）	《鮨きく池》
	3日	文化の日	
	9日	手作りおやつ（盛町）	
	11日	夕食作り（天神）	
	16日	手作りおやつ（天神）	
	17日	まちの蔵舞	
	23日	勤労感謝の日	
	25日	夕食作り（盛町）	
	29日	寿司の日（鮨きく池）	《まちの蔵舞》
12月	2日	きりたんぽ鍋（各ユニット）	《もちつき大会》
	3日	文化祭選択食	
	14日	手作りおやつ（天神）	
	16日	夕食作り（盛町）	
	23日	つくね豆乳坦々鍋（各ユニット）	
	24日	クリスマス・忘年会	
	〃	ホーム内喫茶	
	26日	もちつき大会	
	31日	大晦日（年越しそば）	《クリスマス・忘年会》
1月	1日	正月メニュー、もちの日	
	2日	正月メニュー	
	3日	正月メニュー	
	4日	もちの日	
	6日	夕食作り（佐倉里）	
	7日	もちの日	
	〃	七草	
	11日	手作りおやつ（天神）	
	15日	小正月	
	18日	手作りおやつ（盛町）	
	25日	ホーム内喫茶（りんごヨーグルトケーキ）	
	28日	鶏野菜鍋（各ユニット）	《小正月：水木団子作り》
			《正月メニュー》
2月	1日	手作りおやつ（天神）	
	3日	節分	
	8日	手作りおやつ（盛町）	
	10日	夕食作り（天神）	
	14日	ホーム内喫茶（チョコアイス）	
	17日	夕食作り（佐倉里）	
	23日	天皇誕生日	
	25日	餅バイキング	《ホーム喫茶》
			《餅バイキング》
3月	1日	手作りおやつ（天神）	
	3日	ひな祭り	
	〃	手作りなべやき食べ比べ	
	10日	夕食作り（盛町）	
	15日	手作りおやつ（盛町）	
	16日	すき焼き鍋の日	
	17日	夕食作り（天神）	
	21日	春分の日	
	25日	そば処蔵まち	《そば処蔵まち》
	29日	ホーム内喫茶（和菓子選択）	
			《すき焼き鍋の日》

行事食実施状況

②全国うまいもの巡り

実施日		都道府県(ご当地料理名)
4月	8日	山形県（山形風芋煮）
	15日	熊本県（太平燕）
	20日	埼玉県（くるみそば）
	28日	東京都（品川飯）
5月	13日	鹿児島県（がね丼）
	6日	愛媛県（小倉トースト）
	20日	長崎県（ハトシ）
	25日	大分県（やせうま）
6月	5日	茨城県（そばいなり）
	11日	福井県（永平寺揚げ風）
	18日	山口県（けんちょう）
	24日	鳥取県（鳥取カレー）
	29日	宮崎県（そば汁）
7月	8日	岐阜県（鶏ちゃん）
	13日	神奈川県（ワカサギ天）
	22日	沖縄県（タコライス）
	30日	千葉県（いわし丼）
8月	3日	静岡県（つけナポリタン）
	10日	滋賀県（焼きサバ寿司）
	19日	徳島県（ならえ）
	27日	群馬県（なすの蒲焼丼）
	31日	京都府（八ツ橋・冷やしあめ）
9月	2日	栃木県（いもフライ）
	16日	福島県（ソースカツ丼）
	21日	宮城県（ずんだ団子）
	24日	福岡県（かしわ飯・とんこつワンタンスープ）
10月	1日	香川県（いりこ天ぷら）
	5日	新潟県（いももち）
	11日	和歌山県（僧兵汁）
	20日	兵庫県（そばめし）
	27日	長野県（山賊焼き）
11月	4日	石川県（治部煮）
	11日	岩手県（はらこ飯）
	25日	高知県（ニラ塩焼きそば・なまりおにぎり）
12月	2日	秋田県（きりたんぽ鍋）
	7日	富山県（いもがいもち）
	17日	広島県（備後府中焼き）
	20日	大阪府（白菜ラーメン）
1月	15日	岡山県（きび団子のおしるこ）
	19日	愛媛県（あんかけよもぎそば）
2月	8日	山梨県（五平餅）
	16日	島根県（焼き飯茶漬け）
	25日	佐賀県（肥前茶粥・のっぺい汁）
3月	1日	奈良県（よもぎ焼き）
	11日	三重県（天巻き・伊勢うどん）
	15日	青森県（けいらん）
	31日	北海道（やきとり弁当・三平汁）

《愛媛県：小倉トースト》

《埼玉県：くるみそば》

《千葉県：いわし丼》

《茨城県：そばいなり》

《福岡県：かしわ飯・
とんこつワンタンスー

《京都府：八ツ橋・
冷やしあめ》

《高知県：ニラ塩焼きそ
ば・なまりおにぎり》

《新潟県：いもも

《愛媛県：あんかけよもぎそば》

《広島県：備後府中焼

《北海道：やきとり弁
当・三平汁》

《山梨県：五平餅》

2 委員会の開催状況

褥瘡予防委員会

毎月委員会を開催し、皮膚トラブルの状況を写真に収めて対応を検討し、褥瘡予防対策のリスクマネジメントを行った。皮膚の状態に変化があった際には各課・嘱託医との連携で早めの対応を行い、必要時には皮膚科の受診も行った。

入居者様は年々高齢化となり、食事量の減少による低蛋白や・長時間の臥床や車椅子生活により、褥瘡の発生率が高くなってきた。食事の摂取量・体重の変化・アルブミン値などを評価し、低栄養予防に取り組んだ。また、体位変換、車椅子での座位時間や姿勢、環境、エアーマット等をこまめにチェックすることで早期発見に努め、悪化することなく改善することができた。

回	月　日	内　　容
第1回	4月21日	①褥瘡発生者経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③今年度の活動について
第2回	5月19日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第3回	6月16日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③特殊マットの使用状況
第4回	7月21日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第5回	8月18日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③特殊マット使用状況
第6回	9月15日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第7回	10月20日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第8回	11月17日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③特殊マット使用状況
第9回	12月15日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第10回	1月19日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討
第11回	2月16日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③特殊マット使用状況
第12回	3月16日	①褥瘡発生者の経過観察結果 ②褥瘡発生者及び皮膚トラブル発生者の報告と検討 ③次年度の活動について

リスクマネジメント委員会

毎月の委員会を通し、事故・ヒヤリハットの報告や事例の検討、資料を使用しての研修を行い、対策を講じ再発防止に努めた。

昨年度と比較するとヒヤリハットの件数は半数以下となり、種類として転倒が多く全割合の半数以上を占めた。昨年２番目に多かった表皮剥離だが、日頃のスキンケアを入念にすることで「スキンテア」の予防となり、今年度は１件にとどまった。また、３件の受診対応を必要とする事故が発生し、頭部裂傷、骨折につながってしまった。

今後は事故での教訓を活かし、安全・安心・安楽な介助を提供できるよう知識を深め、実践しヒヤリハットや事故防止に努めていきたい。

回数	年月日	開催内容	活動内容
第１回	4月22日	・4月の報告 ・事例検討	・３月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第２回	5月19日	・５月の報告 ・事例検討	・４月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第３回	6月16日	・６月の報告 ・事例検討	・５月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第４回	7月21日	・７月の報告 ・内部研修	・６月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討 ・「介護のリスクマネジメント！ヒヤリハット事例と対処法」
第５回	8月18日	・８月の報告 ・事例検討	・７月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第６回	9月15日	・９月の報告 ・事例検討	・８月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第７回	10月27日	・１０月の報告 ・事例検討 ・その他	・９月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討 ・「事故報告書に関して」
第８回	11月30日	・１１月の報告 ・事例検討 ・内部研修	・１０月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討 ・「介護現場の事故対応でおさえておくべきポイントとは」
第９回	12月15日	・１２月の報告 ・事例検討	・１１月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第１０回	1月19日	・１月の報告 ・事例検討	・１２月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第１１回	2月16日	・２月の報告 ・事例検討	・１月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討
第１２回	3月16日	・３月の報告 ・事例検討	・２月の事故・ヒヤリハットの分析、対応の検討

事故集計

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総件数		1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
性別	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
介護度	要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
日常生活自立度(障害)	A1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	A2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	B1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	B2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	C2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	正常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日常生活自立度(認知)	Ⅰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ⅱa	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	Ⅱb	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ⅲa	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ⅲb	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ⅳ	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	M	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
曜日	日曜日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月曜日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	火曜日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	水曜日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	木曜日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	金曜日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	土曜日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
時間	０６～０９	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	０９～１２	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	１２～１５	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	１５～１８	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	１８～２１	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	２１～２４	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	２４～０６	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
場所	居室	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	廊下	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	リビング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	食堂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	浴室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脱衣室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	トイレ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外出先	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
種類	転倒・転落	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
	打ち付け・挟み込み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮膚剥離・出血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	誤嚥・誤飲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	やけど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原因	生活活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	機能低下	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
	介護動作・手順	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	意思確認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アセスメント不足	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	動作環境	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ヒヤリハット集計

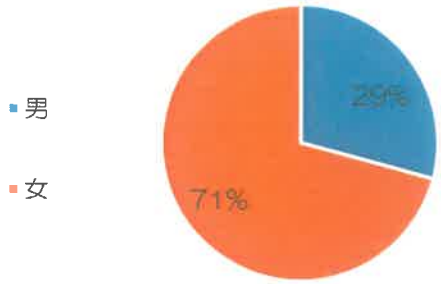
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総件数		3	3	4	0	1	1	1	2	3	1	1	1	21
性別	男	1	0	2	0	0	0	0	1	2	1	0	0	7
	女	2	3	2	0	1	1	1	1	1	0	1	1	14
介護度	要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	2	0	0	0	0	1	2	0	0	1	6
	4	2	2	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	9
	5	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	5
日常生活自立度（障害）	A1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	A2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	B1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	B2	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	6
	C1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	6
	C2	1	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	5
	正常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日常生活自立度（認知）	Ⅰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	Ⅱａ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ⅱｂ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ⅲａ	3	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	7
	Ⅲｂ	0	3	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	6
	Ⅳ	0	0	3	0	0	1	0	0	3	0	0	0	7
	Ｍ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
曜日	日曜日	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	5
	月曜日	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3
	火曜日	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	水曜日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	木曜日	1	1	2	0	0	0	1	0	0	1	0	1	7
	金曜日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	土曜日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
時間	０６～０９	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	０９～１２	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	１２～１５	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
	１５～１８	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	5
	１８～２１	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
	２１～２４	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	２４～０６	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4
場所	居室	3	3	2	0	1	1	1	2	3	1	1	0	18
	廊下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リビング	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	食堂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	浴室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脱衣室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	トイレ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	外出先	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
種類	転倒・転落	3	1	2	0	0	1	1	2	3	1	1	1	16
	打ち付け・挟み込み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮膚剥離・出血	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	誤嚥・誤飲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	やけど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
原因	生活活動	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	機能低下	2	0	1	0	0	1	0	2	3	1	0	0	10
	介護動作・手順	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
	意思確認	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	アセスメント不足	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	動作環境	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3

事故・ヒヤリハット発生状況

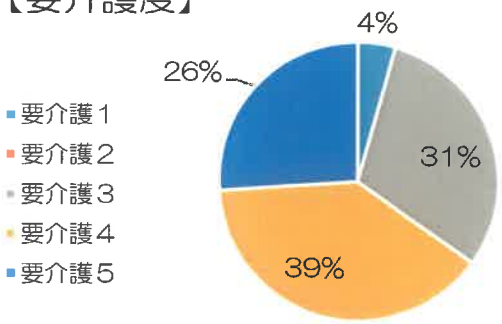
今年度挙げられた事故報告３件、ヒヤリハット報告２１件と昨年と比べ少し減少した。同じ入居者の割合が高く、認知症や過信による自身の状態把握不足や機能低下での転倒,転落が最も多く、センサー導入したことで発生率の減少に繋がったが、今後も見守りの体制は継続したい。

前年度２番目に多かった皮膚剥離・出血が今回大きく減少した背景には、介護課と看護課と共同して日頃からスキンケアを入念に行った成果が考えられる。

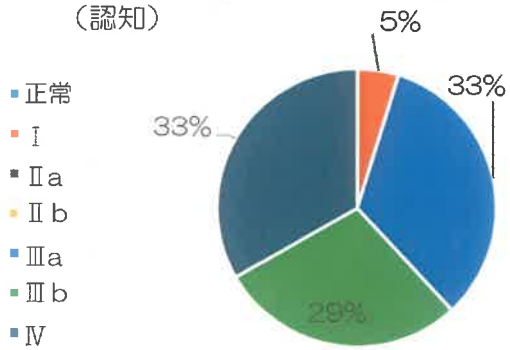
【性別】



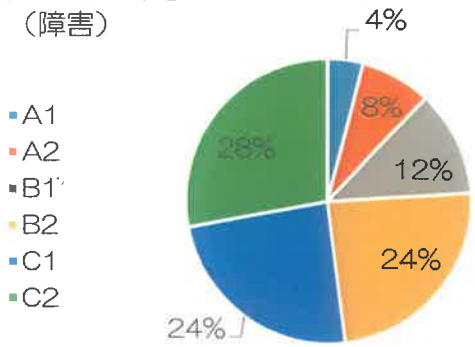
【要介護度】



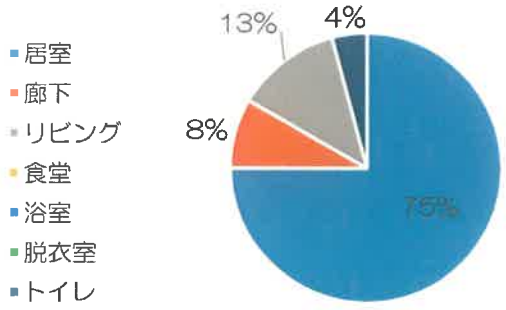
【日常生活自立度】
（認知）



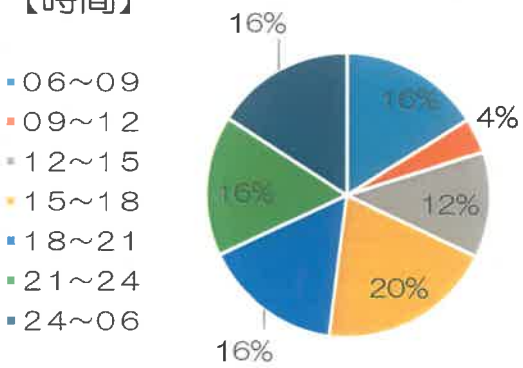
【日常生活自立度】
（障害）



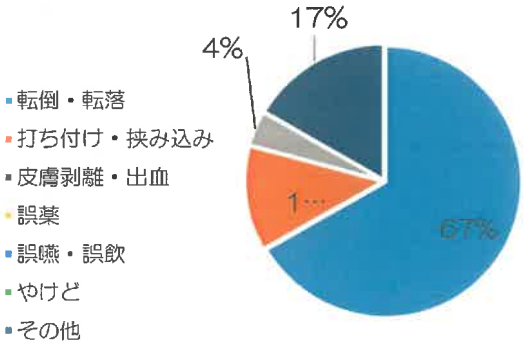
【場所】



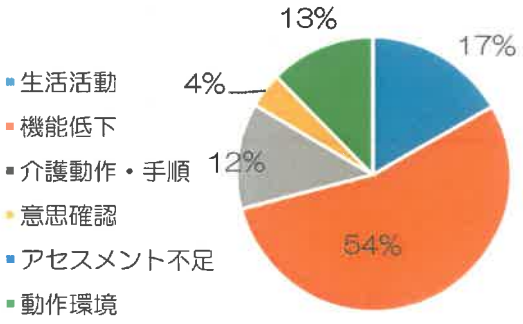
【時間】



【種類】



【原因】



感染症対策委員会

当施設の感染対策として噴霧器での消毒、玄関先での手洗い、うがい、手指消毒の徹底、施設内の温度湿度管理を行った。また、外出時のマスク着用や、出勤時のバイタルチェックを行い感染予防に努め入居者のインフルエンザ、新型コロナウイルスの罹患があり、入居者、職員PCR検査を行い、

新型コロナウィルス対策については、毎月委員会で新情報を共有し、他県への外出時の注意や面会時の体調確認、標準感染予防策を強化した。

回	月　日	内　　容	
第1回	4月21日	①3月の感染症の実態	④入居者の健康診断実施について
		②3月の体調不良者の実態	⑤その他
		③新型コロナウイルスワクチン接種について	
第2回	5月19日	①4月の感染症の実態	④職員の健康診断の実施状況について
		②4月の体調不良者の実態	⑤コロナ対策等について
		③1回目の新型コロナウイルスワクチン接種者の実態と2回目の予定について	
第3回	6月16日	①5月の感染症の実態	④コロナ対策等について
		②5月の体調不良者の実態	⑤その他
		③食中毒予防について	
第4回	7月21日	①6月の感染症の実態	③最近のコロナ感染の実態状況等と予防対策について
		②6月の体調不良者の実態	⑤その他
第5回	8月18日	①7月の感染症の実態	③職員家族の盆帰省対応について
		②7月の体調不良者の実態	④その他
第6回	9月15日	①8月の感染症の実態	③その他
		②8月の体調不良者の実態	
第7回	10月20日	①9月の感染症の実態	③コロナ感染症の「外食、外出」等に関する規制の一時的緩和について
		②9月の体調不良者の実態	④その他
第8回	11月17日	①10月の感染症の実態	③新型コロナウイルスに関する職員への規制緩和について
		②10月の体調不良者の実態	④その他
第9回	12月15日	①11月の感染症の実態	③インフルエンザ予防対策について
		②11月の体調不良者の実態	④その他
第10回	1月19日	①12月の感染症の実態	③新型コロナウイルス感染症対策の規制について
		②12月の体調不良者の実態	⑤その他
第11回	2月16日	①1月の感染症の実態	③コロナウイルス感染症対策について
		②1月の体調不良者の実態	④その他
第12回	3月16日	①2月の感染症の実態	④今年度の反省
		②2月の体調不良者の実態	⑤その他
		③新型コロナウィルスの対策について	

広報委員会

面会制限中でも生活の様子を家族や地域の皆様にお伝えできるよう行事や日々の暮らしの様子をホームページやSNSを活用し情報を発信した。ご家族様へ個別に画像や動画を送りタイムリーに情報をお伝えすることができ、ご家族様とコミュニケーションを図りながらの情報の共有もできた。

また、オンラインでの行事開催企画は好評をいただいたが、インターネット環境が不安定で音声や画像が途切れることがあったので、安定した通信ができるよう改善を図っている。

コロナ禍で地域交流や行事等は例年に比べ少なかったが、ユニット内でのイベントや生活の様子をこまめに写真に収め、データ管理、印刷、整理等は随時行った。

月	活動内容	
令和3年4月	ホームページ	お花見、お花見２、孫と一緒に、入学式、花祭り、観桜会、つばき娘任命式
令和3年5月	ホームページ	碁石観光まつり　つばき娘お披露目、蔵ファーム成長記録１～４、野外で活動、散歩
令和3年5月	母の日	母の日にあてたメッセージを往復はがきで文通
令和3年6月	ホームページ	蔵ファーム成長記録６～８、スポーツ大会（オンライン）その１～３
令和3年6月	父の日	父の日にあてたメッセージを往復はがきで文通
令和3年6月	オンライン行事	スポーツ大会
令和3年7月	ホームページ	お天王様、１００歳のお祝い、野外食（バーベキュー）蔵ファーム成長記録９
令和3年8月	ホームページ	ビアガーデン・蔵ファーム収穫祭、開所記念日、迎え火、縁日
令和3年9月	オンライン行事	鎌田トラオ様　１００歳誕生会
令和3年9月	オンライン行事	敬老会
令和3年9月	ホームページ	岩手県最高齢鴨野チヨノ様１１０歳誕生会、鎌田トラオ様１００歳誕生会、蔵ハウス・まちぐるみ合同敬老会１～２、蔵ハウス・まちぐるみ合同敬老会余興編１
令和3年10月	ホームページ	さつまいも収穫、野外食（秋刀魚）、蔵ハウス・まちぐるみ合同敬老会余興編２、盛こども園権現様お披露目会
令和3年11月	ホームページ	ちんどん寺町一座、NEWOPENまちの蔵舞（クラブ）１～３、NEWOPENまちの蔵舞（クラブ）職員編１～２、紅白歌合戦、紅白歌合戦（職員編）、出前寿司の日、出前寿司の日２
令和3年12月	年賀状	家族に感謝の気持ちを伝え、新年を祝い年賀状を作成
令和3年12月	ホームページ	運営推進会議、クリスマス忘年会、クリスマス忘年会２、もちつき、もちつき２
令和4年1月	ホームページ	お正月～３、フラワーアレンジメントクラブ、１１０歳岩手県最高齢鴨野チヨノ様とのお別れ
令和4年2、3月	ホームページ	更新作業中

研修委員会

法人の研修計画に基づき計画的に内部研修会を行った他、日々の業務の中で生じた問題点や疑問に対しても随時研修会開催し、施設全体で内容の共有を図った。外部研修への参加が難しい中、施設職員としての資質向上とスキルアップを目指し、積極的にオンラインセミナー等にも参加した。

内部研修会

回数	年月日	開催内容	担当職員
第1回	4月6日	「成仁会職員としての心構えについて」	施設長 小笠原登志江
		「倫理及び法令遵守について」	相談課長 鎌田由美
第2回	5月12日	「守秘義務及び個人情報保護について」	相談課長 鎌田由美
		「接遇について」	介護主任 菊池百恵
第3回	6月9日	「感染症（疥癬）食中毒予防、まん延防止について」	看護師 千葉雄子
		「プライバシー保護について」	介護主任 菊池百恵
第4回	7月7日	「事故発生時の対応について」	介護主任 佐藤国子
		「褥瘡予防について」	看護師 鈴木由美子
第5回	7月24日 8月4日	「緊急時の対応と施設の医療について」	看護師長 金野文子
第6回	8月4日	「身体拘束について」	介護主任 鷲田有希子
第7回	9月1日	「権利擁護について」	相談課長 鎌田由美
第8回	10月6日	「ターミナルケアについて」	看護師長 金野文子
		「身体拘束廃止について」	介護員 大平加代
第9回	11月10日	「リスクマネジメントについて」	介護副主任 新沼悦子
		「ノロウイルス予防対策について」	看護師 千葉雄子
第10回	12月8日	「感染症及びインフルエンザ予防対策について」	看護師 千葉雄子
第11回	1月5日	「褥瘡予防について」	看護師 鈴木由美子
		「職員のメンタルヘルスについて」	看護師長 金野文子
		「交通安全について」	施設長 小笠原登志江
第12回	2月2日	「介護保険制度について」	相談課長 鎌田由美
		「腰痛予防について」	看護師長 金野文子
第13回	3月9日	「非常災害について」	総務部長 村上芳春

3　職員研修実施状況

日付	内容	出席者
9月23日	認知症講演会（オンライン）	看護師　千葉雄子 看護師　鈴木由美子 相談課長　鎌田由美
10月26日	令和３年度沿岸地域医療安全対策研修会 及び看護業務地区セミナー（オンライン）	看護師長　金野文子 相談課長　鎌田由美
11月2日	令和３年度気仙地区感染予防研修会（オンライン）	看護師長　金野文子
11月10～12日 11月25日～26日	在宅・施設・訪問診療に携わる医療関係者向け漢方オンライン説明会	看護師長　金野文子
11月20日	かいごの日研修会（オンライン）	相談課長　鎌田由美
12月14日	遠隔講習会「効果的なケアリスクマネジメント」（オンライン）	施設長 小笠原登志江 看護師長　金野文子 相談課長　鎌田由美 介護副主任　新沼悦子
12月17日	床ずれ対策ＷＥＢセミナー（オンライン）	施設長 小笠原登志江 看護師長　金野文子 相談課長　鎌田由美 介護主任　千葉真喜子 介護副主任　新沼悦子

給食委員会

給食委員会では、入居者にとって楽しみの多い食事を提供するために、献立内容や盛り付けなど日々の食事状況について、給食委託業者も交え行った。また、毎日の食事状態を観察し、個々人にとってより良い食形態や本人の好む食品を各課と連携し提供した。

回数	年月日	開催内容	活動内容	参加人数
第1回	4月21日	①4月の反省 ②5月の計画	①5月の行事食について 憲法記念日 ②ホーム喫茶の計画	6
第2回	5月19日	①5月の反省 ②6月の計画	①6月の行事食について ②運動会の献立計画 ③ホーム喫茶の計画	5
第3回	6月16日	①6月の反省 ②7月の計画	①7月の行事食について ②土用の丑の日、野外食の計画 ③ホーム喫茶の計画	6
第4回	7月14日	①7月の反省 ②8月の計画	①8月の行事食について ②開所記念日の献立計画 ③ホーム喫茶の計画	7
第5回	8月18日	①8月の反省 ②9月の計画	①9月の行事食について ②敬老会の献立計画 ③ホーム喫茶の計画	6
第6回	9月15日	①9月の反省 ②10月の計画	①10月の行事食について 野外食、体育の日 ②ホーム喫茶の計画	5
第7回	10月20日	①10月の反省 ②11月の計画	①11月の行事食について ②文化祭の計画 ③ホーム喫茶の計画	6
第8回	11月17日	①11月の反省 ②12月の計画	①12月の行事食について ②クリスマス・忘年会の計画 ③ホーム喫茶の計画	6
第9回	12月22日	①12月の反省 ②1月の計画	①1月の行事食について ②水木団子作りについて ③ホーム喫茶の計画	7
第10回	1月19日	①1月の反省 ②2月の計画	①2月の行事食について ②節分、餅バイキングの計画 ③ホーム喫茶の計画	7
第11回	2月16日	①2月の反省 ②3月の計画	①3月の行事食について 桃の節句、春分の日 ②ホーム喫茶の計画	8
第12回	3月16日	①3月の反省 ②4月の計画	①4月の行事食について ②観桜会、生もの提供の計画 ③ホーム喫茶の計画	7

参加人数合計
76名

４.運営推進会議の実施状況

地域密着型サービス事業所の運営を透明性のあるものにし、サービスの質確保と向上を図り、地域資源として機能していくために、各関係機関及び地域の代表者を委員として運営推進会議を開催。新型コロナウイルスにより感染予防を図るため感染状況に応じて集会または書面による情報提供を及び報告を行い委員各位から意見・要望を収集した。

年月日	内容	開催主体	出席者
令和3年10月5日	①令和３年度第１回から３回まで（４月、６月、８月分）情報提供、報告 ②今年度、運営推進会議の取り扱いについて ③委員の委嘱について ④運営推進委員より意見収集（書面にて）	蔵ハウス大船渡 まちぐるみ合同	大船渡市生活福祉部長寿社会課課長 入居者の家族 本町公民館長 商店街代表 福祉の里指定居宅介護支援事業所所長 施設職員
令和3年12月24日	①令和３年度第４回（１０月、１１月分）情報提供、報告 ②外部評価の報告 ③運営推進委員より意見収集	蔵ハウス大船渡 まちぐるみ合同	〃

蔵ハウス大船渡　1年間の様子

お花見

孫の結婚式

孫の入学式

観桜会（煮しめ作り）

花祭り

つばき娘任命式

野外でレク体操

スポーツ大会

蔵ハウス大船渡　1年間の様子

職員の結婚式

お天王様

野外食

ビアガーデン・蔵ファーム収穫祭

開所記念日　お祝い膳

入居者様誕生会

縁日

敬老会

蔵ハウス大船渡　1年間の様子

ちんどん寺町一座来訪

紅白歌合戦

ひなたサロンへの出前講座

蔵ファーム　サツマイモ収穫

まちの蔵舞（クラブ）

クリスマス・忘年会

お正月

ワクチン接種（3回目）

令和３年度

事　業　報　告

（自　令和３年４月１日　　至　令和４年３月31日）

認知症対応型共同生活介護事業所　まちぐるみ

１．各課の事業実施状況

（１）生活相談係

令和３年度は、事業所のテーマ「やるなら今でしょ」と設定し、日々の日常生活の会話や家族の話、懇談会などから個々の希望や夢を確認しケアプラン・２４時間シート充実を図った。前年同様コロナ禍での支援が続いたが、外出・外食が難しい中『テイクアウトメニュー』を取り入れ入居者の希望を伺いながら注文しお店の味を味わっていただいた。行事など体験できることはできる限り本物に近い物を、と屋台風縁日や、『まちの蔵舞』と題し夜の繁華街の雰囲気を企画し入居者に喜んでいただいた。買い物の代行、郵便物の差出援助など、日常生活に不便をきたさないよう留意し、家族との関係が切れないよう、面会は感染状況に応じて適宜窓越しでの対応や、広報誌や電話・ＳＮＳを活用したテレビ電話での面会、日常生活の様子を動画にして家族へ送信し家族との結びつきの維持を図った。

令和３年度は５名の方が退所し、新たに５名の方を受け入れした。重度化が進み医療的ケアが必要になり特養に移られた方が３名、医療施設に入院した方が２名だった。入所に関しては、入所検討委員会を通じ法人内での連携・調整図り、状況を確認したうえで公正な対応をした。

介護保険請求では、入退院・要介護度区分変更による月遅れの請求もあったが、過誤申請や返戻など無く確実に行うことができた。

令和３年１０月１８日に地域密着型サービス外部評価を受けましたが、改善の報告を要するものはありませんでした。

（2）介護課

入居者個々の有する能力や精神状態などに共感し、身体的かつ精神状態などを見極めながら、安心・安全・笑顔で過ごして頂ける様努めた。

毎朝、個別に起床介助を行い、バイタルチェック、食事量、水分量の把握をし、健康管理に努めて行く。

毎日の活動として、午前中はレク体操、嚥下体操を実施。その他にも１日を通じて趣味活動や外出、庭散歩、ゲームなど色々なプログラムを計画し頭や身体を動かすだけではなく、入居者が生きがいを感じられるようなレク活動を心がけ ADL の維持に努めた。

食事支援においては利用者様の嚥下状態や嗜好に合わせた食事を提供し、食事摂取量を把握し健康状態の把握に努めた。食事は毎日の楽しみでもあり行事、誕生日など、入居者のご希望に添えるような食事、おやつなど提供し献立も季節の旬を味わって頂く工夫したメニューにしており、併設管理栄養士の指導もいただている。また、食事作りへの参加、盛り付け、茶わん洗い、おしぼりたたみなどの軽作業を担っていただいており、生活の中で役割を感じながら、生活意欲を維持できるよう支援した。全国郷土料理メニュー献立に取り入れ、４７都道府県、３６品目を提供する事が出来た。

入居者同士の交流やくつろぎの場であるリビングルームや地域交流スペースを中心に日々の暮らしの中でのコミュニケーションを大切にした。全職員と協力し季節感のある飾りなどにて季節を感じていただく。作品作りで入居者同士、または入居者と職員の交流を深めることができた。

日頃の入居者の体調の変化を早期発見し、蔵看護師や主治医、家族とも連携を図りながら的確な対応に努めることができた。コロナワクチンは入居者、職員ともに３回の接種終え日頃の生活の中で、手洗い・うがい・消毒・マスク着用のほか、プレミアム電解水で常時、噴霧、加湿し、アルコール消毒と感染予防に取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症の拡大で、外出制限や面会制限、施設内でのボランティアなどによる催しが中止となり、入居者のストレスが溜まらないよう、リモート面会を施行。天候を見ながら密を避けバスハイクを行い、外に出る機会を多く作り、その様子の写真や動画を撮影しメールなどでご家族に配信することができた。

何事も「出来ない」ではなく「出来ない環境での楽しみを見つける」とし入居者と共に生活していきたい。

２．入退所の状況

（１）入 所

今年度は在宅から５名の入居を受入した。ほとんどの方が独居で認知症状があり、ご家族も市外におり支援が難しい状況で施設への入居となった。

入居の順番については法人で行っている入所検討委員会の結果を持って各施設と連携を図っている。

No.	年月日	氏　名	介護度	摘　要	住　所
1	令和3年6月28日	Ｈ・Ｈ様	5	在宅	大船渡町
2	令和3年7月5日	Ｙ・Ｓ様	4	在宅	盛町
3	令和3年9月13日	Ｔ・Ｋ様	1	在宅	盛町
4	令和3年11月10日	Ｍ・Ｓ様	2	在宅	大船渡町
5	令和3年12月28日	Ｈ・Ｙ様	2	在宅	盛町

（２）退 所

今年度は５名が医療機関への入院や特養への移動に伴い退所となった。

No.	年月日	氏　名	介護度	摘　要
1	令和3年6月27日	Ｋ・Ｍ様	2	入院のため
2	令和3年7月5日	Ｋ・Ｍ様	2	入院のため
3	令和3年9月9日	Ｋ・Ｋ様	4	特養入所のため
4	令和3年11月6日	Ｙ・Ｓ様	5	特養入所のため
5	令和3年12月27日	Ｋ・Ｓ様	5	特養入所のため

（３）入・退院者の状況

No.	入院年月日	氏　名	介護度	退院年月日
1	令和3年4月23日	Ｋ・Ｍ様	2	令和3年5月25日
2	令和3年6月22日	Ｋ・Ｍ様	2	
3	令和3年6月29日	Ｋ・Ｍ様	2	

3. 令和3年度　委員会の開催状況

(1)リスクマネジメント委員会

認知症高齢者における、様々なリスクについて検討し合い、利用者個々のリスクを予測し、介護計画に取り入れた。また、ヒヤリハットに基づき、事故につながらないよう、見守りや環境整備に努めた。

開催	年月日	会議内容
第1回	4月7日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(歩行介助のコツと大事なポイント)
第2回	5月8日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(排泄中の便座からの転落事故)
第3回	6月6日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(トイレ内でバランスを崩し転倒、他)
第4回	7月5日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(車椅子、歩行器のヒヤリハット事例3件)
第5回	8月5日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(起こりやすいヒヤリハット事例30選)
第6回	9月6日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例 (ベッドから車椅子への移乗　他転倒・転落事例について)
第7回	10月8日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(ベッド上でのヒヤリハット、移乗介助事例)
第8回	11月8日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(介護事故の種類と事例について)
第9回	12月6日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例 (歩行介助中の転倒、皮下出血・表皮剥離の対策方法)
第10回	1月9日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(歩行介助中の転倒事故)
第11回	2月8日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(ベッド、ポータブルトイレ、杖による事例)
第12回	3月6日	・先月のヒヤリハットについて ヒヤリハット事例(敷居、段差を超える際の転倒について)

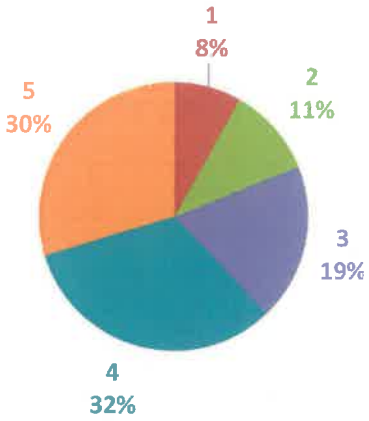
※広報委員会では、2ヶ月に1度「まちぐるみ通信」を身元様に発送し、入居者様個々のアルバム　作りを実施した。

令和３年度　ヒヤリハット集計

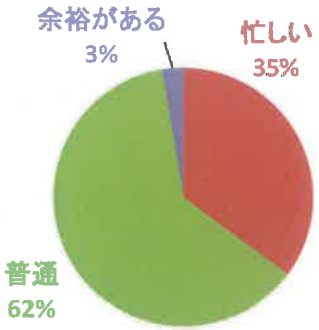
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総件数		1	2	4	8	4	3	2	6	0	4	1	2	37
性別	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	女	1	2	4	8	4	3	2	6	0	3	1	1	35
介護度	要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	3
	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4
	3	1	1	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1	7
	4	0	0	0	6	3	1	0	1	0	1	0	0	12
	5	0	0	1	1	1	2	2	3	0	1	0	0	11
日常生活自立度（障害）	A1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ａ２	1	2	2	7	3	2	1	3	0	3	1	2	27
	Ｂ１	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ｂ２	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
	Ｃ１	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ｃ２	0	0	1	1	1	1	0	2	0	1	0	0	7
日常生活自立度（認知）	正常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ⅰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ⅱａ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ⅱｂ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	Ⅲａ	0	1	1	7	3	1	1	3	0	2	1	0	20
	Ⅲｂ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	Ⅳ	1	1	3	1	1	2	1	3	0	1	0	0	14
	Ｍ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業務の多忙度	非常に忙しい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	忙しい	0	1	2	4	2	1	2	0	0	0	1	0	13
	普通	1	1	2	4	2	2	0	6	0	4	0	1	23
	余裕がある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
曜日	日曜日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	月曜日	0	0	1	0	2	2	2	1	0	0	1	1	10
	火曜日	0	0	3	3	0	0	0	1	0	1	0	0	8
	水曜日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木曜日	1	0	0	0	2	0	0	2	0	1	0	0	6
	金曜日	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	1	6
	土曜日	0	2	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	5
時間	０６～０９	0	1	0	0	2	0	2	0	0	0	0	1	6
	０９～１２	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	6
	１２～１５	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	7
	１５～１８	0	0	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	5
	１８～２１	0	0	0	0	1	0	0	3	0	2	0	0	6
	２１～２４	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
	２４～０６	0	0	1	2	0	1	0	0	0	1	0	0	5
場所	居室	1	1	2	1	3	1	1	3	0	2	0	2	17
	廊下	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	リビング	0	0	0	3	1	1	1	2	0	2	0	0	10
	ユニット内	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	浴室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	脱衣室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	トイレ	0	1	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	6
	外出先	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
種類	転倒・転落	1	2	2	5	3	0	1	4	0	4	1	2	25
	打ちつけ・挟み込み	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3
	皮膚剥離・出血	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	4
	誤嚥・誤飲・異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1	3	0	1	0	1	0	0	0	0	6
原因	職員の思い込み	1	0	1	0	1	1	1	2	0	1	0	0	8
	注意不足	1	2	2	7	3	1	1	3	0	1	1	2	24
	状態把握不足	0	0	1	0	0	1	0	2	0	1	0	0	5
	説明不足	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	連絡不十分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	5

令和３年度　リスクマネジメント委員会ヒヤリハット集計表

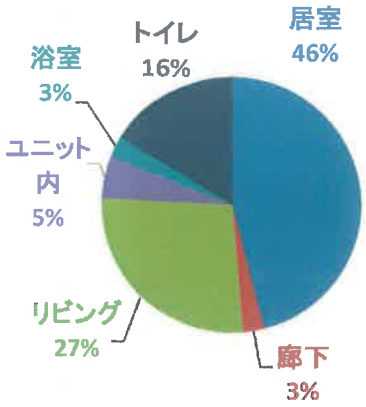
介護度



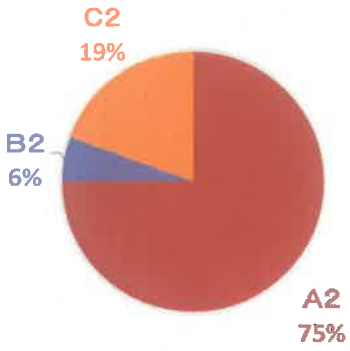
多忙度



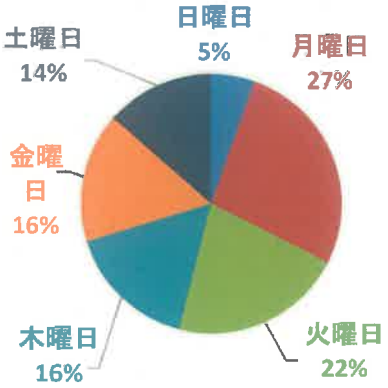
場所



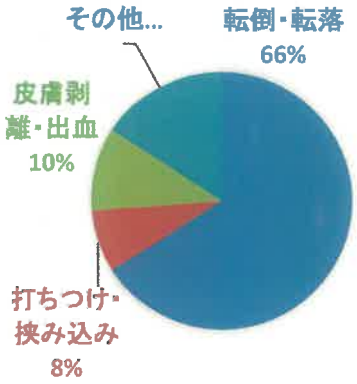
日常生活自立度（障害）



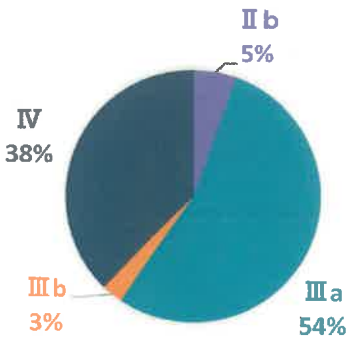
曜日



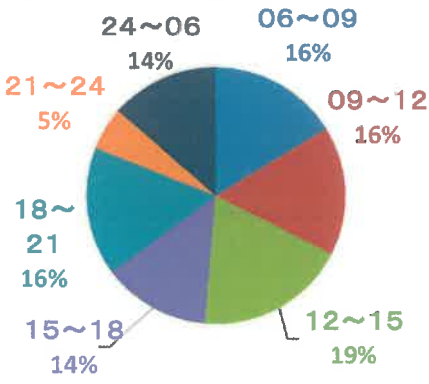
種類



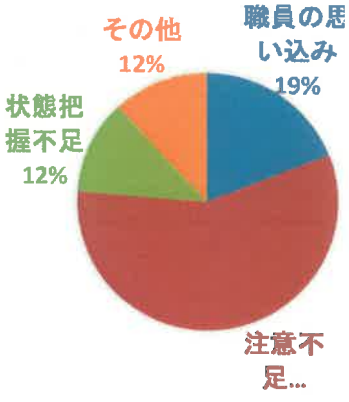
日常生活自立度（認知）



時間



原因



(2) 令和3年度　感染症予防対策委員会

蔵ハウス大船渡の同委員会に属し、予防対策として日常の手洗い・うがい、床のハイター消毒手すりドアノブの消毒を実施、清潔保持と環境整備に努めた。

入居者様は、感染症を発症することなく過ごされ、職員間での感染もなく自己管理をし感染予防に努めた。

第1回	4月25日	＊感染症の実態＊3月の体調不良者＊新型コロナウイルスワクチン接種について*その他
第2回	5月31日	＊感染症の実態＊4月の体調不良者＊新型コロナウイルスワクチン接種について*その他
第3回	6月15日	＊感染症の実態＊5月の体調不良者＊感染症対策*その他
第4回	7月14日	＊感染症の実態＊6月の体調不良者＊食中毒予防について*その他
第5回	8月19日	＊感染症の実態＊7月の体調不良者＊新型コロナウイルスについて*その他
第6回	9月23日	＊感染症の実態＊8月の体調不良者＊新型コロナウイルスについて*その他
第7回	10月26日	＊感染症の実態＊9月の体調不良者＊インフルエンザについて＊新型コロナウイルスについてについて*その他
第8回	11月22日	＊感染症の実態＊10月の体調不良者＊疥癬について＊冬の感染症についてについて*その他
第9回	12月15日	＊感染症の実態＊11月の体調不良者＊冬の感染症について＊新型コロナウイルスについて*その他
第10回	1月16日	＊感染症の実態＊12月の体調不良者＊ノロウイルスとは＊新型コロナウイルスについて*その他
第11回	2月19日	＊感染症の実態＊1月の体調不良者＊誤嚥性肺炎について＊新型コロナウイルスについて
第12回	3月14日	＊感染症の実態＊2月の体調不良者＊花粉症とコロナウイルス＊新型コロナウイルスについて

4. 令和3年度　職員研修実施状況（内部研修）

内部研修では、定期的に認知症についての勉強会を実施し、その他高齢者虐待、身体拘束、プライバシーについてなどの研修を行い、職員のスキルアップに向けた。

開催	年月日	会議内容
第1回	4月23日	・内部研修：認知症ケアについて:タイプ別認知症の種類と特徴を知る
	4月25日	・三大介護：食事介助について:認知症の人が安心して食事がとれる介助方法9選
	4月26日	・緊急時の対応について:チアノーゼ、ショック状態
	4月27日	・医療的ケア推進委員会：医療的ケアの役割分担と共通点
第2回	5月21日	・内部研修：身体拘束とは
	5月27日	・内部研修：認知症ケアについて:失効・失認による動作困難　Q&A
	5月29日	・接遇について：利用者への対応
第3回	6月23日	・内部研修：認知症ケアについて:BPSDって、何？（行動・心理状況）
	6月30日	・内部研修：プライバシーについて
第4回	7月28日	・内部研修：認知症ケアについて:コロナ禍でうつ抑状態にある利用者への対応
第5回	8月9日	・緊急時の対応について:手当の判断のポイント、心電図の使い方
	8月25日	・内部研修：認知症ケアについて:BPSD別かかわり方
		（幻視・幻聴、暴言・暴力、食事をしない、入浴をしない）
第6回	9月13日	・内部研修：疑似体験（移乗について）
	9月27日	・内部研修：認知症ケアについて
		BPSD別かかわり方（もの盗られ妄想,帰宅願望,徘徊）
第7回	10月6日	・緊急時の対応について「ベット上以外での急変（トイレ・居室）」
	10月14日	・三大介護：入浴介助について:入浴を拒否する認知症の方にどう接すれば良い？
	10月29日	・内部研修：認知症ケアについて:合併症について
第8回	11月5日	・接遇について:表情・態度
	11月20日	・内部研修：虐待・身体拘束とは
	11月25日	・内部研修：認知症ケアについて:生活習慣病を改善。認知症予防食に変更
第9回	12月23日	・内部研修：認知症ケアについて:脳トレで認知機能アップ
	12月24日	・プライバシーについて「要介護度とプライバシーの関係性」
第10回	1月25日	・内部研修：認知症ケアについて:回想法を認知症ケアに生かすには？
第11回	2月23日	・内部研修：認知症ケアについて:入浴時の認知症ケアの対処法
第12回	3月13日	・疑似体験：耳が遠い人への対応
	3月24日	・内部研修：認知症ケアについて:認知症の人への対応（見守り・観察ケア）

５．行事実施状況

季節ごとに特色あるイベントの開催や入居者の誕生会を月ごとに行っています。
令和3年度は新型コロナウイルスの影響で外出支援ができない状況となっているが、感染防止対策のもと意向に沿ったバスハイクなどの支援を行いつつ、室内できる調理や裁縫などの趣味活動の充実を図った。

月　日	行　事　概　要	月　日	行　事　概　要
4月1日	入居者懇談会	10月1日	大森千代子様誕生会
2日	お花見		入居者懇談会
6日	手作りおやつ（型抜きクッキー）	8日	手作り昼食（三食丼）
8日	花祭り（なべやき作り）	9日	テイクアウトの日（千秋庵）
12日	バスハイク（富美岡荘）	12日	フラワーアレンジメント
13日	フラワーアレンジメント	18日	野外食
15日	バスハイク（天神山）		外部評価
21日	観桜会（煮しめづくり）	20日	盛保育園権現様来園
25日	手作りおやつ（プチカップケーキ）	23日	手作り夕食（ピーマンの肉詰め）
		24日	バスハイク（天神山）
		29日	手作りおやつ（バナナクレープ）
			衆議院選挙期日前投票
5月1日	入居者懇談会	11月1日	入居者懇談会
3日	手作りおやつ（ミニたい焼き）	2日	気仙地域感染症予防研修会
5日	手作りおやつ（かしわ餅）	5日	バスハイク（日頃市町）
9日	母の日	9日	寺町一座来園
11日	フラワーアレンジメント	10日	フラワーアレンジメント
24日	青空イート	11日	佐々木ミサオ様誕生会
26日	手作り夕食（コロッケ）	12日	手作り夕食（スコッチエッグ）
		15日	手作りおやつ（栗饅頭）
		17日	まちの蔵舞（夕食バイキング）
		19日	手作り夕食（エビフライ）
		26日	作品展示会
			紅白歌合戦
		29日	ケータリングお寿司の日
6月1日	入居者懇談会	12月1日	入居者懇談会
2日	佐藤恵子様、千葉武子様誕生会		手作り昼食（のり巻き・いなり）
6日	手作りおやつ（チョコカップケーキ）		漬物づくり
8日	フラワーアレンジメント	14・17日	リスマネ研修会
20日	手作りおやつ（モンブランケーキ）	16日	成年後見制度普及研修会
25日	運動会	19日	手作り夕食（チーズトンカツ）
27日	テイクアウトの日（海鮮一番）	24日	運営推進会議
			クリスマス忘年会
		26日	餅つき

7月1日	入居者懇談会	1月1日	元旦
4日	手作り夕食（エビフライ）		川畑照子様誕生日
9日	手作り夕食（ピーマンの肉詰め）	3日	入居者懇談会
13日	手作り昼食（お好み焼き）	9日	手作り昼食（のり巻き・いなり）
14日	フラワーアレンジメント	11日	フラワーアレンジメント
16日	青空キッチン	14日	水木団子づくり
20日	手作り昼食（たこ焼き）	16日	手作り昼食（だまこ汁）
25日	手作りおやつ（トマトようかん）		手作りおやつ（アメリカンドック）
29日	佐々木悠子様誕生日	26日	佐藤より子様誕生日
30日	テイクアウトの日（前田中）		
8月1日	入居者懇談会	2月2日	入居者懇談会
6日	ビアガーデン	3日	節分（恵方巻）
8日	手作り昼食（桃ジャム）	8日	手作り昼食（せち焼き風）
9日	手作り昼食（サンドイッチ）	13日	手作りおやつ（きなこカップケーキ）
10日	フラワーアレンジメント	14日	バレンタインホーム喫茶
11日	開所記念日	15日	平山フクミ様誕生日
13日	迎え火	20日	手作りおやつ（あんドーナツ）
16日	送り火	21日	手作り昼食（きなこむすび・しこね汁）
19日	習字クラブ	25日	餅バイキング
23日	林田綾様誕生日	27日	古賀昭子様誕生日
	縁日		
26日	手作りおやつ（スイカ寒天）		
9月2日	入居者懇談会	3月1日	入居者懇談会
7日	手作りおやつ（きなこホットケーキ）	3日	手作りおやつ（桜もち）
10日	手作りおやつ（ずんだ団子）	6日	手作りおやつ（さつまいもボール）
11日	テイクアウトの日（すき野）	8日	フラワーアレンジメント
13日	疑似体験	13日	手作り昼食（呉焼き）
14日	フラワーアレンジ	16日	すき焼き鍋の日
20日	敬老会	19日	手作り昼食（芋ぼた）
21日	十五夜（団子づくり）	22日	テイクアウトの日（千秋庵）
23日	手作り昼食（おはぎ）	25日	お蕎麦屋さん
	認知症講習会	26日	手作り昼食（ミルフィーユカツカレー）
26日	手作りおやつ	30日	バスハイク
28日	ホーム内喫茶		
29日	盛小学校マラソン大会		

6. 令和3年度　年度行事等食事実施状況

年	月		行　事　名	献立内容
R3年	4月	6日	手作りおやつ	・クッキー
		21日	観桜会	・ぼた餅・お吸い物・煮しめ
		25日	手作りおやつ	・プチカップケーキ

R3年	5月	3日	手作りおやつ	・たい焼き
		5日	手作りおやつ	・かしわ餅
		9日	母の日	・にぎり寿司・素麺入りお吸い物・煮しめ・いちご
		24日	青空eat	・サンドイッチ・野菜スープ・ブロッコリーサラダ・キウイ
		26日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・コロッケ・白菜の甘酢和え・アスパラベーコン・漬物

3年	6月	2日	入居者様誕生会	・ちらし寿司・お吸い物・茶碗蒸し・大根なます・メロン
		3日	入居者様誕生会	・にぎり寿司・素麺入りお吸い物・炊き合わせ・桃フルーツ缶
		6日	手作りおやつ	・チョコカップケーキ
		20日	手作りおやつ	・モンブラン
		25日	運動会	・味噌おにぎり・いなり・バナナ・さつま芋・おちつきうどん
		27日	テイクアウト(海鮮一番)	・お弁当

R3年	7月	4日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・エビフライ・スナックエンドウとﾍﾞｰｺﾝ炒め・心太・みかん缶
		9日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・ピーマンの肉詰め・野菜サラダ・佃煮・チーズ
		13日	手作り昼食	・シーフードお好み焼き・ワンタンスープ・パイン缶・ブロッコリーのドレがけ
		16日	青空キッチン	・バーベキュー（鮎・とうもろこし・野菜・焼肉など）・豚汁・おにぎり・梨
		20日	手作り昼食	・変わりだねたこ焼き・若布スープ・みそｺﾞｰﾔチャンプルー・プラム
		21日	バーベキュー	・おにぎり・ウインナー・イカポッポ・とうもろこし・焼きそば・野菜・ジャガバター・つくね焼
		25日	手作りおやつ	・トマトようかん
		29日	入居者様誕生会	・海鮮ちらし・お吸い物・メロン・高野豆腐の炊き合わせ
		30日	テイクアウト（前田中）	・中華丼・カツカレー・天丼・親子丼・天ぷらうどん

R3年	8月	6日	ビアガーデン	・カレーライス・サラダ・ジョア・蔵ファーム野菜
		10日	手作り昼食	・サンドイッチ・コンソメスープ・コーンサラダ・ヨーグルト
		11日	開所記念日	・いか飯・天ぷら・梅すまし・一口炊き物・夏野菜和え・黒羊羹・お吸い物・茶碗蒸し・香の物
		23日	縁日	・お好み焼き・たこ焼き・綿あめ・かき氷
		23日	入居者様誕生会	・海鮮ちらし・炊き合わせ・お吸い物・漬物・スイカ
		26日	手作りおやつ	・すいか寒天

R3年	9月	7日	手作りおやつ	・きな粉ホットケーキ
		10日	手作りおやつ	・ずんだ団子
		11日	テイクアウト(すき家)	・牛丼・うなぎ・そぼろ丼など
		21日	十五夜（団子つくり）	・お月見団子
		23日	手作り昼食	・おはぎ（あんこ・ごま・きな粉）
		26日	手作りおやつ	・さつま芋巾着

R3年	10月	1日	入居者様誕生会	・ちらし寿司・お吸い物・炊き合わせ・大根なます・フルーツ
		8日	手作り昼食	・三食丼・キャベツサラダ・お吸い物・フルーツヨーグルト
		9日	テイクアウト(千秋庵)	・親子丼・カツ丼・親子そばなど
		18日	野外食	・焼きおにぎり・焼き秋刀魚・けんちん汁・焼き芋
		23日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・ピーマンの肉詰め・搾菜・煮豆・白菜の甘酢和え
		29日	手作りおやつ	・チョコバナナクレープ

R3年	11月	11日	入居者様誕生会	・ちらし寿司・お吸い物・酢の物・漬物・フルーツ
		12日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・スコッチエッグ・ツナサラダ・漬物・桃缶
		15日	手作りおやつ	・栗まんじゅう
		17日	夕食バイキング	・カレー・そば・あずきばっとう・おでん・とうもろこし・コロッケ・鮎の塩焼き・シュウマイ
		19日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・エビフライ・小松菜の胡麻和え・プルーン・春雨サラダ
		29日	寿司バイキング	・寿司・お吸い物・茶碗蒸し・果物

R3年	12月	1日	手作り昼食	・いなり・のり巻き・山菜うどん・若布とえのきの酢の物・ヨーグルト
		19日	手作り夕食	・ご飯・みそ汁・チーズカツサンド・キャベツとラッキョウ和え・たらこ・漬物
		24日	クリスマス忘年会	・手毬寿司・オードブル・サンドイッチ・チキンターキー・フルーツポンチ
		26日	餅つき	・きな粉、あんこ餅・炊き合わせ・なます・お吸い物・りんご
		31日	大晦日	・寿司・しまいそば・なめたがれいの煮付け・チンゲン菜のお浸し・漬物

R4	1月	1日	お正月	・あんこ餅・ひき菜汁・おせち・煮しめ・鮭の照り焼き・漬物
		4日	お正月膳	・くるみ餅・お吸い物・鱈の照り焼き・なます・いちご
		7日	お正月膳	・ごま餅・お吸い物・炊き合わせ・なます・ゼリー
		9日	手作り昼食	・いなり・のり巻き・そうめん汁・煮しめ・ヨーグルト
		16日	手作り昼食	・だまこ汁・漬物・胡瓜とツナの和え物・フルーツゼリー
		16日	手作りおやつ	・ホットドッグ
		26日	入居者様誕生会	・ちらし寿司・お吸い物・高野豆腐の炊き合わせ・フルーチェ

R4	2月	3日	節分	・のり巻き・稲荷寿司・お吸い物・茶碗蒸し・みかん・恵方巻
		8日	手作り昼食	・せち焼き・コーンスープ・大根ｻﾗﾀﾞ・いよかん
		13日	手作りおやつ	・きな粉と米粉のカップケーキ
		20日	手作りおやつ	・あんドーナツ
		25日	餅バイキング	・あんこ、くるみ、ごま、磯部、大根おろし、きな粉餅・炊き合わせ・お吸い・みかん・酢の物
		26日	入居者様誕生会	・寿司・そうめん汁・茶碗蒸し・炊き合わせ・フルーチェ

R4	3月	3日	手作りおやつ（ひな祭り）	・桜もち
		6日	手作りおやつ	・さつま芋ボール
		13日	手作り昼食	・ご当地メニュー（呉焼き）、コンソメスープ、野菜サラダ、ゼリー
		16日	すき焼き鍋の日	・ご飯、みそ汁、すき焼き、飲茶、ポテトサラダ、生卵
		20日	手作りおやつ	・ご当地メニュー（芋ぼた）そうめん汁、酢の物、イチゴ
		25日	お蕎麦屋さん	・選択食：天ざる・卵とじ・カレー・かけ（うどん・そば）
		26日	手作り昼食	・ミルフィーユカツカレー・スープ・トマトサラダ・プリン

７．運営推進会議の実施状況

地域密着型サービス事業所の運営を透明性のあるものにし、サービスの質確保と向上を図り、地域資源として機能していくために、各関係機関及び地域の代表者を委員として運営推進会議を開催。新型コロナウイルスにより感染予防を図るため感染状況に応じて集会または書面による情報提供を及び報告を行い委員各位から意見・要望を収集した。

年月日	内容	開催主体	出席者
令和3年10月5日	①令和３年度第１回から３回まで（４月、６月、８月分）情報提供、報告 ②今年度、運営推進会議の取り扱いについて ③委員の委嘱について ④運営推進委員より意見収集（書面にて）	蔵ハウス大船渡 まちぐるみ合同	大船渡市生活福祉部長 寿社会課課長 入居者の家族 本町公民館長 商店街代表 福祉の里指定居宅介護支援事業所所長 施設職員
令和3年12月24日	①令和３年度第４回（１０月、１１月分）情報提供、報告 ②外部評価の報告 ③運営推進委員より意見収集	蔵ハウス大船渡 まちぐるみ合同	〃

まちぐるみ　1年間の様子

花祭り

ワクチン接種

観桜会（煮しめ作り）

スポーツ大会

青空キッチン

野外食

縁日風屋台

敬老会　ビデオレター

まちぐるみ　1年間の様子

外部評価

運営推進会議

作品展示会

クリスマス忘年会

餅つき

お正月

フラワーアレンジメントクラブ

東日本大震災黙祷

令和３年度

事　業　報　告

（自　令和３年４月１日　　至　令和４年３月31日）

大船渡市デイサービスセンター

令和３年度の事業を振り返って

～毎日が心に残る一日に～

令和３年度は前年度まで東日本大震災による措置として定員外で受け入れしていた３名の被災者枠が終了したことに伴い、正規定員をこれまでの１日 30 名から 33 名に変更し、事業を展開しました。

令和３年度の利用者数は延べ 11,228 名、１日平均 30.8 名の利用で、前年度と比較して、１日平均 0.3 名の微増となりました。令和３年度もコロナ禍にある社会状況の中でも安定した集客を維持することに努めた１年となりました。

安定した利用実績を実現するため、新規利用者の開拓を目標に事業が始まりました。新規利用者の受け入れは 37 名で、登録者数は前年度より 10 名増加となりました。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症を踏まえての事業運営となり、利用者を受け入れるにあたっても、通所型在宅サービスという立ち位置からも、常に緊張感と不安感を抱えての事業運営でもありました。

相談員は利用日前日の確認電話で、詳細に新型コロナウイルスに繋がるような情報収集を粘り強く実施し、些細な情報も漏らすことがないように努めてくれました。その他の職員も送迎時等に家族からの聞き取りを行い情報収集に努めました。

令和 3 年度は利用者のワクチン接種が始まったことや市内や気仙管内での感染拡大やクラスター等により、利用者とその家族の認識にも変化が生じたように思います。抗原検査や PCR 検査等への協力や情報の提供等に関しては、協力的でご理解をいただけることが多くなった半面、ワクチン接種後の利用休止や市内の感染状況により利用を差し控える等の他、家族が陽性者の濃厚接触者となる等から一定期間の自宅待機による利用休止が目立つようになりました。特にも、年明けの第６波以降はこの傾向が顕著となり、稼働率の低迷に繋がりました。そのような中でも、当センターを介しての感染者を一人も出すこともなく１年を経過し、僅かではあるものの利用者数を伸ばすことができたことは、職員の頑張りが報われたように感じており、職員への感謝の気持ちで一杯です。

また、コロナ禍にありながらも、新たな取り組みとして法人が一丸となって取り組んだ埼玉医科大学とのプロジェクトにも科学的根拠の追及を目指し、当センターも他部署との連携と協力のもと積極的に参加しました。実証実験に関するデータ取りの実績は在宅部門ということもあり、限られたものとなりましたが、職員一人ひとりの認識は確実に高めることができたと思います。来年度への礎となったと思います。

当センターでは、個人の尊厳の大切さに注目し、科学的根拠に基づくパーソナルケアを実践し、利用者一人ひとりのこれまでの人生の歴史を大切に、その人らしさを大切にしたケアが提供できるように努めてまいります。山崎シゲ会長の目指す、地域福祉の拠点づくりの一端を担うべく今年度も事業を展開してきました。今後は、更に社会資源としての役割を十分に発揮するとともに、社会貢献が実践できる施設となるべく、スタッフの資質の向上を図りながら、今後も精進してまいります。

大船渡市デイサービスセンター
所　長　　金　野　　晃

1　各係の業務実施状況

（1）総務相談係

令和 3 年度は前年度まで続いていた東日本大震災に伴う 3 名分の被災者利用受入れ措置が終了したため、正規定員枠をそれまでの 30 名から 33 名に変更して利用者受け入れを行った。令和 3 年度の利用中止者は 27 名（うち施設入所 9 名、亡くなった方 13 名、その他 5 名）あった。新規利用者は 37 名で昨年度より 11 名減となったが、登録利用者数は 160 名となり、前年度より 10 名増となっている。令和 3 年度の稼働率は 93.2%（最大値 5 月 97.9%）となり、前年度の 101.6%より 8.4 ポイント低い数値となったが、この数値は、算定するための定員の母数が 30 名から 33 名に変更になったことによる。年間利用者数は 11,228 名であり、1 日平均利用者数は 30.8 名であり、前年度より 0.3 ポイント増加している。

一年を通して、新型コロナウイルス感染症に関する対応に追われた。前年度とは異なり、センターの稼働を休止することなく事業運営ができたが、前年度に比べて新型コロナウイルスに対する社会状況の変化（市内でのクラスターが多発したことや感染者数が大幅に増加したこと、ワクチン接種に係る利用中止や自粛等）により、利用者やその家族の認識にも変化が生じたことで、サービス利用を控えるケースが大きく増加した。

相談係は利用者に対する利用日前日の状況確認を年間を通して行い、感染症に対する水際対策を徹底した。感染拡大地域や市外から帰省される利用者の家族等に対しては、本部の方針と指示に基づき、最新の情報を得ながら適切かつ迅速に対応することで、利用者・職員に一人の感染者を出すことなく経過することができた。

今年度からの取組みとして、埼玉医科大学病院と共に取り組むプロジェクトには、介護係、看護係とともに、利用者とその家族からの同意を得たうえで、他部署との連携のもと科学的根拠となるためのデータ収集に積極的に取り組んだ。この取り組みを通して、介護の質を高め、利用者の生活の質の向上に繋がるよう引き続き努めていきたい。

今年度は、昨年度に引き続き新規利用者の確保のため、定期利用枠の空き情報を掲載したインフォメーションを市内居宅支援事業所等へ配布する等の PR 活動を展開した。

新規利用者の受け入れに当たっては、体調や体力面、地域的な事情等のため、他の施設での受け入れが困難であったり、短時間での利用が条件となる利用者も積極的に受け入れた。今後も利用者が必要とするサービスが、必要な時に提供できるよう、地域の社会的資源としての役割を果たしながら、社会貢献につながる施設運営に努めたい。

（2）介護係

昨年度より更に状況が困難となったコロナ禍においても、利用者が心身機能の維持し、その活性化を図ることができるよう工夫を重ねた。また、センターでの交流を通して、利用者一人ひとりが生き生きとした社会性を確保し、孤立感を解消するとともに、ご家族の身体的・精神的負担の軽減を図ることで、家族の生活環境が円滑で安定的なものとなるよう努めた。

入浴は、身体の清潔保持を第一に、安全安楽で快適な入浴が提供できるように心がけた。また、相談係・看護係と連携し身体状態の変化の早期発見に努め、家族や担当ケアマネジャーへの報告と情報提供に繋げることができた。

食事は、利用者様にとって大切な楽しみの一つであるため、季節を感じることができるバラエティーに富んだメニューの提供に努めた。春夏秋冬を通して季節感を大切に見た目にも、食べても美味しい食事を楽しんでいただけるように給食委託業者との協力と連携のもと創意工夫し提供した。特に「お正月」「敬老週間」「クリスマス忘年会」等の大切な節目に提供した食事内容に関しては、利用者様からも好評をいただくことができた。また、利用者様個々の身体状況に合わせた食事形態や療養食等を幅広く提供するとともに、嚥下困難な利用者様に対しての食事介助については細心の注意と配慮を行いながら、安全安心な食事摂取となるよう努めた。

アクティビティ及びレクリエーションに関しては、コロナ禍でもあり飛沫を伴う内容の活動を控えて実施した。そのような状況においても、利用者様からの要望や意見を踏まえながら、昨年度以上にプログラムメニューを多種多様な内容となるようスタッフが工夫を加え、利用者様が楽しんで心身の活性化が図れる内容として実施した。

今後も介護係の役割として、安心してサービスを利用していただけるよう、通所することが楽しみとなっていただけるよう、スタッフ一人ひとりが“相手の身になって”利用者様との深い信頼関係を築き上げ、利用者様が『自分らしい“自分”をいつまでも』持ち続けながら、いきいきと過ごしていただけるように努める。

（3）看護係

昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症を始めとする感染症に対応するため、年間をとおして、感染対策を徹底して行った。朝の送迎時の体温確認とニワトリ抗体スプレーの口内噴霧から始まり、センター到着後の玄関先での手指消毒及びうがいの他、センター内と送迎車両の衛生管理について徹底指導した。また、食事前及び午後のおやつ時の前にも手指消毒を行うとともに、使い捨てタイプのおしぼりを提供し衛生面の確保に努めた。施設内環境においては、プレミアム電解水の噴霧とオゾン発生装置を設置し、定期的な換気を行いながら室温・湿度の調整に十分な配慮と対応を行い安心で安楽な室内環境の確保に努めた。また、利用者・職員ともに、送迎車両内及びセンター内での常時のマスク着用を徹底するとともに、テーブル上にはアクリルパーテションを設置し利用者間の飛沫感染予防に努めた。

一方、職員自身が感染症等の感染媒体となることがないよう、本部からの指示に従い、気仙管外への外出や飲食等を始めとする私生活の在り方に関しても、年間を通して自己の健康管理を徹底するよう指導を続けた。その結果今年度も、当センターを介しての感染症の発症は一切無く、利用者様、職員ともに健康状態を維持して経過することができた。

職員の健康管理として、年 2 回の職員健康診断と年 1 回のストレスチェックを実施し、職員への健康指導を行った。

施設内研修は、新型コロナウイルス感染症に関する最新情報や対応策等の他に、高齢者が抱える疾患に関する内容を中心に、幅広い知識が定着するよう内容を工夫した。

コロナ禍にあり、より一層日頃から利用者様一人ひとりの顔色や身体の特徴、食事摂取の状況、入浴時の全身観察により身体状態を注意深く確認し、大きな変化や異常が見受けられた場合には、速やかにご家族や担当ケアマネジャーに連絡し、早めの帰宅や病院へ送り届ける対応を行った。

今年度も個別機能訓練計画に基づいた身体機能向上のためのサービスは実施しなかった。そのため利用者様個々の身体状態に合わせた、レクリエーションや口腔機能体操等に工夫を加えて実施することで、ＡＤＬ（日常生活動作）の低下を予防し、残存機能の維持を図り、自宅での在宅生活を継続できるように援助した。

今後もセンター単独での看護体制には限度があるため、隣接する法人内の施設の看護担当者と必要時には連携し、協力を得ながら利用者様へのサービス提供を心掛けたい。

2 職員研修実施状況

（施設内研修）

年月日	研　修　内　容
令和3年4月	新型コロナウィルスのワクチン接種について
5月	熱中症について
6月	夏の高血圧対策について
7月	意識障害について
8月	バイタルサインについて
9月	褥瘡について
10月	認知症について
11月	疥癬について
12月	身体拘束について
令和4年1月	正しいマスクの使用方法について
2月	食中毒（サポウィルス）について
3月	圧迫骨折について

（外部研修）

◆「安全対策担当者養成研修」（e ランニング：全国老人福祉施設協議会）

受講者：金野　晃　　令和3年10月17日修了

日常活動実施状況

月	活動内容		
4	レク体操・口腔機能向上体操	DVD鑑賞（遠野昔語り）	桜花装飾づくり
	バスハイク（市内桜見物）	野外散歩（里地内）	脳トレクイズ（間違い探し）
	折り紙（コマづくり）	昔話読み聞かせ	利用者懇談会・お茶会
5	レク体操・口腔機能向上体操	忠清さん音楽ライブ	DVD鑑賞（日本の祭り）
	昔話読み聞かせ	バスハイク（藤棚見物）	脳トレクイズ（文字記憶）
	ダーツゲーム	装飾品づくり（紫陽花）	利用者懇談会・お茶会
6	レク体操・口腔機能向上体操	輪投げゲーム	バスハイク（碁石方面）
	七夕飾りづくり	脳トレクイズ（間違い探し）	音楽レクリエーション
	七夕短冊作り	利用者懇談会・お茶会	
7	レク体操・口腔機能向上体操	機能訓練体操	バスハイク（陸前高田方面）
	七夕飾り付け	デイリンピックメガホン作り	手作り団扇づくり
	脳トレクイズ（漢字）	デイリンピック	利用者懇談会・お茶会
8	レク体操・口腔機能向上体操	言葉探しゲーム	ゴルフdeチャレンジ
	スイカ割り	懐かしの縁日	バスハイク（陸前高田方面）
	タオルを使って機能訓練体操	昔話読み聞かせ	利用者懇談会・お茶会
9	レク体操・口腔機能向上体操	言葉探しゲーム	折り紙
	紙コップピラミッドゲーム	バスハイク（市内めぐり）	敬老と健康を祝う会
	機能訓練体操	利用者懇談会・お茶会	
10	レク体操・口腔機能向上体操	脳トレクイズ（昭和歌謡）	力加減が大事ゲーム
	物当てゲーム	寺町一座慰問	魚釣りゲーム
	輪投げゲーム	紅葉バスハイク（日頃市）	利用者懇談会・お茶会
11	レク体操・口腔機能向上体操	紅葉バスハイク（日頃市）	脳トレクイズ（ひらがな迷路）
	カラオケ会	音楽レクリエーション	クリスマス装飾づくり
	脳トレクイズ（動物雑学○×）	山崎杯輪投げ大会	利用者懇談会・お茶会
12	レク体操・口腔機能向上体操	手作りカレンダー	じゃんけんゲーム
	脳トレクイズ（言葉探し）	クリスマスリースづくり	クリスマス忘年会
	餅つき大会	利用者懇談会・お茶会	
1	レク体操・口腔機能向上体操	おみくじ引きゲーム	書初め・福笑い
	DVD鑑賞（全国チンドン大会）	みずき団子づくり	脳トレクイズ（お正月編）
	紙コップリレー	風船バレー	利用者懇談会・お茶会
2	レク体操・口腔機能向上体操	鬼福ボウリング	豆まき（節分）
	脳トレクイズ（2月編）	カラオケ会	機能訓練体操
	すごろくゲーム	冬季オリンピック鑑賞	利用者懇談会・お茶会
3	レク体操・口腔機能向上体操	紙コップリレー	輪投げゲーム
	脳トレクイズ（3月編）	カラオケ会	機能訓練体操
	利用者懇談会・お茶会		

利用者の状況

(1)月別利用状況

令和3年度 の年間利用者数は11,228名、1日平均 30.8名で稼動した。

（単位 ： 名）

日／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	30	33	31	31	33	33	32	31	30	22	32	30
2	32	33	32	32	33	31	33	33	29	28	33	31
3	27	33	30	33	33	29	30	33	29	24	29	32
4	30	33	33	31	31	33	33	33	30	31	27	29
5	27	33	32	33	33	32	31	32	30	31	32	33
6	27	33	32	33	30	30	31	32	30	27	32	33
7	29	33	30	31	30	31	33	32	29	31	28	29
8	30	31	30	33	33	33	33	31	32	30	27	33
9	32	29	26	33	33	33	32	30	32	30	31	27
10	28	33	26	32	33	33	33	30	32	28	29	31
11	33	33	31	33	33	33	30	33	33	28	30	32
12	29	30	33	31	33	33	30	31	28	30	29	29
13	29	32	31	30	32	33	32	31	30	24	28	29
14	30	33	33	31	22	29	32	29	31	30	29	28
15	31	32	31	31	25	33	32	32	31	32	30	31
16	32	33	32	33	20	33	33	32	32	27	29	31
17	32	33	32	31	29	30	31	31	33	30	24	29
18	30	31	33	31	27	33	28	32	32	29	28	28
19	32	33	33	31	30	33	28	33	32	30	33	32
20	32	33	33	32	28	29	33	31	32	32	32	28
21	31	32	33	32	32	30	30	29	28	30	25	29
22	32	32	30	33	32	33	31	31	33	31	29	27
23	31	33	33	32	28	33	29	32	32	33	28	28
24	30	31	31	33	29	30	31	31	32	31	26	28
25	33	32	33	29	30	30	31	33	33	30	31	27
26	32	31	33	29	29	31	31	28	33	30	31	29
27	33	33	33	28	29	29	32	29	29	30	30	29
28	33	32	31	28	31	27	33	30	31	29	29	28
29	33	33	29	33	32	30	33	31	29	28	—	29
30	32	33	30	29	31	33	32	30	32	29	—	31
31	—	33	—	33	30	—	32	—	26	30	—	30
合計	922	1,002	940	975	934	943	975	936	955	905	821	920
1日平均	30.7	32.3	31.3	31.5	30.1	31.4	31.5	31.2	30.8	29.2	29.3	29.7
令和3年度稼働率(A)	93.1%	97.9%	94.9%	95.3%	91.3%	95.2%	95.3%	94.5%	93.3%	88.4%	88.8%	89.9%
前年度稼働率(B)	99.4%	92.0%	102.0%	102.9%	104.0%	108.5%	106.5%	105.6%	108.4%	104.6%	82.0%	103.8%

令和3度年間稼働率(A)	93.2%
前年度年間稼働率(B)	101.6%

※令和3年度数値(A)は、定員:33名+被災者枠:0名＝合計33名　母数を定員の33名で算定。

前年度数値(B)は、定員:30名+被災者枠:3名＝合計33名　母数を定員の30名で算定。

(2)登録者年齢構成

令和4年3月31日現在(単位:名)

年齢区分	男	女	計
64歳以下	0	0	0
65～74歳	0	2	2
75～79歳	2	5	7
80～84歳	7	10	17
85～89歳	14	41	55
90～94歳	7	45	52
95～99歳	3	20	23
100歳以上	0	4	4
合計 (名)	33	127	160

平均年齢 : 89.3歳

(男性 : 87.6歳　　女性 : 89.7歳)

(3)利用者介護度登録状況　※総合事業対象者含む

令和4年3月31日現在(単位:名)

区分	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合 計
男	0	1	4	7	9	5	5	2	0	33
女	0	11	22	27	34	13	12	6	0	127
合計(名)	2	12	26	34	43	18	17	8	0	160
前年度	2	12	25	34	37	18	15	6	0	150

平均介護度 1.93

(4)新規利用受入れ状況　(単位: 名)

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(名)
新規利用受け入れ	2	3	2	2	3	7	3	4	4	2	2	3	37

(5)利用中止状況　(単位: 名)

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(名)
死亡	1	1	2	0	2	0	0	3	2	0	0	2	13
施設入所	2	1	1	0	0	0	0	2	1	0	1	1	9
体調不良(入院・通所不可能)	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3
他事業所への変更	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
転居・その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	3	2	3	0	3	2	2	5	3	0	1	3	27

デイサービスセンター1年間の様子

【お花見バスハイク】

令和3年4月7日

【外気浴】

令和3年4月20日

【佐藤忠清さんライブ】

令和3年5月6日

【藤棚・つつじ見物】

令和3年5月16日

【音楽レク】

令和3年6月4日

【輪投げ】

令和3年6月25日

【野菜収穫】

令和3年7月13日

【デイリンピック】

令和3年7月28日

【縁日】

令和3年8月10日

【盆踊り】

令和2年8月19日

【紙コップ積み上げゲーム】

令和3年9月8日

【敬老会】

令和3年9月18日

【寺町一座来所】

令和3年10月6日

【魚釣りゲーム】

令和3年10月14日

【機能訓練体操】

令和3年11月3日

【山崎杯　輪投げ大会】

令和3年11月11日

【クリスマス忘年会】

令和3年12月7日

【餅つき】

令和3年12月26日

【おみくじ引き】

令和4年1月1日

【水木団子作り】

令和3年1月13日

【鬼福ボーリング】

令和3年2月11日

【カラオケ会】

令和4年2月20日

【ひな祭り撮影会】

令和4年3月3日

【もの送りゲーム】

令和4年3月21日

令和３年度

事　業　報　告

（自 令和３年４月１日　　至　令和４年３月31日）

小規模多機能型居宅介護施設 ひころいちの郷

令和３年度の事業を振り返って

感謝のこころを大切に自立支援の実現に向けて
～地域の中で支え合い、助け合い～

開所から７年目を迎え、「**感謝のこころを大切に自立支援の実現に向けて　～地域の中で支え合い、助け合い～**」をテーマとして掲げ、ご利用者様の尊厳の保持を目指し、山崎シゲ会長の教えである『相手の身になって』『気づきのケア』を実践するべく、多種多様の個別介護サービスが要求される中、全職員で各ご利用者様お一人おひとりに、最善のサービスを検討しながらケアプランを作成し、ご利用者様、ご家族様ともに安心してお過しできるように365日、日々必要なサービスを調整しながら、臨機応変にご利用いただけるよう取り組んで参りました。

令和３年度も新型コロナウイルス感染症予防対策が課題となりました。遠方から帰省されるご家族様にはワクチン接種の声掛けと抗原検査のご協力をいただくなど、在宅で過ごされているご利用者様やご家族様、職員等の安全を第一に考え、法人本部と連携をはかり各関係機関の皆様のご協力をいただきながら、全職員で予防に取組んだことでコロナウイルスだけでなく他の感染症の罹患者もなく日頃の予防対策が功を奏した一年間だったと思います。今後もご利用者様や各職員へワクチン接種などの最新情報をお伝えしながら、感染症予防を徹底して参ります。

また、埼玉医科大学病院緩和医療科認定臨床施設として今年度の実績等はありませんが、全世界全人類が幸せになるように、との山崎会長や理事長の熱い思いを職員一同が胸に持ち、法人基本理念の「すべては愛から始まる」の実践のため、未来の予防医学の発展のために新年度も職員一丸となり取り組んでいきたいと思います。

運営推進会議の開催につきましてはコロナ禍のため、皆様のご理解とご協力をいただき、書面議決での対応となりました。運営状況や活動をした内容、研修内容などをご報告いたしました。その中で、感染症予防対策を取りながら利用者様へのサービスやご家族様との交流を工夫していること、地域貢献を念頭に置きながら日頃市地区公民館からの依頼により介護予防教室の講師をするなど様々な場面で地域に溶け込んで活動を行ったことを、スタッフ全員で頑張っていると有難い評価をいただきました。

日頃市地区の皆様の優しさに触れ、感謝申し上げますと共に、新年度も会長の教えを基本として、地域の高齢者が住み慣れた地域の中でお元気にお過しいただけることが「ひころいちの郷」の役割とし、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様との絆を大切にし、新年度も「愛される施設」となりますように職員一丸となって精進して参ります。

小規模多機能型居宅介護施設 ひころいちの郷
所 長　　鈴木　浩子

1　各係の事業実施状況

（1）　総務相談係

令和3年度は、登録解除者は15名、新規登録者は16名で前年とほぼ同じ人数を確保したが、登録者平均が22名で定員を3名下回っているので、次年度の課題としたい。また、法人全体で目指すパーソナルケアの実践のため、ご利用前の実態調査はご利用者様が全人的に把握できるように作成し、職員全員が周知するように努めた。

新型コロナウイルス感染症予防対策について本部からの対応策などの情報や指示を職員間で周知徹底し実施した。遠方からの家族が帰省した時の抗原検査実施、ご利用前と当日の体調確認をご利用者様本人や家族の協力により行い、感染症予防を図った。

事業計画に基づき内部研修を実施し外部研修への参加により職員の資質の向上を図った。また、日頃市地区公民館の依頼により介護予防教室の講師を務めるなど地域貢献に努めた。1年を通しての各活動行事内容などを運営推進会議において報告（第1回から第6回まで書面議決で対応）し、高評価をいただいた。

（2）　介護係

令和3年度は、これまでの生活の状況や日々のケアで気付いたことを細かく把握し、状況の変化等を他職種を含め連携して情報を共有することで、相手の身になって寄り添いながら行うパーソナルケアの実践に努めた。新型コロナウイルス感染予防の為、地域との直接的な交流が困難なことから、田植えや稲刈り等、学校行事の応援やクリスマスや卒園卒業に向けた利用者手作りのカードを作り贈呈した。また、地域の有志の方からころ柿や梅などを提供していただき季節を感じていただけるような活動内容を企画し、取り組むことができた。

新型コロナウイルス等の感染症対策としてマスクの着用やご利用者様、職員、来所者などのうがい手洗い検温の実施、施設内や公用車内の消毒を徹底的に行い感染予防に努めた。テーブルにパーティション設置を継続し飛沫防止感染図ると共に他職種と連携し、利用前日や当日の体調の聞き取り、接触者等の追跡に努めた。

新年度も各課やご家族との連携を密に行い、体調の変化に留意しながら感染予防を継続し皆様が安心してご利用いただけるように努めていく。

（3）　看護係

令和 3 年度も、新型コロナウイルス感染症などの感染症予防対策を徹底して行った年だった。最新の情報をキャッチするように努め、法人本部からの情報や指示に従い、ご利用者様や職員の健康管理および全身状態の観察を行い、感染予防の強化を図った。コロナウイルスワクチン接種会場に行けないご利用者様のワクチン接種に対応し、貢献活動をした。職員も全員ワクチン接種を 3 回行い、また、日々の健康チェックや必要時には抗原検査の実施、人の集まる場所などに出歩かないなど、媒体とならないように努めた。

また、体調不良等で救急搬送をしたケースがあり、家族への連絡と救急隊及び救急センター医師への連携を適切に行い迅速に対応する事が出来た。

看護係は感染症予防、嘔吐物の処理、急変時の対応等について研修会を開催し、職員に周知徹底を図り、職員の資質向上に努めた。特にも今年度は、感染症に対するシミュレーションを実施し、感染症予防に力を入れた。

令和 4 年度も利用者、職員ともに安心・安全で穏やかな日々を過ごせる施設を目指して対応をしていきたいと考えている。

利用者の状況

令和3年度も、職員の配置人員に合わせたご利用者数を日々調整し、通い・訪問・宿泊サービスを柔軟に組み合わせたサービスの提供を行った。新規登録者は全員在宅のご利用者で、登録解除者は入院や他施設へ移動されるケースが多い状況であった。

（１）登録者数（延べ人数）

単位：人

性別・月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	月平均
男性	6	5	5	6	6	6	7	6	4	3	4	4	5.2
女性	18	19	18	15	15	17	16	15	17	17	19	18	17.0
合　計	24	24	23	21	21	23	23	21	21	20	23	22	22.2

（２）新規登録者

No.	登録日	氏　名	登録前	No.	登録日	氏　名	登録前
1	4月1日	M・H様	在宅より	9	12月2日	S・K様	施設より
2	4月3日	S・S様	在宅より	10	12月22日	M・R様	在宅より
3	4月26日	S・K様	在宅より	11	1月8日	M・T様	在宅より
4	7月9日	S・Y様	在宅より	12	1月25日	S・Y様	在宅より
5	8月18日	K・T様	在宅より	13	2月3日	S・H様	在宅より
6	9月1日	T・Y様	在宅より	14	2月8日	K・S様	在宅より
7	9月10日	M・Y様	病院より	15	2月21日	S・T様	在宅より
8	10月2日	K・K様	在宅より	16	3月1日	Y・S様	在宅より

（３）登録解除者

No.	登録解除日	氏　名	登録解除後	No.	登録解除日	氏　名	登録解除後
1	5月30日	H・Y様	在宅へその後死去	9	11月1日	S・I様	死去
2	6月17日	N・M様	入院、その後死去	10	11月7日	S・T様	入院
3	6月27日	H・H様	まちぐるみへ	11	12月13日	K・K様	入院
4	6月30日	K・Y様	在宅へその後死去	12	12月29日	W・M様	在宅へ
5	7月4日	M・Y様	入院	13	2月16日	T・Y様	長期的入院
6	9月7日	K・T様	在宅へ	14	2月28日	K・R様	施設へ
7	10月26日	Y・M様	在宅へ	15	3月21日	M・T様	入院
8	10月30日	M・K様	在宅へ	16			

(4)利用延べ人数

単位:人

月	通い		泊り		訪問	
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均
4月	396	13.20	267	8.90	129	4.30
5月	400	12.90	275	8.87	129	4.16
6月	380	12.67	270	9.00	141	4.70
7月	364	11.74	260	8.39	87	2.39
8月	354	11.42	268	8.65	92	2.97
9月	379	12.63	269	8.97	131	4.37
10月	398	12.84	278	8.97	134	4.32
11月	346	11.53	268	8.93	142	4.73
12月	376	12.13	267	8.87	125	4.03
1月	370	11.94	264	8.52	135	4.35
2月	341	12.18	250	8.93	119	4.25
3月	392	12.65	272	8.77	60	1.94
合計	4,496	12.32	3,208	8.95	1,424	3.88

(5)年齢別利用状況

単位:人

月/年齢	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～100	合計
4月	1	1	1	0	5	8	6	3	25
5月	1	1	1	0	3	7	6	4	24
6月	1	1	1	0	3	7	6	3	23
7月	1	1	1	0	5	5	6	2	21
8月	1	1	1	0	5	4	7	2	21
9月	1	1	1	0	4	7	7	2	23
10月	1	1	1	0	4	8	6	2	23
11月	1	1	1	0	3	8	5	2	21
12月	1	1	1	0	4	8	4	2	21
1月	1	1	1	1	3	6	5	2	20
2月	1	1	1	1	3	7	7	2	23
3月	1	0	3	1	3	4	7	3	22
延べ合計	12	11	14	3	45	79	72	29	267

3月末平均年齢85.04歳

(6)要介護度別利用状況

単位:人

月・介護度	支援1	支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
4月	1	1	5	8	6	2	1	24	2.22
5月	1	1	5	8	5	2	2	24	2.30
6月	1	1	5	8	5	2	1	23	2.19
7月	1	2	4	7	5	2	0	21	2.06
8月	1	2	4	7	5	2	0	21	2.06
9月	1	1	4	8	6	3	0	23	2.23
10月	1	1	4	7	6	4	0	23	2.14
11月	0	2	4	6	5	4	0	21	2.33
12月	0	1	4	7	5	4	0	21	2.38
1月	0	1	5	4	6	4	0	20	2.45
2月	0	1	5	5	6	6	0	23	2.50
3月	0	1	5	4	8	4	0	22	2.45
延べ合計	7	15	54	79	68	39	4	266	2.29

行事実施状況

令和3年度は、ご利用者が在宅での生活を継続しながら、毎日の生活に楽しみを感じて頂けるように各行事や活動に取り組んだ。感染症流行の影響の為、地域との触れ合いが例年通り行えない中、地域との関わりを感じられるように工夫した活動を行った。

年　月　日	活　動　内　容	年　月　日	活　動　内　容
令和3年4月1日	ひころいちの郷周年　「お祝い膳」	5月1日	利用者懇談会
2日	利用者懇談会		消防自主点検
8日	花まつり	5日	手作りおやつ
	どんぶり選択食	9日	母の日（カードプレゼント）
13日～9日	お花見ドライブ	11日	日頃市小学校田植え見学
15日	お菓子つくり	13日	寄せ植え
19日	消防訓練	20日	ぼたもりバイキング
20日	４月誕生会	19日・26日	つつじ狩りバスハイク
		22日	誕生会
		27日	手作りおやつ
		28日	消防訓練
			かもしか号巡回
6月1日	利用者懇談会	7月1日	利用者懇談会
14日	菖蒲湯（旧端午の節句）		防災自主点検
17日	６月誕生会	5日	誕生会
	日頃市小学校田んぼ草取り応援	7日	七夕飾り付け
20日	父の日（カードプレゼント）	13日・19日	魚市場バスハイク
24日	ひこリンピック	23日～28日	スイカ割
25日～	七夕飾り作り	24日	野外食
25日	かもしか号巡回	27日	防災訓練
28日	消防訓練		
		随時	野菜収獲
8月1日	利用者懇談会	9月1日	利用者懇談会
	防災自主訓練		消防自主訓練
6日・13日	梅ジュース芽かき	6日～	ハンドベル練習開始
11日	消防訓練	13日	案山子作り
13日	迎え火	15日	栗拾い
14日・17日	梅ジュース作り	17日・18日	長寿を祝う会
15日	送り火	21日	お月見団子作り
19日	夏祭り	24日	日頃市小学校稲刈り応援
	誕生会	27日～	文化祭作品準備
20日	魚市場バスハイク	29日	消防訓練
27日	足湯		
随時	野菜収獲、かき氷の日		

年　月　日	活　動　内　容	年　月　日	活　動　内　容
10月1日	利用者懇談会	11月1日	利用者懇談会
8日	足湯	2日	紅葉狩りバスハイク
	日頃市地区新米贈呈	3日	柿取り・干柿づくり
25日	小さな文化祭	7日	誕生会
13日	誕生会・プチ運動会	12日	焼き芋会
25日	消防訓練	10日	消防訓練
31日	ハロウィンサンドイッチづくり	16日	サンマ焼き会
		17日	ころころころりん
		25日	寄せ植え
12月1日	利用者懇談会	令和3年1月1日	初詣（施設内特設場にて）
7日	日頃市小学校お米贈呈	2日	正月行事（書き初め）
9日	消防訓練	3日	正月行事（カルタ取り）
14日～15日	クリスマスカード作り週間		利用者懇談会
15日～22日	カレンダー作り週間	7日	餅の日・七草粥
25日	クリスマス会	10日	水木団子飾り作り
28日	餅つき大会	14日	小正月（水木団子作り）
		19日	読み聞かせの会
		20日	誕生会
		27日	防災伝達訓練
		28日	かもしか号巡回
			雪合戦
2月1日	利用者懇談会	3月1日	利用者懇談会
3日	節分　豆まき	3日	ひな祭り
7日	宿八幡会タオル寄贈	7日～11日	卒園卒業カードづくり
14日	バレンタイン喫茶	10日	船野イサヨ様100歳を祝う会
17日	餅バイキング	14日	ホワイトデー（デコレーションホットケーキ）
19日	読み聞かせの会	15日～22日	カラダweek
22日	初釜会	20日	春分の日（ぼたもち）
23日	誕生会	22日	誕生会
25日	消防訓練（送迎時シミュレーション）	23日	消防訓練
		26日	かもしか号巡回

・その他の活動

（1）体力作り（毎日のラジオ体操・レク体操・口腔機能体操）

（2）レクリエーション（毎日違うメニューでのレクリエーション活動）

（3）生活リハビリ（おやつ作りなど）

（4）屋外活動（畑や庭の手入れ、花植え、バスハイク、間接的な地域行事への参加）

2　職員研修の実施状況

事業計画した施設内外の研修や、サービス評価、事業所会議、新型コロナウイルス感染症予防のための会議は随時実施し、質の高いケアの提供が出来るように努めた。

（内部研修）

年月日	研修内容	場　所	出席者
令和3年4月6日	「事業計画について」	ひころいちの郷ホール	全職種　7名
5月7日	「ADL評価について」	ひころいちの郷ホール	全職種　7名
5月26日	「認知症ケア」	ひころいちの郷ホール	全職種　6名
6月7日	「感染症・コロナウイルス対策について」	ひころいちの郷ホール	全職種　7名
6月30日	「リスクマネジメントについて」	ひころいちの郷ホール	全職種　5名
7月15日	「認知症について」	ひころいちの郷ホール	全職種　7名
7月20日	「感染症・食中毒予防について」	ひころいちの郷ホール	全職種　7名
8月12日	「倫理・個人情報及びプライバシー保護について」	ひころいちの郷ホール	全職種　7名
8月12日	「介護福祉士倫理綱領及び行動規範について」	ひころいちの郷ホール	全職種　6名
8月24日	「自立支援について」	ひころいちの郷ホール	全職種　7名
9月15日	「緊急時の対応について」	ひころいちの郷ホール	全職種　6名
9月22日	「介護保険制度」	ひころいちの郷ホール	全職種　6名
10月4日	「サービス評価について」	ひころいちの郷ホール	全職種　7名
10月6日	「福祉用具の取り扱いについて」	ひころいちの郷ホール	全職種　7名
10月22日	「労働安全について」	ひころいちの郷ホール	全職種　6名
11月2日	「成年後見制度」	ひころいちの郷ホール	全職種　6名
11月11日	「感染症・疥癬について」	ひころいちの郷ホール	全職種　5名
11月23日	「冬の身近な感染症について」	ひころいちの郷ホール	全職種　7名
11月26日	「自己評価について」	ひころいちの郷ホール	全職種　7名
11月30日	全体研修会「100歳時代～地域でその人らしく豊かに暮らし続けるために～」	百年の里	三浦
12月7日	「認知症コミュニケーションについて」	ひころいちの郷ホール	全職種　6名
1月18日	「防災について」	ひころいちの郷ホール	全職種　6名
1月24日	「身体拘束について」	ひころいちの郷ホール	全職種　7名
1月31日	「地域ケア会議について」	ひころいちの郷ホール	全職種　7名
2月11日	「防災会議いついて」	ひころいちの郷ホール	全職種　6名
2月28日	「外部・及び内部評価について」	ひころいちの郷ホール	全職種　6名
3月16日	「交通安全について」	ひころいちの郷ホール	全職種　5名

※欠席職員には後日資料を配布し説明をして周知を図った。

（外部研修）

年月日	研修内容	場　所	出席者
令和3年12月3日	みんなで進める「地域包括ケア」	日頃市地区コミュニケーションセンター	三浦・今野・佐々木・田中

まちづくり推進委員研修会

年月日	研修内容	場　所	講師
令和3年12月3日	認知症予防について・元気に体を動かそう体操	日頃市地区コミュニケーションセンター	三浦・今野・佐々木・田中

※日頃市地区まちづくり推進委員研修会は、介護予防研修の講師として参加した。

3　運営推進会議の実施状況

新型コロナウイルス感染症等予防の観点より事業所内での開催を見合わせ、情報提供及び報告などの運営推進会議資料を各運営推進委員へ配布し書面議決にて実施した。

年月日	内　　容	配　布　先
令和3年 5月27日	令和3年度事業計画について 令和3年3月～4月の利用状況、職員研修 利用状況及び活動状況について	・大船渡市長寿社会課課長 ・運営推進委員3名 ・成仁会会長 ・成仁会専務理事
7月20日	令和2年度事業報告について 令和2年5月～6月の利用状況、職員研修、会議 状況及び活動状況について	・大船渡市長寿社会課課長 ・運営推進委員3名 ・成仁会会長 ・成仁会専務理事
9月25日	令和3年7月～8月の利用状況、職員研修、会議 利用状況及び活動状況について	・大船渡市長寿社会課課長 ・運営推進委員3名 ・成仁会会長 ・成仁会専務理事
11月30日	令和年9月～10月の利用状況、職員研修、会議 状況及び活動状況について 小規模多機能型居宅介護施設ひころいちの郷 「サービス評価」について	・大船渡市長寿社会課課長 ・運営推進委員3名 ・成仁会会長 ・成仁会専務理事
令和4年 1月15日	令3年11月～12月の利用状況、職員研修、会議 利用状況及び活動状況について 小規模多機能型居宅介護施設ひころいちの郷 「サービス評価」について	・大船渡市長寿社会課課長 ・運営推進委員3名 ・成仁会会長 ・成仁会専務理事
3月25日	令和4年1月～2月の利用状況、職員研修、会議 利用状況及び活動状況について 小規模多機能型居宅介護施設ひころいちの郷 「サービス評価」総括表について	・大船渡市長寿社会課課長 ・運営推進委員3名 ・成仁会会長 ・成仁会専務理事

ひころいちの郷　1年間の様子

4月

【お花見バスハイク】

【花まつり】

5月

【日頃市小学校田植え見学】

【寄せ植え】

6月

【ヒコリンピック2021】

【日頃市小学校草刈り応援】

7月

【七夕飾り】

【スイカ割り】

8月

【夏祭り】

【足湯】

9月

【長寿を祝う会】

【日頃市小学校稲刈り見学】

10月

【秋の運動会】

【小さな文化祭】

11月

【干し柿作り】

【紅葉バスハイク】

12月

【クリスマス忘年会】

【もちつき大会】

1月

【2021年　元旦】

【雪合戦】

2月

【読み聞かせ会】

【お茶会】

3月

【船野イサヨ様100歳を祝う会】

【ひな祭り】

令和３年度

事　業　報　告

（自　令和３年４月１日　　至　令和４年３月31日）

富美岡荘ホームヘルプ事業所

令和３年度の事業を振り返って

～　お一人　おひとりに寄り添って　介護の不安を安心に　～

「お一人　お一人に寄り添って　介護の不安を安心に」のテーマを目の当たりにし、今年度も私たちはどのくらい利用者の心に寄り添ってこられたのだろうかと振り返っています。在宅の利用者がヘルパーサービスを利用するに至る状況は様々です。在宅には本当に様々な方が生活されており、一人一人の人間模様が垣間見えるのが在宅なのだと感じております。中でも末期がんのターミナル期でもう長くは生きられないことをご本人もご家族も理解し、ご本人も家族も在宅に帰りたいが家族だけでは不安、そのようなケースにも対応させて頂きました。中には家族がなく独居の方もおりました。ただ１回の訪問で終了になってしまった方もいらっしゃいました。「ヘルパーさんが来てくれたおかげで本当に助かった」と思ってもらえたならそれこそ理にかなうと思っております。会長がいつもおっしゃっている「これが最後になるかもしれない。誠意を尽くすこと。困った人がいたら手を差し伸べること」それは在宅も同じでありその精神は私たちヘルパーにも浸透していますし今後も継いでいきたいと思っております。

一方、事業実績としてはとても厳しい結果となってしまった年でした。例年にないほど需要が少なく、新規利用者は契約をしても死去や施設入所、入院などを理由に利用が長く続かないケースが非常に多い状態でした。利用された区分内容をみても、身体介護中心型サービスよりも生活援助中心型、要支援者へのサービスの需要が増えていることが拍車をかけている要因と考察しております。

今後もコロナウイルス感染症は収まるどころか新種株が出現するなど依然猛威を振るっており、今後も予防対策を図りながら共存していかなければならないものになるのではと懸念しております。その中で予防する意識が日常化してしまわないように感染しない、させないために水際対策・予防対策を徹底してまいります。

実績が伸び悩む状況の中で会長・理事長には常に前向きにと声を掛けていただき見守って頂きました。感謝の思いでいっぱいです。来年度はこの状況を挽回できるよう、そして一人でも多くの利用者のお役に立てるよう頑張ってまいります。

富美岡荘ホームヘルプ事業所
部長　佐々木　和美

富美岡荘ホームヘルプサービス事業所

１．令和3年度の実施概要

令和3年度は「新型コロナウイルス感染症」が市内でも次々と発生し、いつ感染してもおかしくない状況の中で、一人一人が感染予防に対する意識を高め徹底したことで感染者を出すことはなかった。訪問に際しては特にも移らない移さないを念頭に感染予防対策の徹底をし、利用者・ご家族にも検温や体調確認、場合によってはPCR検査や抗原検査の協力を仰ぎながら事業を展開してきた。市内に新型コロナウイルス感染症が発生した際は、本部と連携し法人の方針を仰ぎながら訪問調整を取り対応を図ってきた。コロナ禍の中でも慎重に新規利用者の受け入れに努め、新規契約利用者約60名、年間約190名の利用者の訪問対応を行った。しかし、新規契約は多かったものの利用の継続が短期間で終了になる方が非常に多く、単発利用や末期がん、施設入所、死去、入院から転院し在宅復帰困難などさまざまである。コロナウイルス感染症対策として訪問調整を行ない訪問が減ったことも要因の一つとなっている。対応内容の区分としては、身体介護よりも家事援助などの生活援助や、要支援者の軽度者の利用が多かったため実績に伸び悩んだ年となった。毎月定期的に行っていたヘルパー合同会議・研修会は、感染症の拡大防止のためやむを得ず資料配布とした月がほとんどであった。

２．富美岡荘ホームヘルプ事業所の概要

(1) 事業所の種類

指定訪問介護事業所

(2) 事業所名

富美岡荘ホームヘルプ事業所(管理者　佐々木　和美)

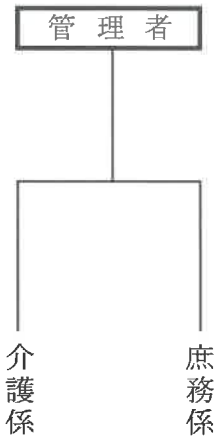
(3) 所　在　地

大船渡市盛町字町6－1

(4) 設置･運営主体

社会福祉法人　成仁会(理事長　山崎和彦)

(5) 職員組織構成図



3．サービスの内容

(1)身体介護中心型

健康チェック、排泄介助、食事介助、入浴介助、整容、清拭、着脱介助、移乗・移動介助、通院介助、外出介助を主な業務としたサービスを行った。

(2)生活援助中心型

調理(配膳・後片付け)、買い物、洗濯、衣類の整理・補修、居室の掃除、ベットメーキング、薬の受取り、用足し等を主な業務としたサービスの提供を行った。

(3)介護予防・総合事業訪問型

身体介護・生活援助の枠は設けず、利用者と一体型のサービスを提供した。

4．ホームヘルパー派遣実績

(1) ホームヘルプサービスの利用状況

①地区別利用者数(前々年度・前年度比派遣実績)

地区	大船渡町			盛町			赤崎町			立根町			猪川町		
年度	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
男性	10	8	8	11	8	9	4	2	5	4	3	7	10	5	6
女性	36	35	42	20	17	20	18	11	15	17	10	15	19	17	20
合計人数	46	43	50	31	25	29	22	13	20	21	13	22	29	22	26

日頃市町			末崎町			三陸町			合計		
R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
5	5	5	3	5	8	4	4	4	51	39	52
10	6	11	6	6	8	6	5	6	132	108	137
15	11	16	9	11	16	10	9	10	183	147	189

②月別派遣回数(前々年度・前年度比派遣実績)

区分	4月			5月			6月			7月		
年度	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
利用者数	125	117	114	128	114	117	124	118	116	125	120	121
派遣回数	1,653	1,591	1,467	1,673	1,638	1,410	1,544	1,674	1,482	1,614	1,848	1,487
(身体)	494	544	482	534	593	423	531	621	424	583	714	407
(生活)	571	538	497	555	531	509	511	526	552	535	539	601
内訳 (身生)	311	246	231	285	274	240	234	281	238	221	334	220
(予防)	277	263	257	299	240	238	268	246	268	275	261	259
一日平均(回)	55.1	53.0	48.9	53.9	52.8	45.5	51.4	55.8	49.4	52.0	59.6	47.9

区分	8月			9月			10月			11月		
年度	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
利用者数	123	121	122	124	120	121	127	124	122	126	129	120
派遣回数	1,476	1,826	1,519	1,558	1,772	1,497	1,693	1,697	1,537	1,543	1,629	1,505
(身体)	458	695	408	469	685	392	522	619	437	500	613	426
(生活)	526	558	615	545	536	619	602	547	634	539	530	638
内訳 (身生)	231	333	239	252	318	217	275	277	187	235	241	171
(予防)	261	240	257	292	233	269	294	254	279	269	245	270
一日平均(回)	47.6	58.9	49.0	51.9	59.0	49.9	54.6	54.7	49.5	51.4	54.3	50.1

12 月			1 月			2 月			3 月			年間平均		
R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3	R1	R2	R3
128	121	119	124	122	119	125	117	113	118	117	118	124	120	119
1,706	1,619	1,475	1,645	1,534	1,477	1,683	1,332	1,362	1,695	1,538	1,610	1,623	1,641	1,485
604	611	429	600	598	490	611	493	391	627	520	500	544	608	434
559	542	593	535	524	567	519	480	540	546	516	605	545	530	580
285	198	177	295	189	152	329	182	153	280	247	202	269	260	202
258	268	276	215	223	268	224	177	278	242	255	303	264	242	269
55.0	52.2	47.5	53.0	49.4	47.6	58.0	47.5	48.6	54.6	49.6	51.9	53.3	53.9	48.8

（２）ヘルパー合同会議の実施

年月日	会　議　内　容　（議　題）	参　加　者
R3.4.26	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため資料配布とする
R3.5.24	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため資料配布とする
R3.6.28	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため資料配布とする
R3.7.26	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	崎山施設長 職員ヘルパー　3名 契約ヘルパー　13名 計 16名
R3.8.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	崎山施設長 職員ヘルパー　3名 契約ヘルパー　16名 計 19名
R3.9.24	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	崎山施設長 職員ヘルパー　3名 契約ヘルパー　15名 計 18名
R3.10.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	崎山施設長 職員ヘルパー　2名 契約ヘルパー　16名 計 18名
R3.11.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	崎山施設長 職員ヘルパー　2名 契約ヘルパー　14名 計 16名
R3.12.27	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため資料配布とする
R4.1.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	崎山施設長 職員ヘルパー　2名 契約ヘルパー　13名 計 15名
R4.2.22	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため資料配布とする
R4.3.25	①新規利用者状況 ②サービス担当者会議について ③利用者の状況報告 ④その他	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため資料配布とする

（３）施設内・外研修

年月日	研　修　名　等（内 部）	場　所	参 加 者
R3.4.26	接遇について	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため資料配布とする	
R3.5.24	個人情報保護について	〃	
R3.6.28	感染症について	〃	
R3.7.26	脱水・熱中症予防について	介護センター	職員ヘルパー　3名 契約ヘルパー 13名
R3.8.25	訪問介護におけるプライバシー保護について	〃	職員ヘルパー　3名 契約ヘルパー 16名
R3.9.24	倫理・法令遵守について	〃	職員ヘルパー　3名 契約ヘルパー 14名
R3.10.25	認知症について	〃	職員ヘルパー　2名 契約ヘルパー 16名
R3.11.25	事故再発防止について	〃	職員ヘルパー　2名 契約ヘルパー 14名
R3.12.27	食中毒予防について	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため資料配布とする	
R4.1.25	緊急時の対応について	介護センター	職員ヘルパー　2名 契約ヘルパー 13名
R4.2.22	虐待防止について	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため資料配布とする	
R4.3.25	ハラスメントについて	〃	

年月日	研　修　名　等（外 部）	場　所	参 加 者
R3.4.15	65歳以上高齢者向け新型コロナウイルスワクチン接種に係る介護従事者向け説明会	大船渡市総合福祉センター	佐々木和美

令和３年度

事　業　報　告

（自 令和３年４月１日　　至　令和４年３月31日）

大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所

令和3年度の事業を振り返って

～　心を受け取るのが愛、住みなれた地域で最後まで　～

令和3年度は新型コロナウイルスの脅威に脅かされながら、徹底した予防を確立できたのではないかと思います。しかし昨年同様に他市町村への研修会への不参加、さらには研修会の開催方法もWeb動画やZOOM開催が常態化してきました。その中でも富美岡荘居宅や富美岡荘ヘルプ事業所と連携を密にし、情報の収集に努めながらヒヤリとした瞬間もありましたが、幸いにも職員や利用者様の関係者含めコロナ罹患者からクラスターに発展する事もなく、その点からも徹底した予防の効果が表れていると感じました。昨年感じたSNSの活用による個人情報の取り扱いには十分に注意して対応してきたと思っておりますが、利用者は様々で、利用者が高齢者であれば自ずと子供の年代も高くなり、そうなると孫世代との連絡連携も多い中、法令遵守、プライバシー保護の研修などには時代の流れも踏まえてきちんと参加して知識を上書き習得していかなければならないという新たな課題も出来ました。また、新規利用者の申し込みが減少傾向にあり、人数の確保が難しい年でもありました。新規獲得の為には在宅介護支援センターやたすけあい協議会との上手な連携も今後の課題となりました。これからは今まで以上に本部や関連事業所との連携を密に図って業務をスムーズに進めていきたいと思います。最後に温かく見守りご指導いただいた会長と理事長に、お礼を申し上げたいと思います。

大船渡市福祉の里指定居宅介護支援事業所
副所長　鈴木浩子

1　事業の実施

ご利用者の心身の状況や生活状況を勘案し、ご利用者やご家族の意向を尊重した上で、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう本人に寄り添った計画書を作成し支援を行なった。対応困難事例や新規ケースについて多職種と協働しながら情報共有を行い事業所全体で取り組んだ。コロナ対策で研修には動画やZOOMを多用せねばならなかったが、介護報酬改定情報の取得と熟知に努めた。また、運営基準減算又は特定事業所集中減算の適用を受けずに適正に運営している。

2　主な業務内容

(1) ケアプランの管理と評価
(2) 各事業所との連絡調整とサービス担当者会議の運営
(3) 介護にかかわる相談業務
(4) 介護保険関連のさまざまな手続きの申請代行
(5) 介護サービスを利用するために必要な居宅サービス計画の作成・交付
(6) 給付管理及び請求業務
(7) 要介護認定訪問調査

3　事業実績

(1)　指定居宅介護支援の提供

(単位:件)

		要介護認定 申請代行件数	要介護認定 訪問調査受託件数	介護サービス 給付管理件数	予防介護サービス 計画作成件数	介護保険苦情 相談件数
	4月	13	3	135	28	0
	5月	6	0	126	27	0
	6月	13	2	132	27	0
	7月	10	1	121	25	0
	8月	12	1	123	30	0
	9月	18	4	123	29	0
	10月	18	2	120	29	0
	11月	12	1	122	28	0
	12月	9	1	117	27	0
	1月	9	3	109	29	0
	2月	8	1	120	28	0
	3月	10	2	110	29	0
3年度	合計	138	21	1458	336	0
3年度	平均	11 .5	1 .75	121 .5	28	0
2年度	合計	105	6	1506	338	0
2年度	平均	8 .8	0 .5	125.5	28 .17	0

(2)　利用者の移行状況

利用者の移行先	令和2年度		令和3年度
新規受け入れ	年間　70件		年間　51件
施設（特養・老健）入所	年間　17件		年間　11件
小規模多機能・グループホーム	年間　6件	⇨	年間　8件
在宅死亡	年間　17件		年間　21件
病院入院	年間　3件		年間　4件
その他	年間　4件		年間　14件

(3)　居宅特定事業所会議

特定事業所加算Ⅱを取得する上で基準としている、概ね週1回の割合で利用者に関する情報またはサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を定期的に開催することという規定に基づき、令和3年度も合計52回開催し情報の共有化と介護保険最新情報などの取得並びに周知を図った。

（単位：人）

年　月　日	会　議　内　容	参加人数
令和3年04月07日	コロナ禍の外出自粛が高齢者に与える影響	4
04月14日	人のせいにして豊かになった人はいない	4
04月20日	居宅介護支援の緩和	4
04月26日	居宅支援介護の契約時の利用割合説明	4
05月06日	大船渡市コロナワクチン接種について	4
05月12日	年を取った時の身体と心の健康	4
05月17日	福祉用具のみでも投入時間は変わらない	4
05月24日	アデュカヌマブ、日本で新薬承認を申請	4
06月01日	援助関係を形成する面会技術	4
06月07日	未来医学最前線Ⅰ	4
06月14日	ケアプラン有料化に反対	4
06月25日	口腔機能を維持することは	4
06月28日	介護施設での高齢者の転倒について	4
07月05日	未来医学最前線Ⅱ「治る」という言葉	4
07月14日	大人の発達障害とは	4
07月22日	厚労省の介護職の処遇調査	4
07月26日	「依存症」への対応	4
08月02日	「役割」によって人生は輝く	4
08月09日	次の介護報酬改定	4
08月18日	介護休業制度	4
08月25日	筋肉量の減少と骨折は認知症へのワーストシナリオ	4
09月01日	セルフ・ネグレクトとは	4
09月06日	健康食品・サプリメントの功罪	4
09月13日	要介護・要支援認定が増加傾向	4
09月24日	感染症症状のほとんどは炎症が原因	4
09月27日	新ケアプラン検証	4
10月05日	新型コロナウイルス死亡した人から大量の歯周病気	4
10月12日	関節リウマチ、さまざまな合併症に要注意	4
10月19日	新ケアプラン検証の詳細	4
10月27日	遺伝子解析は難病を克服できるか	4
11月03日	アルコール依存症の人への過剰な支援はイネイブリングを引き起こす	4
11月09日	プライバシー・個人情報の利用目的について	4
11月15日	有望な糖尿病薬	4
11月22日	面接技術の基本中の基本が「傾聴」	4
11月29日	必要なのは過去の処遇改善策の交換検証	4
12月10日	新型コロナの飲み薬	4
12月13日	介護職の所得向上	4
12月20日	統合失調症の症状	4
12月27日	自宅でできる嚥下リハビリ	4

令和4年01月03日	介護に非協力的な家族	4
01月10日	口腔機能の低下を疑う兆候	4
01月21日	「名称独占資格」「設置義務資格」	4
01月28日	双極性障害(混合状態)をもつ方の対応	4
02月02日	代謝障害	4
02月07日	アンチエイジング医学	4
02月18日	家族介護用品支給事業に関して	4
02月22日	高齢化に伴って介護保険の適用対象となる障がい者	4
03月04日	慢性閉塞性肺疾患の薬	4
03月09日	大腿骨頸部骨折の症状と、福祉用具選定のポイント	4
03月18日	大腿骨頸部骨折の治療	4
03月25日	利用者理解と問題解決に活かす「考える力」の磨き方	4
03月28日	介護人材の確保は一段と厳しくなる	4

⑷　研修会参加状況

特定事業所加算Ⅱを取得する上で基準としている計画的な研修の実施に伴い、個別研修計画を作成し、内外の研修に参加してスキルアップと情報収集に努め研修目標をおおむね達成できています。

（単位:人）

年　月　日	研　修　名	参加人数
令和3年04月30日	介護報酬改定	4
05月25日	新型福祉用具について	4
06月20日	令和3年度介護保険制度改正を踏まえたケアマネジメントの未来	4
07月20日	感染対策	4
08月15日	介護・福祉現場の倫理および法令遵守	4
09月23日	認知症の本人の視点に立ったかかわりについて	4
10月03日	次世代のケアマネジメント	4
11月08日	成年後見制度の利用支援と連携についての実践報告	4
12月03日	様々な精神疾患の特徴と対応方法について	4
令和4年01月29日	在宅領域におけるフィジカルアセスメント運動負荷ポイント	4
02月28日	やまぼうしネットワークから見える多職種協働と地域連携のカタチ	4
03月17日	地域包括ケアシステムと地域リハビリテーション	4

⑸　消防訓練

令和3年05月26日	震度6弱の地震後、給湯室より出荷の想定訓練	4
10月28日	台風による暴風雨で市内避難準備情報発令の想定訓練	4
令和4年01月31日	Biz,防災安否確認想定一斉メール訓練	4
02月09	大型で強い台風の接近に伴う避難発令の想定訓練	4

令和３年度

事　業　報　告

（自　令和３年４月１日　　至　令和４年３月31日）

富美岡荘指定居宅介護支援事業所

令和3年度の事業を振り返って

～　地域の皆様に寄り添って「笑顔と幸せの輪を」～

令和３年度は、山崎シゲ会長がご出勤する際、介護センター玄関から「会長行ってらっしゃいませ」と手を振ると、会長も笑顔で手を振ってくださいました。私たちは、幸せな気持ちになり今日も一日頑張ろうという励みになっております。ありがとうございます。これからもご健康でご活躍されますよう、祈念いたします。

今年も、在宅で生活されている各利用者や家族のさまざまなニーズを的確に把握することに努め、適切なケアマネジメントが行われるように対応をしてきました。利用者や家族が精神障害を持っているケースの対応が増えており、専門知識が求められることもあるため、事業所内で周知を図ることのほか、地域包括支援センターや病院関係者、薬剤師を含めた各医療関係機関、民生委員など、これまで以上に多方面の方々と連携をして、対応が滞りなくできるように努めました。また在宅支援中に入院され亡くなる方も多く、末期がんの方など、在宅で看取りたいとの家族の希望や最後まで自宅で生活したいとの本人の意向に寄り添い各事業所や訪問診療の医師と連携し希望に沿った最期を迎えられるよう支援してきました。特にも今年は新型コロナウイルスの感染力が強く、在宅の訪問や他事業所と関わる機会が多いので不安なところもありましたが、月2回の抗原検査を実施していただき安心して業務することができました。そして、機会あるごとに励ましをいただき、優しく見守っていただいた会長と理事長に感謝申し上げます。

富美岡荘指定居宅介護支援事業所
所　長　　石井　千枝子

1　事 業 の 実 施

ご利用者の心身の状況や生活状況を勘案し、ご利用者やご家族の意向を尊重した上で、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう本人に寄り添った計画書を作成し支援を行なった。対応困難事例や新規ケースについて情報共有を行い多職種と協働しながら事業所全体で取り組んだ。施設内外の研修へ積極的に参加し、相談援助技術の向上を図ると共に、各種制度や地域資源の掘り起しや熟知に努めた。特定事業所加算算定事業所として、介護支援専門員実務研修実習生の受入れ体制を整えている。また、運営基準減算又は特定事業所集中減算の適用を受けずに適正に運営している。

2　主 な 業　務 内 容

(1) ケアプランの管理と評価
(2) 各事業所との連絡調整とサービス担当者会議の運営
(3) 介護にかかわる相談業務
(4) 介護保険関連のさまざまな手続きの申請代行
(5) 介護サービスを利用するために必要な居宅サービス計画の作成・交付
(6) 給付管理及び請求業務
(7) 要介護認定訪問調査

3　事 業 実 績

(1)　指定居宅介護支援の提供

令和3年度

(単位:件)

	要介護認定 申請代行件数	要介護認定 訪問調査受託件数	介護サービス 給付管理件数	予防介護サービス 計画作成件数	介護保険苦情 相談件数
4月	7	0	137	23	0
5月	9	2	156	22	0
6月	10	3	125	25	0
7月	19	6	126	25	0
8月	8	3	125	27	0
9月	10	4	124	30	0
10月	12	6	121	29	0
11月	12	3	121	29	0
12月	16	8	116	27	0
1月	15	6	114	28	0
2月	10	7	114	28	0
3月	12	9	118	26	0
合　計	140	57	1497	319	0
平　均	11.7	4.8	124.8	26.6	0

令和2年度

合　計	103	17	1478	300	0
平　均	8.6	1.4	122.9	25.0	0

(2)　利用者の移行状況

利用者の移行先	令和２年度			令和3年度	
新規受け入れ	年間	58 件		年間	53 件
施設（特養・老健）入所	年間	14 件		年間	13 件
小規模多機能・グループホーム	年間	2 件		年間	4 件
在宅死亡	年間	16 件	⇨	年間	23 件
病院入院	年間	2 件		年間	8 件
その他	年間	4 件		年間	3 件

(3)　居宅特定事業所会議

特定事業所加算Ⅱを取得する上で基準としている、概ね週1回の割合で利用者に関する情報またはサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を定期的に開催することという規定に基づき、令和3年度も合計54回開催し情報の共有化と介護保険最新情報などの取得並びに周知を図った。

（単位：人）

年　月　日	会　議　内　容	参加人数
令和3年04月05日	アレルギーの基礎知識について	3
04月09日	目の障害、障害年金の等級について	4
04月19日	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のリハビリについて	3
04月27日	重度訪問介護従業者とは	4
04月30日	精神障害者保健福祉手帳とは	4
05月05日	終末期リハビリテーションとは	4
05月10日	パーキンソン病について	4
05月17日	下肢静脈瘤について	4
05月26日	国が介護や少子高齢化に対して打っているさまざまな対策について	4
05月30日	意味性認知症について	4
06月02日	認知症の薬について周知を図る	4
06月14日	令和3年度介護保険負担限度額認定について	4
06月20日	年をとった時の体と心の健康　何をどうすればいいかについて	4
06月25日	健康食品・サプリメントの功罪について	4
06月29日	高額介護サービス費とは　2021年８月から自己負担額上限額変更に	4
07月06日	物盗られ妄想について	4
07月12日	特別障害者手当について	4
07月16日	暮らしの中での専門職としてのつながりについて周知する	4
07月28日	褥瘡の原因と予防法	4
08月03日	誤嚥しやすい姿勢について	4
08月08日	未来医学最前線　ガン、糖尿病も完治！？について	4
08月16日	くも膜下出血について	4
08月23日	多系統萎縮症について居宅内で周知を図る	4
08月31日	養護老人ホームとは	4
09月06日	高齢者に怒る喪失体験とは	4
09月13日	自律神経失調症について	4
09月21日	令和３年度　通院介助の算定要件について	4
9月24日	１０月から新しいケアプラン検証開始　「限度額7割」＆「訪問介護6割」の事業所抽出について	4
10月03日	高齢者のうつ病、認知症・統合失調症との違いについて	4
10月11日	再生不良性貧血について	4
10月21日	リンパ節結核について	4
10月25日	高齢者の貧血の原因とその症状について	3
11月05日	高齢者の介護拒否について	4
11月12日	医療・介護関係事業者における個人情報ガイドブック	4
11月15日	アルコール依存症について	4
11月24日	介護疲れ、介護うつに陥らないためのメンタルケア	4
12月03日	不眠症治療に用いられる薬物療法の効果とリスク	4
12月09日	加齢とともに進行する乾燥肌の治療・予防法	4
12月20日	高齢者の転倒リスクが上がる薬とは	4
12月23日	フレイル予防について	4
令和3年12月29日	活動量の少ない高齢者が無理なく必要な栄養を摂取する方法	4

令和4年01月05日	高齢者と便秘について	4
01月12日	アルコール性認知症とは？	4
01月21日	市災害時初動マニュアル・12時ルールについて	4
01月24日	障害福祉サービス　居宅介護支援について居宅内で周知を図る	4
01月31日	「筋肉量の減少と骨折は認知症へのワーストシナリオ」について	4
02月03日	末梢神経障害・ニューロパチーについて	4
02月10日	口腔ケア・『歯周病』本当は健康の大敵について	4
02月16日	介護保険サービスの医療費控除について周知を図る	4
02月24日	くすりの基本について周知を図る	4
03月03日	高齢者の病気について周知を図る	4
03月11日	誤嚥防止！自宅でできる嚥下リハビリについて	4
03月17日	適応障害とは？について	4
03月24日	脳の血流が悪くなることで起こる血管性認知症　症状や原因、検査について	4

(4)　研修会参加状況

特定事業所加算Ⅱを取得する上で基準としている計画的な研修の実施に伴い、個別研修計画を作成し、内外の研修に参加してスキルアップと情報収集に努め研修目標をおおむね達成できています。
（単位：人）

年　月　日	研　修　名	参加人数
令和3年04月30日	介護報酬改定	4
05月25日	新型福祉用具について	4
06月20日	感染対策	4
07月20日	令和3年度介護後保険制度改正を踏まえたケアマネジメントの未来	4
08月15日	嚥下調整分類の統一化について学ぶ	4
09月23日	認知症の本人の視点に立ったかかわりについて	2
09月25日	医療威厳の乏しい住田町での取り組み	2
10月03日	次世代のケアマネジメントへの期待について学ぶ	4
11月08日	成年後見人制度についてと岩手県の利用状況	4
12月03日	岩手県介護支援専門員協会　令和3年度第2回定例研修会	4
令和4年01月29日	在宅領域におけるフィジカルアセスメント運動負荷ポイント	4
02月28日	地域包括ケアシステムと地域リハビリテーション	4
03月17日	介護報酬改定　ポイント整理と対策	4

(5)　消防訓練

令和3年05月26日	震度6弱の地震後、給油室より出火の想定訓練	4
10月28日	台風による暴風雨で市内避難準備情報発令の想定訓練	4
令和4年01月31日	Biz防災安否確認想定一斉メール訓練	4
02月09日	大型で強い台風の接近に伴う避難発令の想定訓練	4

令和３年度

事　業　報　告

（自 令和３年４月１日　　至　令和４年３月31日）

大船渡市福祉の里在宅介護支援センター

令和3年度の事業を振り返って

～　4つの助（自助・互助・共助・公助）の安心窓口を目指して　～

令和3年度は地域の高齢者やその家族からの相談に応じて、必要な保健・福祉分野のサービスを受けられるように、行政機関や介護サービス提供機関や居宅介護支援事業所との連絡調整を密に行い介護サービスにつなげてまいりました。しかしコロナ禍で市で主催する介護予防及び健康増進を目的として元気アップ等の事業や、介護予防教室等は開催できませんでした。半面、蔵ハウス大船渡やひころいちの郷からの要請で在宅介護センターのPR活動をおこなえたことは今後に向けて大いに役にたったと思います。来年度以降在宅介護支援センターの役割も大きく変わる様を見せてきておりますが、今までより以上に地域に根差した活動を続けて行きたいと思います。

1　事 業 内 容

⑴　相談窓口設置業務

地域高齢者とそのご家族からの福祉全般に関する相談を受けたり、周知活動を行ったり、情報共有の為に地域の会議などへの参加等、実態把握を通じて知った定期的な見守りが必要な方への訪問等、身近な相談窓口として利便性を高めた。

⑵　実態把握調査

地域包括支援センターからの依頼で実態調査を行うとともに、家族や民生委員からの要請で訪問活動を行い地域高齢者の実態把握を行い潜在的なニーズや問題の掘り起こしを行って地域包括と情報共有をしている。

⑶　介護予防教室・包括事業への協力

新型コロナウイルスの状況により介護予防教室は開催できなかった。

大船渡市福祉の里在宅介護支援センターは、平成7年10月に高齢者の介護相談と福祉サービスの利用調整を大きな目的として、大船渡市から委託を受けて開設した。

しかし、平成12年の介護保険事業の施行と同時に、介護サービスの利用調整は、居宅介護支援事業所の業務となり、在宅介護支援センターは、高齢者の実態把握調査と介護予防教室のほか、介護保険対象外の高齢者の相談窓口が主な業務となった。

平成18年から大船渡市でも地域包括支援センターが新設され、地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行うために、介護予防ケアマネジメント事業、総合相談支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント事業等を行っており、当在宅介護支援センターはこの中の総合相談支援事業で包括の窓口（ブランチ）を担っている。

また、相談支援の他に地域の高齢者の実態把握とその実態把握のために民生委員や相談協力委員の方との地域のネットワーク形成づくり、そして各種の福祉用具を展示、利用の便宜をはかっている。

① 相談者数

相談者実人数	61人

② 相談方法別件数

電 話	来 所	訪 問	その他	合 計
16人	19人	26人	0人	61人

③ 実態把握調査

実態把握調査	13人

④ 会議・研修会等

年 月 日	内 容	場 所	出席者
令和3年5月17日	第1回大船渡市地域助け合い協議会	リアスホールマルチスペース	鈴木浩子
6月17日	岩手県沿岸地域包括・在宅介護支援センター協議会	書面決議	鈴木浩子
8月21日	気仙地域リハビリテーション連絡協議議会	書面決議	鈴木浩子

令和３年度

事　業　報　告

（自 令和３年４月１日　　至　令和４年３月31日）

社会福祉法人　成 仁 会　ＳＧビル

社会福祉法人 成仁会 ＳＧビル 事業報告書

【事業の名称】
社会福祉法人 成仁会 ＳＧビル

【事業の所在地】
岩手県大船渡市盛町字町６番地８

【事業の設立年月日】
平成２０年８月１日

【事業の目的】
社会福祉法人においても、収益を目的とする事業を行うことが認められたことに伴い、法人の自立性を高める観点から、収益事業を行う。

【事業の種類】
・不動産貸しビルの経営
・医療検査サービスシステム事業に係る医療・健診用器材の販売等

【賃貸借物件】

所　　在	岩手県大船渡市盛町字町６番地８
種　　類	居宅・旅館
構　　造	鉄骨・木造陸屋根・瓦葺４階建
床 面 積	１階 267.63 ㎡　２階 432.28 ㎡　３階 207.61 ㎡　４階 34.47 ㎡

【事業報告】
・医療検査サービスシステム事業に係る医療・健診用器材の販売実績

微量採血検査事業（ガンリスク等）	300 件
新型コロナウィルス抗原検査キット販売事業	1,488 個
シューティングミスト	3,087 個